津市総合計画第２次基本計画
事務事業評価・施策評価
報告書

令和６年３月

目　　次

１　報告書の位置付け……1
２　評価の対象……3
３　評価方法……3
４　報告書の構成……7

【施策の評価シート・施策の内容評価シート】

・施策　１　出会い・結婚・出産しやすい環境づくり……10
・施策　２　子育て支援の充実……20
・施策　３　幼児教育・保育の充実……32
・施策　４　学校教育の充実……42
・施策　５　健やかな育ちへの支援……60
・施策　６　地域包括ケアシステムの確立……72
・施策　７　地域福祉の充実……76
・施策　８　高齢者福祉の充実……80
・施策　９　障がい者（児）福祉の充実……88
・施策１０　低所得者福祉の充実……94
・施策１１　健康づくりの推進……100
・施策１２　地域医療・救急医療体制の充実……106
・施策１３　公的医療保険の安定運営……112
・施策１４　防災・減災施策の強化……118
・施策１５　災害に強いまちづくりの推進……126
・施策１６　消防力の強化……142
・施策１７　防犯対策と消費者保護の強化……152
・施策１８　交通安全対策の強化……160
・施策１９　環境を守り継承する社会の形成……166
・施策２０　循環型社会形成の推進……174
・施策２１　安全な水の安定供給……186
・施策２２　生活排水対策等の推進……194
・施策２３　生活道路の整備……202
・施策２４　居住環境の整備……208
・施策２５　港湾・海岸堤防の整備……220
・施策２６　良好な景観の形成……228
・施策２７　緑化の推進と公園緑地の整備……236
・施策２８　都市機能の整備……246

・施策２９　道路ネットワークの整備……256
・施策３０　公共交通の充実……262
・施策３１　生涯学習の推進……268
・施策３２　高等教育機関との連携・充実……276
・施策３３　スポーツの振興……282
・施策３４　文化の振興……292
・施策３５　市民活動の促進……302
・施策３６　地域コミュニティの活性化……308
・施策３７　国際・国内交流と多文化共生の推進……316
・施策３８　人権・平和施策の推進……324
・施策３９　ユニバーサルデザインのまちづくりの推進……332
・施策４０　男女共同参画の推進……340
・施策４１　勤労者福祉の充実……348
・施策４２　雇用の創出・拡大……354
・施策４３　工業の振興……360
・施策４４　商業の振興……368
・施策４５　農業の振興……376
・施策４６　林業の振興……390
・施策４７　水産業の振興……400
・施策４８　観光の振興……408
・施策４９　シティプロモーションの推進……416

１　報告書の位置付け

本報告書は、平成３０年度から令和９年度までの１０年間を計画期間とする津市総合計画第２次基本計画に係る事務事業と施策の進捗状況を各所管課が把握・意識し、より効果的な事務の執行による施策の確実な進捗につなげるため、所管課自らが施策に基づき計画した事業の実施結果やそれに係る施策の進捗状況をまとめたものです。

【総合計画とは】

津市総合計画は、めざすべき津市の都市像や、その実現に向けた取組の方向性を市民と行政が共有し、共にまちづくりを進めるための津市の最上位の計画です。めざすべき都市像や市民の暮らしなど、まちづくりの基本的な理念を示す「基本構想」と、これら理念の実現に向けたまちづくりを着実に進めるための施策や取組の方向性などを示す「基本計画」とで構成されています。

「基本計画」では、将来像を「笑顔があふれ幸せに暮らせる県都　津市～夢や希望、明るい未来が広がるまちへ～」とし、大きな方向性として６つの「目標」、目標を達成するための１７の「基本政策」、基本政策に基づく４９の「施策」、施策を構成する１５５の「施策の内容」を定めており、この施策の内容に基づき各所管が事業を展開しています。

【総合計画の施策体系】

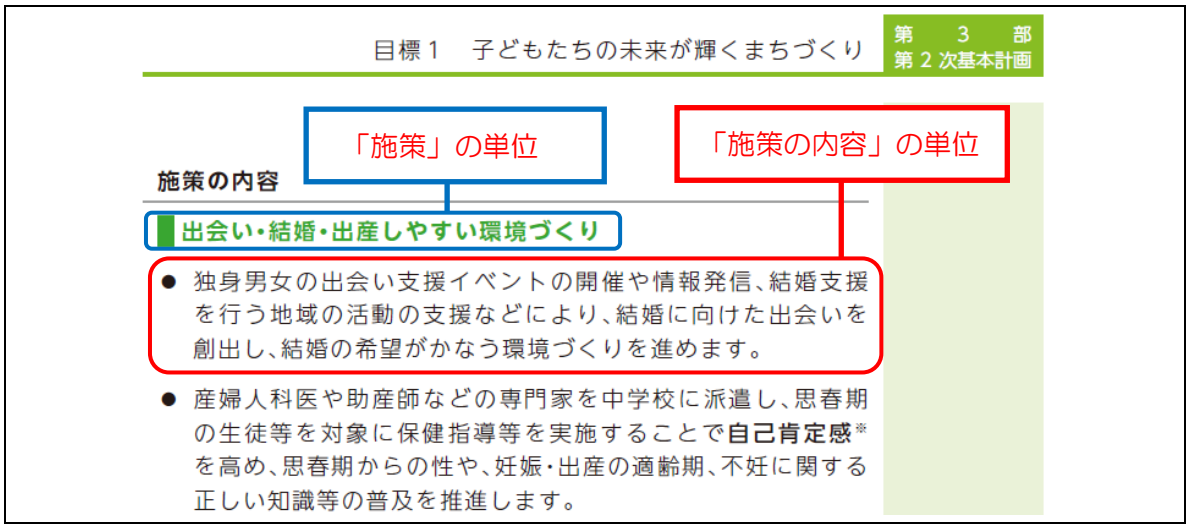
目標	基本政策	施策	施策の内容の数	主な事業の数
１　子どもたちの未来が輝くまちづくり	１　安心して子どもを生み育てられる環境の充実	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	４	７
		子育て支援の充実	４	１８
	２　子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	幼児教育・保育の充実	４	20
		学校教育の充実	８	25
		健やかな育ちへの支援	５	12
２　安心して健やかに暮らせるまちづくり	１　社会の変化に対応した福祉の充実	地域包括ケアシステムの確立	１	10
		地域福祉の充実	１	２
		高齢者福祉の充実	３	13
		障がい者（児）福祉の充実	２	９
		低所得者福祉の充実	２	５
	２　健康づくりの推進と医療体制の充実	健康づくりの推進	２	12
		地域医療・救急医療体制の充実	２	７
		公的医療保険の安定運営	２	４

３　いのちと暮らしを守るまちづくり	１　いざという時の備えの強化	防災・減災施策の強化	３	14
		災害に強いまちづくりの推進	６	33
		消防力の強化	４	８
	２　防犯・交通安全対策の強化	防犯対策と消費者保護の強化	３	12
		交通安全対策の強化	２	８
４　心やすらぐ住みよいまちづくり	１　環境にやさしい社会の形成	環境を守り継承する社会の形成	３	９
		循環型社会形成の推進	５	18
	２　持続可能な都市基盤の整備	安全な水の安定供給	３	５
		生活排水対策等の推進	３	16
		生活道路の整備	２	10
		居住環境の整備	５	11
		港湾・海岸堤防の整備	３	３
	３　快適に暮らせる都市空間の形成	良好な景観の形成	３	４
		緑化の推進と公園緑地の整備	４	10
		都市機能の整備	４	８
		道路ネットワークの整備	２	７
		公共交通の充実	２	４
５　自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	１　生涯を通じた学びの推進	生涯学習の推進	３	４
		高等教育機関との連携・充実	２	２
	２　スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	スポーツの振興	４	11
		文化の振興	４	18
	３　つながり広がるコミュニティの醸成	市民活動の促進	２	４
		地域コミュニティの活性化	３	８
		国際・国内交流と多文化共生の推進	３	４
	４　誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	人権・平和施策の推進	３	５
		ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	３	12
		男女共同参画の推進	３	３
６　魅力と活力を生み出すまちづくり	１　働ける・働きたくなる環境の整備	勤労者福祉の充実	２	３
		雇用の創出・拡大	２	３
	２　地域に根付く商工業の振興	工業の振興	３	７
		商業の振興	３	10
	３　食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	農業の振興	６	27
		林業の振興	４	23
		水産業の振興	３	４

	４　交流人口の拡大	観光の振興	３	10
		シティプロモーションの推進	２	４
合　　計			１５５	486

※主な事業数は、総合計画に定める施策の内容に基づき令和４年度に各所管が実施した主な事業の数で、重複するものを含みます。

【施策の内容の単位】　※津市総合計画第２次基本計画（Ｐ４４）より抜粋



２　評価の対象

総合計画に位置付ける４９の「施策」と各「施策」を構成する１５５の「施策の内容」、各「施策の内容」に係る「主な事業（事務事業）」を評価の対象としています。

３　評価方法

評価は、「主な事業」、「施策の内容」、「施策」の３段階で実施しました。

(1)　「主な事業」に係る評価（事務事業評価）

「施策の内容」に係る「主な事業」単位で、各事業の所管課による評価を実施しました。

ア　「施策の内容評価シート」の「２「施策内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）」の表記内容

２「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

①番号	②事業名 / ③担当課	④事業の内容	事業の目的		事業の評価		⑭事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効 ⑤事業の実施により直接的に表れる効果		⑧◆当初の事業実施計画	⑨実施評価	
			誰 ⑥誰のための事業か		⑩◇事業評価の主な視点	⑪事業評価	
			何 ⑦何のための事業か		⑫決算額（千円）	⑬今後の方向性	
001-1	出会い応援事業 / 子育て推進課	独身男女の出会いを支援するイベント及び出会いに係る相談会等の実施	効	婚活イベント、相談会及びセミナーに参加する	◆ 年3回のイベント、年4回の相談会等の実施	◎	計画通り事業を実施することができ、各事業の満足度も高い（イベント74%、相談会88%等）ため「◎」とした。「つながる支援体制」の構築を目指し、相談会を開催しているが、イベントのみに参加する人も多く、支援体制の構築には課題もある。県の事業も増加していることもあり、今後も参加者のニーズを確認しながら事業を検討していく。
			誰	出会いや結婚を希望する独身男女及びその家族	◇ 参加者の意見（満足度）	◎	
			何	婚活イベント等に参加することで、希望をかなえるきっかけとなる	701（千円）	現状維持	

イ　主な事業の評価（事務事業評価）の各項目の内容

項目	内容
①番号	事業の整理番号
②事業名	事業の名称
③担当課	事業担当課（評価を実施した所管課）
④事業の内容	事業の概要を説明したもの
⑤事業の実施により直接的に表れる効果	事業を実施することによって、事業の対象者にどのようなことが起きるのか、事業の対象者がどのような行動を起こすのかなど、直接的に表れる効果を具体的に記載したもの
⑥誰のための事業か	誰のために行う事業なのかを具体的に記載したもの
⑦何のための事業か	事業を行うことによって、その事業の対象者の行動が事業を行わなかった時と比べてどのように変わることを期待しているのかを具体的に記載したもの
⑧◆当初の事業実施計画	当初予定していた事業の内容（「〇件補助を行う」など）を数値などで示したもの
⑨実施評価	• 「◆当初の事業実施計画」に対して、計画どおり実施できたかを評価したもの • 評価は、「◎：計画を達成（100%以上）」、「〇：概ね計画どおり（80%以上～100%未満）」、「△：計画を下回った（50%以上～80%未満）」、「×：計画を大きく下回った（50%未満）」の４段階で実施
⑩◇事業評価の主な視点	• 「何のための事業か」欄で記載した“期待する効果”を測定する上で基準としたもの
⑪事業評価	• 「◇事業評価の主な視点」をもって、「何のための事業か」欄で記載した“期待する効果”が得られたかを測定し、評価したもの • 評価は、「◎：大いに効果が認められる」、「〇：ある程度の効果が認められる」、「△：あまり効果がなかった／事業完了前につき効果の発現に至っていない」、「×：効果を測定できない」の４段階で実施
⑫決算額（千円）	当該年度における事業の決算額（歳出）を記載したもの
⑬今後の方向性	• 実施評価（計画どおり実施したか）、事業評価（期待する効果があったか）を踏まえ、事業の今後の方向性を明らかにしたもの • 評価は、「拡充・充実」、「現状維持」、「見直し」、「廃止」、「完了」の５段階で実施
⑭事業の振り返りとこれから	• 実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由や補足説明、想定外の不可抗力などに関する説明などを記載したもの

(2) 「施策の内容」に係る評価

「施策の内容」に係る個々の「主な事業」の評価（事務事業評価）を集約し、「施策の内容」の総合評価及び今後の方向性をまとめました。

ア　総合評価

「主な事業の評価」（事務事業評価）における個々の「実施評価」と「事業評価」を以下のとおり点数化し、合計を１００点満点に換算して８０点以上は「A」、６０点以上８０点未満は「B」、４０点以上６０点未満は「C」、２０点以上４０点未満を「D」、２０点未満を「E」としました。

【点数】

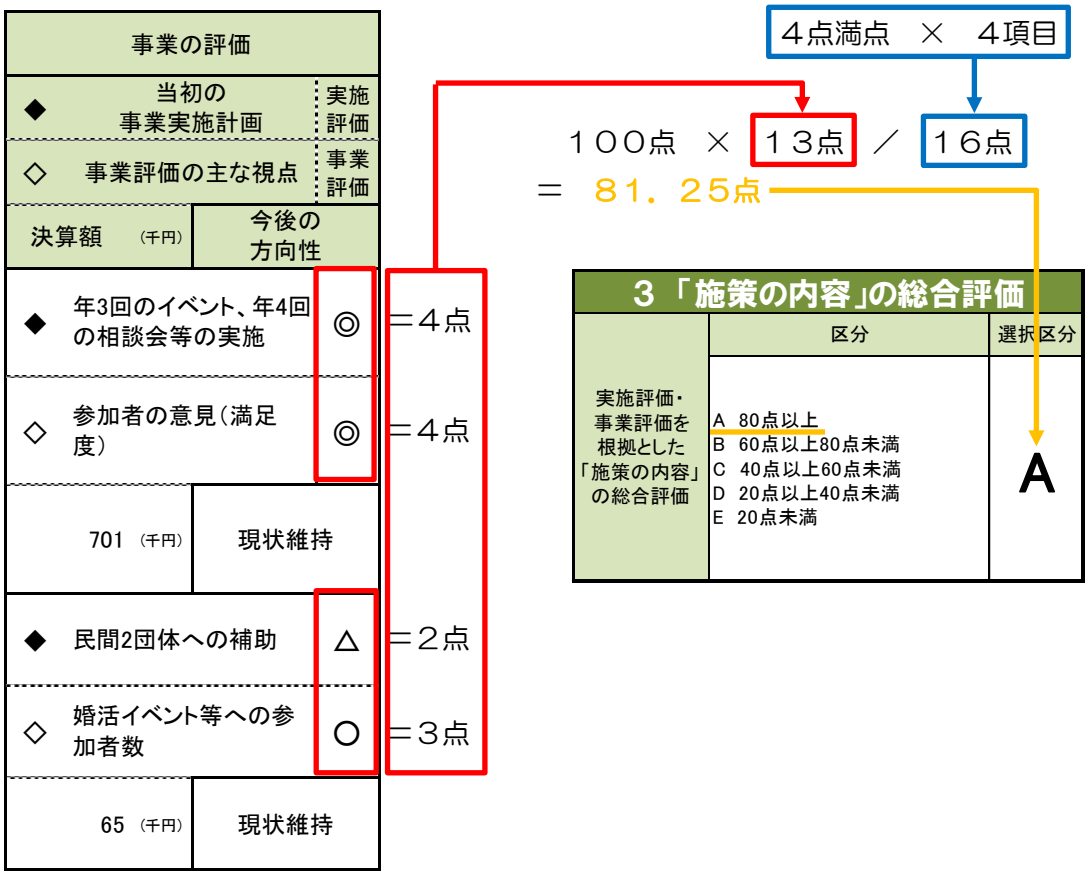
・実施評価

◎（計画を達成（100%以上））	：４点
○（概ね計画どおり（80%以上～100%未満）	：３点
△（計画を下回った（50%以上～80%未満）	：２点
×（計画を大きく下回った（50%未満）	：０点

・事業評価

◎（大いに効果が認められる）	：４点
○（ある程度の効果が認められる）	：３点
△（あまり効果がなかった／事業完了前につき効果の発現に至っていない）	：２点
×（効果を測定できない）	：０点

（総合評価の例）

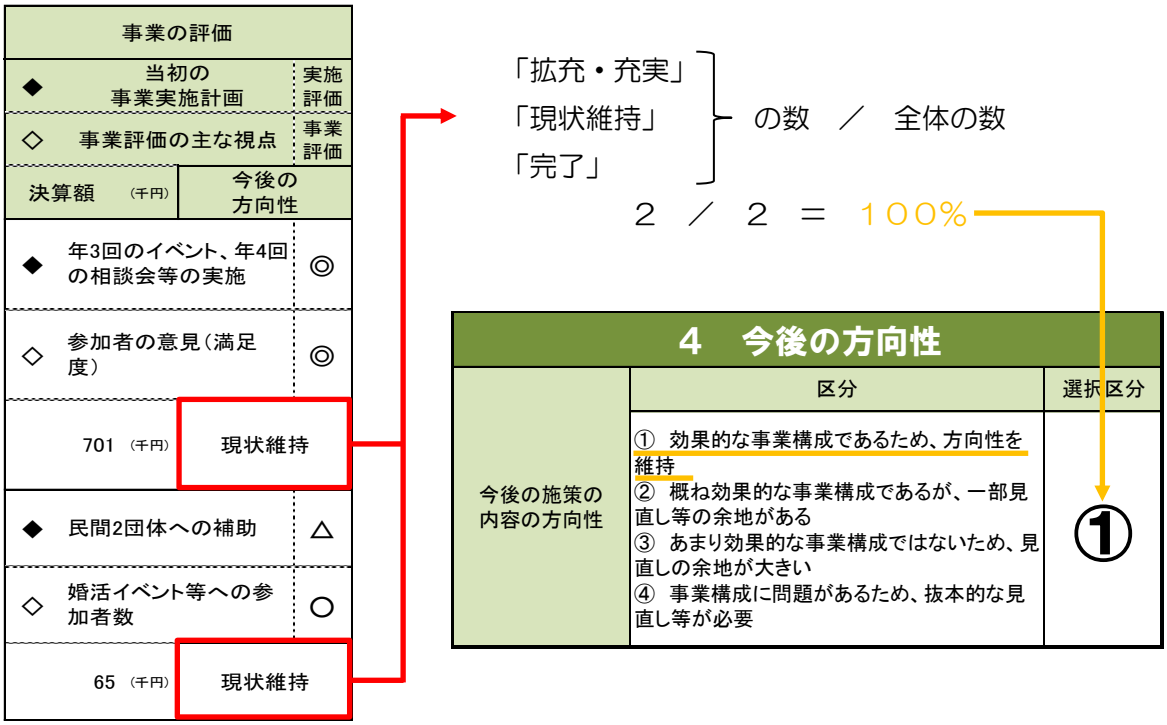


イ　今後の方向性

「主な事業」の評価（事務事業評価）における個々の「今後の方向性」（拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了）の全体における「拡充・充実」、「現状維持」及び「完了」の割合により判定しました。

【判定】
- １００％　　：①効果的な事業構成であるため、方向性を維持
- ７５％以上１００％未満
　　：②概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある
- ５０％以上７５％未満
　　：③あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい
- ５０％未満　　：④事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

（今後の方向性の例）



⑶　「施策」に係る評価

「施策」を構成する個々の「施策の内容」の総合評価を集約し、「施策」の総合評価を行いました。

【施策の内容の点数】
- Ａ　：　４点
- Ｂ　：　３点
- Ｃ　：　２点
- Ｄ　：　１点
- Ｅ　：　０点

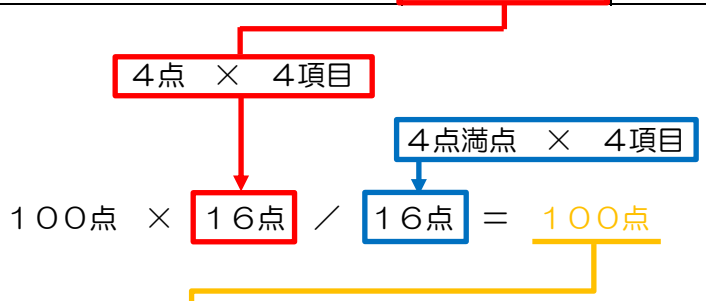
※施策を構成する個々の「施策の内容」の総合評価を積み上げた総評価点数を１００点満点に換算します。

１００点　×　「施策の内容」の総評価点数
／「施策の内容」の満点評価点数
＝「施策」の総合評価点数

（総合評価の例）

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。	A	①	子育て推進課
002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。	A	①	教育研究支援課
003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。	A	①	保険医療助成課
004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。	A	①	健康づくり課

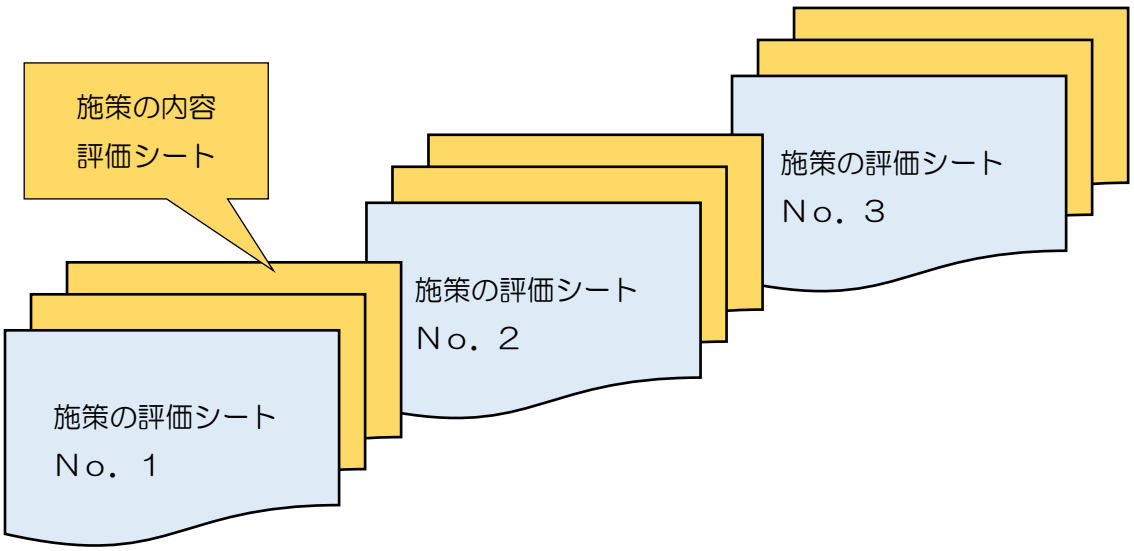


3　「施策」の総合評価

「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	出会い応援事業として独身男女の出会いを支援するイベントや相談会等を実施するとともに、中学生を対象とする産婦人科医や助産師などによる保健指導、不妊治療・不育症治療に対する医療費助成や妊婦一般健康診査を実施するなど、出会い・結婚・出産しやすい環境づくりに努めています。

４　報告書の構成

施策体系順に、「施策の評価シート→施策の内容評価シート」、次の「施策の評価シート→施策の内容評価シート」・・・として構成しています。



【施策の評価シート】

【施策の内容評価シート】

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画、津市第3次健康づくり計画、津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局				健康福祉部、教育委員会		
施策の内容（番号）				001 ～ 004		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。	A	①	子育て推進課
002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。	A	①	教育研究支援課
003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。	A	①	保険医療助成課
004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。	A	①	健康づくり課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	出会い応援事業として独身男女の出会いを支援するイベントや相談会等を実施するとともに、中学生を対象とする産婦人科医や助産師などによる保健指導、不妊治療・不育症治療に対する医療費助成や妊婦一般健康診査を実施するなど、出会い・結婚・出産しやすい環境づくりを進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101001
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）		
担当部局				健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
001-1	出会い応援事業	独身男女の出会いを支援するイベント及び出会いに係る相談会等の実施	効	婚活イベント、相談会及びセミナーに参加する	◆ 年3回のイベント、年4回の相談会等の実施	◎	計画通り事業を実施することができ、各事業の満足度も高い（イベント74%、相談会88%等）ため「◎」とした。 「つながる支援体制」の構築を目指し、相談会を開催しているが、イベントのみに参加する人も多く、支援体制の構築には課題もある。県の事業も増加していることもあり、今後も参加者のニーズを確認しながら事業を検討していく。
			誰	出会いや結婚を希望する独身男女及びその家族	◇ 参加者の意見（満足度）	◎	
	子育て推進課		何	婚活イベント等に参加することで、希望をかなえるきっかけとなる	701（千円）	現状維持	
001-2	少子化対策地域支援活動事業	結婚・妊娠・出産・育児の一貫した「切れ目ない支援」を目的とした少子化対策事業の実施	効	市内に活動拠点を有する民間非営利団体が、補助金を活用して開催する出会いの場に参加する	◆ 民間2団体への補助	△	応募、採択共に1団体となった。また、実施された婚活イベントへの参加者は定員52名に対し31名と集客に課題はあるものの、イベントを機に積極的に婚活を続けたいという女性参加者からの声もあり、一定の成果が認められる。今後は事業の周知方法等の改善を図り応募団体の増加を図りたい。
			誰	結婚を希望する独身男女	◇ 婚活イベント等への参加者数	○	
	子育て推進課		何	婚活イベント等に参加することで、希望をかなえるきっかけとなる	65（千円）	現状維持	
001-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
001-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
001-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

001-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
001-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
001-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
001-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
001-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101002
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局				教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
002-1	思春期ライフプラン教育事業	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、生徒等を対象に保健指導の実施	効	保健指導の実施により、生徒の自己肯定感を高める思春期の性や妊娠出産等についての知識の普及	◆ 津市立の中学生（義務教育学校後期課程生を含む）を対象に実施する	◎	各校の実績報告書から、生徒が自身の性や生き方について積極的に学んでおり、期待される効果に対して成果があったと考えられる。 今後も継続して事業を実施する。
			誰	市内の中学生（義務教育学校後期課程生を含む）	◇ 事業の成果や生徒の反応（実績報告書より）	◎	
	教育研究支援課		何	生徒が自身の性について知り、将来や生き方について主体的に考えることができる	360（千円）	現状維持	
002-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
002-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
002-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
002-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

002-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
002-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
002-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
002-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
002-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101003
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画					
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
003-1	医療費助成事業	不妊治療、不育症治療に対する医療費の助成	効	子どもを望む夫婦が治療を受ける機会が増える	◆ 助成を希望する全員への助成	○	R4年4月から不妊治療が保険適用となったことから、新たな特定不妊治療費助成制度を創設し効果があった。R5年度からは、一部対象者を拡充し、より効果的な事業となるよう進めていく。
			誰	不妊治療・不育症治療を受ける夫婦	◇ 助成件数	◎	
	保険医療助成課		何	経済的負担の軽減	15,739（千円）	拡充・充実	
003-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
003-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
003-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
003-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

003-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
003-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
003-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
003-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
003-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード　010101004
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ　44
	関連個別計画			津市第3次健康づくり計画（平成29年度～令和4年度）	
担当部局				健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
004-1	妊婦一般健康診査事業 / 健康づくり課	母体や胎児の健康確保、経済的負担の軽減を図り、安心して産み育てる環境づくりを推進するため、妊婦健康診査（公費負担14回）を実施	効	妊婦健康診査を受診する機会が確保でき、妊娠中の異常を早期に発見し、安全に出産を迎えることができる	◆ 14回分の妊婦一般健康診査の提供	◎	妊娠届時に、14回分の妊婦一般健康診査を交付することができたため「◎」とした。妊娠中の健診については、里帰りで県外で受診する場合もあることから、償還払いにて受診できることも周知し、すべての妊婦が健康診査を受けられるように進める
			誰	妊娠届を提出した妊婦	◇ 妊婦健診の受診率	◎	
			何	健診を受けることで、妊婦自身が健康管理ができる	168,506（千円）	現状維持	
004-2	養育医療事業 / 健康づくり課	身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児の養育上必要な医療の給付	効	入院を必要とする乳児に対し、必要な医療を提供できる	◆ 養育医療の申請があった者に医療を提供する	◎	申請があった者に対し、給付することができたため「◎」とした。申請件数が増加傾向にあることから、申請に対しての医療給付に努める
			誰	出生体重が2,000グラム以下の者、または、生活力が特に薄弱であり、一定の症状を有する者	◇ 申請件数、受理件数	◎	
			何	保護者が経済的な負担を心配することなく、必要な医療が受けられる	25,692（千円）	現状維持	
004-3	産後ケア事業 / 健康づくり課	産後の育児不安が強い方で、家族等からの支援が得られない場合に、宿泊・通所・訪問で母子の心身のケアや育児サポートを実施	効	産後の母子の心身のケアや育児サポートを行い、疲労回復、育児不安の軽減により、安心して育児ができる	◆ 産後ケア対象者にケアの提供	◎	産後ケア対象者に、必要なケアを提供ができたことから「◎」とした。産後ケア事業については、国からも更なる推進について勧められ、実施要綱の改正があり、対象者等が見直されたことから、事業の拡充を図る
			誰	産後1年未満の産婦	◇ 実施前後の産婦の変化、満足度	◎	
			何	産後早期から育児支援を行うことで、安心して育児ができる支援体制が推進できる	4,214（千円）	拡充・充実	
004-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
004-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

004-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
004-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
004-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
004-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
004-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（番号）			005	～	008	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
005	質の高い幼児教育と保育の融合・充実を図り、子どもたちや保護者にとって望ましい環境を提供することができる認定こども園の設置などを通して、待機児童ゼロを維持します。	－	－	子育て推進課
006	私立保育所等の施設整備や認定こども園への移行に対する支援を行うことで、子育て世帯の多様なニーズに対する選択肢を拡充します。	B	①	子育て推進課
007	保育所、認定こども園等、就学前施設の質と量の両面から拡充を図り、子育て支援サービスの充実に取り組むとともに、これら施策に関わる職員の資質向上と、家庭・地域との積極的な連携を図ります。	A	①	子育て推進課/こども支援課
008	安心して子育てができるよう関係機関とのネットワークを充実し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目なく総合的に支援します。	A	①	こども支援課/保険医療助成課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	公立保育所・認定こども園の管理・運営、民間保育所・認定こども園の施設整備に対する補助及び運営経費の負担、子育て支援センター事業に対する補助、病児保育事業の実施、児童発達支援センターの管理・運営、子育てや発達等に関する相談・支援、児童手当及び児童扶養手当の給付、妊産婦・子ども・一人親家庭等に対する医療費の助成を実施するなど、子育て支援の充実に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード　010102005
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ　44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）		
担当部局			健康福祉部、教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			005	質の高い幼児教育と保育の融合・充実を図り、子どもたちや保護者にとって望ましい環境を提供することができる認定こども園の設置などを通して、待機児童ゼロを維持します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
005-1			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
005-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
005-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
005-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
005-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

005-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
005-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
005-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
005-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
005-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	―

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	―

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	－					
今後の方向性	①	①	①	①	－					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード　010102006
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ　44
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			006	私立保育所等の施設整備や認定こども園への移行に対する支援を行うことで、子育て世帯の多様なニーズに対する選択肢を拡充します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
006-1	認定こども園施設整備事業	民間認定こども園施設整備に対する補助	効	民間認定こども園の施設整備により、教育・保育環境が改善される	◆ 民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	×	今後も民間施設への支援は継続して必要なため、現状維持とした。民間認定こども園の建替えについて、天候不順に加え、移転先の土地に地盤改良が必要なことが判明し、事業の大半を令和5年度に繰り越した。しかし、建替えであり、現施設が運営しているため利用定員への影響はほとんどない。
			誰	就学前児童のいる世帯	◇ 民間認定こども園の利用定員数	○	
	子育て推進課		何	教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	33,127（千円）	現状維持	
006-2	民間保育所施設整備事業	民間保育所施設整備に対する補助	効	民間保育所の施設整備により、保育環境が改善される	◆ 民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	◎	今後も民間施設への支援は継続して必要なため、現状維持とした。予定どおり事業が行えたため◎とした。
			誰	就学前児童のいる世帯	◇ 民間保育所の利用定員数	◎	
	子育て推進課		何	保育提供量が拡充され、保育の提供を受けることができる	16,728（千円）	現状維持	
006-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
006-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
006-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

006-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
006-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
006-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
006-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
006-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	－	A	B	B					
今後の方向性	①	－	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード　010102007
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ　44
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			007	保育所、認定こども園等、就学前施設の質と量の両面から拡充を図り、子育て支援サービスの充実に取り組むとともに、これら施策に関わる職員の資質向上と、家庭・地域との積極的な連携を図ります。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
007-1	地域子育て支援拠点事業補助金 / 子育て推進課	大門いこにこ広場及びイオン久居での子育て支援センター事業の実施に対する補助	効	子育て親子との交流、子育て等に関する相談や情報提供を受けることができる	◆ 民間事業者への適切な支援の実施	◎	子育て支援センター担当者連携会議での研修、交流及び子育て支援コーディネーターの巡回訪問を通じて、支援や連携強化を図ることができた。また、利用者アンケート結果より利用者の約65%が子育て支援センターで相談したことがあると回答、気軽に相談できる場所として利用できる環境作りの支援を継続していきたい。
			誰	乳幼児及びその保護者	◇ 利用者の意見	◎	
			何	交流の場や相談を通じて、親の孤独感や不安感の緩和につながる	21,309（千円）	現状維持	
007-2	地域子育て支援拠点事業補助金 / 子育て推進課	民間保育所での子育て支援センター事業の実施に対する補助	効	子育て親子との交流、子育て等に関する相談や情報提供を受けることができる	◆ 民間事業者への適切な支援の実施	◎	子育て支援センター担当者連携会議での研修、交流及び子育て支援コーディネーターの巡回訪問を通じて、支援や連携強化を図ることができた。また、利用者アンケート結果より利用者の約65%が子育て支援センターで相談したことがあると回答、気軽に相談できる場所として利用できる環境作りの支援を継続していきたい。
			誰	乳幼児及びその保護者	◇ 利用者の意見	◎	
			何	交流の場や相談を通じて、親の孤独感や不安感の緩和につながる	22,845（千円）	現状維持	
007-3	地域子育て支援拠点事業補助金 / 子育て推進課	民間認定こども園での子育て支援センター事業の実施に対する補助	効	子育て親子との交流、子育て等に関する相談や情報提供を受けることができる	◆ 民間事業者への適切な支援の実施	◎	子育て支援センター担当者連携会議での研修、交流及び子育て支援コーディネーターの巡回訪問を通じて、支援や連携強化を図ることができた。また、利用者アンケート結果より利用者の約65%が子育て支援センターで相談したことがあると回答、気軽に相談できる場所として利用できる環境作りの支援を継続していきたい。
			誰	乳幼児及びその保護者	◇ 利用者の意見	◎	
			何	交流の場や相談を通じて、親の孤独感や不安感の緩和につながる	14,147（千円）	現状維持	
007-4	公立保育所管理運営事業 / 子育て推進課	公立保育所の管理・運営	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 公立保育所園の施設管理	○	公立保育所19園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。エアコン、照明などの設備、屋根、床、門扉などの施設について修繕が追いついていないので、人手、予算の拡充が必要。
			誰	公立保育所を利用する児童	◇ 施設の状況	△	
			何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	904,748（千円）	拡充・充実	
007-5	民間保育所等運営事業 / 子育て推進課	民間保育所等運営経費の負担	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内22施設、市外14施設	◎	民間保育所等に対し、委託費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。
			誰	民間保育所等を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の支給	◎	
			何	事業者の安定した園運営への支援により、保育環境の向上を図る	2,609,203（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

007-6	公立認定こども園管理運営事業 子育て推進課	公立認定こども園（津みどりの森こども園・香良洲浜っ子幼児園・芸濃こども園・一志こども園・白山こども園）の管理・運営	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 公立認定こども園の施設管理	○	公立認定こども園6園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。エアコン、照明などの設備など修繕が追いついていないので、人手、予算の拡充が必要。
			誰	公立認定こども園を利用する児童	◇ 施設の状況	△	
			何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	505,135（千円）	拡充・充実	
007-7	民間認定こども園運営事業 子育て推進課	民間認定こども園運営経費の負担	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内17施設、市外7施設	◎	民間認定こども園に対し、施設型給付費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。
			誰	民間認定こども園を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の支給	◎	
			何	事業者の安定した園運営への支援により、教育・保育環境の向上を図る	2,344,082（千円）	現状維持	
007-8	病児保育事業 子育て推進課	保護者が仕事などの事情で、病気や病気回復期にある子どもの保育が困難な場合、一時的に預かる事業の実施	効	保護者が仕事等の事情により、病気や病気回復期にある子どもの保育が家庭で困難な場合に、一時的に預かることができる	◆ 必要に応じた支援の実施	◎	病児保育施設2施設、病児病後児保育施設2施設、合計4施設に事業を委託し、病気や病気回復期にある子どもの保育を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援した。今後も継続して事業を行う。
			誰	病気や病気回復期にある子どもの保育が困難な保護者	◇ 利用者数	◎	
			何	保護者の子育てと就労の両立ができる	36,174（千円）	現状維持	
007-9	げいのうわんぱーく管理運営事業 こども支援課	芸濃総合支所敷地内に整備した「げいのうわんぱーく」の管理・運営	効	気軽に立ち寄り、心身をリフレッシュし遊びながら仲間づくりができる	◆ 年間利用者3万人	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限等を実施したことにより年間利用者数は21,877人に止まったが、親子が安心して過ごせる居場所を提供できた。引き続き利用者に満足度と安心感を提供できるよう努める。
			誰	市内外の子育て中の親子・家族	◇ 利用者の意見（満足度、安心感等）	○	
			何	親子が安心して過ごせる居場所ができる	12,321（千円）	現状維持	
007-10	たるみ子育て交流館管理運営事業 こども支援課	子育て支援拠点施設として整備した「たるみ子育て交流館」の管理・運営	効	幅広い世代が集い、地域全体での子育て及びその支援ができる	◆ R1年度以降　年間利用者8,100人、行事開催2回	◎	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限等を実施したが、年間利用者数は15,834人となり、地域全体での子育て及び支援に貢献できた。引き続き利用者に満足度と安心感を提供できるよう努める。
			誰	市内外の子育て中の親子・家族、地域で子育て支援に関わる人	◇ 利用者の意見（満足度、安心感等）	○	
			何	子育てへの関わりを当事者だけでなく地域全体に広げることができる	110,081（千円）	現状維持	
007-11	児童発達支援センター「つぅぽっぽ」管理運営事業 こども支援課	児童発達支援センター「つぅぽっぽ」の管理・運営	効	発達に心配のある子どもへの早期支援	◆ 早期支援のための療育の充実	◎	子ども一人ひとりの発達に応じた手厚い児童発達支援、保育所等訪問支援、計画相談を実施した。また、療育においては教具や遊びに工夫を加え、さらに保護者支援を手厚く行うことで、児童発達支援の充実を図ることができた。
			誰	発達に心配のある未就学児	◇ 利用者の意見（満足度、安心感等）	◎	
			何	個に応じた発達支援を行う	29,656（千円）	現状維持	
007-12			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
007-13			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

007-14			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
007-15			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
007-16			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
007-17			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
007-18			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード　010102008
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ　44
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）	
担当部局				健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			008	安心して子育てができるよう関係機関とのネットワークを充実し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目なく総合的に支援します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
008-1	子育ち支援事業	子育ち支援事業、子育て広場支援、子どもの預かり事業、児童虐待防止の実施	効	子育てに関する講演会や教室の開催及び育児疲れや急用時のこどもの預かり実施により、子育て環境を充実させる	◆ 安心して子育てのできる体制の整備	○	つながり広場を開催し、支援者や保護者が交流できる機会の提供、またショートステイの希望があった際は、利用の調整を行い適切に対応できた。安心して子育てできる環境整備と児童の福祉向上のため事業を継続していく。
			誰	児童及びその保護者	◇ 利用者の意見（満足度、安心感等）	○	
	こども支援課		何	安心して子育てできる環境が整備され児童の福祉が向上する	32,369（千円）	現状維持	
008-2	発達支援事業	専門職等による窓口・巡回相談、療育事業の実施、成長過程に応じた発達障がい児、保護者に対する途切れのない支援の実施	効	発達に関する途切れない支援の実施	◆ 相談窓口の充実や体制の整備	◎	窓口・巡回相談など、発達に関する相談に対する支援の実施回数は増加しており、必要な人への対応はできているとして◎とした。引き続き専門職等による対象児や保護者への丁寧な対応・支援を行っていく。
			誰	発達に課題のある子どもとその保護者	◇ 利用者の意見（満足度、安心感等）	◎	
	こども支援課		何	集団生活や家庭における困り感の軽減と保護者の不安の軽減	7,551（千円）	現状維持	
008-3	児童手当給付事業	国内に住所を有する中学校修了までの児童養育者への手当の給付	効	児童手当を支給する	◆ 子育て世帯に対する経済的支援の実施	◎	滞りなく手当の支給を行うことができた。令和6年度に手当制度拡充が予定されており、準備・体制を整えていく。
			誰	中学校修了までの児童養育者	◇ 利用者の意見（満足度、安心感等）	◎	
	こども支援課		何	子育て世帯に対し、経済的支援を行う	3,608,670（千円）	現状維持	
008-4	児童扶養手当給付事業	ひとり親家庭の児童養育者への手当の給付	効	児童扶養手当を支給する	◆ ひとり親家庭に対する経済的支援の実施	◎	ひとり親家庭等の生活の安定と自立に寄与することができた。引き続き法令に基づき、適切な運用を図り、ひとり親の子育て世帯への経済的支援や就労支援を行い自立支援の推進を図る。
			誰	父母の離婚などにより父又は母と生計を同じくしていない児童を養育している家庭	◇ 利用者の意見（満足度、安心感等）	◎	
	こども支援課		何	ひとり親の子育て世帯に対し、経済的支援を行う	899,987（千円）	現状維持	
008-5	医療費助成事業	妊産婦、子ども、一人親家庭等に対する医療費の助成	効	保健の向上と福祉の増進につながる	◆ 助成を希望する全員への助成	○	大いに効果が認められるので、引き続き効果的な事業となるよう進めていく。
			誰	妊産婦、子ども、一人親家庭等	◇ 助成件数	◎	
	保険医療助成課		何	経済的負担の軽減	988,129（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

008-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
008-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
008-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
008-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
008-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010203
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ　48
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画、津市教育振興ビジョン前期基本計画	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（番号）				009　～　012	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
009	保育の量的拡大・確保や幼児教育・保育の質的な改善などにより質の高い幼児教育・保育の総合的な提供環境を実現するため、これまで本市が幼保一体化のコンセプトのもとに3箇所の施設で取り組んできた幼児教育・保育の合同提供等による成果を踏まえ、それら3箇所を含めて平成31年（2019年）度までに5箇所の幼保連携型認定こども園を整備することとし、平成32年（2020年）度以降は、それら認定こども園の整備、運営や保護者のニーズ、地域の実情などを踏まえつつ、私立施設とも連携しながら子どもとその保護者を支援する環境整備を推進します。	B	①	子育て推進課
010	認定こども園の整備を進めながら、地域の子育て環境を支える幼稚園や保育所は、これまでの伝統を活かし、立地状況や地域の特性・実情に応じながら、保護者のニーズを踏まえ、その役割を継続していきます。	A	①	子育て推進課/学校教育課
011	幼稚園・保育所・認定こども園等が相互に情報共有し、連携して就学前教育の質の向上を図るとともに、職員の資質向上にも取り組みます。	A	①	子育て推進課/学校教育課
012	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることから、小学校以降の教育との接続を踏まえ0歳からの子どもの発達を見通して、家庭・地域との積極的な連携を図りながら、豊かな人間性や感性、人権感覚、興味・関心の芽を育めるような幼児教育・保育を推進します。	B	①	子育て推進課/学校教育課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	公立幼稚園・保育所・認定こども園の管理・運営、民間認定こども園の施設整備や子育て支援センター事業に対する補助、私立幼稚園・民間保育所・民間認定こども園等の運営経費の負担、幼稚園教員の資質向上のための園内研修や幼保相互派遣研修、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を行うための架け橋期カリキュラムの検討や園児と児童の交流などの連携を図り、幼児教育・保育の充実に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010203009
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ　48
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			009	保育の量的拡大・確保や幼児教育・保育の質的な改善などにより質の高い幼児教育・保育の総合的な提供環境を実現するため、これまで本市が幼保一体化のコンセプトのもとに3箇所の施設で取り組んできた幼児教育・保育の合同提供等による成果を踏まえ、それら3箇所を含めて平成31年（2019年）度までに5箇所の幼保連携型認定こども園を整備することとし、平成32年（2020年）度以降は、それら認定こども園の整備、運営や保護者のニーズ、地域の実情などを踏まえつつ、私立施設とも連携しながら子どもとその保護者を支援する環境整備を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
009-1	公立認定こども園管理運営事業	子育て推進課	公立認定こども園（津みどりの森こども園・香良洲浜っ子幼児園・芸濃こども園・一志こども園・白山こども園）の管理・運営	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 公立認定こども園の施設管理	○	公立認定こども園6園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。エアコン、照明などの設備など修繕が追いついていないので、人手、予算の拡充が必要。
				誰	公立認定こども園を利用する児童	◇ 施設の状況	△	
				何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	505,135（千円）	拡充・充実	
009-2	地域子育て支援拠点事業補助金	子育て推進課	民間認定こども園での子育て支援センター事業の実施に対する補助	効	子育て親子との交流、子育て等に関する相談や情報提供を受けることができる	◆ 民間事業者への適切な支援の実施	◎	子育て支援センター担当者連携会議での研修、交流及び子育て支援コーディネーターの巡回訪問を通じて、支援や連携強化を図ることができた。また、利用者アンケート結果より利用者の約65%が子育て支援センターで相談したことがあると回答、気軽に相談できる場所として利用できる環境作りの支援を継続していきたい。
				誰	乳幼児及びその保護者	◇ 利用者の意見	◎	
				何	交流の場や相談を通じて、親の孤独感や不安感の緩和につながる	14,147（千円）	現状維持	
009-3	民間認定こども園運営事業	子育て推進課	民間認定こども園運営経費の負担	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内17施設、市外7施設	◎	民間認定こども園に対し、施設型給付費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。
				誰	民間認定こども園を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の支給	◎	
				何	事業者の安定した園運営への支援により、教育・保育環境の向上を図る	2,344,082（千円）	現状維持	
009-4	民間認定こども園施設整備事業	子育て推進課	民間認定こども園施設整備に対する補助	効	民間認定こども園の施設整備により、教育・保育環境が改善される	◆ 民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	×	今後も民間施設への支援は継続して必要なため、現状維持とした。民間認定こども園の建替えについて、天候不順に加え、移転先の土地に地盤改良が必要なことが判明し、事業の大半を令和5年度に繰り越した。しかし、建替えであり、現施設が運営しているため利用定員への影響はほとんどない。
				誰	就学前児童のいる世帯	◇ 民間認定こども園の利用定員数	○	
				何	教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	33,127（千円）	現状維持	
009-5				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

009-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
009-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
009-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
009-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
009-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010203010
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ　48
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）、津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			010	認定こども園の整備を進めながら、地域の子育て環境を支える幼稚園や保育所は、これまでの伝統を活かし、立地状況や地域の特性・実情に応じながら、保護者のニーズを踏まえ、その役割を継続していきます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
010-1	公立保育所管理運営事業 / 子育て推進課	公立保育所の管理・運営	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 公立保育所園の施設管理	○	公立保育所19園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。エアコン、照明などの設備、屋根、床、門扉などの施設について修繕が追いついていないので、人手、予算の拡充が必要。
			誰	公立保育所を利用する児童	◇ 施設の状況	△	
			何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	904,748（千円）	拡充・充実	
010-2	民間保育所等運営事業 / 子育て推進課	民間保育所等運営経費の負担	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内22施設、市外14施設	◎	民間保育所等に対し、委託費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。
			誰	民間保育所等を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の支給	◎	
			何	事業者の安定した園運営への支援により、保育環境の向上を図る	2,609,203（千円）	現状維持	
010-3	幼稚園管理運営事業 / 学校教育課	幼稚園の管理・運営	効	幼児教育環境の充実	◆ 津市立幼稚園19施設の管理・運営	◎	幼児の遊びが充実するよう消耗品や幼児用図書等を配当し、環境整備を行うことで、適切な幼稚園の管理運営ができたため「◎」とした。園児数が減少している園では混合保育を行う等、適正規模の集団を確保する課題もある。
			誰	幼稚園児及びその保護者	◇ 管理・運営状況	○	
			何	幼稚園の教育環境の充実	649,075（千円）	現状維持	
010-4	私立幼稚園援助事業 / 学校教育課	私立幼稚園運営経費の負担	効	私立幼稚園の運営経費の補助等を行うことによる教育環境の充実及び保護者の負担軽減	◆ 私立幼稚園6園、国立幼稚園1園への補助等	◎	私立幼稚園や国立幼稚園の保護者に対して、子ども・子育て支援法に基づく支援や私立幼稚園の運営経費の補助を行うことで、教育環境の充実を図った。保護者の経済的負担の軽減につなげることが出来たので、引き続き継続していく。
			誰	私立幼稚園に通園する園児及びその保護者	◇ 管理・運営状況	◎	
			何	教育環境の充実、保護者の負担軽減	474,970（千円）	現状維持	
010-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

010-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
010-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
010-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
010-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
010-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010203011
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ　48
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）、津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			011	幼稚園・保育所・認定こども園等が相互に情報共有し、連携して就学前教育の質の向上を図るとともに、職員の資質向上にも取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
011-1	公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 公立保育所園の施設管理	○	公立保育所19園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。エアコン、照明などの設備、屋根、床、門扉などの施設について修繕が追いついていないので、人手、予算の拡充が必要。
			誰	公立保育所を利用する児童	◇ 施設の状況	△	
	子育て推進課		何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	904,748（千円）	拡充・充実	
011-2	民間保育所等運営事業	民間保育所等運営経費の負担	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内22施設、市外14施設	◎	民間保育所等に対し、委託費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。
			誰	民間保育所等を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の支給	◎	
	子育て推進課		何	事業者の安定した園運営への支援により、保育環境の向上を図る	2,609,203（千円）	現状維持	
011-3	公立認定こども園管理運営事業	公立認定こども園（津みどりの森こども園・香良洲浜っ子幼児園・芸濃こども園・一志こども園・白山こども園）の管理・運営	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 公立認定こども園の施設管理	○	公立認定こども園6園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。エアコン、照明などの設備など修繕が追いついていないので、人手、予算の拡充が必要。
			誰	公立認定こども園を利用する児童	◇ 施設の状況	△	
	子育て推進課		何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	505,135（千円）	拡充・充実	
011-4	民間認定こども園運営事業	民間認定こども園運営経費の負担金	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内17施設、市外7施設	◎	民間認定こども園に対し、施設型給付費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。
			誰	民間認定こども園を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の支給	◎	
	子育て推進課		何	事業者の安定した園運営への支援により、教育・保育環境の向上を図る	2,344,082（千円）	現状維持	
011-5	幼稚園教育推進研究事業	教員の資質向上のため、園内研修や幼保相互派遣研修の実施、研修会や公開保育実践研究会への参加	効	研修を充実させることにより、職員の資質向上と質の高い幼児教育を行う	◆ 園内研修・幼保相互派遣研修の充実	◎	教員の資質向上を図るため研修会への参加や園内研修に幼児教育アドバイザー等が訪問支援することで研修の充実を図った。幼稚園と保育所等、相互派遣研修で、互いの保育、教育内容についての理解や学びの共有を行った。今後も連携を深め、本市全体の幼児教育の充実に向けた取組が必要である。
			誰	幼稚園児及びその保護者	◇ 幼児教育アドバイザーや指導主事の派遣による研修の充実	◎	
	学校教育課		何	幼児教育の質の向上、幼児教育の推進	4,614（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

011-6	私立幼稚園援助事業	私立幼稚園運営経費の負担	効	私立幼稚園の運営経費等を負担することで、幼児教育の質の向上及び職員の資質向上につなげる	◆ 私立幼稚園6園、国立幼稚園1園への補助等	◎	教職員の研修会に係る費用等の補助や幼稚園教諭の処遇改善のための補助等、運営経費の補助を行うことにより、私立幼稚園の幼児教育の質の向上と振興につながった。引き続き、円滑な園運営と教員の質の向上に向けた支援を継続していく。
			誰	私立幼稚園に通園する園児及びその保護者	◇ 私立幼稚園等への補助金・負担金の支給	◎	
	学校教育課		何	幼児教育の充実、職員の資質向上	474,970 （千円）	現状維持	
011-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
011-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
011-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
011-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010203012
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ　48
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）、津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			012	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることから、小学校以降の教育との接続を踏まえ0歳からの子どもの発達を見通して、家庭・地域との積極的な連携を図りながら、豊かな人間性や感性、人権感覚、興味・関心の芽を育めるような幼児教育・保育を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
012-1	公立保育所管理運営事業 / 子育て推進課	公立保育所の管理・運営	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 公立保育所園の施設管理	○	公立保育所19園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。エアコン、照明などの設備、屋根、床、門扉などの施設について修繕が追いついていないので、人手、予算の拡充が必要。
			誰	公立保育所を利用する児童	◇ 施設の状況	△	
			何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	904,748（千円）	拡充・充実	
012-2	民間保育所等運営事業 / 子育て推進課	民間保育所等運営経費の負担	効	安心して保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内22施設、市外14施設	◎	民間保育所等に対し、委託費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。
			誰	民間保育所等を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の支給	◎	
			何	事業者の安定した園運営への支援により、保育環境の向上を図る	2,609,203（千円）	現状維持	
012-3	公立認定こども園管理運営事業 / 子育て推進課	公立認定こども園（津みどりの森こども園・香良洲浜っ子幼児園・芸濃こども園・一志こども園・白山こども園）の管理・運営	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 公立認定こども園の施設管理	○	公立認定こども園6園の施設管理について、光熱水費の管理、備品購入及び施設修繕等施設の管理、運営を実施した。エアコン、照明などの設備など修繕が追いついていないので、人手、予算の拡充が必要。
			誰	公立認定こども園を利用する児童	◇ 施設の状況	△	
			何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	505,135（千円）	拡充・充実	
012-4	民間認定こども園運営事業 / 子育て推進課	民間認定こども園運営経費の負担	効	安心して教育・保育の提供を受けることができる	◆ 補助市内17施設、市外7施設	◎	民間認定こども園に対し、施設型給付費を支払うとともに、事業運営に応じた補助金等を交付し、利用児童に対し適正な保育環境を提供しながら継続的な保育を行うことができた。今後も継続して支援を行う。
			誰	民間認定こども園を利用する児童	◇ 事業運営に応じた負担金・補助金等の支給	◎	
			何	事業者の安定した園運営への支援により、教育・保育環境の向上を図る	2,344,082（千円）	現状維持	
012-5	幼稚園教育推進研究事業 / 学校教育課	小学校教育への円滑な接続を行うため、園児・児童の交流活動や合同研修会の実施、接続期カリキュラムの検討	効	交流活動や幼保小合同研修を通じて、小学校教育への円滑な接続を行う	◆ 接続期カリキュラムの検討	◎	幼児教育と小学校教育をつなぐ架け橋プログラムで、公私立の保幼小等のワーキングメンバーが、接続期カリキュラムを作成したため「◎」とした。今後、接続期カリキュラムの検討を全小学校区で取り組む必要があるため、津市架け橋プログラムの取組を積極的に発信していく。
			誰	幼稚園児及びその保護者	◇ 接続期カリキュラムの検討を行っている幼小の割合	○	
			何	小学校への円滑な接続	97（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

012-6	幼稚園教育推進研究事業 学校教育課	幼児期の豊かな心を育むため、劇・音楽等の鑑賞、地域の方や外部講師を招いた取組、絵本の読み聞かせ等を実施	効	劇・音楽鑑賞等の取組により、幼児期の豊かな心を育む	◆ 親子芸術鑑賞等の実施	○	身近な自然物に親しむ機会やゲストティーチャーを招いての体験活動、音楽鑑賞等、心を動かす様々な体験を通して、豊かな心を育む幼児教育の充実を図った。コロナ禍の影響を受け、親子芸術鑑賞を実施した園が少なかったが、今後も体験を重視した保育を推進していく。
			誰	幼稚園児及びその保護者	◇ 親子芸術鑑賞等の実施割合	△	
			何	将来にわたる豊かな人間性等を育むため	1,053（千円）	拡充・充実	
012-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
012-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
012-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
012-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			教育委員会		
施策の内容（番号）			013 ～ 020		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
013	基本的な知識や生活習慣の定着を礎としながら、夢や希望を持ち続け、自ら未来を切り拓くことを可能にする「生きる力」を身に付けるとともに、他者を思いやり、多様性を受け止める豊かな心を育むことで、これからの人生をたくましく歩んでいくことができるよう、教員をはじめ子どもたちに関わるすべての関係者が子どもたちに向き合い、寄り添いながら、子どもたちの持っている能力を引き出し、伸ばす教育を推進します。	A	①	教育総務課/学校教育課/教育研究支援課
014	家庭はすべての教育の出発点であることから、子どもたちが家族とのふれあいを通して育ち、学べるよう学校教育と連携した家庭教育の充実に取り組みます。	A	①	教育研究支援課
015	授業改善に取り組むとともに、保護者との連携により家庭学習を充実させて、子どもたちの学習意欲を高め、学力の向上に向けた取組を強化します。	A	①	教育研究支援課
016	安全でより快適な学校環境を整えるため、校舎の大規模改造工事等を順次進めるとともに、平成32年（2020年）度までにすべての小中学校の普通教室へエアコンを設置します。	A	①	教育総務課
017	子どもたちの健全な心身の発達を支える給食をより安全に提供するため、給食センターや給食施設は計画的・効率的な改修を進めます。	A	①	教育総務課
018	特にいじめや不登校、外国につながる子どもに関する課題等に対しては、望ましい学級規模によりきめ細かな支援・指導を行うとともに、専門家等との連携を図りながら組織的な解決につなげます。	A	①	教育研究支援課/人権教育課
019	人権意識を培うため、発達段階に即した人権教育を推進します。	A	①	人権教育課
020	地域と連携して、それぞれの事情に応じた特色ある学校づくりを進めるとともに、通学区域の見直しや学校規模の適正化などの教育課題について、保護者や地域の声を活かした学校運営を図るなど、信頼される学校づくりを推進します。	A	①	教育研究支援課/生涯学習課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	統合型校務支援システムの活用により校務の効率化を図るとともに、臨時講師・教員支援員・スクールカウンセラー・学級支援サポーター・通訳等巡回担当員・部活動指導員の配置や外国語指導助手の派遣、特色ある学校プロジェクトの推進、小中学校施設の長寿命化改修を実施するなど、学校教育の充実に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204013
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			013	基本的な知識や生活習慣の定着を礎としながら、夢や希望を持ち続け、自ら未来を切り拓くことを可能にする「生きる力」を身に付けるとともに、他者を思いやり、多様性を受け止める豊かな心を育むことで、これからの人生をたくましく歩んでいくことができるよう、教員をはじめ子どもたちに関わるすべての関係者が子どもたちに向き合い、寄り添いながら、子どもたちの持っている能力を引き出し、伸ばす教育を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
013-1	教員支援員配置事業	教育総務課	教員の負担軽減を図り、教育指導に専念し、子どもと向き合う時間を確保するために教員支援員を配置	効	教員が子どもと向き合う時間を確保できる	◆ 大規模校に配置	◎	令和4年度は、前年度より1人増員し10人を20校に配置した。今後、教員支援員の任期満了、定年対象者数の減少、定年引き上げ等に伴い再任用職員の人員確保が難しいが、教員の支援のため、増員も含めた効果的な配置ができるよう引き続き取り組む。
				誰	教員	◇ 増員配置・適正配置	◎	
				何	教育指導に専念できる	25,726（千円）	拡充・充実	
013-2	統合型校務支援システム事業	学校教育課	子どもたちと向き合う時間の確保や校務の効率化に向け、統合型校務支援システムを活用	効	教職員の校務を効率化し、子どもたちと向き合う時間を確保する。加えて、学校における働き方改革にもつなげる。	◆ 統合型校務支援システムの導入	◎	年々生み出される時間が増加し、令和4年度は、一人当たり約63時間となった。年を経て、当該システムの活用が浸透している。今後も、必要不可欠なシステムとなっている。
				誰	市内小・中・義務教育学校の児童生徒、教職員	◇ 教職員のアンケート	◎	
				何	教職員の校務の効率化。子どもたちと向き合う時間の確保	19,624（千円）	現状維持	
013-3	臨時講師活用事業	教育研究支援課	「生きる力」を育む指導方法等の工夫改善への支援を行うため臨時講師を配置	効	児童生徒の総合的な学力の育成を図る	◆ 37校に36人配置	◎	不登校傾向の児童生徒数が減少するとともに、学校アンケートにおいて「授業はわかりやすい」という肯定的回答の上昇が報告された。 今後も引き続き各校の教育課題の解決に向けた効果的な配置を行っていく予定である。
				誰	各小・中・義務教育学校の児童生徒	◇ 37校に36人配置	◎	
				何	教育課題に対応し、学力推進に向けた指導を充実させる	55,113（千円）	現状維持	
013-4	小中一貫教育ネクスト事業	教育研究支援課	これまでの小中一貫教育の取組を基盤とし、英語教育や道徳教育等の授業改善を図ることにより、子どもたちに求められる資質・能力を育成	効	児童生徒の学力の向上、学校生活の充実及び豊かな人間性や社会性の育成	◆ 全ての中学校区及び義務教育学校で実施	◎	中学校区における重点的な課題について学校間や教職員間で共有するとともに、教員による授業や活動の相互参観や各中学校区の特色を生かした活動の充実に係る取り組みを進めた。 今後は、9年間を見据え、校種間の接続を意識した取組をより一層の充実を図り、津市架け橋プログラムからつながるよう、連続性・一貫性のある学びに向けた取組を進める。
				誰	各中学校区及び義務教育学校の児童生徒	◇ 全ての中学校区及び義務教育学校で実施	◎	
				何	各中学校区及び義務教育学校の特色を生かした9年間を見据えた教育活動の充実	2,070（千円）	現状維持	
013-5	外国語指導助手（ALT）活用事業	教育研究支援課	教育分野における英語教育及び国際理解教育の推進のため外国語指導助手を派遣	効	英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の文化への興味関心を高め、豊かな国際感覚を養う	◆ 69校に20人を派遣	◎	新型コロナウイルスによる入国制限のため、年度当初は欠員を生じたが、8月に解消できた。 今後も引き続き適正な配置に努める。
				誰	各小・中・義務教育学校の子ども	◇ 69校に20人を派遣	◎	
				何	外国人の生の英語及び文化に触れる機会を提供する	82,791（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

013-6	学校図書館いきいき推進事業 教育研究支援課	児童・生徒の読書活動を推進し、学校図書館を活性化させるため図書館司書を配置、学校図書館情報システムを有効に活用	効	読書を通じて感性を豊かにし、視野を広げるとともに、言語能力の素地を養う	◆ すべての中学校区を対象に図書館司書19人を配置	◎	各学校において、学校図書館司書、図書館担当教員、学校図書館ボランティア等が連携し、学校図書館を活用した学習活動や読書活動の充実を図った。 また、各校において蔵書の充実を進めることに加え、図書館情報システムを活用した学校間の資料の相互貸借を進め、資料を充実する取組を推進した。
			誰	各小・中・義務教育学校の児童生徒	◇ すべての中学校区を対象に図書館司書19人を配置	◎	
			何	図書館の整備、児童生徒の読書状況の統計資料等の提供等	44,072（千円）	現状維持	
013-7	中学生職場体験推進事業 教育研究支援課	地域の事業所との連携により、各種施設・企業への職場体験学習の実施	効	中学生が地域の事業所で職場体験学習をしたり、職業人からの話を聞いたりすることで、職業や進路につなげる	◆ すべての中学校区及び義務教育学校区で実施	○	新型コロナウイルス感染症の影響により職場体験を実施できない学校もあったが、職業講話や職業インタビューなど、計画に準じた活動をすべての中・義務教育学校で実施した。 今後はすべての学校での職場体験を実施する予定である。
			誰	中・義務教育学校の生徒	◇ すべての中学校区及び義務教育学校区で実施	○	
			何	将来の職業や進路に対する関心と理解を深めるとともに、働く人の思いや願いを知る	730（千円）	現状維持	
013-8	部活動指導員配置事業 教育研究支援課	教員の部活動指導に係る負担軽減を図るため、専門的な知識や技能を生かした指導を部活動の顧問として行うことができる部活動指導員を配置	効	学校現場の教育体制の充実と教職員の過重労働の軽減を図る	◆ 部活動指導員13人を配置	◎	部活動指導員の配置により、教職員の過重労働の軽減を進めながら、専門的な指導を実施した。 引き続き、部活動指導員の配置を希望するすべての中学校・義務教育学校に配置できるよう、拡充・充実に取り組む。
			誰	教職員が	◇ 部活動指導員13人を配置	◎	
			何	子どもと向き合う時間が捻出できるなど、部活動以外の教育活動に従事することができる	4,368（千円）	拡充・充実	
013-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
013-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204014
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			014	家庭はすべての教育の出発点であることから、子どもたちが家族とのふれあいを通して育ち、学べるよう学校教育と連携した家庭教育の充実に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
014-1	特色ある学校プロジェクト推進事業	教育研究支援課	「特色ある学校プロジェクト」を推進し、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力の育成	効	家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした特色ある学校づくりの推進	◆ すべての小・中・義務教育学校で実施	◎	すべての小・中・義務教育学校において、特色ある学校プロジェクトに係る取組を実施した。 今後は、家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした取組のより一層の推進を図り、取組を進める予定である。
				誰	小・中・義務教育学校の児童生徒	◇ すべての小・中・義務教育学校で実施	◎	
				何	学校の独自性や地域のよさを生かして、子どもたちが安心して学べる環境づくりや学力向上を図る	8,450（千円）	現状維持	
014-2				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
014-3				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
014-4				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
014-5				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

014-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
014-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
014-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
014-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
014-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204015
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局				教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			015	授業改善に取り組むとともに、保護者との連携により家庭学習を充実させて、子どもたちの学習意欲を高め、学力の向上に向けた取組を強化します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
015-1	小中一貫教育ネクスト事業 教育研究支援課	これまでの小中一貫教育の取組を基盤とし、英語教育や道徳教育等の授業改善を図ることにより、子どもたちに求められる資質・能力を育成	効	児童生徒の学力の向上、学校生活の充実及び豊かな人間性や社会性の育成	◆ すべての中学校区及び義務教育学校で実施	◎	中学校区における重点的な課題について学校間や教職員間で共有するとともに、教員による授業や活動の相互参観や各中学校区の特色を生かした活動の充実に係る取り組みを進めた。 今後は、9年間を見据え、校種間の接続を意識した取組をより一層の充実を図り、津市架け橋プログラムからつながるよう、連続性・一貫性のある学びに向けた取組を進める。
			誰	各中学校区及び義務教育学校の児童生徒	◇ すべての中学校区及び義務教育学校で実施	◎	
			何	各中学校区及び義務教育学校の特色を生かした9年間を見据えた教育活動の充実	2,070（千円）	現状維持	
015-2	特色ある学校プロジェクト推進事業 教育研究支援課	「特色ある学校プロジェクト」を推進し、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力の育成	効	家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした特色ある学校づくりを進める	◆ すべての小・中・義務教育学校で実施	◎	すべての小・中・義務教育学校において、特色ある学校プロジェクトに係る取組を実施した。 今後は、家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした取組のより一層の推進を図り、取組を進める予定である。
			誰	小・中・義務教育学校の児童生徒	◇ すべての小・中・義務教育学校で実施	◎	
			何	学校の独自性や地域のよさを生かして、子どもたちが安心して学べる環境づくりや学力向上を図る	8,450（千円）	現状維持	
015-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
015-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
015-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

015-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
015-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
015-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
015-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
015-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204016
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局				教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			016	安全でより快適な学校環境を整えるため、校舎の大規模改造工事等を順次進めるとともに、平成32年（2020年）度までにすべての小中学校の普通教室へエアコンを設置します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
016-1	小学校施設整備事業（小学校施設維持補修事業）	小学校施設長寿命化改修、設備改修等	効	小学校施設の計画的な改修整備を進め、子どもたちの学習環境の改善に努める	◆ 長寿命化改修（工事）1校 消火設備改修（工事）3校	◎	計画していた事業の工事が全て完了したため「◎」とした。 今後も引き続き学校施設の適切な維持管理に努めていく。
			誰	子どもたち	◇ 施設整備件数	◎	
	教育総務課		何	安全安心な学習環境の下で学ぶことができる	454,988（千円）	現状維持	
016-2	中学校施設整備事業（中学校施設維持補修事業）	中学校施設長寿命化改修、設備改修等	効	中学校施設の計画的な改修整備を進め、子どもたちの学習環境の改善に努める	◆ 長寿命化改修（工事）2校	◎	計画していた事業の工事が全て完了したため「◎」とした。 今後も引き続き学校施設の適切な維持管理に努めていく。
			誰	子どもたち	◇ 施設整備件数	◎	
	教育総務課		何	安全安心な学習環境の下で学ぶことができる	576,811（千円）	現状維持	
016-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
016-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
016-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

016-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
016-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
016-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
016-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
016-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204017
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			017	子どもたちの健全な心身の発達を支える給食をより安全に提供するため、給食センターや給食施設は計画的・効率的な改修を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
017-1	健康教育推進事業	教育総務課	学校給食の安全と質の向上を期するため、保存食に要する経費相当額を負担	効	学校が安全安心な給食を提供できる	◆ 保存食相当額の負担	◎	食中毒等の事故が発生した際に原因調査の要となる学校給食衛生管理基準に基づく保存食に要する経費相当額を負担することにより、各校等の給食会計の負担軽減が図られた。 今後も、保存食に係る各校等の給食会計の負担軽減が図られるよう支援していく。
				誰	児童・生徒の保護者	◇ 各学校等の給食会計の負担軽減が図られたか	◎	
				何	保存食に要する経費を負担することによる、給食事業の円滑な運営	42,605（千円）	現状維持	
017-2	給食センター管理運営事業	教育総務課	給食センターの維持管理、学校給食調理員の報酬、調理・配送業務委託等	効	設置者により児童・生徒に安心安全な学校給食の提供ができる	◆ 安心安全で栄養バランスの取れた給食提供	◎	給食センターの設備等の維持管理を行うとともに、栄養バランスの取れた安心安全な給食を提供することができた。中央学校給食センターでは、調理・配送の委託業務により、安心安全な給食を安定的に提供することができた。 今後も設備等の維持管理に努めるとともに、調理・配送業務の委託については、継続していく。
				誰	児童・生徒	◇ 安定的に調理・配送が行え、児童・生徒に安心安全で栄養バランスの取れた学校給食の提供ができたか	◎	
				何	安心安全な給食を喫食できる	281,077（千円）	現状維持	
017-3	学校給食事業	教育総務課	給食室の維持管理、学校給食調理員の報酬等	効	設置者により児童・生徒に安心安全な学校給食の提供ができる	◆ 安心安全で栄養バランスの取れた給食提供	◎	給食室の設備等の維持管理を行うとともに、栄養バランスの取れた安全安心な給食を提供することができた。 今後も設備等の維持管理に努めていく。
				誰	児童・生徒	◇ 児童・生徒に安心安全で栄養バランスの取れた学校給食を提供できたか	◎	
				何	安心安全な給食を喫食できる	110,119（千円）	現状維持	
017-4	幼稚園給食事業	教育総務課	幼稚園の給食提供にかかる経費	効	設置者により給食を実施している幼稚園の園児に安心安全な給食の提供ができる	◆ 安心安全で栄養バランスの取れた給食提供	◎	学校給食施設で調理した給食を幼稚園に提供するための環境を整えるとともに栄養バランスの取れた安全安心な給食を提供することができた。 今後も、給食実施園で安全安心な給食が提供できるよう、環境整備に努めていく。
				誰	幼稚園児	◇ 園児に安心安全で栄養バランスの取れた給食を提供できたか	◎	
				何	安心安全な給食を喫食できる	268（千円）	現状維持	
017-5	給食センター施設整備事業	教育総務課	施設の長寿命化及び環境改善	効	施設の長寿命化及び環境改善により、より良い調理環境で調理ができ、安心安全な給食を安定的に提供できる	◆ 施設の長寿命化改修及び調理室への空調設備の設置	◎	調理室へ空調設備の設置が完了し、調理環境が改善された。 今後は、長寿命化改修に係る実施設計を経て改修工事を行うことにより、安定的に安全安心な給食提供ができる環境を整えていく。
				誰	児童・生徒及び調理員	◇ 調理室の環境が改善されたか	◎	
				何	より良い調理環境で調理ができ、安心安全な給食を安定的に提供できる	8,432（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

017-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
017-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
017-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
017-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
017-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204018
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			018	特にいじめや不登校、外国につながる子どもに関する課題等に対しては、望ましい学級規模によりきめ細かな支援・指導を行うとともに、専門家等との連携を図りながら組織的な解決につなげます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
018-1	三重弁護士会とのスクールサポート連携協定事業 / 教育研究支援課	三重県弁護士会との連携による、学校だけでは解決が困難な事案の早期解決、未然防止の取組及び相談体制の構築	効	対応が困難な事例への法律相談や、児童生徒へのいじめ等の予防教育を実施することで、諸課題の組織的解決につなげる	◆ 市内各希望校に合計30回弁護士を派遣	◎	各校からの希望に応じて、研修会、法律相談、課題予防授業等を実施した。実施校からの評価も高く、今後も継続して取り組む予定である。
			誰	児童・生徒・保護者・教職員	◇ 市内各希望校に合計30回弁護士を派遣	◎	
			何	諸課題への早期対応や早期支援、未然防止を図る	270（千円）	現状維持	
018-2	スクールカウンセラー・学級支援サポーター活用事業 / 教育研究支援課	相談活動の充実を図るため、スクールカウンセラー・学級支援サポーターを配置	効	児童の問題行動等の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者や教職員に対しても助言・援助等を行う	◆ SC5人を9校と教育支援センター1か所に配置、学級支援サポーター31人を32校に配置	◎	スクールカウンセラーを配置し、児童生徒のカウンセリングや情報収集・提供、教職員及び保護者に対する助言・援助等を実施した。また、学級支援サポーターを配置し、児童生徒の学習活動の支援のほか、悩み相談や話し相手などの相談活動を実施した。いずれの事業も、児童生徒の問題行動等の早期発見・早期対応に必要不可欠であり、今後も継続して実施する予定である。
			誰	児童・保護者・教職員	◇ SC5人を9校と教育支援センター1か所に配置、学級支援サポーター31人を32校に配置	◎	
			何	カウンセリングや助言等の支援を受け、不安や悩みなどと適切に向き合い行動することができる	18,276（千円）	現状維持	
018-3	外国人児童生徒支援事業 / 人権教育課	外国人児童生徒を支援するため、初期日本語教室「きずな」で日本語指導を行うほか、通訳等巡回担当員を配置	効	外国につながる児童生徒が、日本の学校に早く適応することができ、学習・進学意欲の向上にもつながる	◆ 外国につながる児童生徒教育の充実	◎	就学前日本語教室「つむぎ」を全8回実施することができ、高校等への進学割合が95%であったため「◎」とした。日本語指導が必要な初入国の児童生徒数が増えてきていることから、今後も本事業の拡充・充実を進めていく。
			誰	外国につながる子ども	◇ 進学を希望する外国人生徒のうち、高校等に進学した生徒の割合	◎	
			何	外国につながる子どもが日本語で学ぶ力を獲得し、高等学校等でも学び続けることができる	30,995（千円）	拡充・充実	
018-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
018-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

018-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
018-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
018-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
018-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
018-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204019
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			019	人権意識を培うため、発達段階に即した人権教育を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
019-1	人権教育推進プロジェクト事業	中学校区及び義務教育学校を単位として子ども人権フォーラムの開催や人権教育カリキュラムに基づいた公開授業等の実施	効	児童生徒及び教職員の人権を大切にしようとする意識が高まる	◆ 子ども人権フォーラムや公開授業等の実施	◎	全ての中学校区において、計画していた子ども人権フォーラムや公開授業等が実施でき、参加した児童生徒や教職員の意識に高まりがみられたため「◎」とした。今後も、中学校区の人権課題に即した事業内容となるよう取組を進める。
			誰	小・中・義務教育学校の児童生徒及び教職員	◇ フォーラムや公開授業の感想（満足度、安心感等）	◎	
	人権教育課		何	すべての学校において系統的な人権教育が取り組まれ、誰もが安心して過ごせる学校づくりが推進される	1,400（千円）	拡充・充実	
019-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
019-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
019-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
019-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

019-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
019-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
019-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
019-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
019-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204020
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			020	地域と連携して、それぞれの事情に応じた特色ある学校づくりを進めるとともに、通学区域の見直しや学校規模の適正化などの教育課題について、保護者や地域の声を活かした学校運営を図るなど、信頼される学校づくりを推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					当初の事業実施計画 / 事業評価の主な視点	実施評価 / 事業評価	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆		
			誰	誰のための事業か	◇		
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
020-1	特色ある学校プロジェクト推進事業 / 教育研究支援課	「特色ある学校プロジェクト」を推進し、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力の育成	効	家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした特色ある学校づくりを進める	◆ すべての小・中・義務教育学校で実施	◎	すべての小・中・義務教育学校において、特色ある学校プロジェクトに係る取組を実施した。 今後は、家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした取組のより一層の推進を図り、取組を進める予定である。
			誰	小・中・義務教育学校の児童生徒	◇ すべての小・中・義務教育学校で実施	◎	
			何	学校の独自性や地域のよさを生かして、子どもたちが安心して学べる環境づくりや学力向上を図る	8,450（千円）	現状維持	
020-2	PTA連合会補助事業 / 生涯学習課	幼児・児童生徒の健全育成と地域づくりに資する団体活動に対する補助	効	津市PTA連合会が補助金を活用し、市内の幼稚園、小中学校等を単位とするPTAと連携し、PTA活動を行うことができる	◆ 団体活動に対する補助	◎	計画していた事業を全て実施することができたため「◎」とした。 活動内容についてもニーズに合わせたものに見直しをしており、事業に対する参加者の評価は高いが、加入や役員決めなどPTAに対する問題も提起されているため、今後も検証を進めていく。
			誰	市内PTA	◇ 活動の回数、内容	○	
			何	幼児、小中学校の児童生徒の健全育成及び教育環境整備等を図る活動がしやすくなる	3,238（千円）	現状維持	
020-3	地域学校協働活動推進事業 / 生涯学習課	地域学校協働活動を推進し、地域と学校が連携協働できる仕組みづくりのための研修会の開催	効	地域学校協働活動に対する理解が進み、制度の周知ができる	◆ 地域学校協働活動をテーマとした研修会の開催	◎	学校教育と社会教育が連携し、研修会が開催できたため実施評価は「◎」とした。令和4年度から複数年度をかけて地域コーディネーター数を増やしていく事業のため、事業評価は「△」とした。研修会だけではなく、支援や情報発信も継続して行っていく。
			誰	学校運営協議会委員、地域学校協働本部構成員、教職員等	◇ 学校運営協議会と地域学校協働本部で活動する地域コーディネーター数	△	
			何	全小・中・義務教育学校に学校運営協議会と地域学校協働本部で活動する地域コーディネーターが配置され、意思統一された地域学校協働活動ができる	16（千円）	現状維持	
020-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
020-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

020-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
020-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
020-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
020-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
020-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010205
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ　50
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（番号）				021　～　025	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
021	すべての子どもが健やかに育つ環境整備のための支援ネットワークを形成し、一元的な相談窓口機能や支援体制を強化するとともに、民間団体の活動を支援します。	A	①	教育研究支援課/生涯学習課
022	関係機関、団体等の連携により、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者の育児疲れや不安を軽減し、孤立を深刻化させないよう支援を行い、未然の防止に努めます。	A	①	教育研究支援課
023	発達に心配のある子どもへの支援に携わるさまざまな専門職のスキルアップと連携を図るとともに、発達に関する総合的な専門相談窓口の充実や体制の整備、早期支援のための療育の充実を図り、学校においては、関係機関との連携を強化するとともに、教職員の特別支援教育に係る専門性の向上に取り組みます。	A	①	教育研究支援課
024	総合的・計画的な青少年の健全育成対策に向けて、青少年育成団体の活動を支援することに加え、青少年や保護者が気楽に相談できる相談業務を充実するなど、青少年の健全育成を推進します。	B	①	生涯学習課
025	放課後における子どもたちの安全で安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブの未設置校区への整備や、狭あい化・老朽化した施設の改修、支援員等の確保や指導力の向上、運営支援などに取り組むとともに、民間事業者による放課後児童クラブの設置を適切に支援することに加え、地域の状況やニーズに合わせて放課後子供教室を設置します。	A	①	生涯学習課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	スクールカウンセラー・学級支援サポーター・介助等が必要な幼児・児童・生徒の支援を行う支援員の配置や青少年野外活動センターの管理運営、津市青少年育成市民会議による研修会等の実施、放課後児童クラブの運営支援及び施設整備、津市PTA連合会や津市子ども会育成者連合会の活動に対する補助を行うとともに、放課後子供教室を開催するなど、健やかな育ちへの支援を行っています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010205021
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ	50
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局				健康福祉部、教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			021	すべての子どもが健やかに育つ環境整備のための支援ネットワークを形成し、一元的な相談窓口機能や支援体制を強化するとともに、民間団体の活動を支援します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
021-1	スクールカウンセラー・学級支援サポーター活用事業 / 教育研究支援課	相談活動の充実を図るため、スクールカウンセラー・学級支援サポーターを配置	効	児童の問題行動等の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者や教職員に対しても助言・援助等を行う	◆ SC5人を9校と教育支援センター1か所に配置、学級支援サポーター31人を32校に配置	◎	スクールカウンセラーを配置し、児童生徒のカウンセリングや情報収集・提供、教職員及び保護者に対する助言・援助等を実施した。 また、学級支援サポーターを配置し、児童生徒の学習活動の支援のほか、悩み相談や話し相手などの相談活動を実施した。 いずれの事業も、児童生徒の問題行動等の早期発見・早期対応に必要不可欠であり、今後も継続して実施する予定である。
			誰	児童・保護者・教職員	◇ SC5人を9校と教育支援センター1か所に配置、学級支援サポーター31人を32校に配置	◎	
			何	カウンセリングや助言等の支援を受け、不安や悩みなどと適切に向き合い行動することができる	18,276（千円）	現状維持	
021-2	子ども会育成者連合会補助事業 / 生涯学習課	洋上教室事業、リーダー育成研修事業、各地区の活動に対する補助	効	子どもたちが自主的に考え、行動する機会を提供することで、リーダーシップを育むことができる	◆ 津市子ども会育成者連合会が補助金を利用し各事業を行う	○	事業に参加した子どもたちが楽しそうに活動に参加している様子やいろいろな活動を体験して「できるようになった」等の自分に自信がついた感想から効果的な事業として考えるため
			誰	市内在住の児童生徒及び青年	◇ 事業参加者の感想	○	
			何	自ら考え、行動したことで、自分に自信を持ち、リーダーとして活躍できる子どもが増える	4,092（千円）	現状維持	
021-3	社会教育振興会補助事業 / 生涯学習課	青少年の心身の健全な育成を図り社会教育の振興に寄与する青少年野外活動センターの管理運営に対する補助	効	津市青少年野外活動センターが補助金を活用し、市民や青少年に野外活動や体験活動の場を提供することができる	◆ 青少年野外活動センターの管理運営に対する補助	○	計画していた事業を概ね実施することができたため「○」とした。 主催事業については人気が高く日帰りでの利用はほぼ平年並みまで回復したが、プールや宿泊利用については低い状態が続いているため、利用促進の方法も含め、今後も検証を進めていく。
			誰	市民や青少年	◇ 利用日数、利用率	○	
			何	野外活動や体験活動など様々な学習の場として活用する	30,231（千円）	現状維持	
021-4	PTA連合会補助事業 / 生涯学習課	幼児・児童生徒の健全育成と地域づくりに資する団体活動に対する補助	効	津市PTA連合会が補助金を活用し、市内の幼稚園、小中学校等を単位とするPTAと連携し、PTA活動を行うことができる	◆ 団体活動に対する補助	◎	計画していた事業を全て実施することができたため「◎」とした。 活動内容についてもニーズに合わせたものに見直しをしており、事業に対する参加者の評価は高いが、加入や役員決めなどPTAに対する問題も提起されているため、今後も検証を進めていく。
			誰	市内PTA	◇ 活動の回数、内容	○	
			何	幼児、小中学校の児童生徒の健全育成及び教育環境整備等を図る活動がしやすくなる	3,238（千円）	現状維持	
021-5	青少年育成市民会議活動補助事業 / 生涯学習課	青少年健全育成のために実施する研修会、啓発事業、各地区青少年育成組織の活動等に対する補助	効	各地区で青少年育成活動が活発に行われるようになる。	◆ 津市青少年育成市民会議による研修会や会議、街頭啓発を行う	○	ポスターコンクール等身近な題材をもとに、青少年自らが健全育成について考える機会を提供し、それを掲示し、市民に広く啓発することで効果的な事業となっているため
			誰	市内の青少年及び関係者	◇ 研修や会議、啓発活動の実施状況	○	
			何	青少年が心身ともに健やかに育つため、また、市民総ぐるみによる青少年健全育成運動を展開するため	10,713（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

021-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
021-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
021-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
021-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
021-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010205022
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ　50
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			022	関係機関、団体等の連携により、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者の育児疲れや不安を軽減し、孤立を深刻化させないよう支援を行い、未然の防止に努めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
022-1	スクールカウンセラー・学級支援サポーター活用事業 教育研究支援課	相談活動の充実を図るため、スクールカウンセラー・学級支援サポーターを配置	効	児童の問題行動等の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者や教職員に対しても助言・援助等を行う	◆ SC5人を9校と教育支援センター1か所に配置、学級支援サポーター31人を32校に配置	◎	スクールカウンセラーを配置し、児童生徒のカウンセリングや情報収集・提供、教職員及び保護者に対する助言・援助等を実施した。 また、学級支援サポーターを配置し、児童生徒の学習活動の支援のほか、悩み相談や話し相手などの相談活動を実施した。 いずれの事業も、児童生徒の問題行動等の早期発見・早期対応に必要不可欠であり、今後も継続して実施する予定である。
			誰	児童・保護者・教職員	◇ SC5人を9校と教育支援センター1か所に配置、学級支援サポーター31人を32校に配置	◎	
			何	カウンセリングや助言等の支援を受け、不安や悩みなどと適切に向き合い行動することができる	18,276（千円）	現状維持	
022-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
022-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
022-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
022-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

022-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
022-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
022-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
022-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
022-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010205023
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ　50
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				健康福祉部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			023	発達に心配のある子どもへの支援に携わるさまざまな専門職のスキルアップと連携を図るとともに、発達に関する総合的な専門相談窓口の充実や体制の整備、早期支援のための療育の充実を図り、学校においては、関係機関との連携を強化するとともに、教職員の特別支援教育に係る専門性の向上に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			誰	誰のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
			何	何のための事業か			
023-1	特別支援学級等支援事業 教育研究支援課	特別支援学級、幼稚園に在籍する生活の介助等が必要な幼児、児童、生徒の支援を行う支援員を配置	効	支援を必要とする幼児、児童生徒が、安心安全な園・学校生活を送ることに近づく	◆ 支援員の適切な配置	◎	幼児、児童生徒の支援の必要度等に合わせ、特別支援教育支援員を適切に配置した。 特別支援教育支援員を対象に、スキルアップ研修会等を開催し、子どもたちに関わる専門性の向上に努めた。 今後も引き続き適切な配置を行うとともに、より適切な支援を行えるよう、研修会等の取組を進める予定である。
			誰	支援を必要とする幼児、児童生徒	◇ 支援員の適切な配置	◎	
			何	支援を必要とする幼児、児童生徒が、適切な支援を受け、安心安全な園、学校生活を送れるようにする	246,338（千円）	拡充・充実	
023-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
023-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
023-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
023-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

023-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
023-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
023-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
023-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
023-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010205024
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ	50
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局				教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			024	総合的・計画的な青少年の健全育成対策に向けて、青少年育成団体の活動を支援することに加え、青少年や保護者が気楽に相談できる相談業務を充実するなど、青少年の健全育成を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
024-1	社会教育振興会補助事業	青少年の心身の健全な育成を図り社会教育の振興に寄与する青少年野外活動センターの管理運営に対する補助	効	津市青少年野外活動センターが補助金を活用し、市民や青少年に野外活動や体験活動の場を提供することができる	◆ 青少年野外活動センターの管理運営に対する補助	○	計画していた事業を概ね実施することができたため「○」とした。主催事業については人気が高く日帰りでの利用はほぼ平年並みまで回復したが、プールや宿泊利用については低い状態が続いているため、利用促進の方法も含め、今後も検証を進めていく。
			誰	市民や青少年	◇ 利用日数、利用率	○	
	生涯学習課		何	野外活動や体験活動など様々な学習の場として活用する	30,231（千円）	現状維持	
024-2	青少年育成市民会議活動補助事業	青少年健全育成のために実施する研修会、啓発事業、各地区青少年育成組織の活動等に対する補助	効	各地区で青少年育成活動が活発に行われるようになる	◆ 津市青少年育成市民会議による研修会や会議、街頭啓発を行う	○	ポスターコンクール等身近な題材をもとに、青少年自らが健全育成について考える機会を提供し、それを掲示し、市民に広く啓発することで効果的な事業となっているため
			誰	市内の青少年及び関係者	◇ 研修や会議、啓発活動の実施状況	○	
	生涯学習課		何	青少年が心身ともに健やかに育つため、また、市民総ぐるみによる青少年健全育成運動を展開するため	10,713（千円）	現状維持	
024-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
024-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
024-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

024-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
024-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
024-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
024-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
024-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010205025
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ　50
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			025	放課後における子どもたちの安全で安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブの未設置校区への整備や、狭あい化・老朽化した施設の改修、支援員等の確保や指導力の向上、運営支援などに取り組むとともに、民間事業者による放課後児童クラブの設置を適切に支援することに加え、地域の状況やニーズに合わせて放課後子供教室を設置します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
025-1	放課後児童クラブ運営補助事業 / 生涯学習課	放課後児童クラブの運営に対する補助	効	放課後児童クラブが補助金を活用し安定した運営を行う	◆ 条件を満たす全ての放課後児童クラブへの補助	◎	交付申請してきた全放課後児童クラブへ要望通りの補助金交付ができた。今後も各放課後児童クラブとの連絡を密にして国・県の補助事業に沿って支援を行っていく。
			誰	放課後児童クラブ	◇ 運営者等の意見	◎	
			何	円滑な運営を図るため	887,796（千円）	拡充・充実	
025-2	放課後児童クラブ整備事業 / 生涯学習課	放課後児童クラブ施設の整備・新築工事（南が丘）・実施設計等（一志）	効	補助金を活用して施設整備を行うことにより、既存施設の受け入れ枠を拡大する	◆ 1か所の新築工事及び1か所の実施設計	◎	児童の受入ニーズの増加に伴い狭あい化している施設の整備を行うことにより、受け入れ枠の拡大につなげられた。 引き続き、計画的な施設整備を行うことにより、放課後等の児童が安全に、安心して過ごせる環境整備に取り組んでいく。
			誰	市あるいは民間の放課後児童クラブ	◇ 児童一人当たりの専用区画面積	◎	
			何	放課後児童クラブ施設の整備を行う	88,770（千円）	拡充・充実	
025-3	放課後子供教室支援事業 / 生涯学習課	放課後子供教室の実施	効	子供たちが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができる	◆ 子供たちの安全・安心な居場所の確保、多様な体験・活動の提供	◎	地域からのニーズに応じて子供教室を開所しており、令和4年度は高野尾地区に子供教室を開所した。 今後の新規開所に関しては、地域の声を聞きながら随時検討していく。
			誰	放課後子供教室が実施されている小学校の全ての児童	◇ 関係者・利用者等の意見	◎	
			何	子供たちに対する放課後の安全性が増し、また、学習や体験・交流活動を行うことができる	4,841（千円）	現状維持	
025-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
025-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

025-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
025-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
025-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
025-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
025-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020306
		施策	06	地域包括ケアシステムの確立	本冊ページ　53
	関連個別計画		津市第９次高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（番号）			026 ～ 026		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
026	高齢者やその家族が必要な時に速やかに対応する医療体制が整い、必要な医療・介護サービスを適切に享受できる「在宅医療・介護連携」、多職種協働による個別ケースの解決、潜在ニーズの顕著化、需要に見合ったサービスの基盤整備等の協議を行う「地域ケア会議」、家族の不安や負担に寄り添い認知症の方へのケアを行う「認知症対策」、地域のつながりを強め、介護予防や地域の見守り体制など、支えあい活動の充実を図る「生活支援・介護予防」の４つの事業が有機的に結び付き、高齢者が尊厳を保ちながら、本人が望む限り住み慣れた地域で人生の最期まで暮らせるシステムを確立します。	A	①	高齢福祉課／地域包括ケア推進室／介護保険課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	地域包括支援センターの運営及び在宅介護支援センター事業を業務委託により実施するとともに、生活支援コーディネーター・認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員の配置、地域ケア会議の開催、高齢者外出支援事業やふれあい・いきいきサロン事業を実施するなど、地域包括ケアシステムの確立に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020306026
		施策	06	地域包括ケアシステムの確立	本冊ページ　53
	関連個別計画			津市第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）	
担当部局				健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			026	高齢者やその家族が必要な時に速やかに対応する医療体制が整い、必要な医療・介護サービスを適切に享受できる「在宅医療・介護連携」、多職種協働による個別ケースの解決、潜在ニーズの顕著化、需要に見合ったサービスの基盤整備等の協議を行う「地域ケア会議」、家族の不安や負担に寄り添い認知症の方へのケアを行う「認知症対策」、地域のつながりを強め、介護予防や地域の見守り体制など、支えあい活動の充実を図る「生活支援・介護予防」の4つの事業が有機的に結び付き、高齢者が尊厳を保ちながら、本人が望む限り住み慣れた地域で人生の最期まで暮らせるシステムを確立します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆当初の事業実施計画 / ◇事業評価の主な視点	実施評価 / 事業評価	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果			
			誰	誰のための事業か			
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
026-1	地域ケア体制推進事業 / 高齢福祉課	地域での相談窓口として機能する在宅介護支援センター事業の委託	効	地域で暮らす高齢者とその家族が適切な福祉サービスが受けられる	◆介護・福祉に関する相談・情報提供や高齢者実態把握などの支援を行う	◎	各地域において福祉サービスに関する相談や福祉サービスの提供に係る実態調査等を実施し、高齢者の在宅生活を維持できるよう適切に支援が行えた。今後も在宅高齢者が増加する見込みであり引き続き相談等の支援を行っていく。
			誰	地域で暮らす高齢者とその家族	◇利用実績	○	
			何	介護・福祉に関する相談・支援を行う地域の身近な窓口で、相談受付、福祉サービスの情報提供を行う	15,290（千円）	現状維持	
026-2	高齢者外出支援事業 / 高齢福祉課	既設の路線バス及びコミュニティバス等の交通網を活用し、高齢者の介護予防及び免許返納の観点から高齢者外出支援の実施	効	外出機会の拡大と高齢者の生きがいづくり等	◆マイナンバーカード取得者にシルバーエミカを交付し外出を図る	◎	シルバーエミカの交付件数は増加しており、引き続き高齢者の外出支援として支援するとともに、今後の津市地域公共交通網形成計画の策定に向けて情報共有に努めていく。
			誰	地域で暮らす高齢者	◇利用実績	○	
			何	地域で暮らす高齢者の外出機会が拡大する	8,794（千円）	現状維持	
026-3	地域包括支援センター運営事業 / 地域包括ケア推進室	地域で暮らす高齢者を総合的に支援する地域包括支援センターの運営業務委託	効	地域で暮らす高齢者が、介護・医療・保健・福祉サービス等を利用しやすくなり、介護予防が進む	◆総合相談件数11,600件	◎	計画を達成できており、引き続き取組を進める。
			誰	地域で暮らす高齢者	◇総合相談件数	◎	
			何	相談支援を通じて、介護・医療・保健・福祉サービス等を利用して、安心して地域で生活することを支援する	303,600（千円）	現状維持	
026-4	地域ケア会議推進事業 / 地域包括ケア推進室	高齢者が住み慣れた住まいで生活できるよう地域全体で支援していくことを目的とした地域ケア会議の運営・推進	効	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための、課題の抽出、解決策の検討が進む	◆年175回の開催	○	概ね計画通どおり実施できており、事業の更なる充実を図る。
			誰	地域で暮らす高齢者	◇開催回数	○	
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、高齢者自身の支援と地域課題の解決を同時に進める	1,000（千円）	拡充・充実	
026-5	在宅医療・介護連携推進事業 / 地域包括ケア推進室	在宅医療と介護サービスの一体的な提供に向けて、情報の共有支援、研修、普及啓発等の実施	効	在宅療養が必要な高齢者が、必要な医療・介護サービス等を利用しやすくなる	◆医療・介護関係者の研修会の参加者数年950人	△	新型コロナウイルス感染症の影響下において、計画を下回った。今後は医療・介護両専門職のニーズを把握するとともに課題に合わせた研修を実施する。
			誰	在宅療養が必要な高齢者	◇医療・介護関係者の研修会の参加者数	○	
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、在宅医療・在宅介護の連携体制を充実させる	32,298（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

026-6	生活支援体制整備事業 地域包括ケア推進室	高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制を整備していくために、生活支援コーディネーターを配置	効	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための、地域のつながりや支えあい活動などの体制整備が進む	◆	地域支援回数年2,300回	◎	計画を達成できており、引き続き取組を進める。
			誰	地域で暮らす高齢者	◇	地域支援回数	◎	
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、地域のつながりや支えあい活動などの体制整備を進める	83,237（千円）	拡充・充実		
026-7	認知症総合支援事業 地域包括ケア推進室	認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員の配置	効	認知症の早期発見・早期治療、認知症になっても地域で暮らし続けられる地域の支援体制が構築される	◆	初期集中支援チーム支援件数年115件	△	新型コロナウイルス感染症の影響下において、計画を下回った。今後は認知症初期集中支援チームの質を確保しつつ、認知症地域支援推進員の配置体制を検討する等事業内容の見直しを図る。
			誰	地域で暮らす高齢者	◇	初期集中支援チーム支援件数	○	
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、認知症の早期発見・早期治療、地域の認知症への理解を進める	11,807（千円）	現状維持		
026-8	一般介護予防事業 地域包括ケア推進室	住民運営の通いの場の充実、高齢者を取り巻く地域づくりを推進し、介護予防の機能強化	効	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防活動の普及・啓発が進む	◆	ふれあい・いきいきサロン事業参加総数年122,000人	△	新型コロナウイルス感染症の影響下において、計画を下回った。今後は縮小したサロン活動の再開について支援を進める。
			誰	地域で暮らす高齢者	◇	ふれあい・いきいきサロン事業参加総数	○	
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、身近な地域で、必要な介護予防活動の普及・啓発を進める	88,603（千円）	拡充・充実		
026-9	第1号訪問・通所・生活支援事業 介護保険課	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防訪問型サービス事業等の実施	効	サービス事業者等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防訪問型サービス等を提供する	◆	必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、要支援認定者等に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	事業対象者、要支援1、2の高齢者	◇	日常生活における生活支援	○	
			何	日常生活における多様な生活支援を受けられる	507,663（千円）	現状維持		
026-10	介護予防ケアマネジメント事業 介護保険課	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防ケアマネジメント事業の実施	効	地域包括支援センター等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメントを実施する	◆	必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、要支援認定者等に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	事業対象者、要支援1、2の高齢者	◇	日常生活における生活支援	○	
			何	適切な総合事業の利用ができる	59,846（千円）	現状維持		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020307
		施策	07	地域福祉の充実	本冊ページ　53
	関連個別計画				
担当部局		健康福祉部			
施策の内容（番号）		027	～	027	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
027	支えが必要な人が適切なサービスを受けられるよう相談支援体制を整え、必要な情報・サービスの提供に加えて、地域活動やボランティア活動への市民の参加を促すとともに、民生委員・児童委員活動をはじめとする各種活動への支援を行い、津市社会福祉協議会や福祉関係団体などと連携しながら地域特性に応じた福祉活動を充実します。	A	①	福祉政策課/市民福祉課（河芸）

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	社会福祉協議会の法人運営及び地域福祉活動に対する補助を行うとともに、社会福祉施設の適切な管理運営を通じて福祉関係団体の活動支援を実施するなど、関係団体と連携しながら地域福祉の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020307027
		施策	07	地域福祉の充実	本冊ページ　53
	関連個別計画				
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			027	支えが必要な人が適切なサービスを受けられるよう相談支援体制を整え、必要な情報・サービスの提供に加えて、地域活動やボランティア活動への市民の参加を促すとともに、民生委員・児童委員活動をはじめとする各種活動への支援を行い、津市社会福祉協議会や福祉関係団体などと連携しながら地域特性に応じた福祉活動を充実します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
027-1	社会福祉協議会運営補助事業 / 福祉政策課	社会福祉協議会の法人運営事業費及び地域福祉活動事業費に対する補助	効	津市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき、住民やボランティア、各種団体、福祉関係者などとともに地域福祉の推進を図るため設置された団体であり、津市と相互に連携・協働し、地域福祉の推進に資することができる。	◆ 地域福祉の推進・充実	○	津市社協は様々な分野で地域福祉の推進を進めているため、「○」としたが、制度の狭間にある福祉課題に対応しきれていないといった課題もある。 少子高齢化や高齢者人口の増加に伴い、地域福祉の中心を担っている津市社協の重要性は今まで以上に高まっているため、今後、津市社協に対する補助事業については、より地域福祉の推進が図られるよう検証を進めていく。
			誰	地域住民のために事業を行う津市社会福祉協議会	◇ 利用者等の意見	○	
			何	補助金を受けることにより、地域福祉活動を推進することができる	348,822（千円）	拡充・充実	
027-2	社会福祉施設等管理運営事業 / 市民福祉課（河芸）	津市河芸ほほえみセンターの適正な維持管理運営事業	効	河芸ほほえみセンターの適正な維持管理を図ることにより、施設利用者の福祉の向上及び各福祉関係団体が当センターを拠点に活動することができる。	◆ 施設利用者及び各福祉関係団体のニーズに応じた利用	○	利用者数も令和3年度と比較して増加しており、福祉関係団体の交流会や情報共有、ケース会議を開催するなど当該地域の福祉活動の拠点として機能するとともに、大きな要望や苦情も無く、効果が得られていることから「◎」とした。 今後も利用者のニーズに沿った施設運営に努め、一層の満足度・利便性の向上を図っていく。
			誰	施設利用者及び民児協河芸支部、河芸地区社協、河芸老連、身障福祉会河芸支部、母子父子寡婦福祉会河芸支部、社会福祉協議会河芸支部などの福祉関係団体	◇ 利用者数及び利用者の意見（満足度、利便性等）	◎	
			何	施設利用者の福祉の向上及び施設を拠点として各福祉関係団体が活動することで、連携や情報共有が図れ、地域に根差した福祉活動を行うことができる	24,046（千円）	現状維持	
027-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
027-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

027-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
027-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
027-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
027-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
027-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020308
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画		津市環境基本計画、津市第９次高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画			
担当部局			環境部、健康福祉部			
施策の内容（番号）			028	～	030	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
028	施設入所へのニーズに対応するため、計画的に介護老人福祉施設を整備していきます。	E	①	高齢福祉課
029	生きがいづくりや仲間づくりの場として、気軽に参加でき、多世代交流ができるような事業の充実に取り組みます。	A	①	高齢福祉課
030	高齢者の健康づくり・介護予防を推進し、介護保険サービスの充実に努めるとともに、介護給付の適正化に取り組み、介護保険事業の健全な運営を行います。	A	①	環境政策課/地域包括ケア推進室/介護保険課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	介護サービス等の給付事業や介護老人福祉施設等の整備に向けた社会福祉法人等の募集、シルバー人材センターの運営に対する補助、各地区社会福祉協議会が実施する敬老事業や老人クラブの活動に対する支援を行うとともに、要介護者又は障がい者で構成される世帯に対する大型家具等の戸別収集を実施するなど、高齢者福祉の充実に努めていますが、介護老人福祉施設の整備を推進することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	B					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020308028
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ　53
	関連個別計画		津市第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			028	施設入所へのニーズに対応するため、計画的に介護老人福祉施設を整備していきます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
028-1	介護老人福祉施設整備補助金 / 高齢福祉課	整備計画に基づく介護老人福祉施設等の整備に係る補助	効	入所待機者の解消に向け施設整備を行う	◆ 三重県の社会福祉施設整備方針に基づき、市が計画する60床の介護老人福祉施設整備について募集を行う	×	令和5年度社会福祉施設等整備計画書の提出があったが、選定対象施設の基本要件を満していないため申請の取り下げにより整備できなかった。依然として施設入所待機者が多く存在している状況であり、施設整備の推進・充実を図っていく。
			誰	介護施設サービスを必要とする人	◇ 事業者の選定	×	
			何	適切に利用できる	0（千円）	現状維持	
028-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
028-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
028-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
028-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

028-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
028-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
028-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
028-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
028-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	E

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	D	E	A	B	E					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020308029
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ　53
	関連個別計画		津市第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			029	生きがいづくりや仲間づくりの場として、気軽に参加でき、多世代交流ができるような事業の充実に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
029-1	敬老事業 / 高齢福祉課	各地区社会福祉協議会の実施する敬老事業に対する助成	効	敬老事業を活性化する一助となる	◆ 地区社会福祉協議会の主催による各地域の状況に応じた事業の開催を支援する	◎	各地区社会福祉協議会の主催により、地域の実情や特性を尊重した敬老事業を企画し、運営していただいた。 今後も多年にわたり地域社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、その長寿をお祝いするため引き続き事業の開催を支援していく。
			誰	市社協	◇ 利用実績	○	
			何	交付金を受けイベント等事業をしやすくなる	51,134（千円）	現状維持	
029-2	老人クラブ助成事業 / 高齢福祉課	老人クラブの活動に対する助成	効	老人クラブの活動が活性化する	◆ 地域の中で心豊かに暮らすことのできるよう地域活動の促進を図る	◎	地区の清掃や美化などの奉仕活動や地域の子どもたちとの世代間交流、ひとり暮らし高齢者や閉じこもり等の高齢者宅への見守り活動、健康づくり活動等に支援を行った。 会員の高齢化によるクラブ役員のなり手不足など老人クラブ活動は縮小傾向にあるが、引き続き老人クラブの様々な活動の推進やクラブ間の連携強化のための支援していく。
			誰	老人クラブ	◇ 助成実績	○	
			何	補助金を受け活動をしやすくなる	12,487（千円）	現状維持	
029-3	シルバー人材センター運営補助事業 / 高齢福祉課	シルバー人材センターの運営事業費に対する補助	効	高齢者の就業機会が開拓される	◆ 高齢者就労や社会参加活動の促進を図る	◎	働く意欲の高い高齢者に対し臨時的かつ短期的又は軽易な就労の場を開拓できるよう努めるとともに入会説明会を毎月開催するなど、会員となる人材確保の活動等に支援を行った。 今後も多様化する利用者のニーズにも対応できるよう高齢者就労や社会参加活動の促進に対して補助を行う。
			誰	シルバー人材センター	◇ 補助実績	◎	
			何	補助金を受け就業先の斡旋等活動をしやすくなる	16,329（千円）	現状維持	
029-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
029-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

029-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
029-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
029-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
029-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
029-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020308030
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ　53
	関連個別計画			津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）	
担当部局				環境部、健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			030	高齢者の健康づくり・介護予防を推進し、介護保険サービスの充実に努めるとともに、介護給付の適正化に取り組み、介護保険事業の健全な運営を行います。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
	担当課						
030-1	大型家具等ごみ出し支援事業 環境政策課	大型家具等をごみ一時集積所まで排出することが困難な要介護者又は障がい者で構成される世帯に対する戸別収集の実施	効	家財道具等の大型ごみをごみ一時集積所まで排出することが困難な高齢者等の自宅から大型家具を排出し、処分する	◆ 当初の事業実施計画：年間約260世帯に対する支援	実施評価：◎	年々利用者が増加傾向にあるため、今後も引き続き市民に支援事業を周知していく。
			誰	「要支援認定者」（H30.9追加）、「要介護認定者」、「障がい者」「75歳以上の者」（R1.7追加）のみで構成される世帯	◇ 事業評価の主な視点：支援実施の世帯数	事業評価：◎	
			何	ごみ出しに係る負担の軽減になる	決算額（千円）：0	今後の方向性：現状維持	
030-2	一般介護予防事業 地域包括ケア推進室	住民運営の通いの場の充実、高齢者を取り巻く地域づくりを推進し、介護予防の機能強化	効	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防活動の普及・啓発が進む	◆ ふれあい・いきいきサロン事業参加総数年122,000人	△	新型コロナウイルス感染症の影響下において、計画を下回った。今後は縮小したサロン活動の再開について支援を進める。
			誰	地域で暮らす高齢者	◇ ふれあい・いきいきサロン事業参加総数	○	
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、身近な地域で、必要な介護予防活動の普及・啓発を進める	決算額（千円）：88,603	今後の方向性：拡充・充実	
030-3	居宅介護サービス等給付事業 介護保険課	要介護認定者に対する訪問介護等居宅介護サービス費の給付	効	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、訪問介護等の居宅介護サービスを提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、要介護認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	在宅の要介護認定者	◇ 日常生活における生活支援	○	
			何	居宅、事業所等において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	決算額（千円）：12,001,689	今後の方向性：現状維持	
030-4	地域密着型介護サービス給付事業 介護保険課	要介護認定者に対する認知症対応型共同生活介護等地域密着型サービス費の給付	効	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、認知症対応型共同生活介護等の地域密着型介護サービスを提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、要介護認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	在宅又は施設に入所する要介護認定者	◇ 日常生活における生活支援	○	
			何	居宅、事業所、介護保険施設等において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	決算額（千円）：3,243,152	今後の方向性：現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

030-5	施設介護サービス等給付事業 介護保険課	要介護認定者に対する介護老人福祉施設等施設介護サービス費の給付	効	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、介護福祉施設サービス等の施設介護サービスを提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、要介護認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	施設に入所する要介護認定者	◇ 日常生活における生活支援	○	
			何	介護保険施設において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	8,711,756（千円）	現状維持	
030-6	サービス計画給付事業 介護保険課	要介護認定者に対する居宅介護サービス計画費の給付	効	居宅介護支援事業者が、要介護認定者に対し、ケアマネジメントを実施する	◆ 必要とする介護サービスの計画策定	◎	適正な給付に努め、要介護認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	在宅の要介護認定者	◇ 要介護認定者に対する適切な介護サービスの提供	○	
			何	適切な介護サービスの利用が受けられる	1,515,064（千円）	現状維持	
030-7	介護予防サービス等給付事業 介護保険課	要支援認定者に対する介護予防訪問入浴介護等介護予防サービス費の給付	効	介護サービス事業者が、要支援認定者に対し、介護予防訪問入浴介護等の介護予防サービスを提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、要支援認定者に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	在宅の要支援認定者	◇ 日常生活における生活支援	○	
			何	居宅又はサービス事業所において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	515,977（千円）	現状維持	
030-8	第1号訪問・通所・生活支援事業 介護保険課	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防訪問型サービス事業等の実施	効	サービス事業者等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防訪問型サービス等を提供する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、要支援認定者等に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	事業対象者、要支援1、2の高齢者	◇ 日常生活における生活支援	○	
			何	日常生活における多様な生活支援を受けられる	507,663（千円）	現状維持	
030-9	介護予防ケアマネジメント事業 介護保険課	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防ケアマネジメント事業の実施	効	地域包括支援センター等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメントを実施する	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、要支援認定者等に対し、日常生活における生活支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	事業対象者、要支援1、2の高齢者	◇ 日常生活における生活支援	○	
			何	適切な総合事業の利用ができる	59,846（千円）	現状維持	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020309
		施策	09	障がい者（児）福祉の充実	本冊ページ　54
	関連個別計画		津市環境基本計画、津市障がい福祉総合プラン		
担当部局			環境部、健康福祉部		
施策の内容（番号）			031 ～ 032		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
031	障がい者の生活基盤となる施設整備や福祉サービスの利用を促進するとともに、関係機関と連携して福祉就労から一般就労に結び付けるなどの就労支援を行い、障がい者の自立と社会参加に向けた取組を進めます。	A	①	環境政策課/障がい福祉課/保険医療助成課
032	重度障がい者及び強度行動障がい者への支援については、三重県と共にサービス提供事業所及び人材の確保に取り組みます。	A	①	障がい福祉課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	障がいに係る各種手当等の給付、居宅介護等に係る給付、児童発達支援や放課後等デイサービスなどに係る給付、障がい者等の自立訓練や就労継続支援などに係る給付、障がい者・精神障がい者に対する医療費助成を実施するとともに、要介護者又は障がい者で構成される世帯への大型家具等の戸別収集を実施するなど、障がい者（児）福祉の充実に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020309031
		施策	09	障がい者（児）福祉の充実	本冊ページ　54
	関連個別計画			津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市障がい福祉総合プラン（令和3年度～令和5年度）	
担当部局				環境部、健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			031	障がい者の生活基盤となる施設整備や福祉サービスの利用を促進するとともに、関係機関と連携して福祉就労から一般就労に結び付けるなどの就労支援を行い、障がい者の自立と社会参加に向けた取組を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
031-1	大型家具等ごみ出し支援事業 環境政策課	大型家具等をごみ一時集積所まで排出することが困難な要介護者又は障がい者で構成される世帯に対する戸別収集の実施	効	家財道具等の大型ごみをごみ一時集積所まで排出することが困難な高齢者等の自宅から大型家具を排出し、処分する。	◆ 年間約260世帯に対する支援	◎	年々利用者が増加傾向にあるため、今後も引き続き市民に支援事業を周知していく。
			誰	「要支援認定者」（H30.9追加）、「要介護認定者」、「障がい者」「75歳以上の者」（R1.7追加）のみで構成される世帯	◇ 支援実施の世帯数	◎	
			何	ごみ出しに係る負担の軽減になる	0（千円）	現状維持	
031-2	特別障害者手当等給付事業 障がい福祉課	特別障害者手当、福祉手当、障害児福祉手当、心身障害児童福祉年金、重度心身障害者等介護手当の給付	効	障がい（児）者等に対し、必要な手当等の支給を行う	◆ 経済的な支援を行うため、必要な手当等を支給	◎	前年度決算額（156,830千円）比101.5%となり、経済的な支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	障がい（児）者等	◇ 支給実績	◎	
			何	経済的負担の軽減に繋がる	159,112（千円）	現状維持	
031-3	障害児通所支援事業 障がい福祉課	児童発達支援、放課後等デイサービス等に係る給付	効	障がいのある児童や発達に心配がある児童に対し集団生活への適応、生活能力の向上のための支援を行う	◆ 児童発達支援　359人/月 放課後等デイサービス　769人/月	◎	令和4年度の児童発達支援の利用実績は548人/月、放課後等デイサービスは1,406人/月で、前年度比152.6%、182.8%となり、必要な支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	障がい児	◇ 利用実績	◎	
			何	集団生活への適応、生活能力を身につける	1,563,604（千円）	現状維持	
031-4	介護給付事業 障がい福祉課	居宅介護、重度訪問介護、生活介護、施設入所支援等に係る給付	効	居宅や通所・入所事業所において、障がい者等に必要な支援（介護給付）を行う	◆ 居宅介護　440人/月 重度訪問介護　16人/月 生活介護　707人/月	◎	令和4年度の居宅介護の利用実績は594人/月、重度訪問看護は24人/月、生活介護は804人/月で、いずれも前年度より増となり、必要な支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	障がい（児）者等	◇ 利用実績	◎	
			何	障がい特性等に応じた生活が続けられる	3,886,540（千円）	現状維持	
031-5	訓練等給付事業 障がい福祉課	自立訓練、就労継続支援等に係る給付	効	障がい者等が自立した社会生活を送れるよう、必要な生活能力を身につける支援（訓練等給付）を行う	◆ 就労継続支援A型　207人/月 就労継続支援B型　687人/月	◎	令和4年度の就労継続支援A型の利用実績は236人/月、就労継続支援B型は762人/月で、いずれも前年度より増となり、必要な支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	障がい者等	◇ 利用実績	◎	
			何	自立した日常生活に繋がる	2,384,627（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

031-6	地域生活支援事業 障がい福祉課	日中一時支援、移動支援、日常生活用具等の給付、訪問入浴サービス等の実施	効	障がい（児）者等が日常生活を送るうえで、必要となる日常生活用具の給付や、移動にかかる支援等を行う	◆ 日中一時支援　551人/月 移動支援　209人/月	◎	令和4年度の日中一時支援の利用実績は542人/月、移動支援は247人/月で、日中一時支援は若干減少したものの移動支援は大幅に前年度増となり、必要な支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	障がい（児）者等	◇ 利用実績	◎	
			何	日常生活の充実等に繋がる	453,082（千円）	現状維持	
031-7	育成医療事業 障がい福祉課	身体に障がいのある児童に対し、生活の能力を得るために、その身体障がいを改善する手術等に要する医療費の助成	効	治療を行わないと将来において、障がいを残すと認められる疾患がある児童に対し、必要な治療を行う	◆ 身体障がいを改善する手術等に要する医療費を助成	◎	前年度決算額（5,580千円）比136.2%となり、必要な支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	障がい児等	◇ 利用実績	◎	
			何	障がいの改善に繋がる	7,600（千円）	現状維持	
031-8	医療費助成事業 保険医療助成課	障がい者、精神障がい者に対する医療費の助成	効	保健の向上と福祉の増進につながる	◆ 助成を希望する全員への助成	○	大いに効果が認められるので、引き続き効果的な事業となるよう進めていく。
			誰	障がい者、精神障がい者	◇ 助成件数	◎	
			何	経済的負担の軽減	736,326（千円）	現状維持	
031-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
031-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020309032
		施策	09	障がい者（児）福祉の充実	本冊ページ　54
	関連個別計画			津市障がい福祉総合プラン（令和3年度～令和5年度）	
担当部局				健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			032	重度障がい者及び強度行動障がい者への支援については、三重県と共にサービス提供事業所及び人材の確保に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
032-1	強度行動障がい者等特別支援事業	強度行動障がい者及び重症心身障がい者の在宅支援のため障がい福祉サービス提供事業者に特別加算費を支給	効	通所支援事業所における強度行動障害者等の支援を行う	◆ 本市独自の特別加算を実施	◎	令和4年度の決算額は5,133千円で、前年度比124.9%となり、必要な支援を行うことができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	強度行動障害者等の支援を行うサービス提供事業者及びサービス利用者	◇ 利用実績	◎	
	障がい福祉課		何	支援体制の確保並びにサービス利用者に対する受入れが進む	6,409（千円）	現状維持	
032-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
032-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
032-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
032-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

032-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
032-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
032-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
032-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
032-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020310
		施策	10	低所得者福祉の充実	本冊ページ　54
	関連個別計画		津市第９次高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（番号）			033	～	034

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
033	関係機関と連携し、情報共有を図りながら、生活困窮者の早期発見を行うとともに、さまざまな支援制度や支援団体などの地域における社会資源も有効に活用し、相談者に寄り添いながら、一人ひとりの課題に応じた包括的な支援を行い、生活困窮者の自立を促進します。	A	①	援護課/介護保険課
034	社会的、経済的な自立をめざし、働く能力を有する人に対しては就労を支援するとともに、高齢者世帯に対しては介護サービスの利用により、在宅生活が継続できるよう支援するなど、関係機関と連携しながら個々の世帯に応じた適正保護に取り組みます。	A	①	援護課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	低所得者に対しては介護に係る施設サービス・短期入所サービスに係る食費・居住費の補足給付を行うとともに、生活保護受給者に対しては生活保護費の支給や経済的自立に向けた就労支援を、生活困窮者に対しては生活保護に至る前の段階から早期の包括的な相談支援を通じた個別的・継続的支援を行うなど、低所得者福祉の充実に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020310033
		施策	10	低所得者福祉の充実	本冊ページ　54
	関連個別計画			第9次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）	
担当部局				健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			033	関係機関と連携し、情報共有を図りながら、生活困窮者の早期発見を行うとともに、さまざまな支援制度や支援団体などの地域における社会資源も有効に活用し、相談者に寄り添いながら、一人ひとりの課題に応じた包括的な支援を行い、生活困窮者の自立を促進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
033-1	生活困窮者自立支援法関係事業	生活困窮者に対し、生活保護に至る前の段階から、早期の包括的な相談支援を通じた個別的・継続的支援の実施	効	相談者の抱える課題に対して包括的な支援を行い、自立につなげる	◆ 生活困窮者の早期自立に向けた支援の実施	◎	相談者の状況に応じて支援計画を作成し、相談者の抱える様々な課題に対し、関係機関と連携を図りながら包括的な支援を行い、生活困窮者の自立に寄与することができたことから、引き続き生活困窮者への支援に取り組む。
			誰	生活に困窮している者	◇ 包括的な支援を行い、自立に寄与	◎	
	援護課		何	生活困窮状態からの早期自立を支援する	41,149（千円）	拡充・充実	
033-2	生活困窮者自立支援金支給事業	新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、社会福祉協議会が行う特例貸付の総合支援資金（再貸付）が終了又は不決定となり、収入・資産・求職活動等の要件を満たす生活困窮世帯を対象に、令和3年7月から新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給を実施	効	就労による自立を図る	◆ 生活困窮世帯への自立支援金の支給	◎	特例貸付の総合支援資金（再貸付）が終了したことなどにより、特例貸付が利用できず、生活に困窮する世帯に対して、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給を行い、就労による自立や生活再建に寄与することができたが、令和4年度で支給制度は終了となった。
			誰	生活に困窮している世帯	◇ 就労による自立や生活再建への寄与	◎	
	援護課		何	就労による生活困窮状態からの自立、それが困難な場合は円滑に生活保護につなげる	21,941（千円）	完了	
033-3	特定入所者介護サービス等給付事業	低所得者に対する施設サービス・短期入所サービスに係る食費・居住費の補足給付	効	介護保険施設に入所又は短期入所する低所得の利用者が、食費・居住費に係る補助を受ける	◆ 必要とする介護サービスの提供	◎	適正な給付に努め、低所得の施設入所者等に対し、経済的支援を図ることができた。今後も引き続き事業を実施していく。
			誰	施設に入所又は短期入所する低所得の利用者	◇ 低所得者に対する施設サービス等利用時の経済的支援	○	
	介護保険課		何	経済的な負担の減少がされることで、安心して生活できる	645,094（千円）	現状維持	
033-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

033-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
033-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
033-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
033-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
033-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	②	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020310034
		施策	10	低所得者福祉の充実	本冊ページ　54
	関連個別計画				
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			034	社会的、経済的な自立をめざし、働く能力を有する人に対しては就労を支援するとともに、高齢者世帯に対しては介護サービスの利用により、在宅生活が継続できるよう支援するなど、関係機関と連携しながら個々の世帯に応じた適正保護に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容		事業の目的	事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
034-1	自立支援（就労）プログラム事業	援護課	生活保護受給者の経済的自立に向けた就労支援の実施	効	就労による増収及び生活保護からの自立	◆ 被保護者への就労支援	◎	被保護者への就労支援を行い、就労自立に寄与することができたため、引き続き被保護者への就労支援に取り組んでいく。
				誰	就労可能と判断する被保護者で就労が見込まれる者	◇ 稼働能力のある者に対する自立に向けた援助	◎	
				何	就労開始により生活保護からの自立	2,213（千円）	拡充・充実	
034-2	生活保護費支給事業	援護課	生活保護受給者に対する扶助	効	健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長する	◆ 生活に困窮する者への最低限度の生活保障及び自立支援	◎	健康で文化的な最低限度の生活の保障を行い、また、自立に向けた指導、援助を行うことにより、適正な生活保護の運用と、被保護者の自立に寄与することができたため、引き続き適正保護の実施に取り組んでいく。
				誰	生活に困窮する者	◇ 生活保護の適正な運用	◎	
				何	最低限度の生活を保障する	4,813,481（千円）	拡充・充実	
034-3				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
034-4				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
034-5				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

034-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
034-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
034-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
034-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
034-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020411
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ　57
	関連個別計画		津市第3次健康づくり計画、津市自殺対策計画		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（番号）			035	～	036

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
035	ヘルスボランティアなどの地域団体等と連携し、健康増進に向けて市民の主体的な活動を引き出し、信頼やネットワークを構築しながら効果的・継続的に地域特性に応じた取組を推進します。	A	①	健康づくり課
036	生活習慣病の予防や心の健康を保つため、各種健康診査を推進し、きめ細かな相談支援を行うとともに、市民が関心を持ち行動に移してもらえるような健康情報の提供を行います。	A	①	健康づくり課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	健康づくり推進懇話会を開催して健康づくりに係る施策に関する意見の聴取及び推進を図るとともに、健康診査や各種検診、予防接種、健康教育・健康相談、食生活改善推進員及び健康づくり推進員の養成による啓発活動、自殺防止に係る啓発活動等を実施するなど、健康づくりを推進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020411035
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ　57
	関連個別計画			津市第3次健康づくり計画（平成29年度～令和4年度）	
担当部局				健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			035	ヘルスボランティアなどの地域団体等と連携し、健康増進に向けて市民の主体的な活動を引き出し、信頼やネットワークを構築しながら効果的・継続的に地域特性に応じた取組を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
035-1	健康づくり事業 / 健康づくり課	健康づくり推進懇話会を開催し、市民の健康づくりにかかる施策に関して、広く意見を聴取し、その推進に資する活動を協働で実施する	効	地域にある組織・人材によるソーシャルキャピタルの醸成	◆ 懇話会開催回数5回	○	開催回数が予定回数より少なかったため「○」とした。第4次健康づくり計画策定に向けた意見聴取が必要があるため、継続して進めていく。
			誰	市民	◇ 懇話会開催回数4回	○	
			何	健康の維持増進についての支援	666（千円）	現状維持	
035-2	健康づくり事業 / 健康づくり課	食生活改善推進員、健康づくり推進員の活動支援と市民や地域に健康づくりを広げるボランティア活動を担う人材の育成	効	身近な地域でのボランティア活動と社会貢献が健康維持及び高齢期では生活機能の維持につながる	◆ 養成講座の実施	◎	養成講座を3年ぶりに開催できたので「◎」とした。一志地域で開催したが、近くの地域の受講者も少なく、定員の半数に満たない申込状況であったが、推進員の人材育成はでき、登録多につながったため「○」とした。チラシ等の周知箇所を増やし、会場、講座回数、時間の設定を見直し、開催情報の届け方や参加しやすい講座となるよう検討が必要。
			誰	壮年期から高齢期の市民	◇ 受講者数 推進員の登録数	○	
			何	仲間との活動で健康づくりに継続して関心をもち生活できる	155（千円）	現状維持	
035-3	健康づくり事業 / 健康づくり課	健康づくり推進事業に係る業務　健康づくりに関する普及啓発活動	効	健康づくりに関心がもてるよう、身近な立場から波及し広げることができる	◆ 身近な地域での研修会などの機会の提供	◎	コロナの影響により活動機会は減少したが継続して提供できたため「◎」とした。実施回数や参加者数もそれに伴い減少したが、コロナ禍でも感染対策を講じ、計画した回数は実施できたため「◎」とした。 今後も各地域での啓発を継続して進めていく。
			誰	主に壮年期から高齢期の市民	◇ 研修会回数　20回以上 啓発事業実施回数　40回以上 参加者数	◎	
			何	健康情報の伝達や啓発と活動を通じた仲間づくりにつながる	752（千円）	現状維持	
035-4	健康づくり事業 / 健康づくり課	食生活改善推進事業に係る業務委託　健康づくりに関する普及啓発活動	効	食品衛生の普及、栄養が摂れるレシピを調理実習で伝達、食生活による健康維持につながる	◆ 身近な地域での研修会などの機会の提供	◎	コロナの影響で活動機会は減少したが継続して提供できたため「◎」とした。計画した回数は実施できたが、本来の調理実習による伝達方法がコロナの影響もあり各地域で行えなかったため「○」とした。効果的な方法である調理実習での伝達により食と健康維持に気づける人が増えるよう、支援していく。
			誰	市民	◇ 研修会の回数 啓発事業の実施回数 参加者数	○	
			何	食べることは生きる基本であり、食育、食生活の改善から健康づくりにつながる	1,110（千円）	現状維持	
035-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

035-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
035-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
035-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
035-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
035-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020411036
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ　57
	関連個別計画			津市第3次健康づくり計画（平成29年度～令和4年度）、津市自殺対策計画（平成31年度～令和5年度）	
担当部局				健康福祉部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			036	生活習慣病の予防や心の健康を保つため、各種健康診査を推進し、きめ細かな相談支援を行うとともに、市民が関心を持ち行動に移してもらえるような健康情報の提供を行います。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
036-1	予防接種事業	乳幼児・児童等の予防接種、高齢者のインフルエンザ及び肺炎球菌ワクチン接種、妊娠を予定または希望している女性・妊婦の夫などの風しん予防接種等の費用助成の実施	効	感染拡大の防止及び重症化予防	◆ 定期予防接種の実施及び勧奨、任意接種の費用助成	○	多くの予防接種については概ね計画した接種率に達しているが、子宮頸がんワクチンについては対象者には周知したが、計画数を大幅に下回ったため「○」とした。各予防接種について引き続き勧奨していく。
			誰	対象者及び市民	◇ 各予防接種の接種率、費用助成件数	○	
	健康づくり課		何	感染症の蔓延及び重症化を予防することができる	786,830（千円）	現状維持	
036-2	健康診査、がん検診等事業	疾病の早期発見、健康管理の啓発のため、39歳以下及び健康増進法による健康診査、各種がん検診等の実施	効	対象者が、39歳以下及び健康増進法健康診査、各種がん検診等を受診する	◆ 受診者数延　111,705人	○	受診者の増加を見込んだが、予定より少なかったことより「○」とした。 毎年精度管理をしながら実施し、適切な対象者への受診勧奨に努めて実施しており「○」とした。 今後も適切な対象者への受診勧奨に努めて実施する。
			誰	受診者	◇ 受診者数延　101,124人	○	
	健康づくり課		何	健康管理及びがんを早期発見することができる	572,196（千円）	現状維持	
036-3	歯周病検診事業	40歳・50歳・60歳・70歳を対象とする歯周病検診の実施	効	歯周疾患を予防できる	◆ 受診者数　1,955人	◎	計画より受診者数が増えたことより「◎」とした。 国の施策どおり実施しており「◎」とした。 今後も同様に実施する。
			誰	受診者	◇ 受診者数　2,066人	◎	
	健康づくり課		何	歯周疾患の早期発見・治療をすることができる	8,270（千円）	現状維持	
036-4	胃がん検診二重読影事業	国の指針に基づく胃がん検診二重読影の実施	効	胃がんを早期発見できる	◆ 二重読影件数　12,090人	○	受診者の増加を見込んだが、予定より少なかったことより「○」とした。 国の指針に基づき二重読影体制で実施しており「◎」とした。 今後も適切な対象者への受診勧奨に努めて実施する。
			誰	受診者	◇ 二重読影件数　10,633人	◎	
	健康づくり課		何	二重読影により、見落としなくがんを早期発見できる	16,028（千円）	現状維持	
036-5	30歳歯周病検診事業	30歳を対象とする歯周病検診の実施	効	歯周疾患を予防できる	◆ 受診者数　200人	○	計画より受診者数が少なかったことより「○」とした。 国の施策に準じて実施しており「◎」とした。 今後も同様に実施する。
			誰	受診者	◇ 受診者数　183人	◎	
	健康づくり課		何	歯周疾患の早期発見・治療をすることができる	733（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

036-6	成人の風しんに関する追加的対策事業	令和元年度から令和3年度まで、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象にした風しんの抗体検査及び予防接種の実施	効	風しんの感染拡大の防止及び重症化予防	◆ 対象者への受検勧奨 抗体検査数 2,175人	△	計画した抗体検査数の6割弱の実施数となったため△とした。今後も対象者への勧奨を続ける。
			誰	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性のうち未受検者	◇ 抗体検査数 1,220人	○	
	健康づくり課		何	風しんの蔓延及び重症化を予防することができる	17,568（千円）	現状維持	
036-7	健康づくり事業	健康教育と健康相談の実施	効	健康づくりに関心を持ち、健康に関する不安の解消や情報を得ること機会をつくることができる	◆ 健康教育、健康相談の実施	◎	感染対策を講じ実施し、実施回数、参加者数も増えたため「◎」とした。今後も継続して健康管理に努めることができる機会を提供していく。
			誰	主に壮年期から高齢期の市民	◇ 実施回数、参加者数	◎	
	健康づくり課		何	自分の健康状態を把握し、健康管理に努めることができる	268（千円）	現状維持	
036-8	健康づくり事業	地域自殺対策の実施 街頭啓発と啓発活動	効	自殺に至る心情や背景を理解し、自らの心の不調や周りの人の不調に気づける機会となる	◆ 街頭啓発、広報等を通じた啓発	◎	コロナの影響により街頭啓発を自粛していたが、R4年度は実施し、啓発回数と参加者数が増えたので「○」とした。今後も自殺予防週間や自殺対策強化月間などの機会に合わせ、啓発の強化をしていく。
			誰	市民	◇ 実施回数、参加者数	○	
	健康づくり課		何	自殺に至る心情や背景を理解し、自らの心の不調や周りの人の不調に気づき、一人で悩まず誰かに相談し、自殺を予防する行動につながる	556（千円）	現状維持	
036-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
036-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020412
		施策	12	地域医療・救急医療体制の充実	本冊ページ　57
	関連個別計画				
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（番号）			037	～	038

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
037	高齢化が急速に進むなかで、誰もが安心して医療、看護、介護を受け、暮らすことができるように、関係機関と連携し、へき地での家庭医療専門医の診療を推進するなど医療機会の確保を図り、無医地区を解消するとともに、介護と一体となった訪問診療や訪問看護が提供できる体制を整えます。	B	①	保険医療助成課/地域包括ケア推進室/地域医療推進室
038	二次救急病院群輪番体制の安定した継続に努めながら、初期・二次・三次救急医療体制がそれぞれ円滑に機能するよう、関係機関と連携・協力の上、より充実した救急医療体制の構築に向け取り組みます。	A	①	地域医療推進室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	休日・夜間の津市応急診療所の円滑な管理運営体制や二次救急輪番体制を構築するため、医師会との連携による輪番病院への医師派遣及び三重大学医学部附属病院と輪番病院間で疾病画像の共有によりリアルタイムで医師の指導が得られるシステムの運用を実施するとともに、白山・美杉地域においては医療・介護・福祉連携事業を実施し、特に美杉地域においては津市家庭医療クリニック及び竹原診療所を設置するなどにより医療機会の確保に努めるなど、地域医療・救急医療体制の充実に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020412037
		施策	12	地域医療・救急医療体制の充実	本冊ページ　57
	関連個別計画				
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			037	高齢化が急速に進むなかで、誰もが安心して医療、看護、介護を受け、暮らすことができるように、関係機関と連携し、へき地での家庭医療専門医の診療を推進するなど医療機会の確保を図り、無医地区を解消するとともに、介護と一体となった訪問診療や訪問看護が提供できる体制を整えます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
037-1	診療業務委託事業（直診勘定） 保険医療助成課	家庭医療クリニック及び竹原診療所における診療業務の委託	効	地域内で診療を受けることができる	◆ 国民健康保険診療所における診療業務の委託	○	委託契約どおりに実施ができたため「○」とした。 三重県一志病院の運営体制を理由とした家庭医療クリニックの医師派遣に制限があるなどの課題もあり、安心して診療を受けることができるよう診療体制の復旧・改善に取り組む。
			誰	美杉地域等の住民	◇ 患者数	○	
			何	住み慣れた地域で安心して暮らすことができる	27,376（千円）	現状維持	
037-2	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 保険医療助成課	健康寿命を延ばす取組を推進するため、地域ぐるみの一体的な高齢者の低栄養・フレイル予防の実施	効	フレイル予防を知り行動できる	◆ 地域と連携した低栄養・フレイル予防の実施	○	高齢者の集いの場へ出向く場数、参加数ともに昨年度に比べ増加し、フレイル予防のための意識向上を図ることができたため「○」とした。今後は、保健事業だけでなく、介護予防事業とも一体的に啓発ができるよう工夫する必要がある。
			誰	高齢者	◇ 実施する通いの場数、参加人数	○	
			何	住み慣れた家、地域で暮らし続けることができる	11,990（千円）	現状維持	
037-3	白山・美杉地域の医療・介護・福祉連携事業 地域包括ケア推進室/地域医療推進室	白山・美杉地域における医療・介護・福祉サービスが一体的に提供できる救急医療及び在宅医療をはじめとする地域医療体制の確保	効	医療・介護・福祉の一体的なサービスを住み慣れた地域で受けること、また、救急診療を地域内の医療機関で受けることができる	◆ 適切な地域医療体制の確保	○	県立一志病院が実施する訪問診療等の在宅医療の提供及び軽症救急患者の救急搬送受入れに対して支援することにより、適切な地域医療体制の確保ができた。継続的かつ安定的に実施できるよう事業を継続する。
			誰	白山・美杉地域の住民	◇ 利用件数	◎	
			何	白山・美杉地域において、医療・介護・福祉サービスの一体的な提供や軽症救急患者の救急搬送の受入れが地域内で確保される	25,038（千円）	現状維持	
037-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
037-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

037-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
037-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
037-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
037-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
037-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020412038
		施策	12	地域医療・救急医療体制の充実	本冊ページ　57
	関連個別計画				
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			038	二次救急病院群輪番体制の安定した継続に努めながら、初期・二次・三次救急医療体制がそれぞれ円滑に機能するよう、関係機関と連携・協力の上、より充実した救急医療体制の構築に向け取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
038-1	二次救急医療体制事業 / 地域医療推進室	入院治療を必要とする中等症・重症患者の救急医療体制の確保及び救急患者の受入体制の強化のための医師派遣	効	祝・休日等の昼間及び毎夜間において、救急搬送患者が二次救急輪番病院で入院医療、手術、専門的な治療を受けることができる	◆ 適切な二次救急医療体制の確保	◎	二次救急輪番病院数の減、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のなかにあっても、12,770人（前年比1,450人増）、救急搬送人員の85.5%を二次救急輪番病院で受け入れることができた。適切な二次救急医療体制を確保するため、事業を継続する。
			誰	救急搬送患者	◇ 救急搬送受入れ件数	◎	
			何	祝・休日等の昼間及び毎夜間における二次救急医療機関での安定した受入体制が確保される	196,871（千円）	現状維持	
038-2	画像による遠隔医療システム事業 / 地域医療推進室	輪番病院等と三重大医学部附属病院で疾病画像を共有し、リアルタイムで医師の指導が得られるシステムの運用	効	疾病画像の読影診断により、救急搬送患者が必要な処置を速やかに受けることができる	◆ 迅速かつ的確な処置を行うシステムの適切な運用	◎	当該システムを利用することにより、大学病院医師の支援が得られ、従来では受入れが難しい症例の救急搬送患者の受入れに繋がった。二次救急医療体制の充実を図るため、事業を継続する。
			誰	救急搬送患者	◇ システム利用件数	◎	
			何	二次救急輪番病院等と三重大学医学部附属病院間で救急搬送患者の疾病画像が共有され、より円滑な診療につなげることができる	9,733（千円）	現状維持	
038-3	こども応急クリニック、久居休日応急診療所及び応急クリニック運営事業 / 地域医療推進室	休日・夜間の応急診療所の管理運営	効	休日及び夜間の時間帯に、市内3箇所の応急診療所で診療を受けることができる	◆ 適切な初期救急医療体制の確保	◎	新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、3箇所の応急診療所で、11,428人（前年比4,912人増）の診察を行った。適切な初期救急医療体制を確保するため、事業を継続する。
			誰	休日・夜間に初期救急医療が必要となった市民	◇ 受診者数	◎	
			何	市内医療機関において休診の多い休日及び夜間の時間帯での初期救急医療体制が確保される	143,971（千円）	現状維持	
038-4	救急・健康相談ダイヤル事業 / 地域医療推進室	専門の医師等が24時間・年中無休のフリーダイヤルで健康・医療に関するあらゆる相談に応じる「救急・健康相談ダイヤル24」の運営	効	医師、看護師等による電話対応により、相談者の不安の解消や救急搬送における軽症者混在の改善、適正な救急車利用、受診行動につながる	◆ 効果的な電話相談体制の実施	◎	電話対応件数は12,136件（前年比2,007件減）であるが、日常における市民の救急医療や健康に対する不安の解消、また多くの発熱症状等の相談により適正な救急車利用に繋げることができた。適正な救急車利用、受診行動に繋げるため、事業を継続する。
			誰	医療や健康に不安を持つ市民	◇ 電話対応件数	◎	
			何	健康・医療に関するあらゆる相談への専門家による電話対応が24時間体制で確保される	7,291（千円）	現状維持	
038-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

038-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
038-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
038-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
038-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
038-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020413
		施策	13	公的医療保険の安定運営	本冊ページ　57
	関連個別計画		津市第3期国民健康保険特定健康診査等実施計画		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（番号）			039 ～ 040		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
039	国民健康保険においては、平成30年（2018年）度から三重県が財政運営の責任主体として、市町ごとの標準保険料率の算定や財政安定化基金の設置・運営などを行い、安定した財政運営を推進するなか、本市では、三重県の算定した標準保険料率等を参考に適正な保険料率を決定し、収納対策の強化を行うとともに、特定健康診査等の保健事業を行い被保険者の健康状態の改善に努め、ジェネリック医薬品の推奨など医療費の適正化を推進することで、安心して医療を受けられるよう健全な事業運営を行います。	A	①	保険医療助成課
040	三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、健康診査の推進や収納対策の強化などを行い、後期高齢者医療制度の安定した運営を推進します。	B	①	保険医療助成課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	国民健康保険及び後期高齢者医療保険については保険料未納者への電話催告やコンビニエンスストアでの保険料の収納代理を実施するとともに、国民健康保険事業においては生活習慣病予防に繋がるよう特定健康診査や保健指導を、後期高齢者医療保険事業においては医療機関の窓口自己負担割合の見直しを実施するなど、公的医療保険の安定運営に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020413039
		施策	13	公的医療保険の安定運営	本冊ページ　57
	関連個別計画		津市第3期国民健康保険特定健康診査等実施計画（平成30年度～令和5年度）		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			039	国民健康保険においては、平成30年（2018年）度から三重県が財政運営の責任主体として、市町ごとの標準保険料率の算定や財政安定化基金の設置・運営などを行い、安定した財政運営を推進するなか、本市では、三重県の算定した標準保険料率等を参考に適正な保険料率を決定し、収納対策の強化を行うとともに、特定健康診査等の保健事業を行い被保険者の健康状態の改善に努め、ジェネリック医薬品の推奨など医療費の適正化を推進することで、安心して医療を受けられるよう健全な事業運営を行います。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
039-1	徴収委託事業 / 保険医療助成課	保険料未納者に対する電話催告業務及び納付者の利便性向上のためのコンビニエンスストアでの収納代理業務の委託	効	未納を認識し保険料支払いの場所や時間の制限が軽減される	◆ 保険料納付環境の確保	○	事業に係る納付件数、納付額は、前年比同水準または増となった。納付環境の確保・充実を図ることで、収納対策としても一定の成果を上げることができた。引き続き、保険料納付環境の確保に努める。
			誰	保険料納付義務者	◇ 架電・納付件数	◎	
			何	保険料を納付しやすくなる	11,354（千円）	現状維持	
039-2	保険給付事業 / 保険医療助成課	療養給付費、高額療養費、出産育児一時金等の給付	効	疾病、負傷、出産等に関する経済的負担が軽減される	◆ 適切な給付の実施	◎	療養給付費、高額療養費、出産育児一時金等について、請求、申請に基づき適切に給付し、被保険者等の負担軽減に資することができた。引き続き、適正な給付に努める。
			誰	国民健康保険被保険者等	◇ 給付実績	◎	
			何	必要な保険給付を受けることができる	18,080,140（千円）	現状維持	
039-3	特定健診・特定保健指導事業 / 保険医療助成課	40歳から74歳の被保険者に対する特定健康診査及び一定の基準のもと抽出された対象者に対する保健指導の実施	効	生活習慣病の発症や重症化予防のために行動することができる	◆ 特定健診、特定保健指導の実施	○	特定健診受診率向上や特定保健指導実施率向上のため様々な取り組みを行ったが、どちらも目標値には達しなかった。引き続き、特定健診受診率向上と特定保健指導利用率向上に向けて取り組む。
			誰	国民健康保険被保険者	◇ 令和4年度目標値：特定健診受診率56%、特定保健指導実施率50%	△	
			何	特定健診を受診することで自らの体の変化に気づき、生活習慣病予防のための取組を実践するきっかけとなる	197,776（千円）	現状維持	
039-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
039-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

039-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
039-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
039-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
039-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
039-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020413040
		施策	13	公的医療保険の安定運営	本冊ページ　57
	関連個別計画				
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			040	三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、健康診査の推進や収納対策の強化などを行い、後期高齢者医療制度の安定した運営を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
040-1	後期高齢者医療事業 / 保険医療助成課	県後期高齢者医療広域連合を保険者とする医療制度の運営に要する負担金等	効	後期高齢者医療制度の安定的な運営	◆ 相応分の負担の実施	○	医療機関の窓口自己負担割合の見直し（2割負担）を行った。今後も被保険者数の急激な増加が見込まれ、引き続き三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険事業を推進する。
			誰	後期高齢者医療被保険者	◇ 後期高齢者医療制度の安定的な運営	○	
			何	後期高齢者医療制度の安定したサービスを受けることができる	7,071,134（千円）	現状維持	
040-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
040-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
040-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
040-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

040-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
040-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
040-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
040-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
040-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030514
		施策	14	防災・減災施策の強化	本冊ページ	61
	関連個別計画		津市地域防災計画、津市耐震改修促進計画			
担当部局			危機管理部、都市計画部、教育委員会			
施策の内容（番号）			041	～	043	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
041	防災力の強化に向け、地域ぐるみで行われる防災訓練への支援や小中学校における防災教育などに積極的に取り組み、自助・共助・公助が相互に連携し、地域の実情に応じた終わりなき災害対応力の強化を推進します。	B	①	防災室
042	避難体制の強化に向け、迅速・的確な避難行動につながる情報伝達体制づくりを推進するとともに、自主防災組織が主体となった避難計画の作成や避難所の運営体制づくりなどを支援します。	A	①	防災室
043	木造住宅などの耐震化に向け、耐震診断や耐震補強の支援制度の利用促進・拡充に向けて取り組みます。	B	①	防災室/建築指導課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	洪水・土砂災害ハザードマップの作成や自主防災組織への補助、災害時の対応力向上のための業務委託による水防対策、耐震補強工事に係る計画作成費用・工事費用（又は除却費用）に対する補助を行うとともに、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅に係る耐震診断を無料で実施するなど、防災・減災施策の強化に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030514041
		施策	14	防災・減災施策の強化	本冊ページ	61
	関連個別計画		津市地域防災計画			
担当部局			危機管理部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			041	防災力の強化に向け、地域ぐるみで行われる防災訓練への支援や小中学校における防災教育などに積極的に取り組み、自助・共助・公助が相互に連携し、地域の実情に応じた終わりなき災害対応力の強化を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
041-1	地域防災力強化推進事業	自主防災活動を活性化し、地域防災力を向上させるため、防災資機材整備、研修会及び訓練に対する補助	効	防災資機材の整備や防災活動を行うことができる	◆ 地域防災力の強化	○	令和4年度の補助実績率は当初予算額の87%となり、地域の防災力の強化を行えたと考えられるが、申請が少ない地域もあるため、今後も事業啓発に努め、申請件数の増加を目指す。
			誰	自主防災会	◇ 補助実績率	○	
	防災室		何	効果的な防災活動を行うことができ、地域の被害軽減に繋げる	15,230（千円）	現状維持	
041-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
041-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
041-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
041-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

041-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
041-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
041-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
041-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
041-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード　030514042
		施策	14	防災・減災施策の強化	本冊ページ　61
	関連個別計画		津市地域防災計画		
担当部局			危機管理部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			042	避難体制の強化に向け、迅速・的確な避難行動につながる情報伝達体制づくりを推進するとともに、自主防災組織が主体となった避難計画の作成や避難所の運営体制づくりなどを支援します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
042-1	土砂災害ハザードマップ作成事業 / 防災室	土砂災害警戒区域の啓発としての土砂災害ハザードマップの作成	効	地域住民の避難開始の基準づくりや避難方法の確立	◆ 土砂災害計画区域の情報伝達	◎	土砂災害ハザードマップを活用し住民等に危険度の周知を行うとともに、地区防災計画の策定や避難訓練に対する支援を行うほか、土砂災害避難施設等の更なる確保に努めます。また、住民に対して、大雨警報（土砂災害）が発表された場合、あらかじめ指定した土砂災害避難施設等に避難するよう啓発します。
			誰	市、地域住民	◇ 住民への周知	○	
			何	災害時の迅速かつ安全に避難するため	257（千円）	拡充・充実	
042-2	洪水ハザードマップ作成事業 / 防災室	新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの作成	効	地域住民の避難開始の基準づくりや避難方法の確立	◆ 浸水想定区域の情報伝達	◎	ハザードマップ等を作成し地域の危険性の周知に努め、地域住民は、それらを活用し地域の災害特性を把握します。また、近年全国各地で発生している水害・土砂災害はハザードマップで指摘された箇所で発生している事例が多く、ハザードマップを有効活用した避難行動の啓発等を強化します。今後、最新の被害想定が発表された場合はハザードマップを順次最新のものに更新し、改めて地域住民に周知を行います。
			誰	市、地域住民	◇ 住民への周知	○	
			何	災害時の迅速かつ安全に避難するため	1,477（千円）	拡充・充実	
042-3	水防対策支援サービス委託事業 / 防災室	出水期に風水害の情報を民間気象事業者から提供を受けて、適切なタイミングで避難情報等が発令できる等、災害時の対応力の向上を目的とした業務委託	効	解析雨量や台風情報等の気象情報を事前に把握することができる	◆ 的確かつ効率的な体制確保	◎	注警報発表時において的確・効率的な体制をとることができたため、「◎」とした。今後は、台風時等の相当の被害が発生しうる場合の効果的な活用を検証していく。
			誰	市災害対策本部職員	◇ 的確かつ効率的な体制確保と迅速な意思決定の実施	○	
			何	解析情報等を基にした適切な体制確保、災害対策を実施することができる	1,320（千円）	現状維持	
042-4	地域防災力強化推進事業 / 防災室	自主防災活動を活性化し、地域防災力を向上させるため、防災資機材整備、研修会及び訓練に対する補助	効	防災資機材の整備や防災活動を行うことができる	◆ 地域防災力の強化	○	令和4年度の補助実績率は当初予算額の87%となり、地域の防災力の強化を行えたと考えられるが、申請が少ない地域もあるため、今後も事業啓発に努め、申請件数の増加を目指す。
			誰	自主防災会	◇ 補助実績率	○	
			何	効果的な防災活動を行うことができ、地域の被害軽減に繋げる	15,230（千円）	現状維持	
042-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

042-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
042-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
042-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
042-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
042-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード　030514043
		施策	14	防災・減災施策の強化	本冊ページ　61
	関連個別計画			津市地域防災計画、津市耐震改修促進計画（令和3年度～令和7年度）	
担当部局				危機管理部、都市計画部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			043	木造住宅などの耐震化に向け、耐震診断や耐震補強の支援制度の利用促進・拡充に向けて取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容		事業の目的	事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
043-1	家具等転倒防止対策事業	防災室	家具等の固定に対する補助及び啓発事業	効	家具等の固定を行う	◆ 10件分の補助	△	本事業は、業者作業による家具固定作業に対する補助金のため、R4年は新型コロナウイルスの影響により、人との接触を避ける風潮であったため、業者への依頼が減少し、これに比例し、当該補助金の活用が減少したと考えられる。新型コロナウイルスの規制が解除され、影響が少なくなった場合申請が増加すると考えられるため、現状維持とした。
				誰	市民の方々が	◇ 補助金活用率	△	
				何	地震による家具等の転倒及び移動に起因する圧死、負傷等の被害を減少させる	10（千円）	現状維持	
043-2	木造住宅無料耐震診断住宅訪問事業	建築指導課	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅を対象とし、戸別訪問により耐震診断に関する啓発及び知識の普及を図る事業	効	耐震化への機運が醸成される	◆ 訪問啓発を4,000戸行う	◎	計画どおり実施できたため「◎」とした。戸別訪問等の方法による直接的な普及啓発を行い、耐震診断・補強等必要な情報の提供を行っていく。
				誰	旧耐震基準木造住宅の所有者	◇ 訪問啓発により耐震診断を受診するに至った件数	◎	
				何	耐震診断を受診する	2,860（千円）	現状維持	
043-3	木造住宅耐震診断等事業	建築指導課	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の耐震診断等業務委託	効	同住宅の耐震診断の受診を検討する	◆ 耐震診断を365件実施する	○	申込想定を下回ったが概ね計画どおり実施できたため「○」とした。啓発活動に加えて、耐震診断への支援を行い、耐震化の促進を図っていく。
				誰	同住宅の所有者	◇ 耐震診断を受診した件数	◎	
				何	耐震診断を受診する	15,198（千円）	現状維持	
043-4	木造住宅耐震補強計画作成補助事業	建築指導課	耐震診断結果に基づく耐震補強工事を行うための計画作成費用に対する補助	効	同住宅の耐震補強計画の作成を検討する	◆ 9件補助を行う	◎	計画どおり実施できたため「◎」とした。啓発活動に加えて、耐震補強計画作成への支援を行い、耐震化の促進を図っていく。
				誰	同住宅を所有する市民	◇ 補強計画を作成した件数	◎	
				何	耐震補強計画を作成する	2,066（千円）	現状維持	
043-5	木造住宅耐震補強補助事業	建築指導課	耐震診断結果に基づく耐震補強工事に対する補助	効	同住宅の耐震補強工事を検討する	◆ 9件補助を行う	◎	計画どおり実施できたため「◎」とした。啓発活動に加えて、耐震補強工事への支援を行い、耐震化の促進を図っていく。
				誰	同住宅を所有する市民	◇ 耐震補強工事を行った件数	◎	
				何	耐震補強工事を行う	10,575（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

043-6	木造住宅除却補助事業	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅のうち、耐震診断の結果、評点が0.7未満の木造住宅等の除却工事に対する補助	効	同住宅の除却・建替えを検討する	◆ 125件補助を行う	◎	計画どおり実施できたため「◎」とした。耐震性能がない旧耐震基準木造住宅の除却・建替えを促進するため、木造住宅除却補助事業を強く推進していく。
			誰	同住宅の所有者	◇ 除却を行った件数	◎	
	建築指導課		何	除却を行う	37,718（千円）	現状維持	
043-7	避難路沿道建築物耐震診断補助事業	第一次緊急輸送道路沿道に建つ旧耐震建築物の耐震診断費用に対する補助	効	旧耐震基準建築物の耐震診断の受診を検討する	◆ 補助を行う	×	実績がなかったため「×」とした。法により、所有者に対して、耐震診断の実施及び所管行政庁への結果の報告が義務付けられており、繰り返し診断等の実施を指導していく。
			誰	同建築物の所有者	◇ 耐震診断の受診の有無	×	
	建築指導課		何	耐震診断を受診する	0（千円）	拡充・充実	
043-8	避難路沿道建築物耐震補強計画作成補助事業	第一次緊急輸送道路沿道に建つ旧耐震建築物の耐震補強計画作成費用に対する補助	効	同建築物の耐震補強計画の作成を検討する	◆ 補助を行う	×	実績がなかったため「×」とした。避難路沿道建築物について、耐震化に取り組むこととし、耐震補強計画等の実施に必要な費用を負担する。
			誰	同建築物の所有者	◇ 補強計画の作成の有無	×	
	建築指導課		何	耐震補強計画を作成する	0（千円）	拡充・充実	
043-9	ブロック塀等撤去改修補助事業	道路に面するブロック塀等の撤去・改修費用に対する補助	効	ブロック塀等の撤去改修を検討する	◆ 70件補助を行う	△	実績は計画を下回ったため「△」とした。ブロック塀等の所有者に日常点検のお願いや補助金活用に関して、より一層の周知、啓発に努めていく。
			誰	ブロック塀等の所有者	◇ ブロック塀等の撤去改修を行った件数	◎	
	建築指導課		何	ブロック塀等の撤去改修を行う	5,122（千円）	現状維持	
043-12			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	C	B					
今後の方向性	②	③	②	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード　030515
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ　61
	関連個別計画		津市地域防災計画、津市立地適正化計画、津市耐震改修促進計画、第2次津市水道事業基本計画、津市下水道事業基本計画、津市雨水管理総合計画、下水道総合地震対策計画		
担当部局			危機管理部、市民部、健康福祉部、農林水産部、都市計画部、建設部、上下水道事業局		
施策の内容（番号）			044	～	049

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
044	国が管理する雲出川については、雲出川水系全体の整備状況を勘案し、事業進捗に遅れが出ることなく、地域間のバランスの取れた治水安全度の向上が図られるよう国に強く働きかけます。	B	①	事業調整室
045	県管理河川については、計画的な整備・改修を進めることに加え、しゅんせつ等の適切な維持管理を行うよう三重県に対し強く働きかけるとともに、本市が管理する準用河川や調整池などについても、修繕等の適切な維持管理、下流河川の排水能力や地域特性に応じた取組を行うことで、治水対策を推進します。	A	①	河川排水推進室/南北工事事務所/事業調整室
046	海岸堤防については、発生が予想される南海トラフ地震や台風時の高潮から市民のいのちと財産を守るため、栗真町屋工区や阿漕浦・御殿場工区の早期の整備完了を促進し、また、津北部地域における海岸堤防については、漁港堤防と一体的に整備を促進するよう国・県の関係機関に対して強く働きかけます。	B	①	事業調整室
047	土砂流出や急傾斜地の崩壊による災害から市民のいのちと財産を守るため、砂防・急傾斜地崩壊対策の促進を図るとともに、土砂災害警戒区域に指定された区域内での災害情報の伝達や素早い避難が可能となる警戒・避難体制の整備を進めます。	A	①	防災室/開発指導室/河川排水推進室
048	道路や橋りょう、排水機場、水道・下水道施設などのインフラの整備や耐震化を推進します。	B	①	地域連携課/林業振興室/建築指導課/建設整備課/南北工事事務所/水道工務課/下水道工務課/水道施設課/下水道施設課
049	災害リスクに対応した防災上安全性の高い区域へ都市機能や居住の誘導を図る土地利用の促進や津波浸水が想定される区域における民間施設や公共施設を活用した津波避難ビル・津波避難協力ビルの確保など、災害に強いまちづくりを進めます。	A	①	防災室/地域医療推進室/都市政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	国・県が管理する河川等については計画的な整備・改修等を要望し、市が管理する河川等については浚渫や改修工事等による適正な維持管理に努めるとともに、各公共施設・地域インフラの整備や耐震化、土砂災害ハザードマップの作成、大規模盛土造成地調査、大規模災害発生時の医療救護所開設に備えた医薬品等の備蓄を行うなど、災害に強いまちづくりに向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515044
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	61
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			044	国が管理する雲出川については、雲出川水系全体の整備状況を勘案し、事業進捗に遅れが出ることなく、地域間のバランスの取れた治水安全度の向上が図られるよう国に強く働きかけます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
044-1	三重県雲出川治水事業促進期成同盟会	一級河川雲出川河川改修事業の促進及び事業費の確保並びに雲出川の直轄事業の継続について、関係機関への要望活動を実施する	効	一級河川雲出川における治水事業の促進	◆ 時宜を捉えて適宜要望活動を実施	○	国によって、河道掘削や堤防整備などが行われた。引き続き予算確保に向けた要望活動を行う。
			誰	雲出川流域の住民	◇ 国事業の進捗	○	
	事業調整室		何	安心・安全な生活を送る	296（千円）	現状維持	
044-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
044-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
044-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
044-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

044-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
044-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
044-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
044-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
044-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515045
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	61
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			045	県管理河川については、計画的な整備・改修を進めることに加え、しゅんせつ等の適切な維持管理を行うよう三重県に対し強く働きかけるとともに、本市が管理する準用河川や調整池などについても、修繕等の適切な維持管理、下流河川の排水能力や地域特性に応じた取組を行うことで、治水対策を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
045-1	緊急浚渫対策事業 / 河川排水推進室	緊急浚渫対策事業債を活用した、浸水対策のための河川の浚渫工事	効	浸水対策の促進	◆ 6河川の浚渫	○	河川の浚渫を行ったことで浸水対策が図られ、安心・安全な暮らしを確保することができたため「◎」とした。今後も継続して実施していく。
			誰	河川流域の住民	◇ 河道断面の確保	◎	
			何	安心・安全な暮らしを送る	34,236（千円）	現状維持	
045-2	雨水対策事業（河川等改修） / 河川排水推進室	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、河川等の改修工事	効	浸水対策の促進	◆ 6河川の改修	○	河川等の改修を行ったことで浸水対策が図られ、安心・安全な暮らしを確保することができたため「◎」とした。今後も継続して実施していく。
			誰	河川流域の住民	◇ 河川管理施設の整備	◎	
			何	安心・安全な暮らしを送る	105,065（千円）	現状維持	
045-3	河川等維持事業 / 南北工事事務所	準用河川等のしゅんせつ、除草、修繕等の維持管理	効	適正な河川施設の維持管理を行う	◆ 施設の適正な維持管理	◎	河川の土砂しゅんせつ等を行うことにより、降雨時における河川の排水能力を高め、河川の氾濫等による浸水被害の低減を図ることができた。引き続き、河川の維持保全等に努め、緊急性の高い箇所より順次進めていく。
			誰	市内外の人々が	◇ 地域住民の安心感等	◎	
			何	地域特性に応じた河川施設の維持管理を行う	123,977（千円）	現状維持	
045-4	要望活動 / 事業調整室	県管理河川の改修事業の推進、計画的なしゅんせつを、県政要望などにより要望活動を実施	効	県管理河川における治水事業の促進	◆ 時宜を捉えて適宜要望活動を実施	○	県によって、河道掘削や浚渫などが行われた。引き続き予算確保に向けた要望活動を行う。
			誰	県管理河川流域の住民	◇ 県事業の進捗	○	
			何	安心・安全な生活を送る	0（千円）	現状維持	
045-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

045-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
045-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
045-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
045-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
045-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード　030515046
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ　61
	関連個別計画				
担当部局			農林水産部、建設部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			046	海岸堤防については、発生が予想される南海トラフ地震や台風時の高潮から市民のいのちと財産を守るため、栗真町屋工区や阿漕浦・御殿場工区の早期の整備完了を促進し、また、津北部地域における海岸堤防については、漁港堤防と一体的に整備を促進するよう国・県の関係機関に対して強く働きかけます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
046-1	要望活動 / 事業調整室	津北部地域のうち県土整備部所管の海岸堤防の早期整備を、県政要望などにより要望活動を実施	効	津北部地域海岸における海岸事業の促進	◆ 時宜を捉えて適宜要望活動を実施	○	県によって、工事に向けた調査、測量や堤防工事が行われた。引き続き予算確保に向けた要望活動を行う。
			誰	津北部地域海岸沿岸住民	◇ 県事業の進捗	○	
			何	安心・安全な生活を送る	0（千円）	現状維持	
046-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
046-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
046-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
046-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

046-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
046-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
046-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
046-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
046-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515047
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	61
	関連個別計画			津市地域防災計画		
担当部局				危機管理部、都市計画部、農林水産部、建設部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			047	土砂流出や急傾斜地の崩壊による災害から市民のいのちと財産を守るため、砂防・急傾斜地崩壊対策の促進を図るとともに、土砂災害警戒区域に指定された区域内での災害情報の伝達や素早い避難が可能となる警戒・避難体制の整備を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
047-1	土砂災害ハザードマップ作成事業	土砂災害警戒区域の啓発としての土砂災害ハザードマップの作成	効	地域住民の避難開始の基準づくりや避難方法の確立	◆ 土砂災害計画区域の情報伝達	◎	土砂災害ハザードマップを活用し住民等に危険度の周知を行うとともに、地区防災計画の策定や避難訓練に対する支援を行うほか、土砂災害避難施設等の更なる確保に努めます。また、住民に対して、大雨警報（土砂災害）が発表された場合、あらかじめ指定した土砂災害避難施設等に避難するよう啓発します。
			誰	市、地域住民	◇ 住民への周知	○	
	防災室		何	災害時の迅速かつ安全に避難するため	257（千円）	拡充・充実	
047-2	宅地耐震化推進事業	大規模盛土造成地調査	効	市内の大規模盛土造成地のより正確な把握ができる	◆ 市内の大規模盛土造成地カルテの検証	○	市内の盛土造成地箇所の周知ができた。 より効果的な事業となるよう、令和5年度から安全性の把握等、盛土造成地箇所の検証等を行っていく。
			誰	対象地域の住民	◇ 現状の把握	○	
	開発指導室		何	市民の生命、財産を守るため	0（千円）	現状維持	
047-3	土砂災害防止事業	土砂災害防止法に伴う対策事業の要望	効	砂防・急傾斜地の崩壊防止対策	◆ 2地区の対策	○	土砂災害防止法に伴う対策事業の要望を行ったことで、急傾斜地崩壊危険個所内の住民の安心・安全な暮らし確保することができたため「◎」とした。今後も継続して要望を実施していく。
			誰	急傾斜地崩壊危険個所内の住民	◇ 急傾斜地崩壊防止施設の整備	◎	
	河川排水推進室		何	安心・安全な暮らしを送る	7,280（千円）	現状維持	
047-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
047-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

047-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
047-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
047-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
047-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
047-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515048
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	62
	関連個別計画		津市耐震改修促進計画（令和3年度～令和7年度）、第2次津市水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市雨水管理総合計画（令和元年度～令和10年度）、下水道総合地震対策計画（令和元年度～令和5年度）			
担当部局			市民部、農林水産部、都市計画部、建設部、上下水道事業局			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			048	道路や橋りょう、排水機場、水道・下水道施設などのインフラの整備や耐震化を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
048-1	地域インフラ維持事業 地域連携課	道路、河川、公園等の地域インフラの維持修繕に関し総合支所長の権限のもと、フレキシブルに対応する事業	効	地域から寄せられるインフラに関する要望に対して、総合支所長の権限で速やかに優先順位を決めて柔軟に対応する	◆ 地域インフラの維持修繕について、単価契約による委託業務及び施設修繕において即時対応を行う	○	自然災害を含む突発的に発生するインフラの被害について、早期の対応が図れた。今後も、必要となる対応を迅速に行っていきたい。
			誰	市民が	◇ 対応件数	○	
			何	安全に道路等のインフラを使用することができる	161,263（千円）	現状維持	
048-2	地域インフラ補修事業 地域連携課	身近な地域の課題や要望の早期解決を図るため、地域への原材料の支給や、総合支所職員による簡易な補修、修繕等の実施	効	地域から寄せられるインフラに関する要望に対して、総合支所長の権限で速やかに優先順位を決めて柔軟に対応する	◆ 迅速、的確かつ柔軟に対応するため、総合支所職員による公共施設の簡易な補修、修繕及び地域への原材料の支給を行う	○	自然災害を含む突発的に発生するインフラの被害について、早期の対応が図れた。今後も、必要となる対応を迅速に行っていきたい。
			誰	市民が	◇ 対応件数	○	
			何	安全に道路等のインフラを使用することができる	23,278（千円）	現状維持	
048-3	林道中畑線開設工事 林業振興室	林道中畑線の開設工事	効	森林所有者等が林道を利用することができる	◆ 完成延長150m	○	R4の完成延長は20mであるが、施工延長は伸びているため、概ね計画どおりに進んでいる。また、R4においても林道中畑線を使用して森林整備を行ったため、事業の成果が表れていると考えられる。県予算等の兼ね合いもあるため、工事の規模は現状維持とする。
			誰	森林所有者等	◇ 周辺の森林の整備状況	◎	
			何	森林施業を効率的に行うことができ、森林整備が促進される	27,445（千円）	現状維持	
048-4	避難路沿道建築物耐震診断補助事業 建築指導課	第一次緊急輸送道路沿道に建つ旧耐震建築物の耐震診断費用に対する補助	効	旧耐震基準建築物の耐震診断の受診を検討する	◆ 補助を行う	×	実績がなかったため「×」とした。法により、所有者に対して、耐震診断の実施及び所管行政庁への結果の報告が義務付けられており、繰り返し診断等の実施を指導していく。
			誰	同建築物の所有者	◇ 耐震診断の受診の有無	×	
			何	耐震診断を受診する	0（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

048-5	避難路沿道建築物耐震補強計画作成補助事業 建築指導課	第一次緊急輸送道路沿道に建つ旧耐震建築物の耐震補強計画作成費用に対する補助	効	同建築物の耐震補強計画の作成を検討する	◆ 補助を行う	×	実績がなかったため「×」とした。避難路沿道建築物について、耐震化に取り組むこととし、耐震補強計画等の実施に必要な費用を負担する。
			誰	同建築物の所有者	◇ 補強計画の作成の有無	×	
			何	耐震補強計画を作成する	0（千円）	拡充・充実	
048-6	舗装維持管理強化事業 建設整備課	国の防災・安全交付金を活用した舗装維持管理計画に基づく路線の予防的かつ計画的な修繕の実施	効	舗装のひび割れ・わだち掘れを修繕し安全性や信頼性を確保した道路サービスが提供できる	◆ 4路線の舗装修繕	○	過年度より舗装修繕を継続的に実施している。令和3年度の補正予算により、重点的に実施できました。令和4年度以降も引き続き補正予算対応を考慮しながら進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 舗装修繕の進捗率	○	
			何	舗装の表面を健全な状態にすることで、安全な走行空間を確保する	185,939（千円）	拡充・充実	
048-7	道路構造物修繕（更新）事業 建設整備課	道路ストックの総点検により、道路施設の異常や損傷を早期に発見し、計画的な修繕を実施	効	損傷した道路施設（法面・道路照明灯）を修繕し安全性や信頼性を確保した道路サービスが提供できる	◆ 1路線の法面修繕	○	令和4年度から1路線の法面修繕の設計業務に着手しました。今後、設計の成果をもとに修繕を実施していく。
			誰	道路利用者	◇ 法面修繕の進捗率	△	
			何	損傷した道路施設を健全な状態にすることで、安全な走行空間を確保する	16,382（千円）	現状維持	
048-8	津興橋大規模更新事業 建設整備課	老朽化した津興橋の架替工事	効	損傷の激しい橋梁を架替えることで安全性が確保できる	◆ 令和8年度の完成	○	平成27年度に架け替え方針を決定し、事業を進めている。令和4年度は旧橋の橋脚6基の撤去が完了し、新橋脚1基の設置と旧橋台の撤去にも着手した。令和8年度の完成を目指し整備を進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	△	
			何	損傷した橋梁を健全な状態にすることで、安全な走行空間を確保する	469,255（千円）	現状維持	
048-9	橋りょう長寿命化修繕事業 建設整備課	国の道路メンテナンス事業補助金を活用し、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び工事の実施	効	定期的な点検により橋梁の損傷状況が把握でき、損傷部位の修繕により安全性や信頼性が確保できる	◆ 長寿命化修繕計画に基づく事業の実施	○	平成26年度以降、全ての橋梁に対し5年に1度の点検を実施している。今後も継続的に点検・修繕を実施していく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	○	
			何	損傷した橋梁を健全な状態にすることで、安全な走行空間を確保する	182,223（千円）	現状維持	
048-10	道路新設改良事業 建設整備課	幹線道路及び生活道路の新設改良工事等	効	道路整備の推進により市域における防災・交通安全・交通円滑化・交流拡大・まちづくりに寄与できる	◆ 8路線の道路改良工事	○	令和4年度に高茶屋小森町第24号線の事業が完了しました。令和5年度以降、新たに3路線に着手していく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	○	
			何	安心・安全な道路空間を確保でき、交流・活力の創出、拠点集約型まちづくりの基礎づくりができる	720,453（千円）	拡充・充実	
048-11	上浜町大谷町第1号線外1路線道路改良事業 建設整備課	大谷踏切の拡幅及び近鉄架道橋拡幅工事	効	狭い踏切道および前後の道路や架道橋の拡幅により、安心・安全な移動空間を確保できる	◆ 令和6年度の完成	○	令和3年度から近鉄と協定を締結し、踏切西側の架道橋工事に着手し引き続き工事を行った。令和6年度の完成を目指し整備を進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	△	
			何	歩行者と自動車の錯綜による事故リスクや交通渋滞を低減することができる	584,442（千円）	現状維持	
048-12	道路等維持修繕事業 南北工事事務所	舗装、側溝等道路施設の維持修繕	効	適正な道路施設の維持管理を行う	◆ 道路施設の維持管理	○	生活基盤である道路施設の維持保全を図ることができた。引き続き、安全で快適な生活環境を保全するため、維持管理を行って行く。
			誰	市内外の人々が	◇ 維持修繕の進捗率	○	
			何	生活基盤である道路施設の維持管理を行う	20,342（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

048-13	環境整備事業	公共下水道事業完了後の道路施設の整備等	効	公共下水道事業完了後の道路施設の整備等を行う	◆ 道路施設の整備等	○	生活基盤である道路施設の維持保全を図ることができた。引き続き、安全で快適な生活環境を保全するため、地元関係者と協議しながら、緊急性の高い箇所から順次改修を進めていく。
			誰	市内外の人々が	◇ 維持管理の進捗率	○	
	南北工事事務所		何	事業完了後の道路施設の維持管理を行う	114,696（千円）	現状維持	
048-14	橋りょう維持事業	橋りょうの修繕工事	効	橋りょうの安全性を確保するため修繕を行う	◆ 橋りょうの修繕	○	生活基盤である道路施設の維持保全を図ることができた。引き続き、安全で快適な生活環境を保全するため、緊急性の高い箇所から順次改修を進めていく。
			誰	市内外の人々が	◇ 維持管理の進捗率	○	
	南北工事事務所		何	橋りょうの安全性、信頼性を確保するため維持管理を行う	1,224（千円）	現状維持	
048-15	建設改良事業	老朽管更新、管網整備工事	効	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続ける	◆ 計画に基づき実施	○	基幹管路の管路更新に限り計画を下回っているものの、管路全体では計画を上回る管路更新が行われている。 優先順位を検討し、計画的に管路更新を行っていく。
			誰	水道利用者が	◇ 利用者の意見	○	
	水道工務課		何	安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	2,370,065（千円）	現状維持	
048-16	汚水管渠維持管理事業	不明水対策等管更生工事・公共ます設置工事	効	下水道管等に流入する不明水によって起こる汚水の排水不良を防ぐ	◆ 不明水対策計画に基づき実施　4件	◎	計画していた工事すべて完成したことから「◎」とした。引き続き不明水対策を実施していく。
			誰	公共下水道使用者	◇ 不明水対策等管更生工事件数	◎	
	下水道工務課		何	安定した公共下水道の使用	129,023（千円）	現状維持	
048-17	汚水管渠建設事業	汚水幹線等築造工事等	効	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の公共下水道への接続	◆ 津市下水道事業基本計画に基づき実施	○	令和4年度末における下水道処理人口普及率は54.4%であり、未普及対策を進める必要がある。特に平成30年4月に供用開始となった志登茂川処理区における汚水整備を中心に事業推進を図る必要がある。
			誰	公共下水道使用者、市内外の人々	◇ 処理区域面積	○	
	下水道工務課		何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	2,287,557（千円）	現状維持	
048-18	雨水管渠建設事業	雨水幹線築造工事等	効	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除	◆ 雨水管理総合計画に基づき実施	○	計画区域の整備を進められており、ある程度の効果が認められるものとして「○」とした。
			誰	市内外の人々が	◇ 整備面積	○	
	下水道工務課		何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	1,344,130（千円）	現状維持	
048-19	水道施設耐震化事業	災害対策事業として、浄化施設耐震補強工事、緊急遮断弁設置工事及び耐震二次診断業務委託等	効	災害に強い施設整備	◆ 第2次津市水道事業基本計画	○	今後の県水切替えに伴う施設統廃合も考慮し、耐震診断において補強が必要と判断された施設は、基幹施設を優先して耐震化を進めていく。
			誰	使用者が	◇ 第2次津市水道事業基本計画による計画的な実施	○	
	水道施設課		何	安心安全な生活が維持できる	10,300（千円）	現状維持	
048-20	雨水対策事業（排水機場等改修）	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、浸水対策のための排水機場等の改修工事	効	安心安全なまちづくりの推進を図る	◆ 緊急自然災害防止対策事業債	○	今年度は事業基準の対象外であるため、国庫補助を活用して改修工事実施、今後基準対象の施設については改修工事を行う。
			誰	市民の	◇ 緊急自然災害防止対策事業債による計画的な実施	○	
	下水道施設課		何	浸水対策のため	0（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

048-21	建設改良事業 下水道施設課	浄化施設整備工事、排水施設整備工事等	効	安心安全なまちづくりの推進を図る	◆ 下水道総合地震対策計画	○	総合地震計画に基づき耐震補強工事を進める。
			誰	使用者が	◇ 下水道総合地震対策計画による計画的な実施	○	
			何	安心安全な生活が維持できる	0（千円）	拡充・充実	
048-22			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
048-23			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
048-24			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
048-25			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	②	②	②	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515049
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	62
	関連個別計画		津市地域防災計画、津市立地適正化計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			危機管理部、健康福祉部、都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			049	災害リスクに対応した防災上安全性の高い区域へ都市機能や居住の誘導を図る土地利用の促進や津波浸水が想定される区域における民間施設や公共施設を活用した津波避難ビル・津波避難協力ビルの確保など、災害に強いまちづくりを進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
049-1	津波避難ビル・津波避難協力ビル指定事業 / 防災室	津波から避難する際に、逃げ遅れた人など、どうしても遠くまで避難できない人に少しでも安全な高い場所を確保するためのビル等の指定	効	津波から緊急的に一時避難することが可能になる	◆ 適宜ビル等の指定を追加※指定済100件（令和4年度末時点）	○	ビルの追加指定はなかったが、現状維持ができたため○とした。津波により、逃げ遅れた地域住民等が、緊急かつ一時的に安全を確保するためにビルの指定を拡充し、充実を図りたい。
			誰	地域住民や市内に滞在する方が	◇ 利用者の意見（安心感、満足度等）	○	
			何	津波避難ビル等を活用し、津波被害から人命を守る	0（千円）	拡充・充実	
049-2	災害医療体制整備事業 / 地域医療推進室	大規模災害発生時の医療救護所開設に備えた医薬品等の備蓄	効	応急処置等の適切な医療行為を受けることができる	◆ 適切な医薬品等の備蓄の確保	◎	備蓄中の医療品等について、使用期限を迎える前に新たな物品への更新を行った。災害時における医薬品等の供給体制を維持するため、事業を継続する。
			誰	大規模災害時に負傷した市民	◇ 医療品等の備蓄・更新	◎	
			何	医療救護所での受入れ体制が確保される	417（千円）	現状維持	
049-3	届出制度 / 都市政策課	災害リスクの高い区域以外への都市機能及び居住の誘導を図るための届出制度	効	届出制度を活用し、災害リスクの高い区域以外への都市機能及び居住の誘導を図る	◆ 令和9年度居住誘導区域内の人口密度44人/ha	○	実施評価、事業評価については届出制度の活用により事業者、市民への計画の周知が図られ、令和9年度の目標に対しての一定の水準は満たされている（人口密度44.1人/ha、都市機能誘導区域内の誘導施設充足）と考えられるため、左記の評価とした。 今後の方向性については令和7年度～令和9年度に計画の見直しを予定しているため、左記の方向性とした。
			誰	事業者、市民	◇ 行きたい場所が集約された利便性の高い拠点づくり、近距離圏で安心して生活ができる魅力的な居住地づくり、主要な公共交通ネットワークの維持	○	
			何	意識の醸成を図る	0（千円）	現状維持	
049-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

049-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
049-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
049-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
049-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
049-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード　030516
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ　62
	関連個別計画		第3次津市消防力整備計画		
担当部局			消防本部		
施策の内容（番号）			050	～	053

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
050	消防力の強化に向け、老朽化した消防庁舎の整備や消防車両、施設等の更新を含む適正配置を行うとともに、大規模災害に備えた全国からの消防応援の受入態勢を充実します。	A	①	消防総務課/消防救急課/通信指令課
051	救急救命士の計画的な養成を図るとともに、あらゆる災害に柔軟かつ的確に対応できる消防隊員の人材育成を行います。	A	①	消防救急課
052	消防団員の災害対応力の向上、人材の確保による消防団の活性化を図り、地域の消防力を強化します。	A	①	消防団統括室
053	市民の防火意識の高揚を促し、住宅防火対策をさらに促進するとともに、重大な消防法令違反の是正指導を強化します。	A	①	予防課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	北消防署の整備に係る工事や鈴鹿市及び亀山市との消防指令センターの共同運営に係る検討会の実施、救急自動車の購入や救命救急士の養成のための研修の実施、消防団車両の購入などとともに、消防法令違反建築物に対する是正指導を強化するなど、消防力の強化に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード　030516050
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ　62
	関連個別計画			第3次津市消防力整備計画（平成30年度～令和9年度）	
担当部局				消防本部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			050	消防力の強化に向け、老朽化した消防庁舎の整備や消防車両、施設等の更新を含む適正配置を行うとともに、大規模災害に備えた全国からの消防応援の受入態勢を充実します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
050-1	消防庁舎整備事業	北消防署の整備工事	効	消防庁舎を整備することにより、消防力の強化を図る	◆ 北消防署整備に係る関連工事	◎	第三次津市消防力整備計画に基づき建築工事に着手した。今後、令和5年度末の整備完了を目指して事業を推進する。
			誰	市民	◇ 適切な工事	◎	
	消防総務課		何	安全と安心の確立	262,404（千円）	拡充・充実	
050-2	消防車両購入事業	救急自動車の購入	効	救急車を要請した傷病者に必要な処置を実施、医療機関へ搬送する	◆ 救急自動車の購入	◎	第三次津市消防力整備計画に定めた更新基準に基づき更新したもの。今後も当該計画基づき更新していく。
			誰	傷病者	◇ 傷病者に必要な処置を実施、医療機関へ搬送する	◎	
	消防救急課		何	迅速に医療機関へ搬送する	25,836（千円）	拡充・充実	
050-3	消防指令センター共同運用基礎調査	消防指令センター共同運用基礎調査（津市、鈴鹿市及び亀山市）	効	災害情報の一元化、大規模災害時の円滑な応・受援体制の確立、整備費用の低廉化	◆ 消防指令業務共同運用に係る法定協議会の設立、検討会の実施	◎	令和4年度は、当該事業に係る法定協議会を事業計画どおり設立するとともに、より詳細な検討を3市で進めることができた。 今後も事業推進に向けて、実施設計、関連工事の発注準備に適切に取り組む。
			誰	市民	◇ 消防指令業務共同運用の推進	◎	
	通信指令課		何	地域全体の消防力の強化	284（千円）	拡充・充実	
050-4	部隊装備の充実	本市の緊急消防援助隊に係る装備等の整備	効	大規模災害等発生時の現場指揮本部、隊員の活動拠点、被災者の応急救護所等に活用	◆ 拠点機能形成車（無償使用車両）の配備	△	拠点機能形成車（国からの無償使用車両）の配備が遅れており、積載資機材だけが先に配備されたため、現在は当該資機材のみ運用している。 当該車両が配備され次第、正式に運用する。
			誰	災害へ対応する隊員、被災者等	◇ 災害へ対応する隊員、被災者等のために使用	○	
	消防救急課		何	大規模災害等発生時、各消防部隊の機能を発揮させたり、被災者を救護したりするため	0（千円）	拡充・充実	
050-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

050-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
050-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
050-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
050-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
050-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	A	A					
今後の方向性	①	①	②	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516051
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画					
担当部局			消防本部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			051	救急救命士の計画的な養成を図るとともに、あらゆる災害に柔軟かつ的確に対応できる消防隊員の人材育成を行います。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
051-1	救急救命士養成研修事業	救急救命士養成のための研修	効	救命率の向上	◆ 救急車に搭乗する実働救急救命士の確保	◎	救急救命士の計画的な養成を達成できた。今後も計画的に救急救命士を養成していく。
			誰	市民のため	◇ 救急救命士の実働人数	◎	
	消防救急課		何	専門的知識及び技術を持つ救急救命士を養成する	4,692（千円）	拡充・充実	
051-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
051-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
051-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
051-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

051-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
051-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
051-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
051-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
051-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516052
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画					
担当部局			消防本部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			052	消防団員の災害対応力の向上、人材の確保による消防団の活性化を図り、地域の消防力を強化します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
052-1	消防団施設整備事業 / 消防団統括室	消防団車両の購入	効	消防団車両を更新配備して、消防力の強化を図る	◆ 第三次津市消防力整備計画に基づき更新する	◎	第三次津市消防力整備計画に基づき、芸濃方面団ささゆり分団広報車を更新した。今後も当該計画に基づき、消防団車両の充実を図っていく。
			誰	市民	◇ 車両整備の実績	◎	
			何	安全・安心を守る	2,706（千円）	拡充・充実	
052-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
052-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
052-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
052-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

052-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
052-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
052-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
052-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
052-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516053
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画					
担当部局			消防本部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			053	市民の防火意識の高揚を促し、住宅防火対策をさらに促進するとともに、重大な消防法令違反の是正指導を強化します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
053-1	消防法令違反是正強化事業	市内の重大な消防法令違反建築物に対する是正指導を強化する	効	市内の防火対象物を利用する者が、安心して使用できる	◆ 市内の重大な消防法令違反建築物に対する是正指導の強化	◎	重点的に重大違反対象物を査察、是正指導するとともに、違反是正研修受講者が効果的にサポートすることで、年度内に重大違反防火対象物21施設の是正が図れた。 今後も、重大違反対象物の是正指導を強化する。
			誰	市内防火対象物の利用者	◇ 改善状況等	○	
	予防課		何	安心して使用できる	27（千円）	現状維持	
053-2	住宅防火対策推進事業	住宅防火対策を促進する	効	市内に居住する高齢者等の火災時の逃げ遅れを防ぐことができる。	◆ 住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の呼びかけ	◎	火災予防運動等でのポスター掲示や、広報津、津市HP、津市FBの活用、津まつり等のイベントでの広報、職員が住警器調査を兼ねて戸別訪問することによる広報などを実施した。その結果、住宅火災は前年比2件増加したが、自損を除く死者数は前年比1人減少した。 今後も住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の広報を促進する。
			誰	市内居住の高齢者等	◇ 設置状況等	○	
	予防課		何	火災時の逃げ遅れを防ぐことができる	875（千円）	現状維持	
053-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
053-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
053-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

053-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
053-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
053-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
053-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
053-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030617
		施策	17	防犯対策と消費者保護の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（番号）			054	～	056	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
054	警察等関係機関や各種防犯活動団体との連携のもと、防犯施設の整備、防犯活動の支援、防犯啓発活動を実施し、地域の防犯力を高めます。	A	①	市民交流課
055	市民や暴力追放に取り組む各種団体や機関と連携し、あらゆる暴力行為の追放を推進します。	A	①	地域連携課/市民交流課
056	多様化・巧妙化する悪質商法等の被害に遭わないようにするための対策や悪質商法等の手口、消費者を守る制度等の積極的な情報提供をはじめ、あらゆる世代に対する消費者教育を推進するとともに、消費生活センターの相談体制を充実させます。	A	①	市民交流課/地域連携課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	集落間の通学路等への防犯灯の整備や自治会等が設置する防犯灯及び防犯カメラに対する補助を実施することにより防犯対策を推進するとともに、司法書士や弁護士による相談会や市民アンケート等の実施、消費生活センターにおける相談業務や啓発事業など、消費者保護の強化に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030617054
		施策	17	防犯対策と消費者保護の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			054	警察等関係機関や各種防犯活動団体との連携のもと、防犯施設の整備、防犯活動の支援、防犯啓発活動を実施し、地域の防犯力を高めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
054-1	集落間防犯灯設置事業 / 市民交流課	集落間の通学路等に、環境に配慮したLED防犯灯の整備	効	通学路等の防犯対策となる	◆ 要望のある箇所への集落間防犯灯の設置	◎	地元より要望のあった箇所に集落間防犯灯を設置することで、地域の防犯力向上に資することが出来た。引き続き明るく安全安心なまちづくりに取り組んでいきたい。
			誰	市民が	◇ 要望に対する設置数	◎	
			何	夜道を安心して通れる	272（千円）	現状維持	
054-2	防犯灯設置補助事業 / 市民交流課	自治会等が設置する防犯灯に対する補助	効	自治会等が設置及び管理の負担軽減が図られ、地域における防犯環境を整備する	◆ 自治会が設置する防犯灯設置費への補助	◎	自治会による防犯灯設置を支援することで、地域の防犯力向上に資することが出来た。引き続き明るく安全安心なまちづくりに取り組んでいきたい。
			誰	自治会等が	◇ 自治会が設置する防犯灯設置費への補助	◎	
			何	明るいまちづくりをする	8,852（千円）	現状維持	
054-3	防犯カメラ設置補助事業 / 市民交流課	自治会等が設置する防犯カメラに対する補助	効	防犯カメラによる犯罪抑止効果を高め、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する	◆ 自治会が設置する防犯灯設置費への補助	◎	自治会が設置する防犯カメラに対し支援を行うことで、住環境の防犯力向上に資することが出来た。引き続き安全安心なまちづくりに取り組んでいきたい。
			誰	自治会等が	◇ 自治会が設置する防犯灯設置費への補助	◎	
			何	安全・安心なまちづくりをする	1,870（千円）	現状維持	
054-4	自治会防犯灯電気料金高騰対策支援事業 / 市民交流課	防犯灯電気代高騰の影響を受けている自治会に対する補助	効	地域における継続的な防犯環境の維持	◆ 自治会の電気料金上昇分への補助	◎	電気料金上昇の影響を受ける自治会に対し支援を行うことにより、地域における継続的な防犯環境の維持に資することが出来た。
			誰	自治会等が	◇ 自治会の電気料金上昇分への補助	◎	
			何	明るいまちづくりを維持継続する	6,302（千円）	完了	
054-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

054-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
054-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
054-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
054-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
054-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030617055
		施策	17	防犯対策と消費者保護の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			055	市民や暴力追放に取り組む各種団体や機関と連携し、あらゆる暴力行為の追放を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
055-1	市民相談事業 / 地域連携課	司法書士相談、弁護士等による一日合同相談	効	市民から相続や登記等に関する相談窓口の問合せが多く寄せられており、専門的な知識が必要なこれらの相談に対応する	◆ 年6回実施（司法書士相談）年2回実施（一日合同相談）	◎	当初計画していた相談会全てを滞りなく実施できたため「◎」とした。市民が専門的な知識を必要とした際により多くの機会を提供できるよう、相談会の開催については現状維持としたい。
			誰	相談したい市民が	◇ 相談実績	○	
			何	専門的な知識が必要な相談をすることができる	442（千円）	現状維持	
055-2	市民相談事業 / 地域連携課	市民の意見・要望等管理システムの運用	効	市民からの意見や要望等を一元的に管理・確認し、回答遅れや対応の遅れなどがないかを確認する	◆ 適宜実施	○	市民から意見・要望等を受け付けた際に、入力するべき案件を入力しない、入力後の対応状況を入力しないなどの課題がある。研修等の実施でシステムへの入力の徹底を図っていく。
			誰	津市が	◇ 運用実績	◎	
			何	市民からの意見や要望等の進行状況を把握するとともに、蓄積されたデータを活用することができる	3,359（千円）	現状維持	
055-3	市民相談事業 / 地域連携課	市政アンケート調査（隔年実施）	効	本市の市政に対する住民の意識、志向等を調査し、市政運営の参考とする	◆ 隔年実施	◎	郵送のみでの回答としたが、「インターネット上からでも回答ができるように」との意見が複数あった。郵送回答とインターネットからの回答で回答方法を両立することで、回答率の向上を図る。
			誰	津市が	◇ 回答内容及び回答率	○	
			何	市民のニーズや意識、志向等の経年変化を把握し、市政運営に活かすことができる	125（千円）	拡充・充実	
055-4	暴力追放事業 / 市民交流課	市民や暴力追放に取り組む各種団体や機関と連携し、あらゆる暴力行為の追放を促進	効	あらゆる暴力の排除による平和で明るい社会の構築	◆ 暴力行為の排除に係る市民の意識高揚と暴力団等の資金源となる一切の行為の禁止に係る啓発	◎	新型コロナウイルス感染症蔓延防止の緩和により、啓発活動が再開出来た。引き続き市民や各種団体と協働し、あらゆる暴力の追放による平和で明るい社会の構築に取り組んでいきたい。
			誰	市民や各種団体が	バス広告による周知と啓発物品の作成、暴力追放相談	◎	
			何	あらゆる暴力の排除による平和で明るい社会の構築	1,000（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

055-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
055-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
055-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
055-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
055-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	C	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード 030617056
		施策	17	防犯対策と消費者保護の強化	本冊ページ 64
	関連個別計画				
担当部局			市民部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			056	多様化・巧妙化する悪質商法等の被害に遭わないようにするための対策や悪質商法等の手口、消費者を守る制度等の積極的な情報提供をはじめ、あらゆる世代に対する消費者教育を推進するとともに、消費生活センターの相談体制を充実させます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
056-1	消費生活相談事業 / 市民交流課	消費生活センターでの相談業務及び啓発事業	効	消費生活に関するトラブルの解決	◆ 消費生活相談の実施	◎	専門の消費生活相談員による消費生活相談等を実施することで、市民からの消費生活問題の解決に向けたアドバイスを行うことが出来た。引き続き多様化する消費生活問題の解決に向けた支援と消費者教育の推進に取組んでいきたい
			誰	市内在住・在学・在勤の人	◇ 消費生活相談受付数	◎	
			何	消費生活問題を解決するアドバイスをする	8,170（千円）	現状維持	
056-2	市民相談事業 / 地域連携課	司法書士相談、弁護士等による一日合同相談	効	市民から相続や登記等に関する相談窓口の問合せが多く寄せられており、専門的な知識が必要なこれらの相談に対応する	◆ 年6回実施（司法書士相談）年2回実施（一日合同相談）	◎	当初計画していた相談会全てを滞りなく実施できたため「◎」とした。市民が専門的な知識を必要とした際により多くの機会を提供できるよう、相談会の開催については現状維持としたい。
			誰	相談したい市民が	◇ 相談実績	○	
			何	専門的な知識が必要な相談をすることができる	442（千円）	現状維持	
056-3	市民相談事業 / 地域連携課	市民の意見・要望等管理システムの運用	効	市民からの意見や要望等を一元的に管理・確認し、回答遅れや対応の遅れなどがないかを確認する	◆ 適宜実施	○	市民から意見・要望等を受け付けた際に、入力するべき案件を入力しない、入力後の対応状況を入力しないなどの課題がある。研修等の実施でシステムへの入力の徹底を図っていく。
			誰	津市が	◇ 運用実績	◎	
			何	市民からの意見や要望等の進行状況を把握するとともに、蓄積されたデータを活用することができる	3,359（千円）	現状維持	
056-4	市民相談事業 / 地域連携課	市政アンケート調査（隔年実施）	効	本市の市政に対する住民の意識、志向等を調査し、市政運営の参考とする	◆ 隔年実施	◎	郵送のみでの回答としたが、「インターネット上からでも回答ができるように」との意見が複数あった。郵送回答とインターネットからの回答で回答方法を両立することで、回答率の向上を図る。
			誰	津市が	◇ 回答内容及び回答率	○	
			何	市民のニーズや意識、志向等の経年変化を把握し、市政運営に活かすことができる	125（千円）	拡充・充実	
056-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

056-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
056-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
056-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
056-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
056-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード　030618
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ　64
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			市民部、建設部、教育委員会		
施策の内容（番号）			057	～	058

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
057	警察等関係機関や地元自治会等と連携しながら、交通安全施設の更新や通学路等の整備を推進するとともに、子どもや高齢者などを軸とした交通事故防止対策に取り組みます。	A	①	市民交流課/学校教育課
058	交通事故防止に向け、交通安全指導に努めるなど市民の交通安全意識の向上に取り組みます。	A	①	市民交流課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	交通規制表示等の設置及び維持修繕に係る調整や関係機関と連携した通学路等の点検及び対策の検討、放置自転車の整理・撤去・返還を実施することにより良好な交通環境を整備するとともに、交通安全対策会議等の活動を支援するなど、交通安全対策の強化に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード　030618057
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ　64
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				市民部、建設部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			057	警察等関係機関や地元自治会等と連携しながら、交通安全施設の更新や通学路等の整備を推進するとともに、子どもや高齢者などを軸とした交通事故防止対策に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
057-1	放置自転車防止対策事業	放置自転車の整理・撤去・返還等業務委託	効	駅周辺における交通の安全確保を図り、良好な環境づくりに資する。	◆ 年間900台以上放置自転車を撤去する	○	計画していた台数の8割程度の自転車の撤去を行った。交通の安全確保を図るため、引き続き事業に取り組む。
			誰	市内外の人々が	◇ 撤去台数実績	○	
	市民交流課		何	安全で円滑な交通環境の中で生活をする	34,679（千円）	拡充・充実	
057-2	交通安全施設等整備事業	交通規制標示等の設置に関する調整	効	交通安全施設の維持管理を行うことで、安全安心な交通環境を整える。	◆ 学校・地元自治会等からの要望を警察へ調整・依頼する	◎	学校・地元自治会等からの要望を警察へ調整・依頼した。安全安心な交通環境を整えるため、引き続き取り組んでいく。
			誰	市内外の人々が	◇ 全件要望書提出	◎	
	市民交流課		何	交通事故のない安全安心な街で生活をする	0（千円）	拡充・充実	
057-3	交通安全施設等維持事業	交通規制標示等の維持修繕に関する調整	効	交通安全施設の維持管理を行うことで、安全安心な交通環境を整える	◆ 学校・地元自治会等からの要望を警察へ調整・依頼する	◎	学校・地元自治会等からの要望を警察へ調整・依頼した。安全安心な交通環境を整えるため、引き続き取り組んでいく。
			誰	市内外の人々が	◇ 全件要望書提出	◎	
	市民交流課		何	交通事故のない安全安心な街で生活をする	0（千円）	拡充・充実	
057-4	交通安全対策連携事業	交通安全対策会議に対する負担	効	関係団体が、負担金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う	◆ 対策会議1件に負担する	◎	計画していた金額の負担金を支払った。関係団体が効果的な交通安全対策に関する活動を行えるよう引き続き協力していく。
			誰	関係団体が	◇ 負担金支払い実績	◎	
	市民交流課		何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	7,050（千円）	拡充・充実	
057-5	交通安全父母の会等補助事業	交通安全父母の会等に対する補助	効	関係団体が、補助金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う	◆ 20件補助を行う	○	計画の8割ほどの団体に補助を行った。関係団体が効果的な交通安全対策に関する活動を行えるよう引き続き協力していく。
			誰	関係団体が	◇ 補助金交付実績	◎	
	市民交流課		何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	489（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

057-6	通学路安全対策連携事業 学校教育課	通学路の危険箇所改善に向けての関係機関（警察・道路管理者・学校・PTA等）との連携	効	登下校する環境が整う	◆ PTA・学校等からの要望を警察・道路管理者等の対策機関へ調整・依頼する	◎	要望を対策機関に全件依頼し、合同点検を要する箇所については関係機関を調整し実施したため「◎」とした。対策（予定）実施率は50%程度であり、昨年度を下回るものの、例年以上であったため「○」とした。今後も、1件でも多くの要望を実現できるよう、関係機関と連携し、引き続き取り組む。
			誰	市内の児童生徒	◇ 対策箇所（予定）数	○	
			何	安全に、安心して登下校できる	0（千円）	現状維持	
057-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
057-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
057-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
057-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030618058
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			058	交通事故防止に向け、交通安全指導に努めるなど市民の交通安全意識の向上に取り組みます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
058-1	交通安全対策連携事業	交通安全対策会議に対する負担	効	関係団体が、負担金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う	◆ 対策会議1件に負担する	◎	計画していた金額の負担金を支払った。関係団体が効果的な交通安全対策に関する活動を行えるよう引き続き協力していく。
			誰	関係団体が	◇ 負担金支払い実績	◎	
	市民交流課		何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	7,050（千円）	拡充・充実	
058-2	交通安全父母の会等補助事業	交通安全父母の会等に対する補助	効	関係団体が、補助金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う	◆ 20件補助を行う	○	計画の8割ほどの団体に補助を行った。関係団体が効果的な交通安全対策に関する活動を行えるよう引き続き協力していく。
			誰	関係団体が	◇ 補助金交付実績	◎	
	市民交流課		何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	489（千円）	拡充・充実	
058-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
058-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
058-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

058-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
058-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
058-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
058-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
058-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040719
		施策	19	環境を守り継承する社会の形成	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画、津市下水道事業基本計画		
担当部局			環境部、上下水道事業局、上下水道管理局		
施策の内容（番号）			059 ～ 061		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
059	恵まれた森林や湖沼、河川、海岸などの自然環境の保全や野生生物の生息、生育環境の確保を図るほか、市民、ボランティア、NPO、事業者、関係行政機関などとのネットワークを強化し、地域特性に応じた環境保全活動を推進するとともに、さまざまな機会を通じた環境教育・環境学習を充実し、環境問題に対する市民意識の高揚に取り組みます。	B	①	環境政策課/環境保全課
060	公共用水域の水質改善に向け、公共下水道の効率的な整備と単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。	B	①	環境施設課/下水道工務課/下水道施設課/営業課
061	環境汚染から市民の健康と生活環境を守るため、継続的に環境調査を実施するとともに、監視・指導を徹底します。	B	①	環境保全課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	下水道計画区域及び集合処理区域を除いた区域における市営浄化槽事業、その他の区域における浄化槽設置者に対する補助、し尿処理施設の適正な管理運営による し尿及び浄化槽汚泥の安定的処理を行うとともに、大気・水質等の環境調査や工場排出水等の調査、地球温暖化防止等に係る総合的な啓発活動や環境保全等に係るネットワークづくり及び環境学習を実施するなど、環境を守り継承する社会の形成に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040719059
		施策	19	環境を守り継承する社会の形成	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			059	恵まれた森林や湖沼、河川、海岸などの自然環境の保全や野生生物の生息、生育環境の確保を図るほか、市民、ボランティア、NPO、事業者、関係行政機関などとのネットワークを強化し、地域特性に応じた環境保全活動を推進するとともに、さまざまな機会を通じた環境教育・環境学習を充実し、環境問題に対する市民意識の高揚に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
059-1	山・川・海ネットワーク事業	交流会や学習会を開催し、山・川・海各地域の市民、事業者、環境団体等が相互理解を深め、情報を共有し、環境の保全などに取り組むためのネットワークづくり	効	環境活動団体等のネットワークを強化する	◆ 環境保全活動団体との連携	○	津市エコサークルについては、令和5年3月3日より開設した「津市地域脱炭素推進プラットフォーム」が目的を包括するものであることから、「津市エコサークル」から形を変えて、引き続き環境保全活動に取り組む。
			誰	環境活動団体	◇ エコサークル登録者数	△	
	環境政策課		何	連携して自然環境の保全に取り組む	1,500（千円）	拡充・充実	
059-2	地域脱炭素推進事業	脱炭素に関する価値観を波及させ、市内のあらゆる主体が連携・協力し、地域ポテンシャルを活かした脱炭素の取組	効	地域脱炭素社会を実現し地球温暖化を防止する	◆ 2030年度に2013年度比温室効果ガス排出量30%削減	×	2019年度温室効果ガス排出量が2013年度対比で9.5%減であったため実施評価については「×」とした。2030年度の目標に向けて、より実効性のある取組について検討し事業の加速化を図る。
			誰	市民、事業者、団体等のあらゆる主体	◇ 市域における温室効果ガス排出量	△	
	環境政策課		何	地球温暖化問題に関心を持つことにより、脱炭素に資する行動の変容を起こす	3,434（千円）	拡充・充実	
059-3	環境学習センター運営事業	3R、ごみ、自然環境、地球温暖化防止及び環境衛生など、環境に係る総合的な啓発活動と環境活動に取り組むネットワークづくり及び様々な分野の環境学習の実施	効	環境学習センターが環境学習・環境活動の拠点となる	◆ 参加者数前年度比増	◎	コロナ禍によりイベントが制限されていたが、令和4年度は徐々に開催することができた。環境学習センターについてはより環境学習の拠点となるよう検討する必要がある。
			誰	市内外の人	◇ 参加者数	○	
	環境政策課		何	環境について学び、考える機会となる	11,788（千円）	現状維持	
059-4	生物多様性の保全事業	市民や関係団体と連携し、市民活動団体等の活動を後援	効	環境問題に対する市民意識が高揚し、自然環境保全等への理解が深まる	◆ 市民活動団体との連携	○	市民活動団体等の実施する活動を後援し、その実績報告から地域の環境教育・学習活動の促進が図られたことが確認できたことから評価した。今後も本事業の実施による効果が期待されるため、方向性を現状維持とした。
			誰	市民活動団体	◇ 市民活動団体からの実績報告	○	
	環境保全課		何	地域の環境教育・学習活動の促進	0（千円）	現状維持	
059-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

059-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
059-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
059-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
059-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
059-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	C	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040719060
		施策	19	環境を守り継承する社会の形成	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部、上下水道事業局、上下水道管理局		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			060	公共用水域の水質改善に向け、公共下水道の効率的な整備と単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
060-1	し尿処理施設管理運営事業	安芸・津衛生センター及びクリーンセンターくもずの管理・運営	効	し尿及び浄化槽汚泥を衛生的かつ適正に処理できる	◆ し尿及び浄化槽汚泥の安全かつ安定的処理	○	し尿処理施設の管理・運営において、概ね当初の事業実施計画どおり実施できたため実施評価を○。施設の稼働を停止することなくし尿及び浄化槽汚泥の安全かつ安定的処理を継続して実施したことで期待する効果が認められたため事業評価を◎。これらの結果より今後の方向性を現状維持とした。
			誰	市民	◇ 施設の年間稼働日数	◎	
	環境施設課		何	安全・安心な日常生活を送れる	799,131（千円）	現状維持	
060-2	市営浄化槽事業	下水道計画区域及び農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域における浄化槽の設置	効	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の放流水の浄化	◆ 津市下水道事業基本計画に基づき実施	○	市営浄化槽の設置及び、帰属数が計画より少なかったため「△」とした。今後は啓発活動等を行い事業の向上に取り組む。
			誰	市営浄化槽使用者、市内外の人々	◇ 市営浄化槽設置・帰属件数	△	
	下水道工務課		何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	40,534（千円）	現状維持	
060-3	市営浄化槽事業	下水道計画区域及び農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域における浄化槽の維持管理	効	安心安全なまちづくりの推進を図る	◆ 下水道事業基本計画	○	適切な維持管理により排水基準を守ることができた、引続き適正な維持管理に努める。
			誰	使用者が	◇ 下水道処理人口の増加とそれに伴う伊勢湾における水質環境の改善を図る	◎	
	下水道施設課		何	生活排水処理施設の維持のため	348,569（千円）	拡充・充実	
060-4	浄化槽設置整備費補助事業	浄化槽設置者に対する補助	効	公共用水域の水質改善に繋がる	◆ 89件	△	補助金申請者の減少はみられるものの、公共浄化槽の設置により水質改善が図れており、事業を継続する
			誰	市内の人々	◇ 公共用水域の水質改善	○	
	営業課		何	補助金を活用し、合併処理浄化槽を設置することができる	11,143（千円）	現状維持	
060-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

060-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
060-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
060-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
060-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
060-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040719061
		施策	19	環境を守り継承する社会の形成	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			061	環境汚染から市民の健康と生活環境を守るため、継続的に環境調査を実施するとともに、監視・指導を徹底します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
061-1	環境調査事業 / 環境保全課	大気、水質等についての環境調査や工場、事業場等の排出水等の調査	効	大気・水質環境等が保全されることにより、市民が安全・安心で、快適な生活を営める社会が実現する	◆ 環境調査の実施	○	環境調査結果の公表は、適切な時期に実施できたが、環境調査の実施に関しては、一部工場側の都合により立入りできず実施することができなかった。今後も環境調査を実施していく必要があることから、現状維持とした。
			誰	市民	◇ 結果の公表	○	
			何	環境汚染の防止、生活環境の保全	8,464（千円）	現状維持	
061-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
061-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
061-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
061-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

061-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
061-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
061-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
061-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
061-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード	040720
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ	67
	関連個別計画		津市環境基本計画			
担当部局			環境部			
施策の内容（番号）			062	～	066	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
062	市民、事業者、行政が一体となり、ごみの発生抑制や再生資源の利用拡大、循環的利用を推進します。	B	①	環境政策課
063	廃棄物の適正処理を推進するため、市民・事業者等への意識啓発や継続した監視・指導に努めるとともに、誰もが利用しやすいエコ・ステーションの管理・運営やごみの分別、ごみ出しに係る負担を軽減するための支援、社会状況に対応したごみ収集体制の充実に向けて取り組みます。	A	①	環境政策課／環境事業課
064	不法投棄対策として、啓発看板の設置や環境パトロールを実施するとともに、警察との連携強化、市民との協働により不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。	A	①	環境政策課
065	各処理施設の安全で効率的な運転管理を徹底するとともに、老朽化、処理量の変化に対応した施設の規模や処理方式、更新等について長期的な視点に立った検討を進め、効率的・効果的な運転管理と安定した廃棄物処理を推進します。	A	①	環境施設課
066	地球温暖化防止・低炭素社会の実現に向け、効率的なエネルギー利用や省エネルギー対策を推進するとともに、地域特性に応じ、バイオマスを活用した産業創出をはじめ、再生可能エネルギーのさらなる導入を推進します。	B	①	環境政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	ごみの減量・ごみ出しのルールに関する出前講座や小学校等におけるくるりんペーパー事業の実施による正しいごみ出しやリサイクルの啓発の推進、エコ・ステーションの管理運営によってリサイクル率の向上を図り、リサイクルセンターや各廃棄物処理施設を適切に管理運営することで廃棄物のリサイクルや安定した処理を進めるとともに、不法投棄対策や新エネルギー利用設備設置に対する補助を行うなど、循環型社会形成の推進に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード	040720062
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ	67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			環境部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			062	市民、事業者、行政が一体となり、ごみの発生抑制や再生資源の利用拡大、循環的利用を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
062-1	市民清掃デー実施事業 / 環境政策課	市民、事業者、市との協働による市内一斉清掃の実施	効	道路、公園等公共の場所において散乱している紙くず、草等、空き缶、空きびん、その他不燃物を市民が参加してきれいにすることにより、まちを清潔で美しくし、環境美化への市民意識の向上を図る	◆ 参加者数前年度比増	◎	市民の方に多数参加していただき、清掃活動が実施できた。 今後も環境美化への意識向上に努める。
			誰	市民	◇ 参加者数	○	
			何	街を清潔で美しいものにする	1,102（千円）	現状維持	
062-2	ごみ減量等地域出前講座事業 / 環境政策課	ごみの減量やごみ出しのルールに関する出前講座の実施	効	津市の家庭ごみの状況や正しいごみの出し方などを職員が出向いて講義し、知ってもらうことにより、ごみの減量や正しいごみ出しにつなげる	◆ 実施団体数前年度比増	×	新型コロナウイルスの影響により、講座依頼が減少した。 今後は、引き続きごみの減量やごみ出しのルールを講座を通して周知していく。
			誰	市民	◇ 実施団体数	○	
			何	ごみの減量や正しいごみ出しの推進	0（千円）	現状維持	
062-3	リサイクル資源回収活動報償金交付事業 / 環境政策課	廃棄物の減量及び再資源化を推進するとともに、資源回収を通じて廃棄物処理に対する意識の高揚を図るための報奨金の交付	効	積極的に資源物の集団回収を実施する	◆ 資源物回収量2,940t	△	多数の団体がリサイクル資源回収の取組があったが、計画通りの回収量には達しなかった。 資源回収を通じてリサイクル意識の高揚を高めていく。
			誰	地域住民中心の任意団体	◇ 資源物回収量	○	
			何	資源物を出す機会が増え、リサイクルが促進される	9,712（千円）	現状維持	
062-4	生ごみ処理機等購入費補助事業 / 環境政策課	家庭の生ごみをたい肥化又は減量化するための生ごみ処理機又はコンポスト容器の購入者に対する補助	効	生ごみのたい肥化又は減量化を図ることにより、ごみの排出を抑制し、廃棄物の減量及び生活環境の清潔に資する	◆ 2027年度までに全世帯の2%へ普及	○	前年度と同様の申請があり、ごみ排出の減量を周知していく。
			誰	津市に住所を有するもの	◇ 補助件数	○	
			何	ごみの排出抑制	2,383（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

062-5	くるりんペーパー事業	市内全小学校、本庁舎及び総合支所における容器包装紙リサイクルの実践による環境学習、啓発の推進	効	地球環境保全のため、限られた資源を大切にする資源循環型社会の構築を目指し、次代を担う子どもたちの環境意識の高揚と環境への配慮を促す	◆ 回収量　20,000kg トイレットペーパー納入量　50,000個	◎	目標の回収量とトイレットペーパー納入量は達成できた。 小学生への環境意識の高揚を促していく。
			誰	津市内の小学校に通う児童	◇ 容器包装紙の回収量、トイレットペーパー納入量	○	
	環境政策課		何	環境意識の高揚と環境への配慮を促す	15,697（千円）	現状維持	
062-6	くるりんフード事業	学校給食残渣をたい肥化し、たい肥を学校菜園や花壇などで活用するという循環型社会システムの実体験学習の実施	効	学校給食の残渣を回収し、たい肥化する。たい肥化までの過程を学ぶ環境学習回を開催する	◆ 参加校8校	○	参加校に給食残渣がたい肥化される過程を学ぶ学習会を実施した。
			誰	市内の小学校に通う小学4年生	◇ 参加校	○	
	環境政策課		何	資源を大切にする社会性の育生と資源循環型社会へ寄与する	1,804（千円）	現状維持	
062-7	環境学習センター運営事業	3R、ごみ、自然環境、地球温暖化防止及び環境衛生など、環境に係る総合的な啓発活動と環境活動に取り組むネットワークづくり及び様々な分野の環境学習の実施	効	環境学習センターが環境学習・環境活動の拠点となる	◆ 参加者数前年度比増	◎	コロナ禍によりイベントが制限されていたが、令和4年度は徐々に開催することができた。環境学習センターについてはより環境学習の拠点となるよう検討する必要がある。
			誰	市内外の人が	◇ 参加者数	○	
	環境政策課		何	環境について学び、考える機会となる	11,788（千円）	現状維持	
062-8	エコ・ステーション事業	リサイクル率の向上、市民の資源物排出の利便性の向上のため、エコ・ステーションの管理・運営	効	市民が資源物を排出する機会が増え、リサイクル率が向上する	◆ 資源物回収量前年度比増	◎	エコ・ステーションの管理・運営をすることができた。 誰もが利用しやすいエコ・ステーションに向けて周知していく。
			誰	市民	◇ 資源物回収量	○	
	環境政策課		何	安全に安心して資源物を分別排出できる環境をつくる	97,262（千円）	現状維持	
062-9	家庭用生ごみ処理機貸与事業	市民が家庭用生ごみ処理機を使用して効果を体験することで、家庭用生ごみ処理機の普及を促進し、家庭の生ごみをたい肥化又は減量化を図るため	効	効果を体験することで、生ごみ処理機の普及及びごみのたい肥化・減量化を促進する	◆ 貸与人数前年度比増	◎	貸与件数は年々増加しており、生ごみ処理機を実際に使用してもらい、生ごみのたい肥化、ごみ減量化を図っていく。
			誰	市民	◇ 貸与人数	○	
	環境政策課		何	ごみの排出抑制	45（千円）	現状維持	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	②	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040720063
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			063	廃棄物の適正処理を推進するため、市民・事業者等への意識啓発や継続した監視・指導に努めるとともに、誰もが利用しやすいエコ・ステーションの管理・運営やごみの分別、ごみ出しに係る負担を軽減するための支援、社会状況に対応したごみ収集体制の充実に向けて取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
063-1	エコ・ステーション事業	リサイクル率の向上、市民の資源物排出の利便性の向上のため、エコ・ステーションの管理・運営	効	市民が資源物を排出する機会が増え、リサイクル率が向上する	◆ 資源物回収量前年度比増	◎	エコ・ステーションの管理・運営をすることができた。 誰もが利用しやすいエコ・ステーションに向けて周知していく。
			誰	市民	◇ 資源物回収量	○	
	環境政策課		何	安全に安心して資源物を分別排出できる環境をつくる	97,262（千円）	現状維持	
063-2	家庭ごみ・リサイクル資源収集運搬事業	家庭系一般廃棄物及びリサイクル資源収集運搬業務の民間業者委託	効	業務委託により安全かつ経済的、効率的に収集運搬を行う	◆ 適正かつ効率的な収集業務	◎	市内各地域のごみ収集運搬業務について事業者への委託により事業を実施した。 委託事業者への適切な指示、指導のもと、効率的なごみの収集、運搬を継続していく。
			誰	地域住民が	◇ 時間内での収集完了の遂行	◎	
	環境事業課		何	公衆衛生の向上及び生活環境の保全に繋がる	1,830,406（千円）	現状維持	
063-3	ごみ一時集積所設置等補助	ごみの効率的な収集を行うとともに、市民の美化意識の高揚等を図ることを目的としたごみ一時集積所の設置工事等に対する補助	効	自治会が管理するごみ一時集積所の設置工事または改修等工事を推進する	◆ 補助件数（予算）130件	◎	地域と連携したごみ処理行政を推進するため、自治会が設置等を行うごみ一時集積所の費用に対し補助金を交付した。（補助率1/3　限度額400,000円）当年度は限度額の引き上げ等交付要件の見直しを行っており、今後も自治会のニーズを踏まえ制度を継続していく。
			誰	地域住民が	◇ 補助件数（実績）136件	◎	
	環境事業課		何	公衆衛生の向上及び生活環境の保全に繋がる	4,738（千円）	現状維持	
063-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
063-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

063-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
063-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
063-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
063-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
063-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040720064
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			064	不法投棄対策として、啓発看板の設置や環境パトロールを実施するとともに、警察との連携強化、市民との協働により不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
064-1	不法投棄対策事業 / 環境政策課	啓発看板の設置、環境パトロールの実施、警察との連携強化、市民との協働による不法投棄対策の実施	効	環境汚染の防止と自然や景観の保全	◆ 不法投棄対応件数前年度比減	◎	市民からの不法投棄の情報を基に対応した。 不法投棄が減少するよう、広報及び周知を行っていく。
			誰	市民	◇ 不法投棄対応件数	○	
			何	環境美化と安心して暮らせるまちづくり	1,569（千円）	現状維持	
064-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
064-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
064-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
064-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

064-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
064-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
064-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
064-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
064-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040720065
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			065	各処理施設の安全で効率的な運転管理を徹底するとともに、老朽化、処理量の変化に対応した施設の規模や処理方式、更新等について長期的な視点に立った検討を進め、効率的・効果的な運転管理と安定した廃棄物処理を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
065-1	ごみ焼却施設管理運営事業 / 環境施設課	西部クリーンセンター及びクリーンセンターおおたかの管理・運営（死亡獣等焼却処理場含む）	効	燃やせるごみを衛生的かつ適正に処理できる	◆ 施設の適正かつ効率的な運営管理	○	ごみ焼却施設の管理・運営において、概ね当初の事業実施計画どおり実施できたため実施評価を○。施設の稼働を停止することなくごみの衛生的・適正処理を継続して実施したことで期待する効果が認められたため事業評価を◎。これらの結果より今後の方向性を現状維持とした。
			誰	市民	◇ 施設の年間稼働日数	◎	
			何	安全・安心な日常生活を送れる	1,459,462（千円）	現状維持	
065-2	ごみ資源化施設管理運営事業 / 環境施設課	リサイクルセンターの管理・運営	効	燃やせないごみを衛生的かつ適正にリサイクル処理できる	◆ 施設の適正かつ効率的な運営管理	○	ごみ資源化施設の管理・運営において、概ね当初の事業実施計画どおり実施できたため実施評価を○。施設の稼働を停止することなくごみの衛生的・適正処理を継続して実施したことで期待する効果が認められたため事業評価を◎。これらの結果より今後の方向性を現状維持とした。
			誰	市民	◇ 施設の年間稼働日数	◎	
			何	安全・安心な日常生活を送れる	591,846（千円）	現状維持	
065-3	ごみ埋立施設管理運営事業 / 環境施設課	一般廃棄物最終処分場の管理・運営及び旧白銀環境清掃センター浸出水処理施設等の維持管理	効	資源化処理後の不燃残渣の最終処分を衛生的かつ適正に処理できる	◆ 施設の適正かつ効率的な運営管理	○	ごみ埋立施設の管理・運営において、概ね当初の事業実施計画どおり実施できたため実施評価を○。施設の稼働を停止することなくごみの衛生的・適正処理を継続して実施したことで期待する効果が認められたため事業評価を◎。これらの結果より今後の方向性を現状維持とした。
			誰	市民	◇ 施設の年間稼働日数	◎	
			何	安全・安心な日常生活を送れる	255,287（千円）	現状維持	
065-4	白銀環境清掃センター跡地等整備事業 / 環境施設課	白銀環境清掃センター跡地の早期安定化事業の実施	効	埋立跡地の有効利用及び早期安定化が図れる	◆ 2期処分場の早期安定化	○	白銀環境清掃センター跡地の早期安定化に向け、概ね当初の事業実施計画どおり実施できたため実施評価を○。埋立地・周辺ため池の水質、ガス測定・調査の結果、ある程度の効果が認められたため事業評価を○。これらの結果より今後の方向性を拡充・充実が必要とした。
			誰	市民	◇ 埋立地及び周辺ため池の水質、ガス測定及び調査	○	
			何	安全・安心な日常生活を送れる	4,939（千円）	拡充・充実	
065-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

065-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
065-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
065-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
065-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
065-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040720066
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			066	地球温暖化防止・低炭素社会の実現に向け、効率的なエネルギー利用や省エネルギー対策を推進するとともに、地域特性に応じ、バイオマスを活用した産業創出をはじめ、再生可能エネルギーのさらなる導入を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
066-1	地域脱炭素推進事業	家庭用燃料電池システム（エネファーム）や太陽光発電システムなど新エネルギー利用設備設置者（市民、自治体、事業所）に対する補助	効	市民及び事業者が、補助金を活用し、新エネルギー利用設備を設置する	◆ 補助金交付目標件数 248件	○	補助金交付実績件数は206件であり、目標件数の83%へ交付できたことから「○」とした。 新技術の社会実装や社会のニーズを確認しながら効果的な事業となるよう検討を進めていく。
			誰	市民及び事業者が	◇ 補助実績件数	○	
	環境政策課		何	新エネルギー利用設備を設置しやすくなる	12,360（千円）	拡充・充実	
066-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
066-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
066-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
066-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

066-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
066-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
066-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
066-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
066-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040821
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ　71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画		
担当部局			上下水道事業局		
施策の内容（番号）			067	～	069

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。	B	①	水道工務課/水道施設課
068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。	B	①	水道工務課
069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。	B	①	水道施設課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	浄水施設整備工事や老朽管更新・管網整備工事、水道・工業用水道の水質検査を実施することで、安全な水の安定供給に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040821067
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ　71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			上下水道事業局		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
067-1	建設改良事業	老朽管更新、管網整備工事	効	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続ける	◆ 計画に基づき実施	○	基幹管路の管路更新に限り計画を下回っているものの、管路全体では計画を上回る管路更新が行われている。 優先順位を検討し、計画的に管路更新を行っていく。
			誰	水道利用者が	◇ 利用者の意見	○	
	水道工務課		何	安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	2,370,065（千円）	現状維持	
067-2	建設改良事業	浄水施設整備工事等	効	水道水の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画	○	今後の水需要減少を踏まえ、適正な施設規模への見直しを図るとともに、自己水源と県水受水の最適なバランスを検討し、安定した水源の確保に努める。
			誰	使用者が	◇ 第2次津市水道事業基本計画による計画的な実施	○	
	水道施設課		何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	606,181（千円）	現状維持	
067-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
067-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
067-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

067-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
067-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
067-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
067-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
067-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040821068
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ　71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			上下水道事業局		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
068-1	建設改良事業 / 水道工務課	老朽管更新、管網整備工事	効	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続ける	◆ 計画に基づき実施	○	基幹管路の管路更新に限り計画を下回っているものの、管路全体では計画を上回る管路更新が行われている。 優先順位を検討し、計画的に管路更新を行っていく。
			誰	水道利用者が	◇ 利用者の意見	○	
			何	安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	2,370,065（千円）	現状維持	
068-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
068-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
068-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
068-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

068-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
068-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
068-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
068-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
068-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード 040821069
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ 71
	関連個別計画			第2次津市水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）	
担当部局				上下水道事業局	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
069-1	工業用水道事業会計 / 水道施設課	工業用水道の水質検査	効	工業用水道の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画	○	毎年策定する水質検査計画に基づき、水源から給水栓までの水質管理を引き続き適切に行う。
			誰	使用者が	◇ 第2次津市水道事業基本計画による計画的な実施	○	
			何	工業用水道の安定供給を受ける	636（千円）	現状維持	
069-2	水道事業会計 / 水道施設課	水道水の水質検査	効	安心・安全でおいしい水の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画	○	毎年策定する水質検査計画に基づき、水源から給水栓までの水質管理を引き続き適切に行う。
			誰	使用者が	◇ 第2次津市水道事業基本計画による計画的な実施	○	
			何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	43,937（千円）	現状維持	
069-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
069-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
069-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

069-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
069-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
069-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
069-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
069-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040822
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ	71
	関連個別計画		津市下水道事業基本計画、津市雨水管理総合計画、下水道ストックマネジメント基本計画			
担当部局			農林水産部、建設部、上下水道事業局、上下水道管理局			
施策の内容（番号）			070	～	072	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
070	下水道事業については、管理・経営の方針を定め、効率的な下水道整備を進めるとともに、施設の長寿命化に向けて、計画的な維持管理を推進します。	B	①	下水道工務課/下水道施設課/経営企画課
071	供用開始地域の未接続世帯への公共下水道接続並びに汲み取り槽及び単独浄化槽からの合併浄化槽への転換について、指導、啓発活動を強化し、水洗化率の向上に取り組みます。	B	①	下水道工務課/営業課
072	浸水被害軽減のため、排水路や公共下水道の整備と既存施設の適切な維持管理など、雨水排水対策を進めるとともに、浸水被害が著しい地域においては、公共下水道事業だけでなく河川事業や農地の湛水防除事業なども含めた総合的な浸水対策を進めます。	A	①	河川排水推進室/南北工事事務所/下水道工務課/下水道施設課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	中勢沿岸流域下水道の建設費負担のほか汚水・雨水幹線等築造工事、農業集落排水処理施設等の機能強化工事、市営浄化槽事業等を実施するとともに、公共下水道供用開始区域における未接続世帯に対する啓発・補助、河川の浚渫工事や農業水利施設・排水機場等の改修工事による総合的な浸水対策を実施し、生活排水対策等を推進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード 040822070
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ 71
	関連個別計画			津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市雨水管理総合計画（令和元年度～令和10年度）、下水道ストックマネジメント基本計画（令和元年度～令和5年度）	
担当部局				上下水道事業局、上下水道管理局	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			070	下水道事業については、管理・経営の方針を定め、効率的な下水道整備を進めるとともに、施設の長寿命化に向けて、計画的な維持管理を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
070-1	汚水管渠維持管理事業	不明水対策等管更生工事・公共ます設置工事	効	下水道管等に流入する不明水によって起こる汚水の排水不良を防ぐ	◆ 不明水対策計画に基づき実施　4件	◎	計画していた工事すべて完成したことから「◎」とした。引き続き不明水対策を実施していく。
			誰	公共下水道使用者	◇ 不明水対策等管更生工事件数	◎	
	下水道工務課		何	安定した公共下水道の使用できる	129,023（千円）	現状維持	
070-2	汚水管渠建設事業	汚水幹線等築造工事等	効	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の公共下水道への接続	◆ 津市下水道事業基本計画に基づき実施	○	令和4年度末における下水道処理人口普及率は54.4%であり、未普及対策を進める必要がある。特に平成30年4月に供用開始となった志登茂川処理区における汚水整備を中心に事業推進を図る必要がある。
			誰	公共下水道使用者、市内外の人々	◇ 処理区域面積	○	
	下水道工務課		何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	2,287,557（千円）	現状維持	
070-3	雨水管渠建設事業	雨水幹線築造工事等	効	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除	◆ 雨水管理総合計画に基づき実施	○	計画区域の整備を進められており、ある程度の効果が認められるものとして「○」とした。
			誰	市内外の人々が	◇ 整備面積	○	
	下水道工務課		何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	1,344,130（千円）	現状維持	
070-4	建設改良事業	老朽管更新工事	効	老朽化による管路の損壊を防ぐ	◆ 津市下水道ストックマネジメント計画に基づき実施　1件	×	工事の施工に伴い発生する通行規制等の期間及び手法について、地元との調整に不測の日数を要したため次年度へ繰越工事となったことから実施評価を「×」とした。事業を完了できるよう進めていく。
			誰	公共下水道使用者	◇ ストックマネジメント工事件数	△	
	下水道工務課		何	安定した公共下水道の使用	0（千円）	現状維持	
070-5	建設改良費	浄化施設整備工事、排水施設整備工事等	効	安心安全なまちづくりの推進を図る	◆ 下水道ストックマネジメント基本計画	○	下水道ストックマネジメント基本計画に基づき改築工事を進める。
			誰	使用者のため	◇ 下水道ストックマネジメント基本計画による計画的な実施	○	
	下水道施設課		何	安心安全な生活が維持できる	76,200（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

070-6	農業集落排水処理施設維持管理事業 下水道工務課/下水道施設課	農業集落排水処理施設等の機能強化工事	効	持続的な施設機能の確保とライフサイクルコストの低減	◆ 機能強化工事条件変更に伴う関係部局との調整	○	計画に基づき施設の機能強化を進める。
			誰	使用者が	◇ 施設の計画的かつ効率的な管理	○	
			何	安定した公共下水道の使用ができる	0（千円）	拡充・充実	
070-7	流域下水道建設負担事業 経営企画課	中勢沿岸流域下水道の建設費を負担	効	生活環境の改善や河川等公共用水域の水質保全を図ることができる	◆ 県からの要請に応じて適切に負担金を支払う	◎	県と共同して流域下水道事業の管理及び水洗化を促進する。
			誰	流域関連公共下水道区域に居住する住民	◇ 対象区域の適正な管理及び水洗化の促進	○	
			何	流域下水道の排水の流入に支障のないよう、適正な管理及び水洗化を促進する	145,386（千円）	現状維持	
070-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
070-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
070-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040822071
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ　71
	関連個別計画			津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）	
担当部局				上下水道事業局、上下水道管理局	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			071	供用開始地域の未接続世帯への公共下水道接続並びに汲み取り槽及び単独浄化槽からの合併浄化槽への転換について、指導、啓発活動を強化し、水洗化率の向上に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
071-1	市営浄化槽事業 / 下水道工務課	下水道計画区域及び農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域における浄化槽の設置	効	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の放流水の浄化	◆ 津市下水道事業基本計画に基づき実施	○	市営浄化槽の設置及び、帰属数が計画より少なかったため「△」とした。今後は啓発活動等を行い事業の向上に取り組む。
			誰	市営浄化槽使用者、市内外の人々	◇ 市営浄化槽設置・帰属件数	△	
			何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	40,534（千円）	現状維持	
071-2	公共下水道事業 / 下水道工務課	公共下水道供用開始地域における未接続世帯への公共下水道接続についての啓発	効	公共下水道の水洗化率の向上	◆ 未接続世帯への普及啓発訪問件数　1,000件／年	△	啓発訪問件数が647件となったことから「△」とした。公共用水域の水質保全のため事業を継続していく。
			誰	公共下水道供用開始区域の住宅所有者等	◇ 接続検査件数	○	
			何	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに公共用水域の水質保全につながる	0（千円）	現状維持	
071-3	普及指導事業 / 営業課	公共下水道供用開始地域の未接続世帯に対する補助	効	水洗化率の向上に繋がる	◆ 41件	△	利用者の減少はみられるものの、公共下水道への接続が促されることにより、水質改善が図れており、事業を継続する
			誰	市内の人々	◇ 水洗化率向上	○	
			何	助成金を活用し、公共下水道へ接続することができる	80（千円）	現状維持	
071-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
071-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

071-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
071-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
071-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
071-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
071-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040822072
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ　71
	関連個別計画		津市雨水管理総合計画（令和元年度～令和10年度）		
担当部局			農林水産部、建設部、上下水道事業局		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			072	浸水被害軽減のため、排水路や公共下水道の整備と既存施設の適切な維持管理など、雨水排水対策を進めるとともに、浸水被害が著しい地域においては、公共下水道事業だけでなく河川事業や農地の湛水防除事業なども含めた総合的な浸水対策を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
072-1	緊急浚渫対策事業 / 河川排水推進室	緊急浚渫対策事業債を活用した、浸水対策のための河川の浚渫工事	効	浸水対策の促進	◆ 6河川の浚渫	○	河川の浚渫を行ったことで浸水対策が図られ、安心・安全な暮らしを確保することができたため「◎」とした。今後も継続して実施していく。
			誰	河川流域の住民	◇ 河道断面の確保	◎	
			何	安心・安全な暮らしを送る	34,236（千円）	現状維持	
072-2	雨水計画事業 / 河川排水推進室	浸水被害軽減のための調査測量、検討業務委託	効	浸水対策の促進	◆ 5河川の設計	○	河川管理施設の整備に伴う設計を行ったことで浸水対策が図られ、安心・安全な暮らしを確保することができたため「◎」とした。今後も継続して実施していく。
			誰	調査箇所周辺地区の住民	◇ 河川管理施設の整備に伴う設計	◎	
			何	安心・安全な暮らしを送る	5,935（千円）	現状維持	
072-3	雨水対策事業（農業水利施設改修） / 河川排水推進室	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、浸水対策のための農業水利施設等の改修工事	効	浸水対策の促進	◆ 2調整池の工事	○	農業水利施設等の改修工事を行ったことで浸水対策が図られ、安心・安全な暮らしを確保することができたため「◎」とした。今後も継続して実施していく。
			誰	ため池下流の地域の住民	◇ 調整機能の付加	◎	
			何	安心・安全な暮らしを送る	24,013（千円）	現状維持	
072-4	河川維持事業 / 南北工事事務所	準用河川等のしゅんせつ、除草、修繕等の維持管理	効	適正な河川施設の維持管理を行う	◆ 施設の適正な維持管理	◎	河川の土砂しゅんせつ等を行うことにより、降雨時における河川の排水能力を高め、河川の氾濫等による浸水被害の低減を図ることができた。引き続き、河川の維持保全等に努め、緊急性の高い箇所より順次進めていく。
			誰	市内外の人々が	◇ 地域住民の安心感等	◎	
			何	地域特性に応じた河川施設の維持管理を行う	123,977（千円）	現状維持	
072-5	雨水管渠建設事業 / 下水道工務課	雨水幹線築造工事等	効	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除	◆ 雨水管理総合計画に基づき実施	○	計画区域の整備を進められており、ある程度の効果が認められるものとして「○」とした。
			誰	市内外の人々が	◇ 整備面積	○	
			何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	1,344,130（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

072-6	雨水対策事業（排水機場等改修） 下水道施設課	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、浸水対策のための排水機場等の改修工事	効 誰 何	安心安全なまちづくりの推進を図る 市民の 浸水対策のため	◆ 緊急自然災害防止対策事業債 ◇ 緊急自然災害防止対策事業債による計画的な実施 0（千円）	○ ○ 拡充・充実	今年度は事業基準の対象外であるため、国庫補助を活用して改修工事実施、今後基準対象の施設については改修工事を行う。
072-7			効 誰 何		◆ ◇ （千円）		
072-8			効 誰 何		◆ ◇ （千円）		
072-9			効 誰 何		◆ ◇ （千円）		
072-10			効 誰 何		◆ ◇ （千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040823
		施策	23	生活道路の整備	本冊ページ　71
	関連個別計画		津市狭あい道路拡幅整備促進計画		
担当部局			市民部、都市計画部、建設部		
施策の内容（番号）			073 ～ 074		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
073	幅員4m未満の狭あい道路の解消に向けて、セットバック費用に対する助成制度の普及・啓発に努め、市道としての拡幅・整備を推進します。	A	①	建築指導課
074	市民が不便なく常に安全・快適に利用ができるよう、橋りょう等の各道路施設について、定期的な点検を実施し、予防的かつ計画的な修繕・更新を行うとともに、道路パトロールや関係機関・市民との連携による危険箇所の監視体制を強化し、迅速・適切な対応に努めます。	B	①	地域連携課/建設整備課/南北工事事務所

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	道路施設の異常や損傷の早期発見に努めつつ、予防的かつ計画的な修繕やフレキシブルに対応する地域インフラ維持・補修事業を実施するとともに、狭あい道路については道路後退用地確保のための測量・分筆・除却等に対する助成及び寄附後の道路整備を実施しているほか、橋りょうの架替や長寿命化の工事を行うなど、生活道路の整備を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040823073
		施策	23	生活道路の整備	本冊ページ　71
	関連個別計画		津市狭あい道路拡幅整備促進計画（令和元年度～令和5年度）		
担当部局			都市計画部、建設部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			073	幅員4m未満の狭あい道路の解消に向けて、セットバック費用に対する助成制度の普及・啓発に努め、市道としての拡幅・整備を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
073-1	狭あい道路整備事業 / 建築指導課	道路後退用地確保のための測量・分筆、除却等に対する助成及び寄附後の道路整備	効	良好な住環境の整備	◆ 助成金を40件交付する	◎	計画どおり実施できたため「◎」とした。4m未満の狭い道路を広げていくことで、良好な住環境の整備及び緊急車両等の通行障害の解消を図っていく。
			誰	4m未満の狭い道路に接する土地所有者	◇ 寄附を受けた件数	◎	
			何	良好な住環境の整備及び緊急車両等の通行障害の解消	45,101（千円）	現状維持	
073-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
073-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
073-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
073-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

073-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
073-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
073-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
073-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
073-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040823074
		施策	23	生活道路の整備	本冊ページ	71
	関連個別計画					
担当部局			市民部、建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			074	市民が不便なく常に安全・快適に利用ができるよう、橋りょう等の各道路施設について、定期的な点検を実施し、予防的かつ計画的な修繕・更新を行うとともに、道路パトロールや関係機関・市民との連携による危険箇所の監視体制を強化し、迅速・適切な対応に努めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
074-1	地域インフラ維持事業 / 地域連携課	道路、河川、公園等の地域インフラの維持修繕に関し総合支所長の権限のもと、フレキシブルに対応する事業	効	地域から寄せられるインフラに関する要望に対して、総合支所長の権限で速やかに優先順位を決めて柔軟に対応する	◆ 地域インフラの維持修繕について、単価契約による委託業務及び施設修繕において即時対応を行う。	○	自然災害を含む突発的に発生するインフラの被害について、早期の対応が図れた。今後も、必要となる対応を迅速に行っていきたい。
			誰	市民が	◇ 対応件数	○	
			何	安全に道路等のインフラを使用することができる	161,263（千円）	現状維持	
074-2	地域インフラ補修事業 / 地域連携課	身近な地域の課題や要望の早期解決を図るため、地域への原材料の支給や、総合支所職員による簡易な補修、修繕等の実施	効	地域から寄せられるインフラに関する要望に対して、総合支所長の権限で速やかに優先順位を決めて柔軟に対応する	◆ 迅速、的確かつ柔軟に対応するため、総合支所職員による公共施設の簡易な補修、修繕及び地域への原材料の支給を行う。	○	自然災害を含む突発的に発生するインフラの被害について、早期の対応が図れた。今後も、必要となる対応を迅速に行っていきたい。
			誰	市民が	◇ 対応件数	○	
			何	安全に道路等のインフラを使用することができる	23,278（千円）	現状維持	
074-3	舗装維持管理強化事業 / 建設整備課	国の防災・安全交付金を活用した舗装維持管理計画に基づく路線の予防的かつ計画的な修繕の実施	効	舗装のひび割れ・わだち掘れを修繕し安全性や信頼性を確保した道路サービスが提供できる	◆ 4路線の舗装修繕	○	過年度より舗装修繕を継続的に実施している。令和3年度の補正予算により、重点的に実施できました。令和4年度以降も引き続き補正予算対応を考慮しながら進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 舗装修繕の進捗率	○	
			何	舗装の表面を健全な状態にすることで、安全な走行空間を確保する	185,939（千円）	拡充・充実	
074-4	道路構造物修繕（更新）事業 / 建設整備課	道路ストックの総点検により、道路施設の異常や損傷を早期に発見し、計画的な修繕を実施	効	損傷した道路施設（法面・道路照明灯）を修繕し安全性や信頼性を確保した道路サービスが提供できる	◆ 1路線の法面修繕	○	令和4年度から1路線の法面修繕の設計業務に着手しました。今後、設計の成果をもとに修繕を実施していく。
			誰	道路利用者	◇ 法面修繕の進捗率	△	
			何	損傷した道路施設を健全な状態にすることで、安全な走行空間を確保する	16,382（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

074-5	津興橋大規模更新事業	津興橋架替工事に伴う仮橋工事	効	損傷の激しい橋梁を架替えることで安全性が確保できる	◆ 令和8年度の完成	○	平成27年度に架け替え方針を決定し、事業を進めている。令和4年度は旧橋の橋脚6基の撤去が完了し、新橋脚1基の設置と旧橋台の撤去にも着手した。令和8年度の完成を目指し整備を進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	△	
	建設整備課		何	地震発生後に通行が確保できる耐震性能を満足した橋になる。橋の設計供用期間が100年の橋になる	469,255（千円）	現状維持	
074-6	橋りょう長寿命化修繕事業	国の道路メンテナンス事業補助金を活用し、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び工事の実施	効	定期的な点検により橋梁の損傷状況が把握でき、損傷部位の修繕により安全性や信頼性が確保できる	◆ 長寿命化修繕計画に基づく事業の実施	○	平成26年度以降、全ての橋梁に対し5年に1度の点検を実施している。今後も継続的に点検・修繕を実施していく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	○	
	建設整備課		何	損傷した橋梁を健全な状態にすることで、安全な走行空間を確保する	182,223（千円）	現状維持	
074-7	道路等維持修繕事業	舗装、側溝等道路施設の維持修繕	効	適正な道路施設の維持管理を行う	◆ 道路施設の維持管理	○	生活基盤である道路施設の維持保全を図ることができた。引き続き、安全で快適な生活環境を保全するため、維持管理を行って行く。
			誰	市内外の人々が	◇ 維持管理の進捗率	○	
	南北工事事務所		何	生活基盤である道路施設の維持管理を行う	20,342（千円）	現状維持	
074-8	環境整備事業	公共下水道事業完了後の道路施設の整備等	効	適正な道路施設の維持管理を行う	◆ 道路施設の整備等	○	生活基盤である道路施設の維持保全を図ることができた。引き続き、安全で快適な生活環境を保全するため、地元関係者と協議しながら、緊急性の高い箇所から順次改修を進めていく。
			誰	市内外の人々が	◇ 維持管理の進捗率	○	
	南北工事事務所		何	事業完了後の道路施設の維持管理を行う	114,696（千円）	現状維持	
074-9	橋りょう維持事業	橋りょうの修繕工事	効	橋りょうの安全性を確保するため修繕を行う	◆ 橋りょうの修繕	○	生活基盤である道路施設の維持保全を図ることができた。引き続き、安全で快適な生活環境を保全するため、緊急性の高い箇所から順次改修を進めていく。
			誰	市内外の人々が	◇ 維持管理の進捗率	○	
	南北工事事務所		何	橋りょうの安全性、信頼性を確保するため維持管理を行う	1,224（千円）	現状維持	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040824
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画		津市環境基本計画、津市空家等対策計画、津市公営住宅等長寿命化計画		
担当部局			環境部、都市計画部、建設部		
施策の内容（番号）			075 ～ 079		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
075	市民や管理者・所有者に対し、空き家の適正管理に向けた啓発や情報提供を行うことで、適切に管理されず老朽化した空き家発生の抑制に取り組むとともに、資産価値のあるうちに賃貸や売却が行われるなど、空き家が住宅ストックとして利活用される環境を整備します。	B	③	環境保全課/都市政策課
076	適正に管理されていない空き地・空き家の管理者・所有者に対し、適正管理の指導や啓発を行い、管理不全な状態が改善されない場合は、その所有者等に対する行政指導や行政処分により、改善に努めます。	A	③	環境保全課/建築指導課
077	市営住宅の適正な維持管理や計画的な改修等を実施し、市営住宅総量の適正数を見極めた上で、集約化を進めるとともに、民間賃貸住宅ストックの活用による効率的かつ効果的な住宅提供方法の検討を進めます。	B	①	市営住宅課
078	地籍調査は、地元自治会や関係機関の協力を得ながら、より一層推進し、特に沿岸部においては、津波被害が発生した時に備え、計画的かつ集中的に事業に取り組みます。	A	①	用地・地籍調査推進課
079	市営墓地については、適正な管理運営により無縁墓の発生防止に努めます。	B	①	地域振興課（久居・安濃・香良洲・一志）

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	空き家等が適切に管理されずに老朽化することを抑制するため、空き家情報バンクの利用促進啓発や空き家リノベーションに対する補助、空き地・空き家に関する相談・苦情対応、特定空家等の除却工事に対する補助を実施するとともに、適正に管理されていない空き地・空き家の所有者への指導等や市営住宅の長寿命化を図るための改修工事、津波災害時の速やかな復旧・復興に資する地籍調査、市営墓地の適正な管理運営を行うなど、居住環境の整備を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード 040824075
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ 72
	関連個別計画			津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市空家等対策計画（平成29年度～令和3年度）	
担当部局				環境部、都市計画部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			075	市民や管理者・所有者に対し、空き家の適正管理に向けた啓発や情報提供を行うことで、適切に管理されず老朽化した空き家発生の抑制に取り組むとともに、資産価値のあるうちに賃貸や売却が行われるなど、空き家が住宅ストックとして利活用される環境を整備します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
075-1	空き地・空き家等の適正管理	空き地・空き家の適正管理に向けた啓発や情報発信	効	迷惑な空き地・空き家の発生の抑制	◆ 啓発等により相談・苦情件数を減らす：R9には622件	○	空き家に関する法改正がなされ、所有者間での対応が可能となることから、相談苦情件数の減少が見込まれる。
			誰	市民	◇ 相談苦情件数	○	
	環境保全課		何	生活環境及び公衆衛生の保全	616（千円）	現状維持	
075-2	空家等対策関係事業	空き家情報バンク利用促進啓発	効	空き家情報バンクの利用者を増やし、登録物件の成約により空き家数を減らす	◆ 空き家情報バンク物件成約件数15件/年	◎	成約件数35件/年と当初の事業実施計画を上回り、空き家の件数を減少させることができたため。
			誰	空き家の所有者及び空き家の利活用を希望する人	◇ 空き家の減少件数	◎	
	都市政策課		何	空き家の利活用を促進することで空き家の件数を減少させ、地域の良好な住環境を維持する	0（千円）	拡充・充実	
075-3	空家等対策関係事業	津市移住促進のための空き家リノベーションに対する補助	効	移住者が補助金を活用し、空き家のリノベーションまたは家財道具処分を行うことで空き家が再利用される	◆ 補助件数11件/年（リノベ1件、家財10件）	×	補助件数が1件/年（家財）と当初の事業実施計画を下回ったため。利用が進むよう、更なる啓発に努めたい。
			誰	空き家の利活用者	◇ 空き家の利活用を促進する	△	
	都市政策課		何	空き家の利活用を促進することで空き家の件数を減少させ、地域の良好な住環境を維持する	20（千円）	拡充・充実	
075-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
075-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

075-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
075-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
075-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
075-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
075-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040824076
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画			津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市空家等対策計画（平成29年度～令和3年度）	
担当部局				環境部、都市計画部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			076	適正に管理されていない空き地・空き家の管理者・所有者に対し、適正管理の指導や啓発を行い、管理不全な状態が改善されない場合は、その所有者等に対する行政指導や行政処分により、改善に努めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
076-1	空き地・空き家等の適正管理	適正に管理されていない空き地・空き家の草木の繁茂に係る所有者への指導等	効	迷惑な空き地・空き家の発生の抑制	◆ 啓発等により相談・苦情件数を減らす：R9には622件	○	空き家に関する法改正がなされ、所有者間での対応が可能となることから、相談苦情件数の減少が見込まれる。
			誰	市民	◇ 相談苦情件数	○	
	環境保全課		何	生活環境及び公衆衛生の保全	43（千円）	見直し	
076-2	空家等対策関係事業	特定空家等の除却工事に対する補助	効	特定空家等を所有者が解体する費用の一部を補助するため解体をしやすくなる	◆ 特定空家等除却補助金　12件	◎	計画どおり実施できたため「◎」とした。管理不全な空家の所有者への働きかけと補助金による支援により改善を促進し、地域の不安の解消に努めていく。
			誰	特定空家等の所有者	◇ 特定空家等除却補助金の実施率	◎	
	建築指導課		何	解体を行うことにより、土地の有効活用ができ周辺地域の安全も確保できる	3,600（千円）	現状維持	
076-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
076-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
076-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

076-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
076-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
076-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
076-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
076-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	③

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	③					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード 040824077
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ 72
	関連個別計画			津市公営住宅等長寿命化計画（令和2年度～令和11年度）	
担当部局				建設部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			077	市営住宅の適正な維持管理や計画的な改修等を実施し、市営住宅総量の適正数を見極めた上で、集約化を進めるとともに、民間賃貸住宅ストックの活用による効率的かつ効果的な住宅提供方法の検討を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
077-1	市営住宅施設改修事業	市営住宅の改修工事等	効	建物の長寿命化（躯体の安全性、利便性の向上）	◆ 公営住宅の効率的かつ円滑な更新と予防保全的な維持管理の推進	○	令和4年度は、ぜにやま団地12号館外壁その他改修工事や、ぜにやま団地2号館屋上防水改修工事等を実施した。今後も継続的に改修工事等を実施していく。
			誰	市営住宅入居者及び入居を希望する市民	◇ 建物の安全性、利便性の向上	○	
	市営住宅課		何	安定的に居住地（住宅）を確保できる	97,110（千円）	現状維持	
077-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
077-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
077-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
077-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

077-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
077-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
077-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
077-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
077-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A	A	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040824078
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ	72
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			078	地籍調査は、地元自治会や関係機関の協力を得ながら、より一層推進し、特に沿岸部においては、津波被害が発生した時に備え、計画的かつ集中的に事業に取り組みます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
078-1	地籍調査事業	沿岸部における津波浸水区域を「重点整備区域」として、地籍調査事業を推進	効	土地の境界を明確にする	◆ 年次計画による事業の推進	○	補助金を100%消化できたため「◎」とした。今後も計画的に事業が継続できるように検証を進めていく。
			誰	市民及び事業者（土地所有者）	◇ 調査済面積	◎	
	用地・地籍調査推進課		何	津波災害時にライフライン等の速やかな復旧・復興ができる	132,953（千円）	現状維持	
078-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
078-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
078-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
078-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

078-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
078-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
078-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
078-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
078-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040824079
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画			津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）	
担当部局				環境部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			079	市営墓地については、適正な管理運営により無縁墓の発生防止に努めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
079-1	墓地管理事業	墓地の使用許可、台帳管理及び管理運営	効	無縁墓の発生防止並びに墓所の荒廃防止及び景観維持	◆ 無縁墓発生件数：0件	○	適正な管理運営により、無縁墓の発生を抑制できており、墓園を良好な環境に保持できていることから評価した。今後も本事業の実施による効果の継続が不可欠であるため、方向性を現状維持とした。
			誰	墓園使用者	◇ 無縁墓発生件数	○	
	地域振興課（久居）		何	参拝等における良好な環境の保持	1,969（千円）	現状維持	
079-2	墓地管理事業	墓地の使用許可、台帳管理、管理運営及び墓園使用者に毎年管理料の納付書送付	効	無縁墓の発生防止並びに墓所の荒廃防止及び景観維持	◆ 無縁墓発生件数：0件	○	適正な管理運営により、無縁墓の発生を抑制できており、墓園を良好な環境に保持できていることから評価した。今後も本事業の実施による効果の継続が不可欠であるため、方向性を現状維持とした。
			誰	墓園使用者	◇ 無縁墓発生件数	○	
	地域振興課（安濃）		何	参拝等における良好な環境の保持	339（千円）	現状維持	
079-3	墓地管理事業	墓地の使用許可、台帳管理及び管理運営	効	無縁墓の発生防止並びに墓所の荒廃防止及び景観維持	◆ 無縁墓発生件数：0件	○	適正な管理運営により、無縁墓の発生を抑制できており、墓園を良好な環境に保持できていることから評価した。今後も本事業の実施による効果の継続が不可欠であるため、方向性を現状維持とした。
			誰	墓園使用者	◇ 無縁墓発生件数	○	
	地域振興課（香良洲）		何	参拝等における良好な環境の保持	537（千円）	現状維持	
079-4	墓地管理事業	墓地の使用許可、台帳管理及び一志墓園維持管理組合との連携	効	無縁墓の発生防止並びに墓所の荒廃防止及び景観維持	◆ 無縁墓発生件数：0件	○	適正な管理運営により、無縁墓の発生を抑制できており、墓園を良好な環境に保持できていることから評価した。今後も本事業の実施による効果の継続が不可欠であるため、方向性を現状維持とした。
			誰	墓園使用者	◇ 無縁墓発生件数	○	
	地域振興課（一志）		何	参拝等における良好な環境の保持	－（千円）	現状維持	
079-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

079-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
079-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
079-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
079-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
079-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040825
		施策	25	港湾・海岸堤防の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画		機能保全計画		
担当部局			農林水産部、都市計画部、建設部		
施策の内容（番号）			080	～	082

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
080	地震や高潮等に対応した海岸堤防の早期完成・早期整備と維持管理を国・県に対し、強く働きかけます。	B	①	事業調整室
081	発生が予想される南海トラフ地震や台風時の高潮から水産業生産拠点である漁港を守るため、国・県と連携し、堤防や防波堤、既存施設の長寿命化などを推進します。	－	－	水産振興室
082	老朽化が進む港湾施設について、計画的な修繕により港湾機能の維持・確保を三重県に対し、強く働きかけます。	A	①	事業調整室/河川排水推進室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	地震や高潮等に対応した海岸堤防の早期完成に向けた国への要望や老朽化が進む津松阪港の港湾施設の改修等に係る県への要望を適宜実施するとともに、当該港湾施設の改修工事費用の一部を負担することで、港湾・海岸堤防の整備が進んでいます。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040825080
		施策	25	港湾・海岸堤防の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画				
担当部局			建設部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			080	地震や高潮等に対応した海岸堤防の早期完成・早期整備と維持管理を国・県に対し、強く働きかけます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
080-1	津松阪港直轄海岸事業促進期成同盟会	津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業の促進及び予算確保のため関係機関への要望活動を実施	効	津松阪港海岸における直轄海岸事業の促進	◆ 時宜を捉えて適宜要望活動を実施	○	国によって、阿漕浦・御殿場工区及び栗真工区において堤防工事が進められた。津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業令和5年度中に完了予定。
			誰	津松阪港海岸沿岸住民	◇ 国事業の進捗	○	
	事業調整室		何	安心・安全な生活を送る	100（千円）	現状維持	
080-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
080-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
080-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
080-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

080-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
080-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
080-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
080-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
080-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040825081
		施策	25	港湾・海岸堤防の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画		機能保全計画		
担当部局			農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			081	発生が予想される南海トラフ地震や台風時の高潮から水産業生産拠点である漁港を守るため、国・県と連携し、堤防や防波堤、既存施設の長寿命化などを推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
081-1			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
081-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
081-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
081-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
081-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

081-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
081-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
081-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
081-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
081-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	―

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	―

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	－	B	B	A	－					
今後の方向性	－	①	①	①	－					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード 040825082
		施策	25	港湾・海岸堤防の整備	本冊ページ 72
	関連個別計画				
担当部局			都市計画部、建設部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			082	老朽化が進む港湾施設について、計画的な修繕により港湾機能の維持・確保を三重県に対し、強く働きかけます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
082-1	要望活動	津松阪港（新堀地区）の港湾施設（物揚場）の改修を要望	効	港湾機能の確保	◆ 時宜を捉えて適宜要望活動を実施	○	三重県により物揚場改修工が行われた。引き続き予算確保に向けた要望活動を行う。
			誰	港湾利用者	◇ 県事業の進捗	○	
	事業調整室		何	施設の耐震化により、安心して利用できるようになる	0（千円）	現状維持	
082-2	津松阪港（新堀地区）県施工事業負担金	津松阪港（新堀地区）の港湾施設（物揚場）改修工事費用の一部負担	効	港湾機能の確保	◆ 港湾施設の改修	○	施設の耐震化により、安心して利用できるようになるため「◎」とした。今後も継続して施設の耐震化を図れるように県施工事業の負担をしていく。
			誰	港湾利用者	◇ 護岸等の補強	◎	
	河川排水推進室		何	施設の耐震化により、安心して利用できるようになる。	473（千円）	現状維持	
082-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
082-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
082-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

082-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
082-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
082-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
082-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
082-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040926
		施策	26	良好な景観の形成	本冊ページ	75
	関連個別計画		津市景観計画			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（番号）			083	～	085	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
083	市民や事業者において、それぞれの役割に応じた良好な景観の形成に向けた取組が積極的に行われるよう、情報発信や啓発事業などを行うとともに、市民一人ひとりが美しい景観への関心と景観形成の主体者であるという意識を持つことができるよう、景観に対する関心の喚起や、良好な景観の形成への取組に対する動機付け、知識の普及などに努めま	B	①	都市政策課
084	市民、事業者などによる良好な景観の形成に関する優れた取組などに対しては、景観法の各種制度や関連する法制度を活用しながら、積極的に支援します。	B	①	都市政策課
085	屋外広告物については、違反指導を強化し、良好な景観の形成、風致の維持の観点から適切な規制・誘導を図るとともに、倒壊や落下等による公衆に対する危害防止のため、適切な管理を行うよう、事業者等に対し必要な指導等を行います。	B	①	都市政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	景観計画で定める重点地区における修景事業に対する補助や重点地区指定に向けた支援、倒壊・落下の恐れのある屋外広告物に対する適切な管理の指導を実施するとともに、違反広告物に対する規制誘導を図ることで、良好な景観の形成を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A	B	B					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040926083
		施策	26	良好な景観の形成	本冊ページ 75
	関連個別計画		津市景観計画（平成26年度～）		
担当部局			都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			083	市民や事業者において、それぞれの役割に応じた良好な景観の形成に向けた取組が積極的に行われるよう、情報発信や啓発事業などを行うとともに、市民一人ひとりが美しい景観への関心と景観形成の主体者であるという意識を持つことができるよう、景観に対する関心の喚起や、良好な景観の形成への取組に対する動機付け、知識の普及などに努めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					当初の事業実施計画 / 事業評価の主な視点	実施評価 / 事業評価	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆		
			誰	誰のための事業か	◇		
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
083-1	重点地区指定推進事業 / 都市政策課	景観計画で定める重点地区内における修景事業に対する補助、重点地区指定に向けた支援	効	まちなみ修景整備事業の実施及び重点地区指定に向けた支援をすることにより、市民共通の大切な資産として良好な景観形成の推進を図る	◆ 補助件数　2件	△	実施計画を下回ったが、個人の建て替えや修理等のタイミングにも左右されるものであり、その中で一定の成果を得ていると考えるため左記の評価とした。
			誰	市民	◇ 良好な景観形成の推進	○	
			何	良好な景観形成の推進を図る	391（千円）	現状維持	
083-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
083-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
083-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
083-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

083-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
083-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
083-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
083-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
083-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040926084
		施策	26	良好な景観の形成	本冊ページ 75
	関連個別計画		津市景観計画（平成26年度～）		
担当部局			都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			084	市民、事業者などによる良好な景観の形成に関する優れた取組などに対しては、景観法の各種制度や関連する法制度を活用しながら、積極的に支援します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆当初の事業実施計画 / 実施評価		
			効	事業の実施により直接的に表れる効果			
			誰	誰のための事業か	◇事業評価の主な視点 / 事業評価		
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
084-1	重点地区指定推進事業 / 都市政策課	景観計画で定める重点地区内における修景事業に対する補助、重点地区指定に向けた支援	効	まちなみ修景整備事業の実施及び重点地区指定に向けた支援をすることにより、市民共通の大切な資産として良好な景観形成の推進を図る	◆補助件数　2件	△	実施計画を下回ったが、個人の建て替えや修理等のタイミングにも左右されるものであり、その中で一定の成果を得ていると考えるため左記の評価とした。
			誰	市民	◇良好な景観形成の推進	○	
			何	良好な景観形成の推進を図る	391（千円）	現状維持	
084-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
084-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
084-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
084-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

084-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
084-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
084-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
084-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
084-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040926085
		施策	26	良好な景観の形成	本冊ページ	75
	関連個別計画					
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			085	屋外広告物については、違反指導を強化し、良好な景観の形成、風致の維持の観点から適切な規制・誘導を図るとともに、倒壊や落下等による公衆に対する危害防止のため、適切な管理を行うよう、事業者等に対し必要な指導等を行います。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
085-1	屋外広告物違反指導	違反広告物に対して適切な規制誘導を図る	効	屋外広告物の無秩序な氾濫を防ぐ	◆ 三重県屋外広告物条例に基づく許可申請の徹底	○	許可申請の徹底により、無秩序な氾濫を防ぐことに一定の成果を得ていると考えるため、左記の評価とした。
			誰	市民	◇ 適切に取り締まる	○	
	都市政策課		何	良好な景観の形成及び風致の維持を図る	0（千円）	現状維持	
085-2	屋外広告物違反指導	倒壊や落下等の恐れがある屋外広告物について適切な管理をするよう事業者に指導	効	倒壊や落下等による歩行者等への危害を防ぐ	◆ 屋外広告物（掲出物件）自己点検結果報告書の提出の徹底	○	屋外広告物自己点検結果報告書の提出を徹底することにより、公衆に対する危害の防止に一定の成果を得ていると考えるため、左記の評価とした。
			誰	市民	◇ 適切に取り締まる	○	
	都市政策課		何	公衆に対する危害の防止	0（千円）	現状維持	
085-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
085-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
085-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

085-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
085-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
085-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
085-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
085-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040927
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ	75
	関連個別計画		津市都市マスタープラン			
担当部局			都市計画部、建設部			
施策の内容（番号）			086	～	089	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
086	快適な生活空間の形成に向け、緑の持つさまざまな機能を十分踏まえ、長期的な視点に立って、緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。	A	①	都市政策課
087	講習会の開催等や津市緑化基金等を活用した市民の緑化活動への支援により、道路・河川等の公共空間や民有地の公的空間の緑化を推進するとともに、市民の緑化意識の高揚を促進します。	A	①	都市政策課
088	都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。	B	①	建設整備課
089	既に整備の完了している公園については、地域コミュニティの場などとして、幅広い世代が今後も安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。	B	①	南北工事事務所

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	記念樹及び生け垣用の苗木の配布や緑化・美化活動に取り組む団体に対する花苗の提供により緑化を推進するとともに、中勢グリーンパークにおける官民連携事業の推進、香良洲高台防災公園や岩田池公園の整備、既存公園の改修工事、公園の清掃・除草等の維持管理を実施することにより、公園緑地の整備を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040927086
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ　75
	関連個別計画			津市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度）	
担当部局				都市計画部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			086	快適な生活空間の形成に向け、緑の持つさまざまな機能を十分踏まえ、長期的な視点に立って、緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
086-1	緑化推進事業	記念樹用苗木の配布	効	人生の節目を記念して、記念樹木を配布することにより、市民が愛着を持って育む樹木を増やすと共に、潤いのある美しいまちづくりの推進を図る	◆ 申請件数　700件	◎	実施計画を上回り、市民が愛着を持って育む樹木を増やし、潤いのある美しいまちづくりの推進が図れているため。
			誰	市民	◇ 申請件数	◎	
	都市政策課		何	緑化の推進	503（千円）	現状維持	
086-2	緑化推進事業	生け垣緑化用苗木の配布	効	生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりを図る	◆ 申請件数　10件	○	実施計画を1件下回ったが、生け垣を設置することにより、緑に囲まれた住みよい環境づくりが図れるため。
			誰	市民	◇ 申請件数	○	
	都市政策課		何	緑化の推進	202（千円）	現状維持	
086-3	緑化推進事業	緑化・美化運動の実施	効	緑化推進を通し、地域住民が親しめるまちなみを形成し、緑化への関心を図る	◆ 取り組み団体数170団体	◎	実施計画の取り組み団体数を上回り、地域住民が親しめるまちなみが形成され、緑化への関心が図れるため。
			誰	市民	◇ 取り組み団体数	◎	
	都市政策課		何	緑化の推進	5,767（千円）	現状維持	
086-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
086-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

086-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
086-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
086-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
086-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
086-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	②	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040927087
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ 75
	関連個別計画			津市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度）	
担当部局				都市計画部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			087	講習会の開催等や津市緑化基金等を活用した市民の緑化活動への支援により、道路・河川等の公共空間や民有地の公的空間の緑化を推進するとともに、市民の緑化意識の高揚を促進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					当初の事業実施計画 / 事業評価の主な視点	実施評価 / 事業評価	
087-1	緑化推進事業 / 都市政策課	記念樹用苗木の配布	効	人生の節目を記念して、記念樹木を配布することにより、市民が愛着を持って育む樹木を増やすと共に、潤いのある美しいまちづくりの推進を図る	◆ 申請件数　700件	◎	実施計画を上回り、市民が愛着を持って育む樹木を増やし、潤いのある美しいまちづくりの推進が図れているため。
			誰	市民	◇ 申請件数	◎	
			何	緑化の推進	決算額　503（千円）	今後の方向性：現状維持	
087-2	緑化推進事業 / 都市政策課	生け垣緑化用苗木の配布	効	生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりを図る	◆ 申請件数　10件	○	実施計画を1件下回ったが、生け垣を設置することにより、緑に囲まれた住みよい環境づくりが図れるため。
			誰	市民	◇ 申請件数	○	
			何	緑化の推進	決算額　202（千円）	今後の方向性：現状維持	
087-3	緑化推進事業 / 都市政策課	緑化・美化運動の実施	効	緑化推進を通し、地域住民が親しめるまちなみを形成し、緑化への関心を図る	◆ 取り組み団体数170団体	◎	実施計画の取り組み団体数を上回り、地域住民が親しめるまちなみが形成され、緑化への関心が図れるため。
			誰	市民	◇ 取り組み団体数	◎	
			何	緑化の推進	決算額　5,767（千円）	今後の方向性：現状維持	
087-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		決算額　（千円）	今後の方向性：	
087-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		決算額　（千円）	今後の方向性：	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

087-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
087-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
087-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
087-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
087-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	②	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040927088
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ 75
	関連個別計画				
担当部局				都市計画部、建設部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			088	都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
088-1	香良洲高台防災公園整備事業 / 建設整備課	香良洲高台防災公園の整備工事	効	地震、津波発生時に避難及び、平常時の公園利用	◆ 法面、雨水施設、管理棟、屋内運動施設整備	○	公園の法面や雨水施設、管理棟及び屋内運動施設の整備を行い、津波発生時の一時避難に利用可能となりました。引き続き、令和6年度末完成を目指し整備を進めていく。
			誰	地震、津波発生時に地区外へ逃げ遅れた人及び公園利用者	◇ 避難場所の確保、公園利用	○	
			何	発災時に逃げ遅れても地区内避難ができる安心感が持てる。一般的な公園利用に加えて、軽運動やレクリエーションなどに活用することができる	789,171（千円）	現状維持	
088-2	都市公園整備事業 / 建設整備課	岩田池公園の整備工事及び既存公園の改修工事等	効	サブエントランスや園路の利用	◆ 工事用進入路整備 L=75m	○	公園北東側の園路整備に係る工事用道路となる進入路の整備を行った。引き続き園路整備にむけ着実に工事を進めていく。
			誰	公園利用者	◇ 公園利用の機会の増加	△	
			何	前面県道からサブエントランスを視認し、公園利用の機会が増える	15,006（千円）	現状維持	
088-3	都市公園整備事業 / 建設整備課	中勢グリーンパークにおける官民連携事業	効	新たな公園エリアの利用	◆ 特定公園施設の整備	◎	公募設置管理制度（Park－PFI）事業により新エリアの整備が完了し、令和5年4月1日のオープンを迎えることができたことなど、さらに魅力あふれる公園づくりを行うことができた。
			誰	公園利用者	◇ 公園利用の機会の増加	◎	
			何	充実した施設やサービスを期待し、公園利用の機会が増える	153,103（千円）	完了	
088-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
088-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

088-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
088-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
088-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
088-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
088-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040927089
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ	75
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			089	既に整備の完了している公園については、地域コミュニティの場などとして、幅広い世代が今後も安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
089-1	公園維持事業 / 南北工事事務所	公園の清掃、除草等の維持管理	効	適正な公園施設の維持管理を行う	◆ 公園施設の維持管理	○	地域住民の憩いや交流の場として、安全かつ安心して利用できるように、維持管理に努めることができた。引き続き、安全かつ安心して利用できるように、維持管理を行って行く。
			誰	利用者の人々が	◇ 維持管理の進捗率	○	
			何	公園利用者の安全かつ快適に利用できるよう、適正な公園施設の維持管理を行う	176,038（千円）	現状維持	
089-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
089-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
089-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
089-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

089-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
089-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
089-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
089-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
089-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040928
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ　76
	関連個別計画		津市都市マスタープラン、津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			政策財務部、商工観光部、農林水産部、都市計画部、建設部、教育委員会		
施策の内容（番号）			090	～	093

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
090	交通利便性が高い津インターチェンジ周辺地区については、各種法令等による土地利用規制があることから、無秩序な開発の抑制に努めつつ、地域の実情に応じた土地利用が可能となるよう、規制緩和と抜本的な法令改正を国・県へ要望します。	B	①	都市政策課
091	都市的サービス、自然や歴史・文化を実感することができる機能及び本市の求心力を高めることができる機能を有した都市的な拠点を配置するほか、住民生活や地域コミュニティの中心となる地域的な拠点等を配置することにより、持続可能な都市を形成します。	A	①	商業振興労政課/津駅前北部土地区画整理事務所/建設整備課/図書館
092	都心活動の南北軸となる国道23号を中心とする地域を都心活動軸として位置付け、都心活動軸においては、都市機能の誘導に努めます。	B	①	都市政策課
093	交流拠点である津インターチェンジ周辺及び津なぎさまち周辺から、都市拠点である津新町駅、大門・丸之内周辺地区へ誘導する都市計画道路津港跡部線を、新都心軸として位置付け、2つの交流拠点と本市中心部である都市拠点との交流機能の充実に努めます。	A	①	都市政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	津インターチェンジ周辺において地域の実情に応じた土地利用が可能となるよう各種法令等による規制の緩和に係る国・県に対する要望や津駅前北部地区第一種市街地再開発事業、交通量に比して幅員が狭い大谷踏切の拡幅工事等を実施するとともに、大門・丸之内地区の新たな都市づくりに向けた将来像を描くための未来ビジョンの実現に向けた取組を進めるなど、都市機能の整備を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040928090
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ　76
	関連個別計画		津市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			政策財務部、農林水産部、都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			090	交通利便性が高い津インターチェンジ周辺地区については、各種法令等による土地利用規制があることから、無秩序な開発の抑制に努めつつ、地域の実情に応じた土地利用が可能となるよう、規制緩和と抜本的な法令改正を国・県へ要望します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
090-1	津インターチェンジ周辺における土地利用の検討 / 都市政策課	津インターチェンジ周辺の土地利用について法令改正及び規制緩和を国や県に要望	効	津インターチェンジ周辺の交流機能の充実に資する新たな土地利用が図られる	◆ 県政要望の実施	○	県政要望においては、今後も本市との連携のもと、適切な対応を行っていくとの回答がされていることから、「○」とした。今後も新たな土地利用の実現に向けて検討していく。
			誰	市内外の人々	◇ 要望実施状況	○	
			何	圏域内外との交流及び新たな土地利用による活力の向上	0（千円）	現状維持	
090-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
090-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
090-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
090-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

090-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
090-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
090-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
090-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
090-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040928091
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ 76
	関連個別計画			津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				商工観光部、都市計画部、建設部、教育委員会	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			091	都市的サービス、自然や歴史・文化を実感することができる機能及び本市の求心力を高めることができる機能を有した都市的な拠点を配置するほか、住民生活や地域コミュニティの中心となる地域的な拠点等を配置することにより、持続可能な都市を形成します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					当初の事業実施計画 / 事業評価の主な視点 / 決算額（千円）	実施評価 / 事業評価 / 今後の方向性	
091-1	駐車場管理運営事業 / 商業振興労政課	アスト、フェニックス通り、お城東、ポルタひさい、久居駅東口駐車場の管理・運営	効	市街地の駐車場需要に対応するため市営駐車場を運営する	◆ 市営駐車場の健全運営	○	本事業において、前年度と比べ、利用台数は増加し、収益も上昇した。 今後も、継続した事業を展開し、市街地の駐車場需要に応えていく。
			誰	市内外の自動車利用者	◇ 営業収支比率等経営指標	○	
			何	駐車需要を充足する	166,857（千円）	現状維持	
091-2	津駅前北部土地区画整理事業 / 津駅前北部土地区画整理事務所	1件の物件移転交渉、換地処分準備の実施	効	幅員の狭い道路の整備や密集市街地を解消することで、道路の利便性、安全性が向上すると共に、健全な市街地が形成される	◆ 公共施設整備（都市計画道路4路線、公園2箇所ほか）及び宅地造成	◎	事業当初に計画した公共施設整備及び宅地造成がほぼ完了したため「◎」とした。地域住民を対象に行ったまちづくりに対するアンケートで、まち全体の評価について住民の8割が満足、概ね満足しているという結果であったため「◎」とした。引き続き交通安全面等に優れまちづくりの推進に取り組む。
			誰	地域住民のため	◇ 地域住民のまちづくりに対する満足度	◎	
			何	防災面や交通安全面に優れたまちづくりの推進	7,873（千円）	現状維持	
091-3	上浜町大谷町第1号線外1路線道路改良事業 / 建設整備課	大谷踏切の拡幅及び近鉄架道橋拡幅工事	効	狭い踏切道及び前後の道路や架道橋の拡幅により、安心・安全な移動空間を確保できる	◆ 令和6年度の完成	○	令和3年度から近鉄と協定を締結し、踏切西側の架道橋工事に着手し引き続き工事を行った。令和6年度の完成を目指し整備を進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	△	
			何	歩行者と自動車の錯綜による事故リスクや交通渋滞を低減することができる	584,442（千円）	現状維持	
091-4	久居ふるさと文学館駐車場整備事業 / 図書館	久居ふるさと文学館の来館者用駐車場の増設のための実施設計、用地購入等	効	来館者の利便性が向上する	◆ 駐車場整備工事	◎	計画していた工期内に整備工事が完了したため「◎」とした。令和5年1月5日から利用者へ供用開始している。
			誰	久居ふるさと文学館及び近隣公共施設の利用者	◇ 駐車場の利用者数	◎	
			何	来館しやすくなる	26,219（千円）	完了	
091-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

091-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
091-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
091-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
091-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
091-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	A					
今後の方向性	①	①	②	②	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040928092
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ 76
	関連個別計画		津市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			092	都心活動の南北軸となる国道23号を中心とする地域を都心活動軸として位置付け、都心活動軸においては、都市機能の誘導に努めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			誰	誰のための事業か			
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
092-1	市街地再開発事業 / 都市政策課	津駅前北部地区第一種市街地再開発事業の推進	効	土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の集積・更新が図られる	◆ 主となる地権者への動向把握	○	地権者への動向把握においては、現時点では事業化への機運が高まっていない状況にあるが、今後も都市機能の集積及び活力の向上が図られるよう、事業化促進の取組を続ける。
			誰	市内外の人々	◇ 事業実施に向けた地権者の機運の高まり	△	
			何	居住・来訪したくなる多様で高次な都市機能の集積による活力の向上	89（千円）	現状維持	
092-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
092-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
092-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
092-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

092-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
092-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
092-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
092-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
092-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040928093
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ	76
	関連個別計画					
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			093	交流拠点である津インターチェンジ周辺及び津なぎさまち周辺から、都市拠点である津新町駅、大門・丸之内周辺地区へ誘導する都市計画道路津港跡部線を、新都心軸として位置付け、2つの交流拠点と本市中心部である都市拠点との交流機能の充実に努めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
093-1	レッ津！夢みなとプラン推進事業 / 都市政策課	津なぎさまち周辺において、海上アクセス拠点・みなとオアシスとしてふさわしい賑わいと交流を生み出すみなとまちづくりに係る調査・研究等の取組	効	「レッ津！夢みなとプラン」に基づく港湾整備が実現する	◆ 啓発事業1回開催	◎	当初計画していた、啓発事業「海の月間」パネル展示を行ったため「◎」とした。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、魅力の向上及び交流の促進につながる取組を通じ、将来的な港湾整備の実現に向けて取り組む。
			誰	市内外の人々	◇ 来場状況	◎	
			何	津なぎさまちの魅力向上による交流の促進	0（千円）	現状維持	
093-2	都市拠点再生推進事業 / 都市政策課	大門・丸之内地区の新たな都市づくりに向けた将来像を描くための未来ビジョンづくり及び未来ビジョンの実現に向けた取組	効	官民が連携して策定した未来ビジョンに基づく都市づくりにより交流機能の充実が図られる	◆ 未来ビジョンの策定及び官民連携組織の構築	◎	官民連携組織であるエリアプラットフォーム「大門・丸之内未来のまちづくり」が構築され、同エリアプラットフォームで、地区の将来像となる未来ビジョンが策定されたため、「◎」とした。今後もエリア内の多様な関係者と連携し、未来ビジョンに基づく取組を進める。
			誰	市内外の人々	◇ 地区の将来像の共有及び関係者の取組連携	◎	
			何	大門・丸之内地区の将来像を描くことによる当該地区の魅力と活力の向上	6,156（千円）	拡充・充実	
093-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
093-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
093-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

093-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
093-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
093-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
093-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
093-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040929
		施策	29	道路ネットワークの整備	本冊ページ　77
	関連個別計画				
担当部局		建設部			
施策の内容（番号）		094	～	095	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
094	市内の幹線道路については、市民ニーズを捉えながら、交通渋滞の緩和、市民の交流や活動の円滑化などにつながるよう、既存の機能を活用しつつ、市域が一体となった都市構造の形成に向け、整備効果を検証し、計画的かつ効率的な道路整備を推進します。	B	①	建設整備課
095	広域的な交通需要に対応し、企業の進出など産業振興を支え、地域経済の活性化を図るため、中勢バイパスの全線開通と交差点改良、部分四車線化による渋滞対策並びに市内の国道及び県道など、広域的な幹線道路等の整備促進を、国・県の関係機関に対して強く働きかけます。	B	①	事業調整室/建設整備課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	幹線道路及び生活道路の新設改良工事や交通量に比して幅員が狭い大谷踏切の拡幅工事等を実施するとともに、中勢バイパスの全線4車線化の整備促進に向けた関係機関への要望活動を実施することにより、道路ネットワークの整備を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	B	B					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040929094
		施策	29	道路ネットワークの整備	本冊ページ 77
	関連個別計画				
担当部局			建設部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			094	市内の幹線道路については、市民ニーズを捉えながら、交通渋滞の緩和、市民の交流や活動の円滑化などにつながるよう、既存の機能を活用しつつ、市域が一体となった都市構造の形成に向け、整備効果を検証し、計画的かつ効率的な道路整備を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
094-1	道路新設改良事業 / 建設整備課	幹線道路及び生活道路の新設改良工事等	効	道路整備の推進により市域における防災・交通安全・交通円滑化・交流拡大・まちづくりに寄与できる	◆ 8路線の道路改良工事	○	令和4年度に高茶屋小森町第24号線の事業が完了しました。令和5年度以降、新たに3路線に着手していく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	○	
			何	安心・安全な道路空間を確保でき、交流・活力の創出、拠点集約型まちづくりの基礎づくりができる	720,453（千円）	拡充・充実	
094-2	上浜町大谷町第1号線道路改良事業 / 建設整備課	大谷踏切の拡幅工事等	効	狭い踏切道および前後の道路や架道橋の拡幅により、安心・安全な移動空間を確保できる	◆ 令和6年度の完成	○	令和3年度から近鉄と協定を締結し、踏切西側の架道橋工事に着手し引き続き工事を行った。令和6年度の完成を目指し整備を進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	△	
			何	歩行者と自動車の錯綜による事故リスクや交通渋滞を低減することができる	584,442（千円）	現状維持	
094-3	半田久居線道路新設改良事業 / 建設整備課	半田久居線及び雲出野田線道路新設改良工事	効	都市計画道路の整備により都市基盤の構築が図られ、利便性、安全性が向上する	◆ 令和7年度の完成	○	半田久居線及び雲出野田線について、測量設計及び用地取得に加えて道路改良工事に着手することにより事業推進を図ることができた。引き続き、令和7年度完成を目指し整備を進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	△	
			何	地域の通学路の安全性を確保し、住居地域への交通アクセスの確保、円滑な交通により機能的な都市活動の実現、利便増進を図ることができる	506,981（千円）	現状維持	
094-4	下之川バイパス関連事業 / 建設整備課	三谷中津線及び脇ヶ野篠ヶ広線道路新設改良工事	効	地域住民の暮らしを支え、災害時には命を守る機能を盛る道路整備ができる	◆ 令和11年度の完成	○	令和4年度から道路整備を行った。引き続き、令和11年度完成を目指し整備を進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	△	
			何	安心・安全な道路空間を確保でき、暮らしを支え災害時には命を守る重要な道路整備ができる	127,043（千円）	現状維持	
094-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

094-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
094-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
094-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
094-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
094-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	C	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード 040929095
		施策	29	道路ネットワークの整備	本冊ページ 77
	関連個別計画				
担当部局			建設部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			095	広域的な交通需要に対応し、企業の進出など産業振興を支え、地域経済の活性化を図るため、中勢バイパスの全線開通と交差点改良、部分四車線化による渋滞対策並びに市内の国道及び県道など、広域的な幹線道路等の整備促進を、国・県の関係機関に対して強く働きかけます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
095-1	中勢バイパス建設促進期成同盟会 / 事業調整室	中勢バイパスの全線4車線化の整備促進及び予算確保のため関係機関への要望活動を実施	効	中勢バイパスにおける建設事業の促進	◆ 時宜を捉えて適宜要望活動を実施	○	国によって、長岡宮ノ前交差点の交差点改良工事と大里窪田町出口交差点の部分立体化事業が進められた。引き続き予算確保に向けた要望活動を行う。
			誰	中勢バイパス利用者	◇ 国事業の進捗	○	
			何	快適に通行できるようになる	206（千円）	現状維持	
095-2	道路新設改良事業 / 建設整備課	幹線道路及び生活道路の新設改良工事等	効	道路整備の推進により市域における防災・交通安全・交通円滑化・交流拡大・まちづくりに寄与できる	◆ 8路線の道路改良工事	○	令和4年度に高茶屋小森町第24号線の事業が完了しました。令和5年度以降、新たに3路線に着手していく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	○	
			何	安心・安全な道路空間を確保でき、交流・活力の創出、拠点集約型まちづくりの基礎づくりができる	720,453（千円）	拡充・充実	
095-3	上浜町大谷町第1号線道路改良事業 / 建設整備課	大谷踏切の拡幅工事等	効	狭い踏切道および前後の道路や架道橋の拡幅により、安心・安全な移動空間を確保できる	◆ 令和6年度の完成	○	令和3年度から近鉄と協定を締結し、踏切西側の架道橋工事に着手し引き続き工事を行った。令和6年度の完成を目指し整備を進めていく。
			誰	道路利用者	◇ 事業の進捗率	△	
			何	歩行者と自動車の錯綜による事故リスクや交通渋滞を低減することができる	584,442（千円）	現状維持	
095-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
095-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

095-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
095-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
095-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
095-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
095-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040930
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ　77
	関連個別計画			第2次津市地域公共交通網形成計画	
担当部局				都市計画部	
施策の内容（番号）				096　～　097	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。	A	①	交通政策課
097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。	A	①	交通政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	市コミュニティバスについて運行事業者や利用者の意見を反映しながら停留所の新設やダイヤ変更等を行うとともに、伊勢鉄道の施設整備や海上アクセス運航事業者の運航継続に対する支援、指定管理者による津なぎさまち内旅客船ターミナルの効率的で安全性の確保に留意した適正な管理運営を実施するなど、公共交通の充実に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040930096
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ　77
	関連個別計画			第2次津市地域公共交通網形成計画（令和2年度～令和6年度）	
担当部局				都市計画部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
096-1	交通政策関係事業	コミュニティ交通システムの整備	効	公共交通を維持することで、市民の日常生活に必要な移動手段を確保することができる	◆ 日常生活における移動手段の確保	◎	燃油価格高騰の影響を受ける路線バス運行事業者に対し、支援を行った。また、津市コミュニティバスにおいて、運行事業者や利用者の意見を反映しながら、停留所の新設やダイヤ変更等を行ったことで、利便性の向上を図ることができたため「◎」とした。 今後も引き続き、地域住民の声をしっかりと聴きながら、利便性の向上に努める。
			誰	市民	◇ 一般路線バス等の維持及び利便性の向上	◎	
	交通政策課		何	日常生活に必要な移動手段を確保する	223,308（千円）	拡充・充実	
096-2	伊勢鉄道支援事業	伊勢鉄道の施設設備の整備に対する支援	効	施設設備の整備に対する支援を県と沿線等15市町で行うことで、伊勢鉄道株式会社が安全運行を確保し、自律的経営を継続することができる	◆ 施設設備の整備に対する支援の実施	◎	計画通り伊勢鉄道に対して支援を実施することができたので「◎」とした。施設整備のほか、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい経営状況となっていることから、県と沿線市町等が協調して運行継続を支援した。今後も引き続き、必要に応じて適切な支援を実施していく。
			誰	伊勢鉄道株式会社	◇ 県と沿線等15市町で実施した支援額	◎	
	交通政策課		何	安全運行と自律的経営の継続	2,886（千円）	現状維持	
096-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
096-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
096-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

096-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
096-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
096-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
096-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
096-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040930097
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ　77
	関連個別計画		第2次津市地域公共交通網形成計画（令和2年度～令和6年度）		
担当部局			都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
097-1	津なぎさまち管理運営事業	航路の維持向上	効	指定管理者制度により、津なぎさまち内旅客船ターミナルの効率的で、安全性の確保に留意した適正な管理運営を行うことで、安定的な施設の提供ができる	◆ 指定管理者による適正な管理運営の実施及び海上アクセスルートの運航継続	◎	指定管理者制度による施設の適正な維持管理を行うことで、安定的な施設の提供をすることができた。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して運航事業者へ支援することにより、海上アクセスルートの運航事業の継続及び運航便数が増便されたため「◎」とした。 今後においても施設の適正な維持管理を行うとともに、運航事業者に対して運航便数の増加を要請する。
			誰	施設利用者	◇ 指定管理者による適正な修繕等の実施及び海上アクセス運航事業の継続及び運航便数の増便	◎	
	交通政策課		何	施設の安全安心な利用をすることができる短時間で津なぎさまちから中部国際空港までを往来することができる	107,084（千円）	拡充・充実	
097-2	伊勢湾ヘリポート管理運営事業	ヘリポートの活用	効	指定管理者制度により、津市伊勢湾ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行うことで、安定的な航空交通手段の提供ができる	◆ 指定管理者による適正な管理運営の実施	◎	指定管理者制度による施設の効率的で安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行うことで、安定的な航空交通手段の提供ができたので「◎」とした。 今後も引き続き、効率的で安全性の確保に留意した適正な施設の管理運営を行う。
			誰	航空交通事業者	◇ 指定管理者による適正な修繕等の実施及び安全指標の達成	◎	
	交通政策課		何	ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行う	1,219（千円）	現状維持	
097-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
097-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

097-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
097-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
097-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
097-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
097-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード　051031
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ　80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			政策財務部、教育委員会		
施策の内容（番号）			098 ～ 100		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
098	生涯学習の拠点としての歴史を持つ公民館は、教養の向上や健康の増進等といった従来の目的に加え、人々が集いつながり合う「人と人をつなぐ機能」を発揮し、市民による地域の課題解決に向けた自主的な活動の拠点として、地域特性や実情に応じたきめ細かな公民館の運営を図り、生涯を通じて学び、活躍する市民を支えます。	A	①	生涯学習課
099	多世代の人に公民館や図書館などを気軽で安全に利用していただけるよう、公民館における魅力的な講座機能の充実に加え、図書館サービスのさらなる強化を通じた拠点機能・人材育成機能を充実します。また、老朽化した公民館施設においては、利用者に安全・安心かつ快適な環境が提供できるよう、計画的に施設の改修整備を進めます。	A	①	生涯学習課／図書館
100	生涯を通じて人権教育などについて学ぶ機会を提供するため、幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校等の保護者を対象とした人権教育研修会や、地域住民を対象とした人権教育研修を実施します。	A	①	人権教育課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	公民館や図書館の施設整備・改修等を実施するとともに、市内各公民館やコミュニティ施設等における地域力創造セミナー及び教養セミナー講座、市内各所における市民を対象とした人権啓発のための講演会を実施し、生涯学習を推進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051031098
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ	80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			政策財務部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			098	生涯学習の拠点としての歴史を持つ公民館は、教養の向上や健康の増進等といった従来の目的に加え、人々が集いつながり合う「人と人をつなぐ機能」を発揮し、市民による地域の課題解決に向けた自主的な活動の拠点として、地域特性や実情に応じたきめ細かな公民館の運営を図り、生涯を通じて学び、活躍する市民を支えます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
098-1	公民館講座事業	市内各公民館及びコミュニティ施設等で地域力創造セミナー及び教養セミナー講座の実施	効	受講生は、学習ニーズが充足でき、自己実現が図れるとともに、生きがいや活力に満ちた生活を送ることができる	◆ 公民館講座を655講座開催する	○	令和4年度の講座実績は、当初予算時の計画を達成することができなかったが、609講座開講し令和3年度より16講座多く開催することができた。講座開催毎に受講生からアンケートを取り受講生のニーズを把握することができた。 今後も受講生のニーズを把握しながら、講座の開講を進めていきます。
			誰	学習活動に関心のある方	◇ 受講生アンケート	◎	
	生涯学習課		何	学習成果に満足いただき、地域に還元していただく	39,000（千円）	現状維持	
098-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
098-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
098-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
098-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

098-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
098-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
098-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
098-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
098-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	－	B	B	B	A					
今後の方向性	－	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード　051031099
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ　80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			099	多世代の人に公民館や図書館などを気軽で安全に利用していただけるよう、公民館における魅力的な講座機能の充実に加え、図書館サービスのさらなる強化を通じた拠点機能・人材育成機能を充実します。また、老朽化した公民館施設においては、利用者に安全・安心かつ快適な環境が提供できるよう、計画的に施設の改修整備を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			誰	誰のための事業か			
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
099-1	公民館施設整備事業 / 生涯学習課	公民館施設の学習環境充実	効	公民館施設の計画的な改修や修繕を進め、利用者の学習環境の改善に努める	◆ 改修工事　3件	◎	新型コロナウイルス感染症対策として、敬和公民館等のトイレ洋式化改修工事を実施するとともに、河芸公民館の安全な使用を確保するため、大ホールの吊り天井改修工事を実施することができた。津市内の公民館の修繕については56件修繕を行った。今後も公民館利用者が安全・安心な施設利用をしていただけるよう、公民館施設の計画的な改修や修繕に努めてまいります。
			誰	公民館利用者	◇ 施設整備及び修繕件数	○	
			何	安全・安心な施設利用	37,762（千円）	現状維持	
099-2	久居ふるさと文学館駐車場整備事業 / 図書館	久居ふるさと文学館の来館者用駐車場の増設のための実施設計、用地購入等	効	来館者の利便性が向上する	◆ 駐車場整備事業	◎	計画していた工期内に整備工事が完了したため「◎」とした。令和5年1月5日から利用者へ供用開始している。
			誰	久居ふるさと文学館及び近隣公共施設の利用者	◇ 駐車場の利用者数	◎	
			何	来館しやすくなる	26,219（千円）	完了	
099-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
099-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
099-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

099-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
099-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
099-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
099-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
099-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051031100
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ	80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			100	生涯を通じて人権教育などについて学ぶ機会を提供するため、幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校等の保護者を対象とした人権教育研修会や、地域住民を対象とした人権教育研修を実施します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
100-1	人権教育講演会事業	市内各所において、市民を対象に人権啓発のための講演会の実施	効	市民の人権に関する理解と豊かな人権感覚を育む機会が増える	◆ 人権啓発のための講演会の実施	○	令和4年度は全ての中学校区で人権教育講演会が実施されたが、開催回数や参加人数がコロナ禍以前までは戻っていないので「○」とした。今後も多くの人が参加できるよう、持ち方や呼びかけ等を工夫をしながら取組を進めていく。
			誰	幼児・児童生徒・市民	◇ 参加者の感想（満足度、安心感等）	◎	
	人権教育課		何	市内各地域で、子どもたちを取り巻く大人の人権意識の向上を図り、人権尊重の地域づくりを進める	1,687（千円）	拡充・充実	
100-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
100-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
100-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
100-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

100-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
100-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
100-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
100-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
100-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード　051032
		施策	32	高等教育機関との連携・充実	本冊ページ　80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			政策財務部、三重短期大学、教育委員会		
施策の内容（番号）			101	～	102

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
101	高等教育機関が有する知的資源を活用し、地域の産業、文化、教育等の振興につなげるとともに、地域を支える人材の育成や若者の本市への定住、新しい事業の創出等に向けた、産学官の連携を推進します。	A	①	生涯学習課
102	三重短期大学は、今後の社会経済情勢に対応しながら、人材や地域とのつながりを育み、地域に根付き地域に開かれた高等教育機関としての役割を果たしていきます。	B	①	大学総務課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	社会教育機関及び学識経験者の協力を得て様々な専門講座を開催し、専門化・高度化する市民ニーズへの対応に努めるとともに、三重短期大学における政策研究研修、地域のシンクタンク機能の充実による地域貢献、地域開放型の地域連携講座等を実施することで、高等教育機関との連携・充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051032101
		施策	32	高等教育機関との連携・充実	本冊ページ	80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			政策財務部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			101	高等教育機関が有する知的資源を活用し、地域の産業、文化、教育等の振興につなげるとともに、地域を支える人材の育成や若者の本市への定住、新しい事業の創出等に向けた、産学官の連携を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
101-1	生涯学習講座開催事業	専門化・高度化する市民の学習ニーズへ対応するため、社会教育機関及び高度な学識経験者にご協力いただき、様々なテーマの専門講座を開催	効	高等教育機関等と協力し、歴史講座・文学講座を開催し、専門化・高度化する市民の学習ニーズへ対応する	◆ 様々なテーマの専門講座を開催	◎	計画していた講座を全て実施することができ、利用者へのアンケート結果でも満足度は高いため、実施・事業評価ともに「◎」とした。今後も市民のニーズの把握に努め、様々なテーマの講座を開催していく。
			誰	市民	◇ 受講者へアンケート（満足度等）	◎	
	生涯学習課		何	専門講座を受講できる機会が増える	31（千円）	現状維持	
101-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
101-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
101-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
101-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

101-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
101-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
101-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
101-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
101-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051032102
		施策	32	高等教育機関との連携・充実	本冊ページ	80
	関連個別計画					
担当部局			三重短期大学			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			102	三重短期大学は、今後の社会経済情勢に対応しながら、人材や地域とのつながりを育み、地域に根付き地域に開かれた高等教育機関としての役割を果たしていきます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
102-1	地域貢献推進事業 / 大学総務課	地方自治体等と連携した政策研究研修の実施、地域のシンクタンク機能の充実による地域貢献の推進や地域開放型の地域連携講座等開催	効	生涯学習機会の増加、地域社会が求める人材の養成、市民文化の向上、地域・産業の活性化	◆ 地域連携講座、政策研究研修等の開催	○	地域貢献推進事業をコロナ禍以前の実施内容に戻すことができたうえ、コロナ禍以前の参加者数を上回る実施結果となった。現状維持での実施によって、前年度以上の参加者数を目指す。
			誰	地域社会や住民	◇ 参加人数	○	
			何	地域問題の解決や生涯学習の振興に資する高等教育の受講機会等の増加	575（千円）	現状維持	
102-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
102-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
102-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
102-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

102-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
102-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
102-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
102-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
102-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	E	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード　051133
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ　83
	関連個別計画				
担当部局		スポーツ文化振興部			
施策の内容（番号）		103	～	106	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
103	スポーツ教室や講座、地域に一体感をもたらす運動会等のイベント開催を積極的に進め、スポーツの裾野を広げるとともに、地域で活躍するスポーツ推進委員や指導者等の人材育成・確保に加え、市ホームページ等の多様な広報媒体を活用し、スポーツイベントに関する積極的な情報発信を進めます。	A	①	スポーツ振興課
104	スポーツ関係団体の活動を支援することにより、指導者の育成と競技スポーツを奨励し、競技力の向上を図ります。	A	②	スポーツ振興課
105	スポーツ施設については、平成30年（2018年）のインターハイ（全国高等学校総合体育大会）、平成33年（2021年）の三重とこわか国体（第76回国民体育大会）及び三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）に向けた競技会場としての機能を整えるとともに、これを契機とした市民のニーズや団体のスポーツ振興のあり方などを踏まえながら計画的な整備を進めます。	A	①	スポーツ振興課
106	スポーツ施設の積極的かつ有効な活用を図り利用を促進するとともに、民間活力も積極的に導入し、効果的・効率的な管理運営を行います。	B	①	スポーツ振興課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	指定管理者によるスポーツ施設の管理運営、津市スポーツ施設整備計画の策定、各種スポーツ大会・教室等の開催、スポーツ振興基金の活用による競技に応じた技術向上のための事業への補助により、スポーツの振興に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	C	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133103
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			103	スポーツ教室や講座、地域に一体感をもたらす運動会等のイベント開催を積極的に進め、スポーツの裾野を広げるとともに、地域で活躍するスポーツ推進委員や指導者等の人材育成・確保に加え、市ホームページ等の多様な広報媒体を活用し、スポーツイベントに関する積極的な情報発信を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
103-1	スポーツ団体等活性化事業 / スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図るため、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ・レクリエーション協会、地区体育振興会等の事業補助	効	スポーツ振興団体が、補助金を活用し、スポーツ・レクリエーション事業を実施する	◆ スポーツ振興団体への補助金交付	○	スポーツ振興団体への補助金の交付について概ね計画どおりであったことから実施評価は「○」、スポーツレクリエーションが実施されたことから、事業評価は「◎」とした。 今後の方向性は引き続き団体への補助を行っていくことから「現状維持」とした。
			誰	スポーツ振興団体が	◇ 補助金交付振興団体が補助金を活用し、スポーツ・レクリエーション事業を実施する	◎	
			何	スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図る	27,686（千円）	現状維持	
103-2	少年少女レスリング選手権大会事業 / スポーツ振興課	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するジュニアレスリング大会を開催	効	県内外のジュニアレスリング選手たちが、津市少年少女レスリング選手権大会に参加する	◆ ジュニアレスリング大会の開催	◎	吉田沙保里杯は計画どおりに実施されたことから実施評価は「◎」、事業評価は「◎」とした。 今後の方向性は引き続き競技団体へ委託し大会を開催していくことから「現状維持」とした。
			誰	県内外のジュニアレスリング選手たちが	◇ スポーツの普及、体力の向上を図る	◎	
			何	市内選手の競技力向上、レスリング競技の普及・推進を図る	5,112（千円）	現状維持	
103-3	津シティマラソン振興事業 / スポーツ振興課	サオリーナを発着点として市街地を駆け抜ける津シティマラソン大会を開催	効	津シティマラソン実行委員会が、補助金を活用し、津シティマラソン大会を開催する	◆ 津シティマラソン大会の開催	○	参加者人数は、概ね計画どおりであったことから実施評価は「○」、事業評価はスポーツをするきっかけづくりをコンセプトにマラソンを通して、参加者への健康増進の効果が見込まれたことから「◎」とした。 今後の方向性は引き続きマラソンを通してスポーツ振興を図っていくことから「現状維持」とした。
			誰	市内外の人々が	◇ 参加者の健康増進	◎	
			何	津シティマラソンに参加し、津市を知ってもらうとともに、健康増進につなげてもらう	12,348（千円）	現状維持	
103-4	スポーツ競技力向上事業 / スポーツ振興課	競技力の向上を図るため、スポーツ教室等の実施に加え「ステップアップスクールin津」等を開催	効	市内の人々が、スポーツ教室等に参加する	◆ スポーツ教室等の開催	◎	スポーツの機運を絶やすことなく、競技力の向上に資する事業を実施できたことから実施評価は「◎」、事業評価は「◎」とした。 今後の方向性は引き続き団体への補助を行い、競技力の向上を図っていくことから「現状維持」とした。
			誰	市内の人々が	◇ スポーツの普及、体力の向上を図る	◎	
			何	スポーツ教室等に参加し、競技力の向上につなげてもらう	11,641（千円）	現状維持	
103-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

103-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
103-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
103-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
103-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
103-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	D	D	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード　051133104
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ　83
	関連個別計画				
担当部局			スポーツ文化振興部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			104	スポーツ関係団体の活動を支援することにより、指導者の育成と競技スポーツを奨励し、競技力の向上を図ります。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
104-1	スポーツ競技力向上事業 / スポーツ振興課	競技力の向上を図るため、スポーツ教室等の実施に加え「ステップアップスクールin津」等を開催	効	市内の人々が、スポーツ教室等に参加する	◆ スポーツ教室等の開催	◎	スポーツの機運を絶やすことなく、競技力の向上に資する事業を実施できたことから実施評価は「◎」、事業評価は「◎」とした。 今後の方向性は引き続き団体への補助を行い、競技力の向上を図っていくことから「現状維持」とした。
			誰	市内の人々が	◇ スポーツの普及、体力の向上を図る	◎	
			何	スポーツ教室等に参加し、競技力の向上につなげてもらう	11,641（千円）	現状維持	
104-2	全国高等学校野球選手権大会等奨励金事業 / スポーツ振興課	スポーツの振興及び競技力の向上並びに全国への情報発信を図るため、甲子園大会出場校等に対する奨励金の交付	効	全国高等学校野球選手権大会等に出場する市内高等学校が激励金を受け取る	◆ 全国高等学校野球大会等に出場する市内高等学校への激励金の交付	○	当初の事業実施計画に沿って全国高校サッカー選手権大会に出場した津工業高校サッカー部に対して激励金の交付を行うことができたため、実施評価は「○」、事業評価は「◎」とした。 今後の方向性については個人競技を含めた対象競技や激励金の額について基準を精査する必要がある。
			誰	全国高等学校野球選手権大会等に出場する市内高等学校	◇ スポーツ競技力向上	◎	
			何	本市におけるスポーツ振興及び競技力向上の推進及び、出場大会での活躍が市民に夢や感動を与えることにより、地域の一体感の醸成が図られる	500（千円）	見直し	
104-3	スポーツ大会出場報償金事業 / スポーツ振興課	全国大会等に出場する選手の参加費、交通費等に対する補助	効	全国大会等に出場した選手が報奨金を受け取る	◆ 全国大会等に出場した選手への報奨金の交付	○	概ね当初の事業実施計画に沿って全国大会等に出場した選手に対して報奨金を交付することができたため、実施評価は「○」、事業評価は「◎」とした。 今後の方向性は、引き続き報奨金を交付し、スポーツ振興を図っていくことから「現状維持」とした。
			誰	全国大会等に出場した選手	◇ スポーツの振興及び競技力の向上	◎	
			何	大会に参加しやすい環境を整え、本市におけるスポーツの振興及び競技力の向上を図る	8,090（千円）	現状維持	
104-4	少年少女レスリング選手権大会事業 / スポーツ振興課	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するジュニアレスリング大会を開催	効	県内外のジュニアレスリング選手たちが、津市少年少女レスリング選手権大会に参加する	◆ ジュニアレスリング大会の開催	◎	吉田沙保里杯は計画どおりに実施されたことから実施評価は「◎」、事業評価は「◎」とした。 今後の方向性は引き続き競技団体へ委託し大会を開催していくことから「現状維持」とした。
			誰	県内外のジュニアレスリング選手たちが	◇ スポーツの普及、体力の向上を図る	◎	
			何	市内選手の競技力向上、レスリング競技の普及・推進を図る	5,112（千円）	現状維持	
104-5	スポーツ振興基金活用事業 / スポーツ振興課	競技団体の活動の灯を消すことなく灯し続けていけるよう、令和4年度から8年度まで競技に応じた技術向上のための事業への補助	効	各競技団体が補助金を活用し、スポーツ大会等を開催する	◆ スポーツ大会等の開催	○	スポーツ大会やスポーツ教室を行い、スポーツの機運を絶やすことなく、競技力の向上等に資する事業を実施できたことから実施評価は「○」、事業評価は「◎」とした。 今後の方向性は、令和8年度まで引き続き団体への補助を行い、競技力の向上を図っていくことから「現状維持」とした。
			誰	各競技団体の事業参加者が	◇ スポーツの普及、競技力の向上を図る	◎	
			何	スポーツの楽しさを知るきっかけづくりとスポーツ人口の裾野拡大や各競技に応じた技術の向上を図る	13,813（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

104-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
104-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
104-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
104-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
104-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	C	E	D	A					
今後の方向性	①	①	②	①	②					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード　051133105
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ　83
	関連個別計画				
担当部局			スポーツ文化振興部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			105	スポーツ施設については、平成30年（2018年）のインターハイ（全国高等学校総合体育大会）、平成33年（2021年）の三重とこわか国体（第76回国民体育大会）及び三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）に向けた競技会場としての機能を整えるとともに、これを契機とした市民のニーズや団体のスポーツ振興のあり方などを踏まえながら計画的な整備を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
105-1	スポーツ施設整備事業 / スポーツ振興課	津市スポーツ施設整備計画の策定	効	施設の在り方及び整備方針の情報発信	◆ 令和4年の本計画の策定	◎	当初計画通り、各種調査結果や関係計画等を踏まえた計画を令和4年度に策定でき、将来に渡り快適に施設を利用するための方針を示せたため、実施評価、事業評価ともに「◎」、今後の方向性は「完了」とした。
			誰	施設利用者	◇ 令和4年度までに各種調査結果や関係計画等を踏まえた計画を策定できたか	◎	
			何	施設の在り方及び整備方針を定め、将来に渡り快適に利用するための方針を示すことができる	0（千円）	完了	
105-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
105-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
105-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
105-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

105-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
105-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
105-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
105-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
105-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード　051133106
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ　83
	関連個別計画				
担当部局			スポーツ文化振興部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			106	スポーツ施設の積極的かつ有効な活用を図り利用を促進するとともに、民間活力も積極的に導入し、効果的・効率的な管理運営を行います。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
106-1	運動施設維持管理事業ほか（指定管理者制度）	産業・スポーツセンター、津地域、安濃地域運動施設について、指定管理者による管理運営及び津市民テニスコートにおいて指定管理者制度の導入	効	民間事業者のノウハウを活用した効果的・効率的な管理による安全、安心な施設環境の提供及び自主事業実施によるスポーツ振興	◆ 各施設毎の目標利用者数等の達成	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の事業計画における利用者数等の年間目標が未達となった施設があったものの、当該感染症対策を講じながら、公共サービスとしての質を保ちながら施設運営を行ったため、実施評価、事業評価ともに「○」、今後の方向性は「拡充・充実」とした。
			誰	施設利用者	◇ 目標利用者数の達成度合い、計画通りに自主事業は実施されたか	○	
	スポーツ振興課		何	施設の効果的、効率的な管理及び自主事業実施によるスポーツに携わる機会の創出	307,298（千円）	拡充・充実	
106-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
106-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
106-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
106-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

106-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
106-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
106-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
106-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
106-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード　051134
		施策	34	文化の振興	本冊ページ　84
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会		
施策の内容（番号）			107	～	110

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
107	音楽、美術、演劇、舞踊、映画、能楽など多彩な文化芸術の鑑賞機会や市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出するとともに、関係機関と連携を図り、文化芸術の創造を担うリーダーや若い世代の育成に加え、効果的な情報発信を行い、市民が主体的に参加する活動の輪を広げます。	B	②	文化振興課
108	各地域における文化ホールなどの文化施設は、地域や施設の特性に応じた効率的な維持管理を行いながら、より利便性が高い利用形態への見直しや民間の専門的なノウハウの導入を図り、実演芸術の振興を核として公演の企画運営等を行い、芸術文化の創造・発信拠点としての機能を強化します。	A	①	文化振興課
109	地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承、普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。	B	①	文化振興課
110	歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。	B	①	生涯学習課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	美術展覧会等の開催や総合文化誌の発行、文化ホール等の管理運営、基金を活用した文化活動に対する補助、久居アルスプラザ指定管理者による自主事業を実施するとともに、国登録有形文化財である旧明村役場庁舎を地域と協働して維持管理し、一般公開や公開活用事業を実施するなど、文化の振興に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	D	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134107
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局				スポーツ文化振興部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			107	音楽、美術、演劇、舞踊、映画、能楽など多彩な文化芸術の鑑賞機会や市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出するとともに、関係機関と連携を図り、文化芸術の創造を担うリーダーや若い世代の育成に加え、効果的な情報発信を行い、市民が主体的に参加する活動の輪を広げます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
107-1	市民文化祭等開催事業	市内文化施設にて市民文化祭を開催	効	実行委員会が、市民の芸術創作・発表の場を提供し、成果を発信する	◆ 事業数28事業	△	令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に社会活動も正常化し、参加者数が大幅に増加した。 令和5年度について、新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、引き続き参加者数の増に務める。
			誰	市内外の人々が	◇ 参加者数	△	
	文化振興課		何	事業への参加を通じた芸術創作活動の活発化	2,030（千円）	現状維持	
107-2	美術展覧会開催事業	美術展覧会の開催	効	実行委員会が、市民の芸術創作・発表の場を提供し、成果を発信する	◆ 作品出品数250点	○	令和4年度については242点の出品があり、久居アルスプラザにて開催し、8割の来場者に満足していただいてる。 令和5年度についても、同様に久居アルスプラザにて開催予定しているが、出品数の増に努める。
			誰	市内外の人々が	◇ アンケート満足度	◎	
	文化振興課		何	出品や鑑賞をすることにより、市民文化の向上を図る	4,169（千円）	現状維持	
107-3	津市民薪能開催事業	伝統芸能鑑賞会として市民薪能を開催	効	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能を開催する	◆ 参加人数　400人	×	未実施。令和5年度以降久居アルスプラザ自主事業へ移行を検討
			誰	市内外の人々が	◇ アンケート満足度	×	
	文化振興課		何	事業の鑑賞を通じて伝統芸能への関心を高める	0（千円）	見直し	
107-4	文化振興基金事業	基金を活用した文化活動に対する補助等	効	基金の補助採択者が、補助金を活用し、催し物などを行う	◆ 申請件数5件	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の件数（5件程度）に戻らず、令和4年度は補助件数は3件となった。 令和5年度については、5類移行による行動規制緩和に伴い、増加が見込まれ補助件数7件を予定しています。
			誰	市民及び市内団体が	◇ 補助実績（決算額/予算額*100）	○	
	文化振興課		何	文化芸術の発表などの活動をしやすくする	561（千円）	現状維持	
107-5	霧山薪能開催事業	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催	効	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能などを開催する	◆ 参加者数350人	×	令和4年10月1日（土）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止。 令和5年度については令和5年10月14日（土）に開催。
			誰	市内外の人々が	◇ アンケート満足度	×	
	文化振興課		何	事業の鑑賞を通じて歴史や北畠氏館跡庭園などへの関心を高める	0（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

107-6	郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年1回開催	効	実行委員会が、各地域の郷土芸能や食文化を生かしたフェスティバルを開催する	◆ 参加団体数15団体	◎	令和4年度については久居アルスプラザにて開催し、参加団体数は18団体、入場率は136%を記録した。 令和5年度については令和6年3月3日（日）に津リージョンプラザにて開催予定。
			誰	市内外の人々が	◇ 入場率（入場者数/会場定員*100）	◎	
	文化振興課		何	郷土芸能への関心を高め、地域交流を深める	1,200（千円）	現状維持	
107-7	青少年文化創造拠点形成事業	青少年が早い時期から文化やホールに親しむ機会を提供することにより若い世代の育成につながるようホールイベントを開催	効	実行委員会が、文化ホールを活用し、津市青少年文化芸術祭を開催する	◆ 参加団体数12団体	◎	令和4年度については津リージョンプラザにて開催し、参加団体数は13団体、入場率は103%を記録した。 令和5年度については令和6年1月28日（日）に津リージョンプラザにて開催。
			誰	市内の小学生、中学生、高校生が	◇ 入場率（入場者数/会場定員*100）	◎	
	文化振興課		何	文化ホールへの親しみが生まれ、文化芸術活動への意欲が高まる	700（千円）	現状維持	
107-8	津市民文化発行事業	総合文化誌「津市民文化」を発行	効	津市民文化編集委員会が、企画・編集を行い、市が発行する	◆ 年1回発行	◎	令和4年度は、前年度から140冊増え、373冊を販売した。特集内容により、販売数が影響することもあり、今後も市民が興味を持たれるよう記事、構成に取り組みます。
			誰	市内外の人々が	◇ 無料配布数+販売数	○	
	文化振興課		何	津市の文化について知識を広め、文芸部門の発表の場とする	983（千円）	現状維持	
107-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
107-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	D	D	B					
今後の方向性	①	①	②	②	②					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134108
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			108	各地域における文化ホールなどの文化施設は、地域や施設の特性に応じた効率的な維持管理を行いながら、より利便性が高い利用形態への見直しや民間の専門的なノウハウの導入を図り、実演芸術の振興を核として公演の企画運営等を行い、芸術文化の創造・発信拠点としての機能を強化します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
108-1	津リージョンプラザ管理運営事業	津リージョンプラザの管理運営	効	施設の効率的、効果的な維持運営管理を行う	◆ 利用率60%	◎	利用率：目標値60%に対し実績値68.5%と目標値を上回ったため。 来館者数：目標値70,000人に対し実績値53,244人となり、目標値を下回ったため。
			誰	施設利用者（市内外の人々）が	◇ 来館者数	△	
	文化振興課		何	教育、文化等の向上、健康並びに福祉の増進を図る場を提供する	104,145（千円）	現状維持	
108-2	久居アルスプラザ管理運営事業	久居アルスプラザの管理運営	効	指定管理者制度を導入し、施設の効率的、効果的な維持運営管理を行う	◆ 利用率70%	◎	利用率：目標値70%に対し実績値83.9%と目標値を大幅に上回ったため。 来館者数：目標値85,000人に対し実績値241,344人と目標値を大幅に上回ったため。
			誰	施設利用者（市内外の人々）が	◇ 来館者数	◎	
	文化振興課		何	文化芸術の振興を図り、もって地域の再生及び活性化につながる場を提供する	175,183（千円）	現状維持	
108-3	久居アルスプラザ管理運営業務	久居アルスプラザ指定管理者による自主事業の開催	効	久居アルスプラザ指定管理者が、文化芸術に関する自主事業を開催する	◆ 自主事業数	○	自主事業実施数：要求水準書の要求回数を満たしたため。 アンケート満足度：95.1%と高い満足度となったため。
			誰	市内外の人々が	◇ 自主事業アンケート満足度	◎	
	文化振興課		何	文化芸術の鑑賞等を通じて、学びや交流を促進するとともに、文化の創造と発信を行う	56,777（千円）	現状維持	
108-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
108-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

108-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
108-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
108-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
108-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
108-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134109
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			109	地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承、普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
109-1	霧山薪能開催事業	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催	効	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能などを開催する	◆ 参加者数350人	×	令和4年10月1日（土）に開催予定であったが、コロナの影響により、開催中止。令和5年度については令和5年10月14日（土）に開催予定
			誰	市内外の人々が	◇ アンケート満足度	×	
	文化振興課		何	事業の鑑賞を通じて歴史や北畠氏館跡庭園などへの関心を高める	0（千円）	現状維持	
109-2	郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年1回開催	効	実行委員会が、各地域の郷土芸能や食文化を生かしたフェスティバルを開催する	◆ 参加団体数15団体	◎	令和4年度については久居アルスプラザにて開催し、参加団体数は18団体、入場率は136%を記録した。令和5年度については津リージョンプラザにて開催予定。
			誰	市内外の人々が	◇ 入場率（入場者数/会場定員*100）	◎	
	文化振興課		何	郷土芸能への関心を高め、地域交流を深める	1,200（千円）	現状維持	
109-3	一身田寺内町まちづくり事業	歴史資源を後世に残していくため、国宝を中心とした寺内町の清掃や映画会を実施	効	地域住民が主体となり歴史文化資源を活用したまちづくり事業を行う	◆ 事業（春、秋の清掃・映画会等）	○	令和4年度については春、秋の清掃・ラフェスタプリマヴェラおもてなしの3事業を実施。参加者数は全事業の総数で1,000人以上を記録した。令和5年度についても各種事業実施予定。
			誰	市内外の人々が	◇ 清掃・映画会等参加者数	◎	
	文化振興課		何	観光誘客と地域の活性化につながる	248（千円）	現状維持	
109-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
109-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

109-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
109-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
109-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
109-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
109-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	E	E	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード　051134110
		施策	34	文化の振興	本冊ページ　84
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			110	歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容		事業の目的	事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
110-1	文化財保護補助事業 / 生涯学習課	文化財の保存・活用を図るための市内に存する指定文化財の保護等に関する補助	効	指定文化財所有者等が、補助金を活用し、文化財の維持管理や行事の開催、修理を行う	◆ 補助対象となる40団体の事業・活動の実施	△	新型コロナウィルス感染症の流行により、無形民俗文化財を中心に中止などの影響があったが、補助事業の件数は令和3年度の24件を上回る28件に補助金を交付した。次年度以降も引き続き補助を継続していく。
			誰	指定文化財所有者等	◇ 補助対象事業の実施件数	◎	
			何	文化財を保存・活用しやすくなる	1,698（千円）	現状維持	
110-2	多気北畠氏遺跡整備活用調査研究事業 / 生涯学習課	伊勢国司北畠氏の拠点である多気北畠氏遺跡の学術調査等	効	国史跡多気北畠氏城館跡の追加指定に向けて発掘調査等の学術調査を実施する	◆ 発掘調査現地説明会の実施	△	令和4年度は多気北畠氏遺跡調査指導委員会を開催し、調査研究事業について指導を受け、平成30年度と令和元年度に実施した第37・38次調査（金国寺第1・2次）の報告書を作成したが、発掘調査の実施は今後の課題となっている。
			誰	市内外の人々	◇ 現地説明会への参加者数	△	
			何	多気北畠氏遺跡の歴史的価値を知ることで、津市の歴史・文化の普及啓発や魅力発信に繋がる	356（千円）	拡充・充実	
110-3	市内遺跡出土遺物保存処理事業 / 生涯学習課	出土品の保存処理及び希少性の高い資料の恒久化を行い市民共有の財産として公開・活用	効	保存処理により出土品を適正に保存・復元し、展示等の公開・活用事業に供することができる	◆ 保存処理対象遺物の員数	◎	令和4年度は山ノ下古墳群B支群出土の金属製品11点及び琥珀製棗玉4点の保存処理を実施した。保存処理が完了した遺物については、今後の展示等で活用し、その成果を市民に還元する必要がある。
			誰	市や博物館等	◇ 展示等の活用件数	○	
			何	保存処理された出土品を公開・活用することで、市内外に津市の歴史・文化の魅力を発信する	926（千円）	拡充・充実	
110-4	旧明村役場庁舎整備事業 / 生涯学習課	曳家による移築・耐震化を図り、文化財としての公開活用、放課後の子供たちの居場所、地域住民の活動の場としての施設整備	効	耐震補強等大規模改修工事後、地域と市が協働して文化財の維持管理や一般公開、公開活用事業を行う	◆ 年間を通じた各種事業の実施	◎	令和3年度に引き続き、地元のボランティアガイド団体や文化協会と共に土曜日・日曜日の一般公開を実施した。入館者数は令和3年度をやや下回る701人に留まったが、今後も引き続きコンサートなどの活用イベントを継続し、情報発信を続ける予定。
			誰	地域と市	◇ 施設の利用者数	○	
			何	文化財の維持管理や活用を通して地域の活性化を推進する	2,335（千円）	現状維持	
110-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

110-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
110-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
110-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
110-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
110-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	C	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード　051235
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ　87
	関連個別計画				
担当部局		市民部			
施策の内容（番号）		111	～	112	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
111	市内における市民活動団体の活動内容等の情報を広く発信し、市民活動のつながりや広がり、市民活動への参加を促進するとともに、市民活動の核となる人材を育成し、市民活動団体の地域の課題解決などに向けたまちづくりへの参加・参画を進めます。	B	①	地域連携課
112	市民や市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境づくりや市民活動団体の声を受け止める場の創設など、それぞれのニーズに合った支援を充実します。	A	④	地域連携課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	指定管理者による市民活動センターの適切な管理運営を通じて市民活動の場を提供するとともに、地域課題解決のための先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体への支援を行い、市民活動を促進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード　051235111
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ　87
	関連個別計画				
担当部局			市民部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			111	市内における市民活動団体の活動内容等の情報を広く発信し、市民活動のつながりや広がり、市民活動への参加を促進するとともに、市民活動の核となる人材を育成し、市民活動団体の地域の課題解決などに向けたまちづくりへの参加・参画を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					当初の事業実施計画 / 実施評価		
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点 / 事業評価		
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
111-1	市民活動センター管理運営業務 / 地域連携課	協働の街づくりの推進のため、市民活動の支援、住民による交流の促進、そのほか地域社会の発展に係る活動の推進に関する支援	効	市民活動を支援するとともに、住民による積極的な交流等の場の提供を行うことにより、地域社会の健全な発展を促進する	◆ 指定管理者による適切な実施（要求水準に基づく実施）	○	指定管理者による施設の使用許可を始め、市民活動に関する相談業務やセミナーが実施される等、効果的な運営が行われた。
			誰	津市民及び津市の問題解決のための活動を行う市民活動団体	◇ 住民による積極的な交流等の場の提供	○	
			何	津市における市民活動を促進することにより、津市の地域課題を解決し、住みよいまちづくりの促進を行う	15,562（千円）	現状維持	
111-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
111-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
111-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
111-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

111-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
111-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
111-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
111-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
111-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051235112
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			112	市民や市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境づくりや市民活動団体の声を受け止める場の創設など、それぞれのニーズに合った支援を充実します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
112-1	市民活動団体設立支援事業 / 地域連携課	協働のまちづくりの推進のため、新たな活動団体の設立時における支援	効	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の設立や運営の支援を行う	◆ 市民活動団体の設立運営の支援	◎	市民活動団体等への公益的な活動の初期支援を行い、自立した活動へのサポートを行った。 今後、申請数の減少に伴い、事業内容の見直しを行う。
			誰	設立後1年に満たない市民活動団体	◇ 市民活動団体の設立	○	
			何	市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境を作る	60（千円）	見直し	
112-2	市民活動推進事業 / 地域連携課	協働のまちづくりの推進のため、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援	効	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の実施事業への支援を行う	◆ 市民活動団体の活動に対する支援	◎	市民活動団体等への公益的な活動支援及び地域課題を解決するための事業に対する自立した活動へのサポートを行った。 今後、申請数の減少に伴い、事業内容の見直しを行う。
			誰	津市の地域課題を解決するための事業を実施する市民活動団体	◇ 地域課題を解決するための事業を実施	○	
			何	市民活動団体による地域課題の解決の支援を行うことで、より住みよいまちづくりの推進を行う	200（千円）	見直し	
112-3	市民活動センター管理運営業務 / 地域連携課	協働の街づくりの推進のため、市民活動の支援、住民による交流の促進、そのほか地域社会の発展に係る活動の推進に関する支援	効	市民活動を支援するとともに、住民による積極的な交流等の場の提供を行うことにより、地域社会の健全な発展を促進する	◆ 指定管理者による適切な実施（要求水準に基づく実施）	○	指定管理者による施設の使用許可を始め、市民活動に関する相談業務やセミナーが実施される等、効果的な運営が行われた。
			誰	津市民及び津市の問題解決のための活動を行う市民活動団体	◇ 住民による積極的な交流等の場の提供	○	
			何	津市における市民活動を促進することにより、津市の地域課題を解決し、住みよいまちづくりの促進を行う	15,562（千円）	現状維持	
112-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
112-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

112-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
112-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
112-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
112-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
112-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	④

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	C	C	B	A					
今後の方向性	①	③	④	④	④					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード　051236
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ　87
	関連個別計画				
担当部局		市民部			
施策の内容（番号）		113	～	115	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
113	地域における人と人とのつながりの醸成を図るための支援とともに、自治会などの地域コミュニティへの参加促進や地域のリーダー育成に向けた、地域コミュニティの活動や役割、必要性への理解を深めるための取組を進めます。	A	④	地域連携課
114	地域の実情や特性を踏まえ、地域づくり体制の構築に向けた支援を行います。	A	①	地域振興課（美里、一志）
115	地域住民が安心して地域活動が行える環境を整えるため、活動支援や集会所、コミュニティ施設などの地域活動拠点の形成を進めます。	A	①	地域連携課/市民交流課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	津西ふれあい会館や（仮称）安東コミュニティ施設の整備、自治会が実施する集会所の建設・修繕に対する補助を行うとともに、地域で活動する団体等に対する活動拠点の提供等の支援、地域課題解決のための先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体への支援を行い、地域コミュニティの活性化に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051236113
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			113	地域における人と人とのつながりの醸成を図るための支援とともに、自治会などの地域コミュニティへの参加促進や地域のリーダー育成に向けた、地域コミュニティの活動や役割、必要性への理解を深めるための取組を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
113-1	市民活動推進事業 / 地域連携課	協働のまちづくりの推進のため、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援	効	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の実施事業への支援を行う	◆ 市民活動団体の活動に対する支援	◎	市民活動団体等への公益的な活動支援及び地域課題を解決するための事業に対する自立した活動へのサポートを行った。今後、申請数の減少に伴い、事業内容の見直しを行う。
			誰	津市の地域課題を解決するための事業を実施する市民活動団体	◇ 地域課題を解決するための事業を実施	○	
			何	市民活動団体による地域課題の解決の支援を行うことで、より住みよいまちづくりの推進を行う	200（千円）	見直し	
113-2	市民活動団体設立支援事業 / 地域連携課	協働のまちづくりの推進のため、新たな活動団体の設立時における支援	効	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の設立や運営の支援を行う	◆ 市民活動団体の設立運営の支援	◎	市民活動団体等への公益的な活動の初期支援を行い、自立した活動へのサポートを行うことができたが、申請数の減少に伴い、事業内容の見直しを行う。
			誰	設立後1年に満たない市民活動団体	◇ 市民活動団体の設立	○	
			何	市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境を作る	60（千円）	見直し	
113-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
113-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
113-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

113-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
113-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
113-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
113-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
113-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	④

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	D	D	C	A					
今後の方向性	①	③	④	④	④					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051236114
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			114	地域の実情や特性を踏まえ、地域づくり体制の構築に向けた支援を行います。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
114-1	地域かがやきプログラム事業 / 地域振興課（美里）	美里地内の旧小学校施設の利活用を推進する団体に対する負担	効	旧小学校施設の利活用により、地域の活性化、地域活動の拠点づくりとなる	◆ 各種イベント、教室、会議等での利活用	○	旧小学校を拠点に地域住民等が主体的に地域住民の交流を促進するイベント等を開催することで、地域の活性化が図られている。 今後においても、事業を継続しつつ、事業実施団体の自立を支援していく。
			誰	地域住民等	◇ 事業実施団体の活動状況	○	
			何	地域住民等が主体的に事業に取り組み、賑わい、相互交流などにより地域振興、地域づくりが図られる	1,200（千円）	現状維持	
114-2	公有財産管理事業 / 地域振興課（一志）	地域活性化、文化振興、スポーツ振興活動を行う団体に活動拠点を提供する（旧波瀬小学校、旧大井小学校、旧大井幼稚園）	効	活動拠点を提供することにより、地域活性化や文化振興などの目的を達成できる	◆ 5団体に使用許可	◎	各団体が地域に活動拠点を置き、地域のイベント等に参加することにより住民との交流が深まり、地域に賑わいを創出している。 今後も、継続的な往来、滞留の流れを作ることで地域の活性化につなげる。
			誰	波瀬まちづくり協議会、大井町づくり委員会、津レスリング協会、手織りグループしおり、和太鼓集団鼓司	◇ 地域の意見	◎	
			何	地域の各分野で活動する団体が、地域と協力しながら、地域の活性化のために活動できる	0（千円）	現状維持	
114-3	公有財産管理事業 / 地域振興課（一志）	学校法人に活動拠点を提供する（旧大井小学校）	効	高齢化が進む地域住民と学生が交流することにより、地域を活気づかせる	◆ 地域のイベントに参加	◎	一志学園高校の生徒と地域が交流することで、地域住民の活動意欲を向上させ、地域を活気づかせている。 今後も引き続き相互の交流を深め地域の活性化を図る。
			誰	学校法人玉村学園（一志学園高等学校）	◇ 地域の意見	◎	
			何	地域内に学校ができることで、地域と協力しながら、地域の活性化のための活動を行うことができる	0（千円）	現状維持	
114-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
114-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

114-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
114-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
114-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
114-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
114-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051236115
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			115	地域住民が安心して地域活動が行える環境を整えるため、活動支援や集会所、コミュニティ施設などの地域活動拠点の形成を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
115-1	集会所建築等補助事業	自治会が実施する集会所建築・修繕に対する補助	効	自治会が集会所を新築、増築、改装、修繕、又は取得する	◆ 自治会の補助申請に基づき適宜実施（新築、取得、修繕17件）	◎	事前届の提出のあった全ての自治会に対し、補助金の交付ができた。自治会が行う集会所の建築等に対して支援を行うことは、地域におけるコミュニティ活動の推進に寄与できるため、今後も継続していく。
			誰	住民の地域活動の拠点として本市の区域内に存する自治会	◇ 補助金交付件数	◎	
	地域連携課		何	住民相互の連携意識の高揚を図り、健全な地域社会の形成に寄与する	8,518（千円）	現状維持	
115-2	会館整備事業	（仮称）安東コミュニティ施設の整備	効	地域コミュニティ促進のための集会施設を整備する	◆ コミュニティ施設の整備	◎	安東地域のコミュニティ活動推進のための集会施設の整備に向けて、計画通り進めることが出来た。引き続き施設整備完了、共用開始に向けて取組を進めていきたい。
			誰	市内の人々が	◇ 整備の進捗度合	◎	
	市民交流課		何	地域コミュニティ活動を行う	5,990（千円）	現状維持	
115-3	会館整備事業	（仮称）津西会館別館の新築に係る建築、電気、機械工事	効	地域コミュニティ促進のための集会施設を整備する	◆ 集会施設の整備	◎	津西ふれあい会館の整備が完了し、施設を供用開始することが出来た。
			誰	市内の人々が	◇ 施設の完成、共用開始	◎	
	市民交流課		何	地域コミュニティ活動を行う	33,367（千円）	完了	
115-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
115-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

115-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
115-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
115-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
115-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
115-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード　051237
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ　88
	関連個別計画				
担当部局		市民部			
施策の内容（番号）		116	～	118	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
116	友好都市等との交流においては、これまでの市民や行政間での交流に加え、青少年交流や文化、経済などの幅広い分野で、かつお互いの地域の発展につなげていけるような実効性あるさまざまな都市との交流を促進します。	A	①	市民交流課
117	地域における国際化をより一層進めるため、友好都市等に限らない世界各国の都市と交流し、国際感覚豊かな人づくり、地域づくりを進めます。	A	①	市民交流課
118	外国人住民からの相談や多様なニーズへの対応に向けた生活支援やコミュニケーション支援により、自立と地域社会への参画を促進するとともに、地域における多文化共生社会の重要な担い手である市民、団体、企業等に対して、より一層の異文化理解の向上に取り組み、多文化共生の地域づくりを推進します。	A	①	市民交流課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	国内外の友好都市との交流事業や国際交流協会・国際交流ボランティア団体・国際交流事業に対する補助を行い、国際・国内交流の推進に努めるとともに、市内に在住する外国人住民に対して情報提供や相談を多言語で行う一元的な窓口を設置し、多文化共生を推進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051237116
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ	88
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			116	友好都市等との交流においては、これまでの市民や行政間での交流に加え、青少年交流や文化、経済などの幅広い分野で、かつお互いの地域の発展につなげていけるような実効性あるさまざまな都市との交流を促進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
116-1	海外の友好都市姉妹都市との交流事業	友好都市中国鎮江市と姉妹都市ブラジルオザスコ市との周年記念時等において各種記念事業を実施	効	交流関係者の招聘や訪問・交流事業の実施により本市の国際交流事業の推進に寄与する	◆ 国際交流事業の推進	○	コロナ渦以降において初めて鎮江市から訪日団が訪れたことから、引き続き友好都市姉妹都市との交流を続けていきたい。
			誰	市内外の人々	◇ どのような事業を実施したか	○	
	市民交流課		何	本市の国際交流の推進に寄与するため	3（千円）	現状維持	
116-2	国内友好都市交流事業	国内友好都市上富良野町との新たな友好事業実現のための協議を実施	効	交流事業の実施により本市の国内交流事業推進に寄与する	◆ 国内交流事業の推進	◎	上富良野町との友好都市提携25周年を記念して、さまざまな交流を行った。引き続き友好都市として交流を続けていきたい。
			誰	市内外の人々	◇ どのような事業を実施したか	◎	
	市民交流課		何	本市の国内交流の推進に寄与するため	970（千円）	現状維持	
116-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
116-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
116-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

116-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
116-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
116-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
116-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
116-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード　051237117
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ　88
	関連個別計画				
担当部局			市民部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			117	地域における国際化をより一層進めるため、友好都市等に限らない世界各国の都市と交流し、国際感覚豊かな人づくり、地域づくりを進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
117-1	国際交流協会等補助事業	国際交流協会、国際交流ボランティア団体及び国際交流事業に対する補助	効	市内国際交流団体の事業促進	◆ 国際交流及び多文化共生の推進	◎	コロナ渦において中止されていた国際交流協会及び国際交流ボランティア団体の事業が復活し、今後も国際交流に資する支援を行っていきたい。
			誰	市内の国際交流ボランティア団体	◇ 国際交流団体との事業実施	◎	
	市民交流課		何	本市の国際交流に資するため	4,101（千円）	現状維持	
117-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
117-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
117-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
117-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

117-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
117-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
117-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
117-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
117-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051237118
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ	88
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			118	外国人住民からの相談や多様なニーズへの対応に向けた生活支援やコミュニケーション支援により、自立と地域社会への参画を促進するとともに、地域における多文化共生社会の重要な担い手である市民、団体、企業等に対して、より一層の異文化理解の向上に取り組み、多文化共生の地域づくりを推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
118-1	外国人住民総合相談窓口事業	市内に在住する外国人住民に対し、生活に係る適切な行政情報や相談部署に迅速に到達できるよう情報提供及び相談を多言語で行う一元的な窓口の設置による外国人住民への生活支援	効	窓口等での通訳や行政情報の多言語化を行う	◆ 多文化共生の推進	◎	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくなってきたことにより相談件数はやや減少したが、外国人人口が過去最大を更新しており、引き続き一元的な窓口の設置による外国人住民への生活支援を行っていきたい。
			誰	市内に在住する外国人住民	◇ 年間相談件数	◎	
	市民交流課		何	母国語で説明することにより、伝える側受ける側共に的確な意思疎通ができるため、適切な行政サービスの提供につながる	12,102（千円）	現状維持	
118-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
118-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
118-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
118-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

118-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
118-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
118-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
118-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
118-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード　051338
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ　91
	関連個別計画				
担当部局		市民部、教育委員会			
施策の内容（番号）		119	～	121	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
119	人権問題や人権課題に対する市民の正しい理解と認識を深めるため、関係機関や関係団体等と連携し、総合的かつ計画的に人権啓発を推進するとともに、相談体制の充実も図り、より人権が尊重されるまちをめざします。	A	①	人権課
120	人権尊重の地域づくりの実現に向けて、市民を母体とした各種団体、関係機関等と、幅広い人権ネットワークを構築し、協働した取組を行います。	A	①	人権課
121	戦争を知らない多くの市民に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会を提供し、市民の平和意識の向上を図ります。	A	①	人権課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	各地域における人権講演会の開催や人権擁護委員会の活動に対する補助を行い、人権施策の推進に努めるとともに、市民の平和意識向上を目的とした平和を考える市民のつどいの開催や津平和のための戦争展実行委員会に対する補助を行うことで、平和施策を推進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051338119
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			119	人権問題や人権課題に対する市民の正しい理解と認識を深めるため、関係機関や関係団体等と連携し、総合的かつ計画的に人権啓発を推進するとともに、相談体制の充実も図り、より人権が尊重されるまちをめざします。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
119-1	人権講演会等開催事業	津市人権講演会の開催	効	市民が人権に対する理解や認識を深める	◆ 津市人権講演会を開催する	◎	コロナ禍では、計画どおりに開催できなかったが、令和4年度は計画していた全ての講演会を開催することができた。感染予防のため、入場制限を行ったが、そのような中でも多くの市民に参加してもらうことができた。
			誰	市民	◇ 参加者数	○	
	人権課		何	市民の人権意識の高揚を図る	1,657（千円）	現状維持	
119-2	人権擁護委員会支援事業	人権擁護委員会活動の支援	効	補助金を活用して、人権擁護委員が人権相談や人権啓発活動を行う	◆ 人権擁護委員協議会に対して補助金を交付する	◎	人権擁護委員は、コロナ禍にも関わらず人権相談や出前講座など、市内のあらゆる地域において活動を行っており、補助金によりその活動を支援することができた。
			誰	人権擁護委員	◇ 人権相談、人権啓発活動等の活動件数	◎	
	人権課		何	人権擁護委員の活動を支援する	1,876（千円）	現状維持	
119-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
119-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
119-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

119-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
119-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
119-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
119-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
119-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051338120
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			120	人権尊重の地域づくりの実現に向けて、市民を母体とした各種団体、関係機関等と、幅広い人権ネットワークを構築し、協働した取組を行います。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
120-1	人権擁護委員会支援事業	人権擁護委員会活動の支援	効	補助金を活用して、人権擁護委員が人権相談や人権啓発活動を行う	◆ 人権擁護委員協議会に対して補助金を交付する	◎	人権擁護委員は、コロナ禍にも関わらず人権相談や出前講座など、市内のあらゆる地域において活動を行っており、補助金によりその活動を支援することができた。
			誰	人権擁護委員	◇ 人権相談、人権啓発活動等の活動件数	◎	
	人権課		何	人権擁護委員の活動を支援する	1,876（千円）	現状維持	
120-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
120-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
120-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
120-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

120-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
120-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
120-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
120-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
120-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051338121
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			121	戦争を知らない多くの市民に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会を提供し、市民の平和意識の向上を図ります。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
121-1	平和を考える市民の集い事業	平和を考える市民のつどいの開催	効	戦争の悲惨さ、平和の大切さを考える	◆ 平和を考える市民のつどいを開催する	◎	コロナ禍のため入場制限を行ったものの、多くの市民に参加してもらうことができた。午前と午後でターゲットとする年齢層を分けることで、あらゆる世代に向けて戦争の悲惨さ、平和の大切さを考える機会とすることができた。
			誰	市民	◇ 参加者数	○	
	人権課		何	市民の平和に対する意識の向上を図る	352（千円）	現状維持	
121-2	戦争展補助事業	津平和のための戦争展実行委員会に対する補助	効	補助金を活用して戦争展を開催することで、市民が戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考える	◆ 津平和のための戦争展実行委員会に補助金を交付する	◎	多くの市民が参加し戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考えてもらう機会となった戦争展の開催を支援することができた。
			誰	津平和のための戦争展実行委員会	◇ 参加者数	◎	
	人権課		何	市民の平和に対する意識の向上を図る	450（千円）	現状維持	
121-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
121-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
121-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

121-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
121-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
121-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
121-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
121-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051339
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部、健康福祉部、都市計画部、建設部			
施策の内容（番号）			122	～	124	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
122	思いやりや支えあいの心が根付いたやさしい社会を実現するため、市民一人ひとりにとってユニバーサルデザインが特別なものとしてではなく、当たり前のものとして浸透し、定着するよう、地域や学校等におけるユニバーサルデザインの普及・啓発を強化します。	A	①	政策課
123	誰もが安心して快適に暮らすことができるまちの実現に向け、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設や公共交通を含む一体的な都市空間づくりを推進するとともに、自由かつ等しく情報やサービスを享受でき、誰もがまちづくりに参加できる環境整備を進めます。	A	①	政策課
124	地域や市民との協働による連携の強化を図るとともに、積極的に活動を推進する人材の確保・育成に努め、ユニバーサルデザインの輪が広がる取組を進めます。	A	①	政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	津市ユニバーサルデザイン連絡協議会との協働により、UDの普及啓発活動やネットワークの拡大、小中学校等におけるUD講座や市職員に対する研修を実施し、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	D	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051339122
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			122	思いやりや支えあいの心が根付いたやさしい社会を実現するため、市民一人ひとりにとってユニバーサルデザインが特別なものとしてではなく、当たり前のものとして浸透し、定着するよう、地域や学校等におけるユニバーサルデザインの普及・啓発を強化します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
122-1	UDネットワーク構築等事業	UDのまちづくりの推進に係る啓発、市内で活動又は活動しようとしている個人若しくは団体のネットワーク化及びネットワークの拡大	効	市民がUDへの理解と認識を深めるとともに、個人若しくは団体との協力体制の構築や新たな人材の発掘につながる	◆ 津市UD連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	◎	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まり、イベント等が再開されたことを受け、3年ぶりに事業を実施することができ、津市UD連絡協議会が津まつり、久居まつり及びつ環境フェスタにブース出展して啓発活動を行った。 今後も、市内各所で開催されるイベント等において啓発活動等を行う。
			誰	市民	◇ イベント等での啓発物品配布数	○	
	政策課		何	UDのまちづくりの推進に向けた機運の醸成に寄与する	149（千円）	現状維持	
122-2	UD研修会等講師派遣事業	UDへの理解と認識を深めるための研修会等への講師派遣	効	UD講座受講者がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ UD講座43回に講師を派遣	△	新型コロナウイルス感染症の影響は令和3年度に比べて弱まったものの、依然として感染拡大防止措置をとる必要があったことから、小中学校等からの講師派遣申請が少なく、派遣実績は当初の事業実施計画に届かなかった。 今後は、コロナの感染症法上の位置付けの変更に伴い講座の開催回数の増加が見込まれることから、引き続き小中学校等からの依頼を受けて講師派遣を行う。
			誰	UD講座受講者（小中学生等）	◇ UD講座受講者を対象としたアンケートの結果	○	
	政策課		何	UDの考え方が当たり前のものとして浸透し、定着する	170（千円）	現状維持	
122-3	UD発表会開催事業	津市UD連絡協議会との共同によるUD講座を受講した小中学生等による発表等	効	UD発表会に来場した地域住民がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 発表会を年1回開催	◎	西郊中学校区人権フェスティバル実行委員会の協力を得て、「2022年度西郊中学校区人権フェスティバル」のプログラムの一部としてUD発表会を開催し、UD講座を受講した片田小学校の児童による発表や、津市UD連絡協議会会長からの講話を行った。 今後も、小中学校等の協力を得てUD発表会を開催する。
			誰	UD発表会来場者（地域住民）	◇ 発表会の来場者数	○	
	政策課		何	地域でUDの輪が広がるきっかけとなる	0（千円）	現状維持	
122-4	UD研修事業	津市職員を対象としたUD研修	効	職員がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 新規採用職員、採用後2年目職員を対象に研修を実施	◎	66人の新規採用職員、65人の2年目職員を対象に研修を実施し、UDへの理解と認識の促進を図った。 今後も、新規採用職員及び採用後2年目職員を対象に研修を実施する。
			誰	職員	◇ 研修レポートの内容（理解度）	◎	
	政策課		何	UDの考え方を持って業務を遂行することで、様々な方に寄り添った行政サービスを提供できる	5（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

122-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
122-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
122-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
122-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
122-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	D	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051339123
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部、健康福祉部、都市計画部、建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			123	誰もが安心して快適に暮らすことができるまちの実現に向け、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設や公共交通を含む一体的な都市空間づくりを推進するとともに、自由かつ等しく情報やサービスを享受でき、誰もがまちづくりに参加できる環境整備を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価			事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					当初の事業実施計画	実施評価		
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価		
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性		
123-1	UDネットワーク構築等事業 / 政策課	UDのまちづくりの推進に係る啓発、市内で活動又は活動しようとしている個人若しくは団体のネットワーク化及びネットワークの拡大	効	市民がUDへの理解と認識を深めるとともに、個人若しくは団体との協力体制の構築や新たな人材の発掘につながる	◆ 津市UD連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	◎		新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まり、イベント等が再開されたことを受け、3年ぶりに事業を実施することができ、津市UD連絡協議会が津まつり、久居まつり及びつ環境フェスタにブース出展して啓発活動を行った。 今後も、市内各所で開催されるイベント等において啓発活動等を行う。
			誰	市民	◇ イベント等での啓発物品配布数	○		
			何	UDのまちづくりの推進に向けた機運の醸成に寄与する	149（千円）	現状維持		
123-2	UD研修会等講師派遣事業 / 政策課	UDへの理解と認識を深めるための研修会等への講師派遣	効	UD講座受講者がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ UD講座43回に講師を派遣	△		新型コロナウイルス感染症の影響は令和3年度に比べて弱まったものの、依然として感染拡大防止措置をとる必要があったことから、小中学校等からの講師派遣申請が少なく、派遣実績は当初の事業実施計画に届かなかった。 今後は、コロナの感染症法上の位置付けの変更に伴い講座の開催回数の増加が見込まれることから、引き続き小中学校等からの依頼を受けて講師派遣を行う。
			誰	UD講座受講者（小中学生等）	◇ UD講座受講者を対象としたアンケートの結果	○		
			何	UDの考え方が当たり前のものとして浸透し、定着する	170（千円）	現状維持		
123-3	UD発表会開催事業 / 政策課	津市UD連絡協議会との共同によるUD講座を受講した小中学生等による発表等	効	UD発表会に来場した地域住民がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 発表会を年1回開催	◎		西郊中学校区人権フェスティバル実行委員会の協力を得て、「2022年度西郊中学校区人権フェスティバル」のプログラムの一部としてUD発表会を開催し、UD講座を受講した片田小学校の児童による発表や、津市UD連絡協議会会長からの講話を行った。 今後も、小中学校等の協力を得てUD発表会を開催する。
			誰	UD発表会来場者（地域住民）	◇ 発表会の来場者数	○		
			何	地域でUDの輪が広がるきっかけとなる	0（千円）	現状維持		
123-4	UD研修事業 / 政策課	津市職員を対象としたUD研修	効	職員がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 新規採用職員、採用後2年目職員を対象に研修を実施	◎		66人の新規採用職員、65人の2年目職員を対象に研修を実施し、UDへの理解と認識の促進を図った。 今後も、新規採用職員及び採用後2年目職員を対象に研修を実施する。
			誰	職員	◇ 研修レポートの内容（理解度）	◎		
			何	UDの考え方を持って業務を遂行することで、様々な方に寄り添った行政サービスを提供できる	5（千円）	現状維持		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

123-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
123-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
123-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
123-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
123-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	D	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード　051339124
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ　91
	関連個別計画				
担当部局			政策財務部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			124	地域や市民との協働による連携の強化を図るとともに、積極的に活動を推進する人材の確保・育成に努め、ユニバーサルデザインの輪が広がる取組を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
124-1	UDネットワーク構築等事業 / 政策課	UDのまちづくりの推進に係る啓発、市内で活動又は活動しようとしている個人若しくは団体のネットワーク化及びネットワークの拡大	効	市民がUDへの理解と認識を深めるとともに、個人若しくは団体との協力体制の構築や新たな人材の発掘につながる	◆ 津市UD連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	◎	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まり、イベント等が再開されたことを受け、3年ぶりに事業を実施することができ、津市UD連絡協議会が津まつり、久居まつり及びつ環境フェスタにブース出展して啓発活動を行った。 今後も、市内各所で開催されるイベント等において啓発活動等を行う。
			誰	市民	◇ イベント等での啓発物品配布数	○	
			何	UDのまちづくりの推進に向けた機運の醸成に寄与する	149（千円）	現状維持	
124-2	UD研修会等講師派遣事業 / 政策課	UDへの理解と認識を深めるための研修会等への講師派遣	効	UD講座受講者がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ UD講座43回に講師を派遣	△	新型コロナウイルス感染症の影響は令和3年度に比べて弱まったものの、依然として感染拡大防止措置をとる必要があったことから、小中学校等からの講師派遣申請が少なく、派遣実績は当初の事業実施計画に届かなかった。 今後は、コロナの感染症法上の位置付けの変更に伴い講座の開催回数の増加が見込まれることから、引き続き小中学校等からの依頼を受けて講師派遣を行う。
			誰	UD講座受講者（小中学生等）	◇ UD講座受講者を対象としたアンケートの結果	○	
			何	UDの考え方が当たり前のものとして浸透し、定着する	170（千円）	現状維持	
124-3	UD発表会開催事業 / 政策課	津市UD連絡協議会との共同によるUD講座を受講した小中学生等による発表等	効	UD発表会に来場した地域住民がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 発表会を年1回開催	◎	西郊中学校区人権フェスティバル実行委員会の協力を得て、「2022年度西郊中学校区人権フェスティバル」のプログラムの一部としてUD発表会を開催し、UD講座を受講した片田小学校の児童による発表や、津市UD連絡協議会会長からの講話を行った。 今後も、小中学校等の協力を得てUD発表会を開催する。
			誰	UD発表会来場者（地域住民）	◇ 発表会の来場者数	○	
			何	地域でUDの輪が広がるきっかけとなる	0（千円）	現状維持	
124-4	UD研修事業 / 政策課	津市職員を対象としたUD研修	効	職員がUDについて知り、理解を深めることができる	◆ 新規採用職員、採用後2年目職員を対象に研修を実施	◎	66人の新規採用職員、65人の2年目職員を対象に研修を実施し、UDへの理解と認識の促進を図った。 今後も、新規採用職員及び採用後2年目職員を対象に研修を実施する。
			誰	職員	◇ 研修レポートの内容（理解度）	◎	
			何	UDの考え方を持って業務を遂行することで、様々な方に寄り添った行政サービスを提供できる	5（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

124-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
124-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
124-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
124-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
124-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D	D	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051340
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ	92
	関連個別計画		津市男女共同参画基本計画、津市教育振興ビジョン前期基本計画			
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（番号）			125	～	127	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
125	男女共同参画意識の高揚に向けて、フォーラムの開催や情報紙の発行などを通じて、職場・学校・地域・家庭での継続的な啓発を推進します。	A	①	男女共同参画室
126	政策・方針決定過程への一層積極的な男女共同参画の推進や女性の社会参画への支援をさらに充実することで男女が共に活躍できる社会づくりに取り組むとともに、働き方の見直しなどを含めたワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現できる環境の整備を推進します。	－	－	生涯学習課
127	男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野で個性と能力を発揮することを阻害する要因の防止や根絶に向けた相談・支援体制を充実します。	A	①	男女共同参画室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	男女共同参画社会の実現に向けたフォーラムや男女共同参画の推進を図るための映画祭等の啓発イベント、カウンセラー・弁護士による相談業務を実施することで、男女共同参画を推進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051340125
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ	92
	関連個別計画			津市男女共同参画基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局				市民部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			125	男女共同参画意識の高揚に向けて、フォーラムの開催や情報紙の発行などを通じて、職場・学校・地域・家庭での継続的な啓発を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
125-1	男女共同参画フォーラム開催事業	男女共同参画社会の実現に向けたフォーラムの開催	効	男女共同参画意識の高揚を図るため、公募市民で構成される実行委員会と協働でフォーラムを実施する	◆ 年1回の開催	◎	フォーラムについては、概ね計画どおりに実施できた。今後も本事業を継続しながら、更に多くの市民の満足を得られるイベント内容を検討し、意識高揚を図っていく。
			誰	市民	◇ 参加者の意見（満足度）	○	
	男女共同参画室		何	フォーラムの開催により男女共同参画意識の高揚を図ることができる。	350（千円）	現状維持	
125-2	男女共同参画推進啓発事業	男女共同参画の推進を図るための映画祭及び講演会の啓発イベントの実施	効	男女共同参画の推進を図るための映画祭等の啓発イベンを実施する	◆ 年2回の開催	◎	映画祭、講演会ともに計画どおりに実施できた。今後も本事業を継続しながら、多くの市民にとって魅力あるイベントを検討し、今まで特に男女共同参画を意識していない市民の意識の高揚を図る。
			誰	子どもから高齢者までの市内外の人々	◇ 参加者の意見（満足度等）	◎	
	男女共同参画室		何	映画祭等の啓発イベントに参加し男女共同参画意識の高揚を図ることができる	809（千円）	現状維持	
125-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
125-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
125-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

125-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
125-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
125-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
125-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
125-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	D	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051340126
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ	92
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			126	政策・方針決定過程への一層積極的な男女共同参画の推進や女性の社会参画への支援をさらに充実することで男女が共に活躍できる社会づくりに取り組むとともに、働き方の見直しなどを含めたワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現できる環境の整備を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
126-1			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
126-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
126-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
126-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
126-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

126-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
126-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
126-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
126-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
126-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	―

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	―

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	－					
今後の方向性	①	①	①	④	－					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード　051340127
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ　92
	関連個別計画			津市男女共同参画基本計画（平成30年度～令和4年度）	
担当部局				市民部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			127	男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野で個性と能力を発揮することを阻害する要因の防止や根絶に向けた相談・支援体制を充実します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
127-1	相談事業 / 男女共同参画室	カウンセラー及び弁護士による相談業務	効	市民が身の回りの様々な悩みや問題を解決できる	◆ 毎月定期的に実施	◎	定期的な開催は問題なく実施できた。今後は現状維持の中でも、特にカウンセラーは周知・案内等について、今後も検討し、利用率の増加につなげていく。
			誰	市民	◇ 相談利用率	○	
			何	利用負担なく気軽に、身の回りの様々な悩みや問題を解決できる	1,725（千円）	現状維持	
127-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
127-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
127-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
127-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

127-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
127-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
127-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
127-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
127-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード　061441
		施策	41	勤労者福祉の充実	本冊ページ　95
	関連個別計画				
担当部局			市民部、商工観光部		
施策の内容（番号）			128 ～ 129		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
128	関係機関と連携し、事業者に対して、労働時間の短縮、雇用条件の改善、働きやすい職場環境づくりに向けた啓発を行うとともに、中小企業の福利厚生事業を支援することで勤労者の福利厚生及び生活向上・安定に向けた取組を進めます。	B	①	商業振興労政課
129	勤労者が安心して働き、余暇を充実して過ごすことができるよう、仕事や就職に関する相談対応に加え、働き方の見直しに向けた意識啓発などを通じ、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ります。	B	①	商業振興労政課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	中小企業勤労者の福利厚生事業を実施する三重中勢勤労者サービスセンターへの補助を行うとともに、勤労者からのメンタルヘルス相談事業や三重労働局との連携による企業訪問・広報紙への掲載・市内施設へのチラシの配架による労働諸問題に係る啓発を実施し、勤労者福祉の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061441128
		施策	41	勤労者福祉の充実	本冊ページ	95
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			128	関係機関と連携し、事業者に対して、労働時間の短縮、雇用条件の改善、働きやすい職場環境づくりに向けた啓発を行うとともに、中小企業の福利厚生事業を支援することで勤労者の福利厚生及び生活向上・安定に向けた取組を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
128-1	三重中勢勤労者サービスセンター補助事業	中小企業勤労者の福利厚生事業を実施する団体の運営費に対する補助	効	中小企業の福利厚生事業を実施する三重中勢勤労者サービスセンターを支援することにより、市内勤労者の福利厚生の充実を図る	◆ 補助金　1,300千円	○	同センターへの補助を継続することで、勤労者福祉の向上、市内事業者の振興に寄与することができた。また、コロナウイルスの終息が見えない中でも、会員数を着実に増やすなど積極的な活動を行う同センターへの補助を継続する。
			誰	市内勤労者	◇ 市内勤労者の福利厚生の充実度	○	
	商業振興労政課		何	福利厚生の充実により勤労意欲が増進する	1,300（千円）	現状維持	
128-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
128-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
128-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
128-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

128-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
128-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
128-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
128-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
128-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード 061441129
		施策	41	勤労者福祉の充実	本冊ページ 95
	関連個別計画				
担当部局				市民部、商工観光部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			129	勤労者が安心して働き、余暇を充実して過ごすことができるよう、仕事や就職に関する相談対応に加え、働き方の見直しに向けた意識啓発などを通じ、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ります。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
129-1	勤労者メンタルヘルス事業	勤労者が安心して働けるよう、職場での悩みを相談する場としてのメンタルヘルス相談を実施する	効	勤労者の悩みを相談する場を提供することにより、勤労者の心の健康の維持と安心して働ける環境づくりを行う	◆ 毎月第2金曜日2件、第4水曜日1件開催 当初予算　288千円	○	本事業を継続することで、勤労者の悩みを軽減し、働く環境づくりの維持に貢献できた。今後も継続することで、勤労者の悩みを軽減してく必要がある。
			誰	勤労者	◇ 勤労者のメンタルケアの補助	○	
	商業振興労政課		何	安心して働くことができる環境を作る	248（千円）	現状維持	
129-2	勤労者福祉の増進に係る企業訪問	市民部や三重労働局との連携の元、企業を訪問し、ワーク・ライフ・バランスをはじめとする労働諸問題に係る啓発を図る	効	コロナ禍においても広報誌への啓発、市内施設へのチラシの配架にて啓発を図った	◆ 勤労者への労働諸問題に係る啓発	○	企業訪問件数が、24件と前年度まで新型コロナウイルス感染症の影響で行えなかった企業への啓発は、一定数確保できた。 ワーク・ライフ・バランスをはじめとする労働環境等の諸問題の啓発について、訪問企業数を増やすなど今後も引き続き行う必要がある。
			誰	勤労者	◇ 勤労者への労働諸問題に係る啓発	○	
	商業振興労政課		何	企業において安心して働くことができる環境づくりを促進する	0（千円）	拡充・充実	
129-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
129-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
129-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

129-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
129-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
129-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
129-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
129-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード　061442
		施策	42	雇用の創出・拡大	本冊ページ　95
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容（番号）		130	～	131	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
130	関係機関と連携し、女性や障がい者、高齢者、外国人など、さまざまな立場の人の就労を支援するとともに、企業等の雇用機会の提供を促進し、多様な人材の活躍の場の拡大を進めます。	B	①	商業振興労政課
131	求人と求職のミスマッチを解消するとともに、市外への人材の流出を食い止め、本市出身者のふるさと回帰を促すため、関係機関と連携し、求人情報のみならず、本市の暮らしやすさ、優れた企業等の魅力を発信することで、人材を求める企業と就労を望む人との出会いの機会を拡大します。	D	①	商業振興労政課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	三重労働局との連動による障がい者と企業の就職マッチングの場の創出、市内企業へのUIJターン就職のための就職活動及び新生活に係る補助や要件を満たした東京圏からの移住者に対する支援金の交付事業を実施するなど、雇用の創出・拡大に努めていますが、移住支援金については活用実績がありませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	C					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061442130
		施策	42	雇用の創出・拡大	本冊ページ	95
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			130	関係機関と連携し、女性や障がい者、高齢者、外国人など、さまざまな立場の人の就労を支援するとともに、企業等の雇用機会の提供を促進し、多様な人材の活躍の場の拡大を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
130-1	障がい者就労相談事業 / 商業振興労政課	三重労働局と連動し、合同企業相談会の開催、障がい者雇用促進に係る広報誌、ホームページへの登載、チラシ・ポスターの掲示を行う	効	三重労働局との連携のもと、障がい者と企業の就職のマッチングの場を作ることにより障がい者雇用の促進を図る	◆ 年1回開催	○	市内8企業に出展していただき、21名の障がい者の方にご参加いただき、マッチングの機会を作りました。企業等の障がい者雇用率が引き上げられていることから、引き続き事業を実施していく。
			誰	障がい者	◇ 障がい者雇用の促進	○	
			何	市内企業において働く場づくりを行う	0（千円）	現状維持	
130-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
130-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
130-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
130-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

130-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
130-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
130-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
130-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
130-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	D	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061442131
		施策	42	雇用の創出・拡大	本冊ページ	95
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			131	求人と求職のミスマッチを解消するとともに、市外への人材の流出を食い止め、本市出身者のふるさと回帰を促すため、関係機関と連携し、求人情報のみならず、本市の暮らしやすさ、優れた企業等の魅力を発信することで、人材を求める企業と就労を望む人との出会いの機会を拡大します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果			
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
131-1	UIJターン促進事業 / 商業振興労政課	市内企業へのUIJターン就職のための就職活動や新生活に係る補助	効	企業の人材不足解消や就職を希望する人を応援するとともに、移住支援をすることができる	◆ ふるさと就職活動応援奨励金 3千円～（在住地域による） ふるさと就職新生活応援奨励金 一律5万円	○	本事業において補助金を交付することで、就職活動や新生活をする市外・県外在住者が津市への移住を支援することができた。今後周知活動を行った上で、継続することで、移住者の増加に貢献していく。
			誰	市内企業、津市に就労を希望する市外・県外在住者	◇ 市内企業等の雇用	○	
			何	津市内の企業に就職し、津市への移住を支援する	960（千円）	現状維持	
131-2	移住支援事業 / 商業振興労政課	県との連携による東京圏からのUIJターン就職の促進	効	津市内の企業に就職し、津市への移住を支援する	◆ 移住支援金の交付 単身による移住　60万円 世帯による移住　100万円	×	本事業の実績が得られていないことから、今後は周知活動を行うことに加え、企業訪問等を行い、マッチングサイトの紹介をすることで、移住者が利用しやすい事業としていく。
			誰	移住を希望する東京圏在住者	◇ 定住人口の拡大	×	
			何	津市内に移住し、市内企業等への就労を支援する	0（千円）	拡充・充実	
131-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
131-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
131-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

131-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
131-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
131-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
131-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
131-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	D

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	D					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード　061543
		施策	43	工業の振興	本冊ページ　98
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容（番号）		132	～	134	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
132	工業の持続的な発展に向け、国・県、商工会議所などの関係機関と連携し、独自の高い技術力を有する市内中小企業の生産基盤の強化や人材の確保・育成を支援し、次世代に技術を継承する取組を進めるとともに、中小企業の事業承継対策については、人材育成などの支援に取り組みます。	A	①	経営支援課
133	「創業支援」や「既存の中小企業振興」、「企業誘致」といった従来型の枠組みを維持しつつ、ワンストップで継ぎ目のない総合的な支援を行います。	A	①	経営支援課
134	産業拠点である中勢北部サイエンスシティだけでなく活用可能な工場用地や未利用地等の情報を収集・提供するとともに、市内への企業立地に係る支援を行い、企業誘致を推進することに加えて、社会経済情勢や企業立地に係るニーズ等を踏まえ、新たな立地基盤のあり方について検討を進めます。	A	①	経営支援課/企業誘致課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	中小企業が経営の安定及び人材の育成を図るための事業に対する補助や県内の高校生への市内企業を案内する冊子の配布、三重大学工学部生を対象とした地域企業魅力発見ツアー（オンライン）を実施するとともに、既存企業の経営安定に係る相談や創業を目指す方へのサポート、企業の立地及び設備投資に対する支援を行い、工業の振興に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061543132
		施策	43	工業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			132	工業の持続的な発展に向け、国・県、商工会議所などの関係機関と連携し、独自の高い技術力を有する市内中小企業の生産基盤の強化や人材の確保・育成を支援し、次世代に技術を継承する取組を進めるとともに、中小企業の事業承継対策については、人材育成などの支援に取り組みます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
132-1	経営支援事業	中小企業振興事業補助金	効	中小企業が補助金を活用し、経営の安定、人材の育成を図ることができる	◆ 中小企業振興事業補助金　36件	◎	補助対象者の目標件数を達成しているため、◎とした。今後は産業界にとって新たな課題となりつつあるカーボンニュートラルやDXについて、補助金制度により支援できることを検討することが課題である。
			誰	中小企業者が	◇ 交付実績	◎	
	経営支援課		何	生産性の向上や人材の育成等を図りやすくする	16,327（千円）	現状維持	
132-2	経営支援事業	高校生企業ライブ・ガイドの実施（冊子配布）	効	市内中小企業者が自社の魅力を伝え、知ってもらうことができる	◆ 県内高校等に市内企業情報を掲載した冊子を配布 掲載企業数目標15社	◎	市内企業（32社）の情報を掲載した冊子を県内高校等17箇所に配布した。掲載企業数が目標を超えたため「◎」とした。参加者の意見で開催時期については、様々な意見があり、今後の検討課題である。
			誰	市内企業（大・中小企業問わず）が	◇ 参加企業数	◎	
	経営支援課		何	「ものづくり」への興味・関心を高め、地元製造業の理解を深め、その担い手となってもらう	0（千円）	現状維持	
132-3	経営支援事業	津地域企業魅力発見ツアー（オンライン開催）	効	大学生自身の地元エンジニアとしての将来像を具体化	◆ オンライン形式で工場見学を実施：目標回数：5回	◎	当初の計画どおり、5回実施（参加人数：784名）できたため、「◎」とした。
			誰	三重大学工学部学生が	◇ 開催実績	○	
	経営支援課		何	地域の企業へ定着する	0（千円）	現状維持	
132-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
132-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

132-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
132-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
132-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
132-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
132-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061543133
		施策	43	工業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			133	「創業支援」や「既存の中小企業振興」、「企業誘致」といった従来型の枠組みを維持しつつ、ワンストップで継ぎ目のない総合的な支援を行います。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
133-1	ビジネスサポートセンター総務事業	ワンストップ窓口の施設管理	効	事業者の負担を軽減させる	◆ 月20件以上、年間240件以上の相談を実施	◎	経営相談（171件）、創業相談（382件）実施し、当初の実施計画を達成できたため「◎」とした。
			誰	創業者、中小企業者等が	◇ 相談実績	○	
	経営支援課		何	ワンストップ窓口の1ヵ所でまとめて、支援策等の情報を得ることができる	15,967（千円）	現状維持	
133-2	経営支援事業	既存企業の経営相談や起業・創業を目指す方へのサポートを実施	効	既存企業の経営の安定、また、創業者がストレスの無く事業が開始ができる	◆ 年間15件以上の創業実現	◎	年間73件の創業を実現したため「◎」とした。
			誰	創業者、中小企業者等が	◇ 創業実績	○	
	経営支援課		何	経営の安定化を図る	5,920（千円）	現状維持	
133-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
133-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
133-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

133-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
133-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
133-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
133-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
133-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061543134
		施策	43	工業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			134	産業拠点である中勢北部サイエンスシティだけでなく活用可能な工場用地や未利用地等の情報を収集・提供するとともに、市内への企業立地に係る支援を行い、企業誘致を推進することに加えて、社会経済情勢や企業立地に係るニーズ等を踏まえ、新たな立地基盤のあり方について検討を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆当初の事業実施計画 / ◇事業評価の主な視点	実施評価 / 事業評価	
134-1	企業立地奨励金事業 / 経営支援課	企業の立地及び設備投資に対する支援	効	さらなる投資意欲を促進させる	◆ 企業立地奨励金27件 用地取得費助成奨励金7件	◎	予定の件数について、交付事務が適正に行われ、雇用が拡大したため「◎」とした。
			誰	市内に事業所をもつ企業が	◇ 企業の投資および雇用の拡大	◎	
			何	雇用の創出を行う	決算額 269,120（千円）	今後の方向性：現状維持	
134-2	企業誘致事業 / 企業誘致課	中勢北部サイエンスシティ及び民間未利用地への企業誘致の推進	効	雇用の増加及び税収の増加が図れる	◆ 2社以上の企業誘致	◎	2社の企業誘致が出来たため「◎」とした。また、雇用の確保については1社のみの操業で新規採用人数が少なかったため「○」とした。 今後も税収及び雇用確保のため事業は継続的に行っていく必要があるため「現状維持」とした。
			誰	市民が	◇ 雇用者の確保	○	
			何	職業の選択肢が増え、定住する市民が増える	994（千円）	現状維持	
134-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
134-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
134-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

134-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
134-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
134-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
134-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
134-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和３年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード　061544
		施策	44	商業の振興	本冊ページ　98
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容（番号）		135	～	137	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
135	名物・物産品等の認知度向上に向け、積極的な情報発信に努めるとともに、魅力ある商品の開発や地域ブランド創出のための取組を支援します。	A	①	商業振興労政課
136	商店街の後継者や新たに起業しようとする人材を育成・発掘し、個店の魅力アップや起業意欲の向上を促進するとともに、商店街等における空き店舗の解消を支援します。	D	①	商業振興労政課
137	中心市街地等の活性化に向け、商店街組織と連携した集客イベントなどを通じた賑わいの創出に取り組みながら、魅力ある店舗の情報発信などにより地元での消費行動を促進し、まちの活気の創出につながる取組を支援します。	D	①	商業振興労政課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	各種物産振興活動や商店街等が行う集客イベントなどの商業活性化事業、商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助を行うなど、商業の振興に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントや学生と連携した中心市街地の情報発信、中心市街地の賑わいの担い手を育てる研修等を実施することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	E	C					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061544135
		施策	44	商業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			135	名物・物産品等の認知度向上に向け、積極的な情報発信に努めるとともに、魅力ある商品の開発や地域ブランド創出のための取組を支援します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
135-1	地場産業振興事業 / 商業振興労政課	市物産振興会が行う物産振興イベントをはじめとする各種物産振興活動等に対する補助	効	津市物産の振興を図る	◆ 津市物産振興会への補助（予算の範囲内）	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、令和4年秋に予定していた津市物産まつりが開催できなかったことにより、当初の事業実施計画が未達となったが、パンフレット等により津市物産の振興を図ることができた。
			誰	本市物産に係る事業者	◇ 津市物産まつりの開催結果、ホームページやパンフレットによるPR	○	
			何	本市物産の認知拡大、販売促進に資する	200（千円）	現状維持	
135-2	スイーツフェスタ事業 / 商業振興労政課	スイーツに特化した味覚の掘り起こしと情報発信等による商業及び地域活性を目的としたスイーツフェスタ事業に対する補助	効	スイーツに特化した津市物産の振興を図る	◆ 津市物産振興会への補助（予算の範囲内）	◎	スイーツフェスタの開催支援を行うことで、スイーツに特化した津市物産の振興を図ることができた。
			誰	市内物産（スイーツ）に係る事業者	◇ スイーツフェスタの開催結果	◎	
			何	本市のスイーツに係る認知拡大、販売促進に資する	1,200（千円）	現状維持	
135-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
135-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
135-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

135-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
135-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
135-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
135-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
135-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード　061544136
		施策	44	商業の振興	本冊ページ　98
	関連個別計画				
担当部局				商工観光部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			136	商店街の後継者や新たに起業しようとする人材を育成・発掘し、個店の魅力アップや起業意欲の向上を促進するとともに、商店街等における空き店舗の解消を支援します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
136-1	商店街魅力発信事業 商業振興労政課	様々な手法を用いて商店街へ誘客を図る取組、学生が商店街と連携しながら活動することで中心市街地の賑わい創出に繋げる取組及び学生目線での中心市街地の情報発信	効	中心市街地の賑わい創出を図る	◆ TMOへの委託事業により、学生との連携の手法による、中心市街地の賑わい創出を図る	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、規模を縮小した上で、学生との連携による商店街の魅力を発信するリーフレットを作成し、情報発信することができた。
			誰	商店街振興組合等の商業者	◇ イベント等の実施結果	○	
			何	TMOや学生との連携により中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	660（千円）	現状維持	
136-2	高虎楽座事業 商業振興労政課	藤堂高虎公の名を冠した中心市街地におけるステージイベントやフリーマーケットの開催に対する補助	効	藤堂高虎公の功績を再認識し、津市の伝統文化の継承及び商業振興や中心市街地の活性化を図る	◆ 年2回（4月、11月）高虎楽座を開催	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、4月及び11月に開催予定であった高虎楽座が、不特定多数を中心市街地に誘客することにより感染拡大が懸念されることから開催できなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
			誰	商店街振興組合等の商業者	◇ 高虎楽座の開催結果	×	
			何	中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	0（千円）	現状維持	
136-3	商業振興事業 商業振興労政課	商店街等が行う集客イベントなど商業活性化事業や商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助	効	商店街の活性化を促進する	◆ 商店街等が行う活動やイベントや、商店街等の空き店舗への新規出店への補助	△	前年度に比べ各商店街等が誘客拡大や賑わい創出のための取組が戻ってきたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置により取組が差し控えられたことにより、想定していた支援を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
			誰	商店街振興組合等の商業者	◇ イベント開催結果及び新規出店店舗数	○	
			何	誘客拡大や賑わい創出に向け行う事業に支援することで、中心市街地と商業活性化に資する	3,575（千円）	現状維持	
136-4	商店街にぎわい創出事業 商業振興労政課	中心市街地の活性化を目的とした市民主導の取組を支援 実際にまちづくりを行う「プレーヤー」を育てる研修 中心市街地の賑わいを創出するとともに、市民等がまちとその歴史に興味や愛着を持ち、中心市街地へ来街するきっかけをつくるイベントを開催	効	市民・学生など様々な人が参画し賑わいの創出と商業の振興を図る。中心市街地の賑わいの担い手育成。 市民等がまちとその歴史に興味や愛着を持ち、中心市街地へ来街するきっかけをつくる。	◆ 委託事業により、市民主導の取組を支援。中心市街地の賑わいの担い手を育てる研修等を実施。中心市街地でウォークイベントを開催	×	ウォークイベントの開催により、中心市街地への誘客を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、中心市街地活性化の担い手育成のための取組や様々な人々が集まり、商店街活性化に向け議論を行う「サロン」を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
			誰	市民・学生・商店街	◇ 市民主導の取組結果 担い手を育てる研修等の実施結果 ウォークイベントの開催結果	×	
			何	商店街活性化に参画するきっかけを作ることにより、商店街の担い手育成と中心市街地活性化を図る	162（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

136-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
136-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
136-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
136-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
136-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	D

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	E	D					
今後の方向性	①	①	②	②	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード　061544137
		施策	44	商業の振興	本冊ページ　98
	関連個別計画				
担当部局				商工観光部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			137	中心市街地等の活性化に向け、商店街組織と連携した集客イベントなどを通じた賑わいの創出に取り組みながら、魅力ある店舗の情報発信などにより地元での消費行動を促進し、まちの活気の創出につながる取組を支援します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆当初の事業実施計画	実施評価	
					◇事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
137-1	商店街魅力発信事業	様々な手法を用いて商店街へ誘客を図る取組、学生が商店街と連携しながら活動することで中心市街地の賑わい創出に繋げる取組及び学生目線での中心市街地の情報発信	効	中心市街地の賑わい創出を図る	◆TMOへの委託事業により、学生との連携の手法による、中心市街地の賑わい創出を図る	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、規模を縮小した上で、学生との連携による商店街の魅力を発信するリーフレットを作成し、情報発信することができた。
			誰	商店街振興組合等の商業者	◇イベント等の実施結果	○	
	商業振興労政課		何	TMOや学生との連携により中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	660（千円）	現状維持	
137-2	高虎楽座事業	藤堂高虎公の名を冠した中心市街地におけるステージイベントやフリーマーケットの開催に対する補助	効	藤堂高虎公の功績を再認識し、津市の伝統文化の継承及び商業振興や中心市街地の活性化を図る	◆年2回（4月、11月）高虎楽座を開催	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、4月及び11月に開催予定であった高虎楽座が、不特定多数を中心市街地に誘客することにより感染拡大が懸念されることから開催できなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
			誰	商店街振興組合等の商業者	◇高虎楽座の開催結果	×	
	商業振興労政課		何	中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	0（千円）	現状維持	
137-3	商業振興事業	商店街等が行う集客イベントなど商業活性化事業や商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助	効	商店街の活性化を促進する	◆商店街等が行う活動やイベントや、商店街等の空き店舗への新規出店への補助	△	前年度に比べ各商店街等が誘客拡大や賑わい創出のための取組が戻ってきたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置により取組が差し控えられたことにより、想定していた支援を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
			誰	商店街振興組合等の商業者	◇イベント開催結果及び新規出店店舗数	○	
	商業振興労政課		何	誘客拡大や賑わい創出に向け行う事業に支援することで、中心市街地と商業活性化に資する	3,575（千円）	現状維持	
137-4	商店街にぎわい創出事業	中心市街地の活性化を目的とした市民主導の取組を支援。 実際にまちづくりを行う「プレーヤー」を育てる研修。 中心市街地の賑わいを創出するとともに、市民等がまちとその歴史に興味や愛着を持ち、中心市街地へ来街するきっかけをつくるイベントを開催	効	市民・学生など様々な人が参画し賑わいの創出と商業の振興を図る。中心市街地の賑わいの担い手育成 市民等がまちとその歴史に興味や愛着を持ち、中心市街地へ来街するきっかけをつくる。	◆委託事業により、市民主導の取組を支援。中心市街地の賑わいの担い手を育てる研修等を実施。中心市街地でウォークイベントを開催	×	ウォークイベントの開催により、中心市街地への誘客を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、中心市街地活性化の担い手育成のための取組や様々な人々が集まり、商店街活性化に向け議論を行う「サロン」を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
			誰	市民・学生・商店街	◇市民主導の取組結果 担い手を育てる研修等の実施結果 ウォークイベントの開催結果	×	
	商業振興労政課		何	商店街活性化に参画するきっかけを作ることにより、商店街の担い手育成と中心市街地活性化を図る	162（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

137-5			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
137-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
137-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
137-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
137-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	D

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	E	D					
今後の方向性	①	①	②	②	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（番号）			138	～	143	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
138	市内産農畜産物のPRイベントの開催や情報発信を進めることにより、消費拡大から生産振興につながるシステムを構築するとともに、新規就農者や多様な担い手の確保・育成による安定した農業経営基盤の強化に向けた取組への支援を行います。	B	①	農林水産政策課
139	農地集積・集約化等による農地利用の最適化を進めるとともに、農業・農村の多面的機能の発揮による国土保全・資源かん養への取組を推進します。	A	①	農林水産政策課
140	地域に寄り添いながら、地域と共に対策を講じることにより、すべての地域から被害が減ったと実感していただけるよう獣害対策の３本柱（個体数の調整、防護柵設置の推進、地域ぐるみでの取組）の取組を推進します。	A	①	農林水産政策課
141	農村地域に限らず、市民の安全・安心を確保するため、老朽化した農業用ため池や湛水防除の排水機場等の計画的な更新、耐震化、長寿命化対策を推進します。	A	①	農業基盤整備課
142	安定的な用水供給及び農家の水管理の省力化を図るため、用水路のパイプライン化による自動給水やほ場整備事業による大区画化を推進し、農業経営の規模拡大や農地の集積・集約化を促進します。	A	①	農業基盤整備課
143	農道や農業用排水路等については、良好な営農基盤を確保するため、定期的なパトロール等、維持・管理の実施と計画的な改修等による長寿命化を推進します。	A	①	農業基盤整備課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	農道や用排水路等の改修、農業用施設補修等工事及び土地改良区等が施工する農業用施設補修等工事に対する補助、農地・農業用水等の資源の保全及び施設の長寿命化のための支援、獣害対策に係る補助、農業の担い手の確保のための研修に係る補助、経営の安定化等に係る支援、農産物のPR等消費拡大に係る取組に対する支援など、農業の振興に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061645138
		施策	45	農業の振興	本冊ページ　101
	関連個別計画				
担当部局			農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			138	市内産農畜産物のPRイベントの開催や情報発信を進めることにより、消費拡大から生産振興につながるシステムを構築するとともに、新規就農者や多様な担い手の確保・育成による安定した農業経営基盤の強化に向けた取組への支援を行います。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
138-1	農林水産物利用促進事業	市内産農林水産物のPR及び生産者と消費者の交流等による市内外での消費拡大を図り生産振興につなぐ取組等に係る会費の負担	効	津市産農林水産物の消費拡大及び情報発信	◆ 津産津消の推進と津市産農産物のPR	◎	津産津消の推進及び津市産農産物のPRについて、市内外のイベントへ参加し、津市産農産物の魅力について積極的にPRできた。引き続き、HPやSNSを活用した周知を行い、さらなる消費拡大を目指す。
			誰	津市内の農林水産業者	◇ 津市産農産物の推進	◎	
	農林水産政策課		何	津市産農林水産物の知名度向上による生産振興	1,715（千円）	現状維持	
138-2	地域農業基盤創生事業	新規農業ビジネスチャレンジ支援や、要活用農地の復元に対する補助	効	新たな農林水産業ビジネスの創出、要活用農地の復元を図る	◆ 農産物を活用した商品開発（5社）と耕作放棄地の解消（1ha）	△	農産物を活用した商品開発については4件取り組んだが、耕作放棄地の解消については、0.2haに留まったため、△とした。今後も本事業を農業者に活用してもらうため、事業の周知を図っていく。
			誰	認定農業者等	◇ 商品開発と耕作放棄地の解消	○	
	農林水産政策課		何	新たな収入の確保と耕作放棄地の発生抑制	739（千円）	現状維持	
138-3	認定農業者経営改善支援事業	認定農業者がスーパーL資金等を利用した際の金利負担軽減を目的とした利子助成	効	金融機関から融資を受けた認定農業者が、利子の補給を受けることで、農業経営基盤を確立・近代化させる	◆ 認定農業者が支払う利子の一部を補填する	◎	認定農業者に対して金融機関を通じて利子の補給を行うことができたため、◎とした。今後も金融機関と連携しながら事業を継続していく。
			誰	認定農業者等	◇ 利子の一部を補填することで認定農業者事業拡大が可能	◎	
	農林水産政策課		何	金融機関から融資を受ける際の利子を補給	5,113（千円）	現状維持	
138-4	農林業就業促進対策事業（一時産業担い手供給プロジェクト）	第一次産業の担い手・従事者を確保するための研修経費に対する補助	効	将来の津市の農林業の担い手の確保及び円滑な就業	◆ 研修生2名の補助を行う	×	事業者から研修生の受け入れに対する補助の申請がなかったため×とした。コロナウイルス感染症の影響もあり、研修生の受け入れに消極的な事業者も多かった。今後は、事業者に向け、本事業について周知を図っていく。
			誰	研修を受け入れる農林事業者	◇ 農林業者が研修生の受入れ	×	
	農林水産政策課		何	研修生に対し円滑に研修を行う	0（千円）	現状維持	
138-5	農業後継者研修補助事業	本市の農業の担い手を目指して就農する者に対し、農業技術や知識を習得するための研修授業料に対する補助	効	認定農業者等の後継者の育成及び確保	◆ 認定農業者の後継者1名分の補助	×	農業大学校の入学者に交付対象者がいなかったため×とした。今後も、市内の高校や農業大学校に事業の案内を行っていく。
			誰	津市の農業の担い手を目指す農業後継者	◇ 農業大学校等への入学等	×	
	農林水産政策課		何	農業大学校等にて農業の技術・知識を学ぶために必要な経費を補助	0（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

138-6	人・農地問題解決加速化支援事業（人・農地プラン） 農林水産政策課	経営の不安定な就農初期段階の青年就労者に対する給付金の給付及び地域の中心となる経営体への農地集積に協力する農地の出し手に対する補助等	効	経営開始初期の認定新規就農者への資金の交付	◆ 認定新規就農者への交付金の交付及び4237aの農地集積	○	認定新規就農者へ資金を交付することにより、経営基盤の確立を支援し、今後の集落及び地域の中心となる経営体等の育成に寄与することができた。今後も経営体等へのさらなる支援及び確保を図る。 また、地域の中心となる経営体等への農用地の集積・集約化を推進し、地域農業の推進と経営体等の農業経営に対して一定の効率化及び安定化を図ることができた。今後も農地中間管理機構を介した貸借を進め、さらなる農地の集積を図る。
			誰	津市の農業の担い手を目指す認定新規就農者及び農業者	◇ 交付要綱に基づいた交付と集積状況	◎	
			何	経営開始直後の生活の安定と農地集約化	23,234（千円）	拡充・充実	
138-7	経営所得安定対策推進事業 農林水産政策課	農業経営の安定化を図るための交付金等	効	担い手農家や販売農家が、交付金を活用し、農業経営の安定を図る	◆ 担い手農家や販売農家が、交付金を活用し、農業経営の安定	○	経営所得安定対策により、主食用米への偏重ではなく、麦、大豆、加工用米、飼料用米、米粉用米など需要のある作物の生産を促進し、農業所得の向上に一定寄与しているものの、農業経営の安定にはより一層の拡充・充実が求められる。
			誰	担い手農家等	◇ 国から示された生産調整の状況	○	
			何	所得の安定と食料の需給安定	12,462（千円）	拡充・充実	
138-8	農村交流等支援事業 農林水産政策課	地域の農畜産物を積極的に活用し地産地消の推進及び都市と農村の交流を促進し農業への理解を積極的に推進する取組に対する補助	効	農畜産物の消費拡大及び都市と農村の交流の促進を図る	◆ 農畜産物の消費拡大及び都市と農村の交流の促進を図る	◎	農畜産物の消費拡大及び都市と農村の交流の促進を図る2団体に対し補助を行うことができたため◎とした。コロナウイルス感染症の影響により都市との交流が減少していたが、徐々に回復傾向にあるため、今後は一層の推進を図っていく。
			誰	取組を行う団体	◇ 事業を行うことでに農畜産物の活用	○	
			何	生産者と消費者との交流による地産地消、農業振興	74（千円）	現状維持	
138-9	畜産振興事業 農林水産政策課	中南勢地区のと畜解体処理施設である松阪食肉公社に対する負担	効	松阪食肉公社の施設の維持・管理	◆ 施設運営に負担することで畜産物の普及促進	◎	当初予算である基本支援額6,141千円に加えて12月補正予算において燃油等価格高騰支援策として3,396千円を支援して経営の安定を図った。
			誰	松阪牛、養豚及び肥育農家	◇ 畜産物の普及促進	◎	
			何	経営安定と枝肉の安定供給	9,537（千円）	拡充・充実	
138-10	特産松阪牛生産支援事業 農林水産政策課	特産松阪牛肥育農家に対する補助	効	肥育農家が、補助金を活用し、特産松阪牛の生産振興を図る	◆ 特産松阪牛の生産振興を図るため仔牛12頭分の購入補助	○	市内の肥育農家2件に対し、仔牛10頭分の購入補助を行ったため○とした。兵庫県産仔牛の導入に関しては、通常よりもコストがかかるため、引き続き支援を行っていく。
			誰	肥育農家	◇ 兵庫県産仔牛購入状況	◎	
			何	特産松阪牛の生産振興	805（千円）	現状維持	
138-11	経営体育成支援事業 農林水産政策課	新規就農者や意欲ある多様な経営体が経営規模の拡大や経営の多角化を図っていくために必要な農業用機械の整備等に対する補助	効	認定農業者等が、国補助金の採択を受け、農業機械や農業施設を導入する	◆ 国の要綱等に基づき1組織分の交付金の交付	◎	農業用機械・施設の導入等を支援する国の補助事業を活用することで、中心経営体等の経営面積の拡大や適期収穫による収量増加、品質向上等に繋げることができた。 引き続き、国の補助採択に向け、担い手や関係機関との連携を図っていく。
			誰	認定農業者等	◇ 国の要綱等に基づく	◎	
			何	効率的な営農と規模拡大	5,797（千円）	拡充・充実	
138-12	農用地流動化促進事業 農林水産政策課	新規に利用権を設定した農地の借り手に対する補助	効	新規に利用権を設定した農地を借り受けた担い手農家が、奨励金を活用し、当該農地で営農する	◆ 集積することで耕作放棄地発生防止を図る	○	認定農業者等の担い手への農用地集積を継続的に促進することで、経営の安定化及び耕作放棄地の発生防止を図ることができた。 引き続き、担い手の規模拡大と耕作放棄地の発生防止のため農地の集積を進める。
			誰	担い手農家	◇ 新規の集積状況	○	
			何	農地集積による規模拡大と耕作放棄地の発生抑制	5,348（千円）	拡充・充実	
138-13	畜産・酪農収益力強化総合対策事業 農林水産政策課	畜産業の収益力及び生産基盤を強化し、養豚農家と担い手農家による耕畜連携を推進するため、津地域養豚クラスター協議会による豚舎及び直売所の施設整備に対する補助	効	畜産クラスター協議会による畜舎の施設整備等を行う	◆ 国の要綱等に基づき1組織分の交付金の交付	×	協議会による事業の実施が行われなかったため×とした。今後協議会から事業の要望があった際は、三重県と連携しながら、事業を実施する。
			誰	畜産農家と耕種農家等	◇ 国の要綱等に基づく	×	
			何	効率的な営農と生産基盤の強化	0（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

138-14	集落営農促進対策事業 農林水産政策課	集落営農組織の立ち上げ及び共同利用機械購入に対する補助	効	地域の農業集落が、補助金を活用し、組織づくりや農業機械を導入する	◆ 共同利用機械購入に対する補助	◎	市内の集落営農組織9件に対し共同利用機械購入に対する補助を行ったため◎とした。組織が効率的な営農をし、営農を継続できるよう今後も支援を継続していく。
			誰	地域の農業集落（集落営農組織）	◇ 共同で使用し営農効果を向上させる状況	◎	
			何	集落営農の組織化と効率的な営農	15,392（千円）	現状維持	
138-15	農業経営収入保険加入支援事業（新型コロナ対策） 農林水産政策課	新型コロナウイルス感染症等の影響から農業者の経営努力では避けられないリスクに起因による収入現象を補填する保険料の支援	効	安定した農業所得を維持する	◆ 収入保険加入者当初75名補助	◎	市内農業者147名に対し、三重県農業共済組合を通じ支援を行ったため◎とした。今後も農業者の安定した農業所得を維持するため、加入者の拡充に係る支援を行う。
			誰	農業者	◇ リスクに備えた保険加入状況	◎	
			何	農業者の安定した収入と消費者への安定した供給	6,693（千円）	拡充・充実	
138-16			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
138-17			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
138-18			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645139
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局				農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			139	農地集積・集約化等による農地利用の最適化を進めるとともに、農業・農村の多面的機能の発揮による国土保全・資源かん養への取組を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
139-1	多面的機能支払交付金事業 / 農林水産政策課	農地・農業用水等の資源の保全管理や施設の長寿命化を図り、農地の多面的機能を確保することへの支援	効	地域の景観がよくなる。農地集積が進む。	◆ 国の要綱等に基づき交付	○	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮の推進により、農地においては耕作放棄地の発生が防止されるとともに、農業用施設においては、基礎的な保全活動や補修等により施設の機能維持を図ることができた。 引き続き、農村地域がもつ多面的機能の増進を図るため、支援を継続する。
			誰	農業・農村の有する多面的機能	◇ 国の要綱等に基づく実施状況	◎	
			何	適切に維持・発揮される	188,256（千円）	拡充・充実	
139-2	環境保全型農業直接支払対策事業 / 農林水産政策課	農業者等が科学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組とセットで行う地球温暖化防止等に効果の高い営農活動への支援	効	農業者が、交付金を活用し、環境保全に効果の高い営農活動を行う	◆ 国の要綱等に基づき交付	◎	昨年度より1組織増の5組織に対し交付を行い、取組面積も増加させることができたため、◎とした。有機農業や減農薬の取組は慣行栽培に比べコストや作業時間がかかるため、今後も支援の拡充・充実を図っていく。
			誰	農業者	◇ 国の要綱等に基づく実施状況	◎	
			何	環境保全に効果の高い営農活動をしやすくなる	4,224（千円）	拡充・充実	
139-3	中山間地域等直接支払事業 / 農林水産政策課	中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から国の制度の基づく事業の交付金	効	中山間地域等の農業者の、農業生産条件の不利を是正する	◆ 国の要綱等に基づき交付	◎	市内28組織に対し交付を行うことができたため、◎とした。当該事業は耕作条件が不利な中山間地域の営農活動の継続の一助となっている。今後も中山間地域の農地を維持するために事業を継続していく。
			誰	中山間地域等の農業者	◇ 国の要綱等に基づく実施状況	◎	
			何	農業生産条件の不利を是正し、営農活動しやすくなる	36,465（千円）	現状維持	
139-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
139-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

139-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
139-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
139-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
139-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
139-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645140
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			140	地域に寄り添いながら、地域と共に対策を講じることにより、すべての地域から被害が減ったと実感していただけるよう獣害対策の3本柱（個体数の調整、防護柵設置の推進、地域ぐるみでの取組）の取組を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
140-1	獣害対策事業	有害鳥獣の個体数調整の報償費、防護柵の設置に対する補助等	効	猟友会での獣の捕獲及び農業従事者に防護柵設置の補助を行うことによる農作物被害防止	◆ 柵設置希望者全員への補助	◎	個体数調整及び防護柵の設置により獣による農作物の被害額は減少し効果はあったが、農作物被害がなくなったわけではないことから引き続き継続していく。
			誰	農業従事者	◇ 防護柵設置による農作物被害の減少	◎	
	農林水産政策課		何	獣害による農作物被害の減及び無	40,697（千円）	拡充・充実	
140-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
140-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
140-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
140-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

140-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
140-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
140-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
140-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
140-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645141
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局				農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			141	農村地域に限らず、市民の安全・安心を確保するため、老朽化した農業用ため池や湛水防除の排水機場等の計画的な更新、耐震化、長寿命化対策を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
141-1	農業用河川工作物応急対策等整備事業	農業基盤整備課	老朽化した頭首工による下流域への災害被害を未然に防止するため必要となる改修事業に係る負担	効	頭首工等を改修	◆ 市内1か所	◎	当初の計画どおり事業を進捗できたことから「◎」とした。 今後も事業実施主体である三重県と調整を図り、より効果的な事業となるよう検証を進めていく。
				誰	市内の農業者	◇ 業務完了報告書等で確認	◎	
				何	営農活動をしやすくする	14,284（千円）	現状維持	
141-2	耐震対策ため池改修事業	農業基盤整備課	一定基準に基づき、堤体の安全性の確認が必要なため池の耐震性調査、事業計画策定、及び改修事業に係る負担等	効	耐震対策として農業用ため池を改修	◆ 耐震性調査22か所、劣化状況調査89か所、事業計画書作成2か所	◎	当初の計画どおり事業を進捗できたことから「◎」とした。 未調査のため池について、今後も計画的に耐震性調査等を実施していく。
				誰	市内の農業者	◇ 業務完了報告書、事業計画書等で確認	◎	
				何	営農活動をしやすくする	152,246（千円）	現状維持	
141-3	基幹農業水利施設ストックマネジメント事業	農業基盤整備課	基幹的な農業用施設の有効活用を図り、効率的な機能保全対策を推進するため、機能診断、保全計画及び対策工事を一貫して実施する県事業に係る負担	効	基幹的な農業用施設の補修等	◆ 市内3か所	◎	当初の計画どおり事業を進捗できたことから「◎」とした。 今後も事業実施主体である三重県と調整を図り、より効果的な事業となるよう検証を進めていく。
				誰	市内の農業者	◇ 業務完了報告書等で確認	◎	
				何	営農活動をしやすくする	31,650（千円）	現状維持	
141-4				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
141-5				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

141-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
141-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
141-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
141-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
141-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645142
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			142	安定的な用水供給及び農家の水管理の省力化を図るため、用水路のパイプライン化による自動給水やほ場整備事業による大区画化を推進し、農業経営の規模拡大や農地の集積・集約化を促進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
142-1	高度水利機能確保基盤整備事業 / 農業基盤整備課	担い手育成に伴う基盤整備事業（パイプライン化等）に係る負担	効	パイプライン等を整備	◆ 市内3か所	◎	年度当初に計画していた箇所を整備できたことから「◎」とした。 今後も地元要望等を考慮しつつ、費用対効果等も踏まえ、効果的な事業となるよう検証を進めていく。
			誰	市内の農業者	◇ 業務完了報告書等で確認	◎	
			何	営農活動をしやすくする	35,045（千円）	現状維持	
142-2	中勢用水事業 / 農業基盤整備課	中勢用水に対する償還負担及び日常の維持管理に係る負担	効	中勢用水に対する負担	◆ 中勢用水の管理維持に係る費用の一部を負担	◎	当初の計画どおり償還金の負担及び維持管理に係る費用の一部負担を実施できたことから「◎」とした。 中勢用水事業は公共的な事業であることから、今後も引き続き支援を行っていく。
			誰	市内の農業者	◇ 事業会計等を収支決算書等で確認	◎	
			何	営農活動をしやすくする	60,741（千円）	現状維持	
142-3	農地整備事業 / 農業基盤整備課	ほ場の大区画化等を実施することにより作業効率、生産性の向上を図るためのほ場整備事業に係る委託等	効	農業者の作業効率や生産性が向上	◆ 市内2か所	◎	当初の計画どおりに事業が進捗したことから「◎」とした。 今後も効果的な事業となるよう検証を進めていく。
			誰	市内の農業者	◇ 業務完了報告書等で確認	◎	
			何	営農活動をしやすくする	16,517（千円）	現状維持	
142-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
142-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

142-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
142-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
142-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
142-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
142-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645143
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			143	農道や農業用排水路等については、良好な営農基盤を確保するため、定期的なパトロール等、維持・管理の実施と計画的な改修等による長寿命化を推進します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
143-1	市単土地改良事業（工事費）	農道、用排水路等の改修工事	効	農道、用排水路等の改修	◆ 市内7か所	◎	年度当初に予定していた全ての箇所の工事を実施できたことから「◎」とした。 今後も地元要望等を踏まえ、効果的な事業となるよう検証を進めていく。
			誰	市内の農業者	◇ 農道、用排水路等の改修を現地確認	◎	
	農業基盤整備課		何	営農活動をしやすくする	28,172（千円）	現状維持	
143-2	市単土地改良事業（補助金）	土地改良区等が発注施工する農業用施設補修等工事に対する補助	効	地元自治会等が発注する農業用施設の補修等に対して補助を実施	◆ 市内101か所	◎	地元自治会等が発注する農業用施設の補修等に対して、市内各所にわたって支援することができたことから「◎」とした。 今後も地元要望等を踏まえ、効果的な事業となるよう検証を進めていく。
			誰	市内の農業者	◇ 農業用施設の補修等を現地確認	◎	
	農業基盤整備課		何	営農活動をしやすくする	55,961（千円）	現状維持	
143-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
143-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
143-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

143-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
143-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
143-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
143-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
143-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061646
		施策	46	林業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画				
担当部局		農林水産部			
施策の内容（番号）		144	～	147	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
144	木材の利用拡大と間伐未利用材の新たな利活用方策を見いだすとともに、林業事業体の育成を支援し、林業の活性化を図ります。	A	①	林業振興室
145	効率的な森林施業を図るため、森林情報の整備を行い、施業地の集約化を推進するとともに、林業事業体における造林事業や高性能林業機械の導入を支援します。	A	①	林業振興室
146	森林の状況に応じた整備・保全を行い、森林の多面的機能の維持・向上を図ります。	B	①	林業振興室
147	間伐等の造林事業を行う上で必要となる林道等の生産基盤については、定期的なパトロール等、維持・管理の実施と計画的な改修・整備を行い、施設の長寿命化と生産性の向上に努めます。	B	①	林業振興室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	林道の開設工事や維持管理、土壌侵食等のおそれがある渓流沿いでの間伐、市有林等の間伐、森林の多面的機能を発揮するために山林所有者等が実施する間伐等に対する補助、間伐材及び間伐に伴う林地残材の搬出・運搬や新植地への獣害防止柵の設置に対する補助、津市産材を使用した新築木造住宅に対する補助を行うとともに、森林所有者に対する経営管理意向調査を行うなど、林業の振興に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061646144
		施策	46	林業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画				
担当部局			農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			144	木材の利用拡大と間伐未利用材の新たな利活用方策を見いだすとともに、林業事業体の育成を支援し、林業の活性化を図ります。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			誰	誰のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
			何	何のための事業か			
144-1	強い森づくり促進事業 / 林業振興室	森林の多面的機能を発揮するため、山林所有者等が実施する間伐等に対する補助	効	林業事業体が森林整備を進めることができる	◆ 間伐272ha	◎	R4は約317haの間伐を支援することができた。一方で、市内に未整備森林は多く存在するため、事業費を現状維持し、市内の未整備森林の解消に向けて継続的に支援していく。
			誰	下流域の住民	◇ 未整備森林の解消	○	
			何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	30,843（千円）	現状維持	
144-2	林地残材搬出促進事業 / 林業振興室	間伐に伴う林地残材の搬出・運搬に対する補助	効	林業事業体が林地残材の搬出を進めることができる	◆ 搬出量8,360t	○	R4は7,716tの林地残材の搬出について支援した。林地残材を実施した森林は林内環境が整っており、今後の、森林の公益的機能の発揮が期待される。林業事業体等が1年間に搬出できる量も限られているため現状維持とする。
			誰	下流域の住民	◇ 林内環境の改善	◎	
			何	豪雨等の災害時の被害が軽減される	34,934（千円）	現状維持	
144-3	木材利用促進事業 / 林業振興室	個人住宅を対象とした、津市産材を使用した新築木造住宅に対する補助	効	新築住宅を建築しようとする者が、木造住宅を建てやすくなる	◆ 個人住宅5棟	○	R4は個人住宅4棟について支援を行ったことにより、約60㎥の木材が利用された。募集棟数の上限に達していないため現状維持とする。
			誰	林業事業体、木材業者	◇ 木材の利用	◎	
			何	木材が使用されることにより、林業・木材産業が活性化される	1,200（千円）	現状維持	
144-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
144-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

144-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
144-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
144-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
144-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
144-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	A	B	A					
今後の方向性	①	①	③	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061646145
		施策	46	林業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画				
担当部局			農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			145	効率的な森林施業を図るため、森林情報の整備を行い、施業地の集約化を推進するとともに、林業事業体における造林事業や高性能林業機械の導入を支援します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額　（千円）	今後の方向性	
145-1	強い森林づくり促進事業補助金	林業振興室	森林の多面的機能を発揮するため、山林所有者等が実施する間伐等に対する補助	効	林業事業体が森林整備を進めることができる	◆ 間伐272ha	◎	R4は約317haの間伐を支援することができた。一方で、市内に未整備森林は多く存在するため、事業費を現状維持し、市内の未整備森林の解消に向けて継続的に支援していく。
				誰	下流域の住民	◇ 未整備森林の解消	○	
				何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	30,843（千円）	現状維持	
145-2	森林整備地域活動支援交付金	林業振興室	間伐等の施業集約化を図るため、森林経営計画作成及び森林境界の明確化に対する支援	効	林業事業体が森林境界の明確化を進めることができる	◆ 明確化実施面積200ha	◎	R4は202haの森林境界の明確化に対して支援した。明確化を行った森林において森林経営計画を作成されていくが、市内の森林経営計画のカバー率は13.7%にとどまっているため、引き続き、地域活動を支援していく必要がある。
				誰	森林所有者、林業事業体	◇ 森林経営経営計画策定状況	○	
				何	境界を把握することができ、森林整備を進めることができる	7,002（千円）	現状維持	
145-3	森林再生力強化対策事業補助金	林業振興室	森林所有者等が行う新植地への獣害防止柵の設置に対する補助	効	森林所有者等が獣害を防ぎ、植栽を確実に行うことができる	◆ 獣害防護柵5,400m	○	R4は4,306mの獣害防護柵について支援を行った。このことにより、植栽を促進し、造林未済地の解消に貢献することができた。今後、皆伐の増加が想定されるため、林業事業体の要望に応えれるよう事業を進めていく。
				誰	下流域の住民	◇ 造林未済地の解消	○	
				何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	3,652（千円）	現状維持	
145-4	森林経営管理事業（意向調査）	林業振興室	森林経営管理権設定を行うために、森林所有者に対して、経営管理意向調査	効	森林所有者が森林経営管理の意向を示すことができる。	◆ 森林所有者8,106人	◎	R4は9,391人に対して意向調査票を送付した。令和元年度から意向調査に取り組んでいるが、回答率は54%であるため、回答を促す取組も行う必要がある。
				誰	森林所有者等及び市	◇ 意向を示した人	○	
				何	森林経営管理事業を進めることができる	58,421（千円）	現状維持	
145-5	森林経営管理事業（現況調査・境界明確化）	林業振興室	市への経営委託を希望する森林のうち、希望者が集中している地域について森林現況調査及び境界明確化	効	森林所有者及び市が森林の境界を把握することができる	◆ 明確実施面積150ha	◎	R4は151.18haの明確化を実施した。R3に明確化を実施した森林の一部（69.05ha）について経営管理権集積計画を策定したが、残りの森林については調整中である。R5の事業量は現状維持とし、R6以降は拡充・充実していく。
				誰	森林所有者等及び市	◇ 経営管理権集積計画策定面積（R4策定69.05ha）	○	
				何	経営管理権の設定を行うことができる	23,012（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

145-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
145-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
145-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
145-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
145-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061646146
		施策	46	林業の振興	本冊ページ	102
	関連個別計画					
担当部局				農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			146	森林の状況に応じた整備・保全を行い、森林の多面的機能の維持・向上を図ります。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
146-1	広葉樹植栽事業 / 林業振興室	森林保全・水源かん養等自然環境の保護を目的とし、山林への広葉樹植栽に対する補助	効	森林所有者が植栽をすることができる	◆ 植栽面積13.75a	×	R4の実績は無かったが、申請を検討していた団体は存在した。広葉樹の植栽は多様な森林づくりに貢献できるため、引き続き予算を確保していく。
			誰	下流域の住民	◇ 多用な森林づくりの推進	×	
			何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	0（千円）	現状維持	
146-2	森林環境創造事業 / 林業振興室	県の森林環境創造事業実施要領に基づく、森林保全対策	効	森林所有者の代わりに林業事業体が森林整備を行えるようになる	◆ 間伐18.18ha	○	R4は14.83haの間伐を行った。当該事業は、森林所有者の管理が行き届かないような整備が遅れている森林において間伐を行うため、未整備森林の解消に貢献できた。県予算との兼ね合いもあるため、現状維持とする。
			誰	下流域の住民	◇ 未整備森林の解消	◎	
			何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	3,784（千円）	現状維持	
146-3	強い森づくり促進事業 / 林業振興室	森林の多面的機能を発揮するため、山林所有者等が実施する間伐等に対する補助	効	林業事業体が森林整備を進めることができる	◆ 間伐272ha	◎	R4は約317haの間伐を支援することができた。一方で、市内に未整備森林は多く存在するため、事業費を現状維持し、市内の未整備森林の解消に向けて継続的に支援していく。
			誰	下流域の住民	◇ 未整備森林の解消	○	
			何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	30,843（千円）	現状維持	
146-4	林地残材搬出促進事業 / 林業振興室	間伐に伴う林地残材の搬出・運搬に対する補助	効	林業事業体が林地残材の搬出を進めることができる	◆ 搬出量8,360t	○	R4は7,716tの林地残材の搬出について支援した。林地残材を実施した森林は林内環境が整っており、今後の、森林の公益的機能の発揮が期待される。林業事業体等が1年間に搬出できる量も限られているため現状維持とする。
			誰	下流域の住民	◇ 林内環境の改善	◎	
			何	豪雨等の災害時の被害が軽減される	34,934（千円）	現状維持	
146-5	流域防災機能強化対策事業 / 林業振興室	土壌侵食等のおそれがある渓流沿いの森林における間伐	効	林業事業体が特定水源地域の森林を整備することができる	◆ 間伐80ha	◎	R4は92.3haの間伐を実施した。伐倒した木材を等高線状に整理しているため、防災機能の強化をより一層強化することができた。業務委託の準備作業や県予算の兼ね合いから現状維持とする。
			誰	下流域の住民	◇ 防災機能の強化	◎	
			何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	45,002（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和4年度分）

146-6	森林再生力強化対策事業補助金	森林所有者等が行う新植地への獣害防止柵の設置に対する補助	効	森林所有者等が獣害を防ぎ、植栽を確実に行うことができる	◆ 獣害防護柵5,400m	○	R4は4,306mの獣害防護柵について支援を行った。このことにより、植栽を促進し、造林未済地の解消に貢献することができた。今後、皆伐の増加が想定されるため、林業事業体の要望に応えれるよう事業を進めていく。
			誰	下流域の住民	◇ 造林未済地の解消	○	
	林業振興室		何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	3,652（千円）	現状維持	
146-7	森林経営管理事業（意向調査）	森林経営管理権設定を行うために、森林所有者に対して、経営管理意向調査	効	森林所有者が森林経営管理の意向を示すことができる	◆ 森林所有者8,106人	◎	R4は9,391人に対して意向調査票を送付した。令和元年度から意向調査に取り組んでいるが、回答率は54%であるため、回答を促す取組も行う必要がある。
			誰	森林所有者等及び市	◇ 意向を示した人	○	
	林業振興室		何	森林経営管理事業を進めることができる	58,421（千円）	現状維持	
146-8	森林経営管理事業（現況調査・境界明確化）	市への経営委託を希望する森林のうち、希望者が集中している地域について森林現況調査及び境界明確化	効	森林所有者及び市が森林の境界を把握することができる	◆ 明確実施面積150ha	◎	R4は151.18haの明確化を実施した。R3に明確化を実施した森林の一部（69.05ha）について経営管理権集積計画を策定したが、残りの森林については調整中である。R5の事業量は現状維持とし、R6以降は拡充・充実していく。
			誰	森林所有者等及び市	◇ 経営管理権集積計画策定面積（R4策定69.05ha）	○	
	林業振興室		何	経営管理権の設定を行うことができる	23,012（千円）	現状維持	
146-9	森林経営管理事業（森林整備）	経営管理権を取得した森林及び整備が遅れている市有林の間伐	効	経営管理権集積計画を策定した森林の整備を行うことができる	◆ 間伐81ha	○	R4は67.57haの間伐を実施した。伐倒した木材を等高線状に整理しているため、防災機能の強化をより一層強化することができた。経営管理権集積計画を策定した森林を間伐するため、現状維持とする。
			誰	下流域の住民	◇ 未整備森林の解消	◎	
	林業振興室		何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	44,172（千円）	現状維持	
146-10	災害からライフラインを守る事前伐採事業	台風等による倒木により、電気等のライフラインを寸断するおそれのある樹木の事前伐採	効	台風等による停電の危険性を減少させることができる	◆ 伐採本数800本	×	R4は252本の事前伐採を行った。一部の森林所有者から伐採に関する承諾を得ることができなかったことにより、当初計画を下回る実績となった。停電の防止に貢献できる事業であるため継続的に実施する。
			誰	周辺の住民	◇ 停電の防止	◎	
	林業振興室		何	災害時においても電気を使用できる	7,678（千円）	現状維持	
146-11	小規模森林整備促進事業	森林所有者等が行う小規模な森林整備に対する支援	効	森林所有者等が小規模な森林の整備を行うことができる	◆ 間伐30ha	○	R4は28.44haの間伐について支援を行った。森林所有者等が行う小規模な森林整備を推進することにより、未整備森林の解消に貢献することができた。今後も引き続き支援を行う。
			誰	下流域の住民	◇ 未整備森林の解消	◎	
	林業振興室		何	森林が有する多面的機能の恩恵を、より一層受けることができる	6,074（千円）	現状維持	
146-12			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
146-13			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

146-14			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
146-15			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
146-16			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
146-17			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
146-18			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061646147
		施策	46	林業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画				
担当部局				農林水産部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			147	間伐等の造林事業を行う上で必要となる林道等の生産基盤については、定期的なパトロール等、維持・管理の実施と計画的な改修・整備を行い、施設の長寿命化と生産性の向上に努めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
147-1	林道中畑線開設工事	林道中畑線の開設工事	効	森林所有者等が林道を利用することができる	◆ 完成延長150m	○	R4の完成延長は20mであるが、施工延長は伸びているため、概ね計画どおりに進んでいる。また、R4においても林道中畑線を使用して森林整備を行ったため、事業の成果が表れていると考えられる。県予算等の兼ね合いもあるため、工事の規模は現状維持とする。
			誰	森林所有者等	◇ 周辺の森林の整備状況	◎	
	林業振興室		何	森林施業を効率的に行うことができ、森林整備が促進される	27,445（千円）	現状維持	
147-2	県営林道経ヶ峰線開設事業	県が施工する開設事業に要する経費の一部を負担	効	森林所有者等が林道を利用することができる	◆ 完成延長275m	△	R4の工事はR5に繰越しており、完成延長115m、施工延長120mとなる予定である。芸濃町河内地内では森林整備が進められている。今後も、県の工事費に沿った予算要求をしていく。
			誰	森林所有者等	◇ 周辺の森林の整備状況	○	
	林業振興室		何	森林施業を効率的に行うことができる	10,862（千円）	現状維持	
147-3	林道現況調査業務	市が管理する林道の現況調査	効	津市が林道の現況を把握することができる	◆ 調査延長246km	◎	R4は計画通りに林道全路線について現況調査を行ったため、林道の現況を把握することができた。今後も引き続き、全路線の現況調査を行っていく。
			誰	森林所有者等	◇ 林道の現況把握	◎	
	林業振興室		何	安全に林道を利用することができる	4,486（千円）	現状維持	
147-4	林道等維持管理事業	路面・排水施設の補修、土砂・倒木の撤去等	効	津市が林道管理者として林道の安全管理を行うことができる	◆ 修繕22箇所	×	R4は修繕を必要とする箇所が少なかったことから、実績は5件となっている。今後も、林道管理者として必要な修繕を行う。
			誰	森林所有者等	◇ 林道の安全確保	○	
	林業振興室		何	安全に林道を利用することができる	2,750（千円）	現状維持	
147-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

147-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
147-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
147-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
147-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
147-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061647
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画				
担当部局		農林水産部			
施策の内容（番号）		148	～	150	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
148	漁業者や水産業に携わる人々が連携し、イベント等を通じて市内産水産物の消費拡大をPRすることにより、市民の魚食に対する関心を高め、水産業の所得向上をめざせる環境整備に取り組みます。	D	①	水産振興室
149	防波堤整備など漁港施設の機能強化を図るとともに、既存漁港施設の長寿命化対策を推進します。	－	－	水産振興室
150	漁業経営体の体制強化や担い手不足を補うため漁協の合併促進を図ります。	E	①	水産振興室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	E	津まつりに出展し水産物の消費拡大や地産地消についてのPR等を行い、水産業の振興に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により津まつり以外の各種イベントは中止となりました。また、漁業協同組合の合併推進に向けて漁業協同組合連合会が主催する合併協議会等についても開催されませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	D	E					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061647148
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画				
担当部局				農林水産部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			148	漁業者や水産業に携わる人々が連携し、イベント等を通じて市内産水産物の消費拡大をPRすることにより、市民の魚食に対する関心を高め、水産業の所得向上をめざせる環境整備に取り組みます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
148-1	白塚おさかなまつり事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する補助	効	白塚おさかなまつり実行委員会が、補助金を活用しおさかなまつりを開催する	◆ 来客者1,000人	×	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止措置のため、開催を中止したことにより、当初の実施計画が未達となった。
			誰	市内外の人々が	◇ 来客者数	×	
	水産振興室		何	おさかなまつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋げられる	0（千円）	現状維持	
148-2	津まつり出展事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する出展負担	効	津市農林水産物利用促進協議会が、負担金を活用し津まつりに伴いあおさのりのみそ汁等を出展する	◆ 来客者2,000人	◎	用意していた、農林水産物のPR用の配布等も盛況であった。
			誰	市内外の人々が	◇ 津まつり全体の来客者数（95,000人）	○	
	水産振興室		何	津まつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋げられる	200（千円）	拡充・充実	
148-3	津市農林水産まつり事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する出展負担	効	津市農林水産物利用促進協議会が、負担金を活用し津市農林水産まつりに伴い青さのりのみそ汁等を出展する	◆ 来客者1,600人	×	新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止措置のため、開催を中止したことにより、当初の実施計画が未達となった。
			誰	市内外の人々が	◇ 来客者数	×	
	水産振興室		何	津市農林水産まつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋げられる	0（千円）	現状維持	
148-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
148-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

148-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
148-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
148-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
148-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
148-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	D

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	E	E	D					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061647149
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画				
担当部局				農林水産部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			149	防波堤整備など漁港施設の機能強化を図るとともに、既存漁港施設の長寿命化対策を推進します。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
149-1			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
149-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
149-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
149-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
149-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

149-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
149-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
149-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
149-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
149-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	―

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	―

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	－	－					
今後の方向性	①	①	①	－	－					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード 061647150
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ 102
	関連個別計画				
担当部局			農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			150	漁業経営体の体制強化や担い手不足を補うため漁協の合併促進を図ります。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
					◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
150-1	漁業協同組合の合併促進事業 / 水産振興室	合併推進協議会等への参加	効	漁業協同組合の合併を推進する	◆ 協議会等への参加	×	漁連が主催する、合併協議会等が開催されなかった。
			誰	漁業関係者が	◇ 漁業経営基盤の安定	×	
			何	安定した漁業活動に繋がる	0（千円）	現状維持	
150-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
150-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
150-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
150-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

150-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
150-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
150-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
150-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
150-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	E

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	C	C	C	B	E					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード　061748
		施策	48	観光の振興	本冊ページ　104
	関連個別計画		津市過疎地域持続的発展計画		
担当部局			政策財務部、商工観光部、ボートレース事業部		
施策の内容（番号）			151	～	153

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
151	歴史・文化、自然、温泉などの資源を有機的につないだ観光コースや体験型観光など、多彩な資源の活用と新たな魅力の創出を図るとともに、関連団体や民間事業者が持つ強みを活かして、「ひと・もの」両面からおもてなし環境の充実に努めます。	B	①	観光振興課/地域振興課（美杉）
152	マスメディアやSNSなど、時代に即した情報発信を通じて、本市を代表するイベントへの集客、インバウンド観光やMICE誘致など、国内外からの誘客を促進し、交流人口拡大に向けた取組を進めます。	B	①	広報課/観光振興課/経営管理課
153	三重県や周辺市町との広域的な取組をはじめ、関係団体や民間事業者との観光分野における連携の強化に取り組みます。	A	①	観光振興課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	津駅前観光案内所における観光資源の紹介や観光ボランティアガイド団体が連携するネットワーク活動及び津まつり等のイベント開催に対する補助、名松線を観光資源とした沿線地域の魅力づくり事業・魅力発信事業、ボートレース津へのグレードレースの誘致を行うとともに、観光誘客・情報発信事業や一定基準を満たした会議の主催者に対する補助を行うなど、観光の振興に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	C	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061748151
		施策	48	観光の振興	本冊ページ	104
	関連個別計画			津市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和8年度）		
担当部局				商工観光部、都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			151	歴史・文化、自然、温泉などの資源を有機的につないだ観光コースや体験型観光など、多彩な資源の活用と新たな魅力の創出を図るとともに、関連団体や民間事業者が持つ強みを活かして、「ひと・もの」両面からおもてなし環境の充実に努めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
					当初の事業実施計画 / 事業評価の主な視点 / 決算額	実施評価 / 事業評価 / 今後の方向性	
151-1	観光ボランティアガイドネットワーク活動支援事業 / 観光振興課	観光ボランティアガイド団体が相互に連携するネットワーク活動に対する補助	効	各ガイド団体間の連携強化、ガイド技術の向上を図る	◆ 補助1件	◎	ガイド募集を行い新たな人材を確保、育成することで、今後も継続的に質の高いガイド（案内）の提供を目指す。また、ガイド団体間の連携等を継続し、おもてなし意識の向上、ガイド能力の底上げに向けた取組を継続する。
			誰	各ガイドが	◇ ガイド案内人数	○	
			何	ガイド技術及びおもてなしの向上を図ることにつながる	3,100（千円）	現状維持	
151-2	津駅前観光案内所運営事業 / 観光振興課	津駅前観光案内所運営業務の委託	効	市内の観光地等の情報を容易に得ることができる	◆ 季節ごとに観光資源を重点的に紹介するイベントの実施	○	重点的に観光資源を紹介するイベント（企画展）を実施し、来場者に来訪のきっかけを与える。津駅を観光の起点とする来津者が案内所を利用するように案内所の存在を周知し一人でも多くの来津者へ観光地の魅力を伝える。
			誰	観光客（市内外の人々が）	◇ 案内所利用者数	◎	
			何	市内の観光地等を訪れるきっかけづくり	10,010（千円）	現状維持	
151-3	名松線利活用関係事業 / 地域振興課（美杉）	名松線沿線地域の魅力づくり事業及び魅力発信事業の実施	効	名松線を観光資源として地域団体の活動、地域の活性化が促進される	◆ 補助4件	△	名松線沿線地域の魅力づくり事業補助金については2団体が申請し、名松線の利活用を促進する取組に対し支援を行っている。コロナ禍の沈静化とともにイベントへの参加も増加してきており効果が期待でき今後も引き続き支援を続けることで、観光客誘致を図る。
			誰	観光客	◇ 名松線を守る会イベント参加総数187人	○	
			何	沿線地域に興味を持ち交流・関係人口が増える	901（千円）	現状維持	
151-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
151-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

151-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
151-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
151-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
151-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
151-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	B	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード　061748152
		施策	48	観光の振興	本冊ページ　104
	関連個別計画				
担当部局				政策財務部、商工観光部、ボートレース事業部	
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			152	マスメディアやSNSなど、時代に即した情報発信を通じて、本市を代表するイベントへの集客、インバウンド観光やMICE誘致など、国内外からの誘客を促進し、交流人口拡大に向けた取組を進めます。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容		事業の目的	事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
152-1	コンベンション開催支援等事業 / 広報課	観光関連事業の振興や交流人口の拡大を図るため、市内施設を主会場に一定基準を満たした会議の主催者に対する補助	効	本市の交流人口の増加、地域経済の活性化、観光及び文化の振興等を図る	◆ 観光関連事業の振興や交流人口の拡大を図るため、市内施設を主会場に一定基準を満たした会議の主催者に対する補助	○	市内で開催された大規模な会議等に対し、補助金を交付することができた。 一方で大規模な会議などは数年前から開催が決まっていることが多く、補助が津市で会議を開催するインセンティブになっていない可能性がある。また、交付団体が固定化する傾向も見られるので、長期的には制度の見直しも視野にいれていきたい。
			誰	市内施設を主会場に開催される一定基準を満たした会議の主催者	◇ 補助金が会議開催地決定のインセンティブとなっているか	△	
			何	会議費用の補助により会議の誘致を図り、本市の交流人口の増加、地域経済の活性化、観光及び文化の振興を図る	718（千円）	現状維持	
152-2	広報宣伝事業 / 観光振興課	観光誘客PRキャンペーン事業及び新聞雑誌広告等情報発信業務の委託	効	市内外の人々がイベントでのPRブースや津市観光協会のHP、新聞雑誌等を介して観光情報を得ることができる	◆ 観光PRの実施回数50回以上ほか	◎	新聞、テレビ、雑誌、Webメディアへの広告掲載、各種メディアからの取材への協力や、情報提供については継続しつつ、年々若年層を中心にWeb（インターネット上）で情報収集する傾向が顕著であることから、Web上への発信についてもSNS等を活用し実施していく。
			誰	市内外の人々が	◇ 観光入込客数	○	
			何	市内の観光イベントや観光地等へ足を運ぶきっかけづくり	13,431（千円）	現状維持	
152-3	観光誘客・情報発信事業 / 観光振興課	観光誘客・情報発信事業に対する補助	効	津市観光協会が、補助金を活用し、花見客への対応や情報発信を行うためのHPの維持管理を行う	◆ 補助1件	○	観光地に関する基本的（開館日、開館時間、場所、アクセスなど）情報の発信を行うことに加えその情報に係る取材や電話対応などを行っており、情報の信頼性を保っていることから、旅行前のリサーチに協会HPが広く利用されていることから閲覧数も年々上昇傾向となっている。
			誰	津市観光協会が	◇ HPの閲覧数	◎	
			何	誘客活動、おもてなし活動等がしやすくなる	14,699（千円）	現状維持	
152-4	モーターボート競走事業 / 経営管理課	レース場への来場促進や売上向上を目的としてグレードレースの誘致を行う	効	観光施設として、全国から観光客を誘致することができ、交流人口拡大を促すことができる	◆ 入場者数：280,000	△	売上は予算計画の金額を達成することができた。入場者数は目標の280,000人に対して194,164人であったので、「△」とした。入場者数が減少傾向にあるので、本場への来場を促す施策を検討していきたい。
			誰	ボートレースファン及び津市民	◇ ボートレース津の1年間の売上	◎	
			何	交流人口拡大を促すだけではなく、津市財源を確保することができる	54,203,370（千円）	拡充・充実	
152-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

152-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
152-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
152-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
152-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
152-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	B					
今後の方向性	①	①	①	②	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061748153
		施策	48	観光の振興	本冊ページ	104
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			153	三重県や周辺市町との広域的な取組をはじめ、関係団体や民間事業者との観光分野における連携の強化に取り組みます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
153-1	津花火大会補助事業	津花火大会実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が、補助金を活用し、花火大会を開催する	◆ 補助1件	◎	打上場所の南下に伴い、会場エリアが拡大された。それにより、警備計画を含め、運営方法を見直す必要がある。
			誰	市内外の人々が	◇ 来場者数	◎	
	観光振興課		何	花火大会を通じて交流を深め、津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	9,000（千円）	現状維持	
153-2	津まつり補助事業	津まつり実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が補助金を活用し、津まつりを開催する	◆ 補助1件	◎	津市を代表するイベントとして、今後も補助を継続する。
			誰	市内外の参加団体や来場いただく人々が	◇ 来場者数	◎	
	観光振興課		何	津まつりを通じて交流を深め、津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	24,500（千円）	現状維持	
153-3	ビーチバレーin御殿場補助事業	ビーチバレーin御殿場実行委員会の事業に対する補助	効	実行委員会が、補助金を活用し、ビーチバレー大会を開催する	◆ 補助1件	◎	津の海をPRするレジャーイベントとして、今後も補助を継続する。
			誰	ビーチバレー大会参加者が	◇ 来場者数	◎	
	観光振興課		何	大会を通じて親交を深め、津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	4,800（千円）	現状維持	
153-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
153-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

153-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
153-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
153-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
153-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
153-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	E	E	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.

施策の評価シート（令和４年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード　061749
		施策	49	シティプロモーションの推進	本冊ページ　104
	関連個別計画				
担当部局		政策財務部			
施策の内容（番号）		154	～	155	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
154	さまざまな機会を捉え、本市の魅力や暮らしやすさを効果的に市内外へ情報発信し、さらなる本市の認知度の向上をめざします。	B	①	東京事務所/広報課
155	情報発信ツールを有機的に結び付け、多くの魅力を互いに連動させながら、効果的な地域資源の情報発信に取り組みます。	A	①	広報課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	つデイ等の魅力発信イベントの開催による首都圏におけるPRやロケ誘致に成功した作品と絡めた効果的な津市の魅力発信を行うとともに、市民に親しまれる広報紙の発行やホームページ・アプリケーションの運用・管理による情報発信を行い、シティプロモーションを推進しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	A					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード　061749154
		施策	49	シティプロモーションの推進	本冊ページ　104
	関連個別計画				
担当部局			政策財務部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			154	さまざまな機会を捉え、本市の魅力や暮らしやすさを効果的に市内外へ情報発信し、さらなる本市の認知度の向上をめざします。	

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
154-1	魅力発信イベント開催事業 / 東京事務所	つデイ等の本市の魅力発信イベントの開催	効	首都圏における本市のPR及び認知度の向上	◆ つデイ2回、つデイパネル展2回、他自治体等との共催5回を予定	○	つデイ2回、つデイパネル展2回、他自治体等との共催4回を開催。来場者の本市への関心度は高く、知名度の向上が図れた。イベント開催の機運も高まっていることから、さらなる拡充・充実を図る。
			誰	首都圏に在住する人及び企業	◇ 来場者等の意見（津市への興味等）	○	
			何	本市の観光、物産及び市内企業PR等による知名度の向上	1,272（千円）	拡充・充実	
154-2	津市フィルムコミッション事業 / 広報課	ロケ誘致等を通じて映像作品に津市が取り上げられることによる魅力の発掘	効	津市への興味・関心の喚起 イベント等への来場（来津）	◆ ロケ誘致及び誘致に成功した作品と絡めた津市のPR活動の実施	○	令和3年度にロケ誘致に成功した「THE　LEGEND&BUTTERFLY」の公開に伴って、令和4年度はイオンモール津南へのパネル設置を行った。 また、同じく令和3年度にロケが行われた「わたしの幸せな結婚」では、令和4年度にイオンモール津南及び専修寺でパネル展を行うとともに、ロケ地マップの作成・配布やSNSを活用した専修寺とのタイアップ企画を通じて多くの映画ファンに津市をPRできた。
			誰	市内外の人々	◇ ロケ件数、訪問者数	○	
			何	津市の認知度の向上 観光客、移住者の増加 市民のシビックプライドの醸成	535（千円）	拡充・充実	
154-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
154-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
154-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

154-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
154-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
154-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
154-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
154-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	C	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和4年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061749155
		施策	49	シティプロモーションの推進	本冊ページ	104
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			155	情報発信ツールを有機的に結び付け、多くの魅力を互いに連動させながら、効果的な地域資源の情報発信に取り組みます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
155-1	広報津発行事業	市民に親しまれる広報紙の発行	効	市政や各種事業・イベント情報などを知る	◆ 月1回以上発行	◎	担当課と相談をしながら、正確で分かりやすい市政に関する情報を発信することができた。今後も、担当課と緊密な連携を行いながら、より効果的な情報発信を継続していく。
			誰	市民	◇ 発行回数及び発行部数	○	
	広報課		何	市民が必要とする正確な情報を得られる	54,198（千円）	現状維持	
155-2	ホームページ情報発信事業	ホームページ及びアプリケーションの運用・管理	効	市政や各種事業・イベント情報などを知る	◆ 適切な運用管理	○	担当課からの掲載依頼に対して、広報課で内容やアクセシビリティのチェックを行ったうえで、迅速な発信ができた。今後も担当課の掲載依頼に対して迅速な対応をしていく。
			誰	市民	◇ 適切な運用管理	○	
	広報課		何	市民が必要とする正確な情報を得られる	5,555（千円）	現状維持	
155-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
155-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
155-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和4年度分）

155-6			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
155-7			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
155-8			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
155-9			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	
155-10			効		◆	
			誰		◇	
			何		（千円）	

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。